

東海第二発電所

設計及び工事計画変更認可申請書

補足説明資料

(改 3)

令和 5 年 7 月

日本原子力発電株式会社

補足説明資料名称

工認添付書類	補足説明資料
—	補足-1 設計及び工事計画変更認可申請における適用条文等の整理について（改1）
—	補足-2 設計及び工事計画変更認可申請書に添付する書類の整理について
—	補足-3 工事の方法に関する補足説明資料
—	補足-4 火災防護審査基準改正に伴う火災感知器の種類及び配置の変更（改3）

初版：2023年 4月 7日

改1：2023年 5月 9日

補足-4：前回ヒアリング（4月20日）コメント反映【p285～306】

改2：2023年 5月23日

補足-1：前回ヒアリング（5月 9日）コメント反映【p3, 256】

補足-4：前回ヒアリング（5月 9日）コメント反映【p285～317】

改3：2023年 7月28日

補足-4：審査会合（5月23日）コメント反映【p3～245】

本資料のうち、 は商業秘密又は核物質防護上の観点から公開できません。

補足－4 【火災防護審査基準改正に伴う火災感知器の
種別及び配置の変更】

(改3)

火災防護審査基準改正に伴う火災感知器の種別及び配置の変更

1 申請概要, 適用条文	3
1.1 申請概要	3
1.2 適用条文	5
2 火災防護審査基準改正の要求事項の明確化	6
3 既工認の火災区域・火災区画設定の考え方	7
3.1 火災防護対策を講じる機器等の選定	7
3.2 火災区域・火災区画の設定	8
3.3 火災感知の設計	9
4 火災防護審査基準への適合検討	10
4.1 火災区域・火災区画の分類, 火災感知器の選定及び設置設計	10
4.2 既工認からの変更点, 変更理由の明確化	18
4.3 火災防護審査基準に基づく火災感知の設計	19
4.4 火災防護審査基準によらない火災感知の設計	21
4.5 十分な保安水準の確保(妥当性の確認)	22
5 基本設計方針への反映	25
6 具体的な火災感知の設計の確認	30

1 申請概要，適用条文

1. 1 申請概要

- 火災防護審査基準の改正内容を踏まえ，平成30年10月18日付け原規規発第1810181号にて認可された工事の計画（以下「既工認」という。）の「その他発電用原子炉の附属施設」のうち「火災防護設備」の基本設計方針を変更する。
- 今回工認の範囲については，以下のとおりである。
 - ✓ 今回工認では，設計基準対象施設及び重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画（DBトンネル，SAトンネル，格納容器圧力逃がし装置を設置する建屋及び特定重大事故等対処施設（以下「特重施設」という。）の火災区域又は火災区画を除く。）に係る範囲を対象とし，火災防護審査基準の改正内容を踏まえて，火災感知設備の基本設計方針を変更する。
 - ✓ 既工認のDBトンネル及びSAトンネルに設置する火災感知器は，特重施設の設置に伴い，DBトンネル及びSAトンネルの構造を変更し，その一部が特重施設に格納されていることから，別途特重施設工認にて申請する。
 - ✓ 東海第二はSA施設の格納容器圧力逃がし装置を特重施設と兼用することから，格納容器圧力逃がし装置を設置する建屋に関する火災防護設備の基本設計方針について，別途特重施設工認にて申請する。
 - ✓ なお，情報管理に注意が必要な特重施設工認と今回工認は別申請とし，審査の効率化及び情報管理の徹底を図る。
 - ✓ 表1に申請範囲の整理結果を示す。

表1 申請範囲整理表

申請範囲	今回申請	別途申請
設計基準対象施設及び重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画 (DBトンネル，SAトンネル，格納容器圧力逃がし装置を設置する建屋及び特重施設を設置する火災区域又は火災区画を除く。)	○	—
設計基準対象施設及び重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画（DBトンネル，SAトンネル，格納容器圧力逃がし装置を設置する建屋の火災区域又は火災区画。）	—	—※
特重施設を設置する火災区域又は火災区画	—	○（令和5年5月31日申請済）
	—	○（令和5年5月31日申請済）

※設計進捗を踏まえ，火災防護設備用ハロンボンベ及び二酸化炭素ボンベの設置場所，個数，名称等の変更について，令和5年4月7日付けにて設計及び工事計画変更認可を申請済み。
（令和5年6月9日及び令和5年6月30日付けで一部補正）

1 申請概要, 適用条文

- 今回工認においては、火災防護審査基準の改正を踏まえ、設計基準対象施設及び重大事故等対処施設（DBトンネル、SAトンネル、格納容器圧力逃がし装置を設置する建屋及び特重施設を除く。）に係る「その他発電用原子炉の附属施設」のうち「火災防護設備」の基本設計方針及び関連する添付書類を変更する。
- 表2に今回工認に係る申請概要を示す。

表2 今回工認に係る申請概要

No.	項目	申請概要
1	火災防護設備の基本設計方針、適用基準及び適用規格	火災防護審査基準の改正を踏まえて、基本設計方針に火災感知器及び火災感知器と同等の機能を有する機器（以下「火災感知器等」という。）の設置方法の記載を追加する。なお、適用基準及び適用規格には変更はない。
2	火災防護設備に係る工事の方法設計及び工事に係る品質マネジメントシステム	工事の方法及び品質マネジメントシステムについて示す。なお、今回工認は火災感知器等の種別及び配置を変更するものであり、工事の方法及び品質マネジメントシステムに変更はない。
3	V-1-1-1 発電用原子炉の設置の許可との整合性に関する説明書	今回工認で追加した工事の計画（基本設計方針）と設置許可申請書との整合性を示す。
4	V-1-1-6 安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書	火災感知器等の共用の設計について示す。なお、今回工認は種別及び配置を変更するものであり、共用の設計に変更はない。
5	V-1-1-7 発電用原子炉施設の火災防護に関する説明書	火災防護審査基準の改正を踏まえて、火災感知器等の種別及び配置に関する設計について示す。
6	V-1-10 設計及び工事に係る品質マネジメントシステムに関する説明書	品質マネジメントシステムについて示す。なお、今回工認は火災感知器等の種別及び配置を変更するものであり、品質マネジメントシステムに変更はない。
7	V-1-8-3 原子炉格納施設の基礎に関する説明書	原子炉格納施設の基礎の耐震性、地盤の健全性について示す。なお、今回工認は火災感知器等の種別及び配置を変更するものであり、原子炉格納施設の基礎の耐震性、地盤の健全性に変更はない。
8	V-2 耐震性に関する説明書	耐震設計の基本方針及び火災感知設備を設置する建屋の地盤、耐震性について示す。なお、今回工認は種別及び配置を変更するものであり、耐震設計の基本方針及び建屋の地盤、耐震性に変更はない。 また、火災感知器等の取付方法は、既工認にて構造強度を有していることを確認した方法で取り付けるため変更はない。

1 申請概要, 適用条文

1. 2 適用条文

➤ 表3に今回工認に係る審査対象条文を示す。適用条文の整理については、補足－1に示す。

表3 今回工認に係る審査対象条文整理表

技術基準規則※	理由	関連する審査書類
第11条 火災による損傷の 防止	設計基準対象施設の火災による損傷の防止に対する要求であり、火災感知器等の種別及び配置の変更が、火災による損傷の防止に関する設計に影響がないことを確認する必要があるため、本条文は審査対象条文である。	・V-1-1-7 発電用原子炉施設の火災防護に関する説明書
第52条 火災による損傷の 防止	重大事故等対処施設の火災による損傷の防止に対する要求であり、火災感知器等の種別及び配置の変更が、火災による損傷の防止に関する設計に影響がないことを確認する必要があるため、本条文は審査対象条文である。	・V-1-1-7 発電用原子炉施設の火災防護に関する説明書

※：実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則

第4条（設計基準対象施設の地盤）、第5条（地震による損傷の防止）、第14条（安全設備）、第15条（設計基準対象施設の機能）についても、設計基準対象施設に対する要求であり関係条文となるが、今回工認において、既工認の適合性確認結果に影響を与えない。

2 火災防護審査基準改正の要求事項の明確化

➤ 表4に火災防護審査基準の改正前後における火災防護設備（2.2.1（1）に係る事項）に対する要求事項を比較し、改正に伴う要求事項の変更点を整理した。

表4 火災防護審査基準の改正後における火災感知設備に対する要求事項の変更点の整理

改正前	改正後	要求事項の変更点
<p>2.2 火災の感知、消火</p> <p>2.2.1 火災感知設備及び消火設備は、以下の各号に掲げるように、安全機能を有する構造物、系統及び機器に対する火災の影響を限定し、早期の火災感知及び消火を行える設計であること。</p> <p>(1) 火災感知設備</p> <p>① 各火災区域における放射線、取付面高さ、温度、湿度、空気流等の環境条件や予想される火災の性質を考慮して型式を選定し、早期に火災を感知できる場所に設置すること。</p> <p>② 火災を早期に感知できるよう固有の信号を発する異なる種類の感知器又は同等の機能を有する機器を組合せて設置すること。また、その設置にあたっては、感知器等の誤作動を防止するための方策を講ずること。</p> <p>③ 外部電源喪失時に機能を失わないように、電源を確保する設計であること。</p> <p>④ 中央制御室等で適切に監視できる設計であること。</p>	<p>2.2 火災の感知・消火</p> <p>2.2.1 火災感知設備及び消火設備は、以下の各号に掲げるように、安全機能を有する構造物、系統及び機器に対する火災の影響を限定し、早期の火災感知及び消火を行える設計であること。</p> <p>(1) 火災感知設備</p> <p>① 各火災区域における放射線、取付面高さ、温度、湿度、空気流等の環境条件や予想される火災の性質を考慮して型式を選定し、早期に火災を感知できるよう固有の信号を発する異なる感知方式の感知器等（感知器及びこれと同等の機能を有する機器をいう。以下同じ。）をそれぞれ設置すること。また、その設置にあたっては、感知器等の誤作動を防止するための方策を講ずること。</p> <p>② 感知器については消防法施行規則（昭和36年自治省令第6号）第23条第4項に従い、感知器と同等の機能を有する機器については同項において求める火災区域内の感知器の網羅性及び火災報知設備の感知器及び発信機に係る技術上の規格を定める省令（昭和56年自治省令第17号）第12条から第18条までに定める感知性能と同等以上の方法により設置すること。</p> <p>③ 外部電源喪失時に機能を失わないように、電源を確保する設計であること。</p> <p>④ 中央制御室で適切に監視できる設計であること。</p>	<p>a. 火災感知器等の選定</p> <ul style="list-style-type: none"> 要求事項に変更はない <p>b. 異なる感知方式の火災感知器等の設置及び誤作動防止</p> <ul style="list-style-type: none"> 異なる感知方式の感知器等を設置することを明記 <p>c. 火災感知器等の設置方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 火災感知器等は消防法施行規則等に従って設置することを明記 <p>d. 電源確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 要求事項に変更はない <p>e. 監視場所</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央制御室にて監視できることを明記

3 既工認の火災区域・火災区画設定の考え方

- 平成30年9月26日付け原規規発第1809264号で許可された発電用原子炉設置変更許可申請（以下「既許可」という。）及び既工認における火災防護対策を講じる機器の選定を3. 1. 火災区域・火災区画の設定を3. 2. 火災感知の設計を3. 3に示す。
- 3. 1 火災防護対策を講じる機器等の選定
 - 火災防護審査基準における記載より、発電用原子炉施設である東海第二の各建屋に対し、安全機能を有する構造物、系統及び機器を火災から防護することを目的とし、火災区域及び火災区画を設定している。
 - 東海第二における「安全機能」を有する機器とは、「発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針」のクラス1、クラス2及び安全評価上その機能を期待するクラス3に属する構造物、系統及び機器のうち原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持するために必要な構造物、系統及び機器並びに放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する構造物、系統及び機器を対象としている。また、重大事故等対処施設も上記の対象としている。
 - 表5に火災防護対策を講じる機器等の選定に関する基本設計方針、別添1に原子炉の安全停止に必要な機器等、放射性物質の貯蔵・閉じ込め機能を有する機器等及び重大事故等対処施設の機器リストを示す。

表5 火災防護対策を講じる機器等に関する基本設計方針

火災防護審査基準（平成25年6月19日制定）	既工認（基本設計方針）
<p>1.1 適用範囲 本基準は、原子炉施設に適用する。</p> <p>1.2 用語の定義 (11)「火災区域」 耐火壁によって囲まれ、他の区域と分離されている建屋内の区域をいう。 (12)「火災区画」 火災区域を細分化したものであって、耐火壁、離隔距離、固定式消火設備等により分離された火災防護上の区画をいう。 (15)「安全機能」 原子炉の停止、冷却、環境への放射性物質の放出抑制を確保するための機能をいう。</p> <p>2. 基本事項 (1)原子炉施設内の火災区域又は火災区画に設置される安全機能を有する構造物、系統及び機器を火災から防護することを目的として、以下に示す火災区域及び火災区画の分類に基づいて、火災発生防止、火災の感知及び消火、火災の影響軽減のそれぞれを考慮した火災防護対策を講じること。</p>	<p>第2章 個別項目 1. 火災防護設備の基本設計方針 発電用原子炉施設は、火災によりその安全性を損なわないように、適切な火災防護対策を講じる設計とする。火災防護対策を講じる対象として「発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針」のクラス1、クラス2及び安全評価上その機能を期待するクラス3に属する構造物、系統及び機器とする。 火災防護上重要な機器等は、上記構造物、系統及び機器のうち原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持するために必要な構造物、系統及び機器並びに放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する構造物、系統及び機器とする。 (中略) 重大事故等対処施設は、火災により重大事故等に対処するために必要な機能が損なわれないよう、重大事故等対処施設を設置する火災区域及び火災区画に対して、火災防護対策を講じる。</p>

3 既工認の火災区域・火災区分画設定の考え方

3. 2 火災区域・火災区分画の設定

- 建屋等の火災区域は，耐火壁により囲まれ，火災防護上重要な機器等と重大事故等対処施設の配置や系統分離も考慮して設定するとともに，屋外の火災区域は延焼防止を考慮して設定し，火災区分画は，系統分離の状況及び壁の設置状況並びに重大事故等対処施設と設計基準事故対処設備の配置に応じて分割して設定している。
- 設定した火災区域及び火災区分画に対し，火災防護対策を講じる設計とし，火災防護上重要な機器等又は重大事故等対処施設に含まれない構築物，系統及び機器は，消防法等に基づき設備に応じた火災防護対策を講じる設計としている。
- 表 6 に火災区域・火災区分画設定及び火災防護対策に関する基本設計方針，別添 2 にその他発電用原子炉の附属施設のうち火災防護設備に係る機器の配置を明示した図面及び構造図（火災区域構造物及び火災区分画構造物），別添 3 に火災区域を明示した図面を示す。

表 6 火災区域・火災区分画設定及び火災防護対策に関する基本設計方針

火災防護審査基準（平成25年6月19日制定）		既工認（基本設計方針）
1.2 用語の定義		第 2 章 個別項目
(11)「火災区域」耐火壁によって囲まれ，他の区域と分離されている建屋内の区域をいう。		建屋等の火災区域は，耐火壁により囲まれ，他の区域と分離されている区域を，火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設の配置を系統分離も考慮して設定する。 (中略) 屋外の火災区域は，他の区域と分離して火災防護対策を実施するために，火災防護上重要な機器等を設置する区域及び重大事故等対処施設の配置を考慮するとともに，延焼防止を考慮した管理を踏まえた区域を火災区域として設定する。
(12)「火災区分画」火災区域を細分化したものであって，耐火壁、離隔距離、固定式消火設備等により分離された火災防護上の区分画をいう。		火災区分画は，建屋内及び屋外で設定した火災区域を系統分離の状況及び壁の設置状況並びに重大事故等対処施設と設計基準事故対処設備の配置に応じて分割して設定する。
2. 基本事項		
(1)原子炉施設内の火災区域又は火災区分画に設置される安全機能を有する構築物、系統及び機器を火災から防護することを目的として、以下に示す火災区域及び火災区分画の分類に基づいて、火災発生防止、火災の感知及び消火、火災の影響軽減のそれぞれを考慮した火災防護対策を講じること。		設定する火災区域及び火災区分画に対して，以下に示す火災の発生防止、火災の感知及び消火並びに火災の影響軽減のそれぞれを考慮した火災防護対策を講じる設計とする。
① 原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持するための安全機能を有する構築物、系統及び機器が設置される火災区域及び火災区分画		なお，発電用原子炉施設のうち，火災防護上重要な機器等又は重大事故等対処施設に含まれない構築物，系統及び機器は，消防法，建築基準法，日本電気協会電気技術規程・指針に基づき設備に応じた火災防護対策を講じる設計とする。
② 放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する構築物、系統及び機器が設置される火災区域		

3 既工認の火災区域・火災区画設定の考え方

3.3 火災感知の設計

- 火災感知器は環境条件や火災の性質を考慮し、火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設の種類の種類に応じ、火災を早期に感知できるよう、固有の信号を発するアナログ式の煙感知器及びアナログ式の熱感知器の異なる種類の火災感知器も含めた組み合わせで設置する設計としている。
- 表7に火災感知の設計に関する基本設計方針、別添4に火災感知器の型式ごとの設置状況について、別添5に各火災感知器の配置図、別添6に東海第二における火災感知器及び消火設備の区画別設置状況について示す。

表7 火災感知の設計に関する基本設計方針

火災防護審査基準（平成25年6月19日制定）	既工認（基本設計方針）
<p>2.2 火災の感知、消火 (1) 火災感知設備</p> <p>① 各火災区域における放射線、取付面高さ、温度、湿度、空気流等の環境条件や予想される火災の性質を考慮して型式を選定し、早期に火災を感知できる場所に設置すること。</p> <p>② 火災を早期に感知できるよう固有の信号を発する異なる種類の感知器又は同等の機能を有する機器を組合せて設置すること。また、その設置にあたっては、感知器等の誤作動を防止するための方策を講ずること。</p>	<p>1. 火災防護設備の基本方針 (2) 火災の感知及び消火 火災感知設備の火災感知器（一部「東海、東海第二発電所共用」（以下同じ。））は、火災区域又は火災区画における放射線、取付面高さ、温度、湿度、空気流等の環境条件、予想される火災の性質を考慮し、火災感知器を設置する火災区域又は火災区画の火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設の種類の種類に応じ、火災を早期に感知できるように、固有の信号を発するアナログ式の煙感知器及びアナログ式の熱感知器の異なる種類の火災感知器を組み合わせで設置する設計とする。</p> <p>ただし、発火性又は引火性の雰囲気を形成するおそれのある場所及び屋外等は、環境条件や火災の性質を考慮し、非アナログ式の炎感知器（赤外線方式）、非アナログ式の防爆型熱感知器、非アナログ式の防爆型煙感知器、非アナログ式の屋外仕様の炎感知器（赤外線方式）、アナログ式の屋外仕様の熱感知カメラ及び非アナログ式の熱感知器も含めた組み合わせで設置する設計とする。</p> <p style="text-align: center;">（中略）</p> <p>火災感知設備は、外部電源喪失時又は全交流動力電源喪失時においても火災の感知が可能となるように蓄電池を設け、電源を確保する設計とする。また、火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の火災感知設備の電源は、非常用電源、常設代替高圧電源装置又は緊急時対策所用発電機からの受電も可能な設計とする。</p> <p style="text-align: center;">（中略）</p> <p>火災感知設備のうち火災受信機盤は中央制御室に設置し、火災感知設備の作動状況を常時監視できる設計とする。</p>
<p>③ 外部電源喪失時に機能を失わないように、電源を確保する設計であること。</p> <p>④ 中央制御室等で適切に監視できる設計であること。</p>	

4 火災防護審査基準への適合検討

4. 1 火災区域・火災区画の分類，火災感知器の選定及び設置設計

➤ 火災防護審査基準の改正に伴う適合性を検討するに当たり，図1に示す火災感知器の選定及び設置の設計フローに基づき検討を行った。その結果，消防法施行規則第23条4項の要件（取付け面高さに関する規定）を受け，選定する火災感知器の一部を熱感知器から炎感知器に変更する。

➤ なお，3. 1に示す火災防護対策を講じる機器等の選定及び3. 2に示す火災区域・火災区画の設定に対する火災防護審査基準の要求事項に変更がないため，既許可及び既工認から設計方針に変更はない。また，3. 3に示す火災感知の設計のうち火災感知器等の選定については，火災防護審査基準改正前においても環境条件を考慮し火災感知器等を選定し，異なる感知方式の火災感知器を選定することとしているため，既許可及び既工認から設計方針に変更はない。

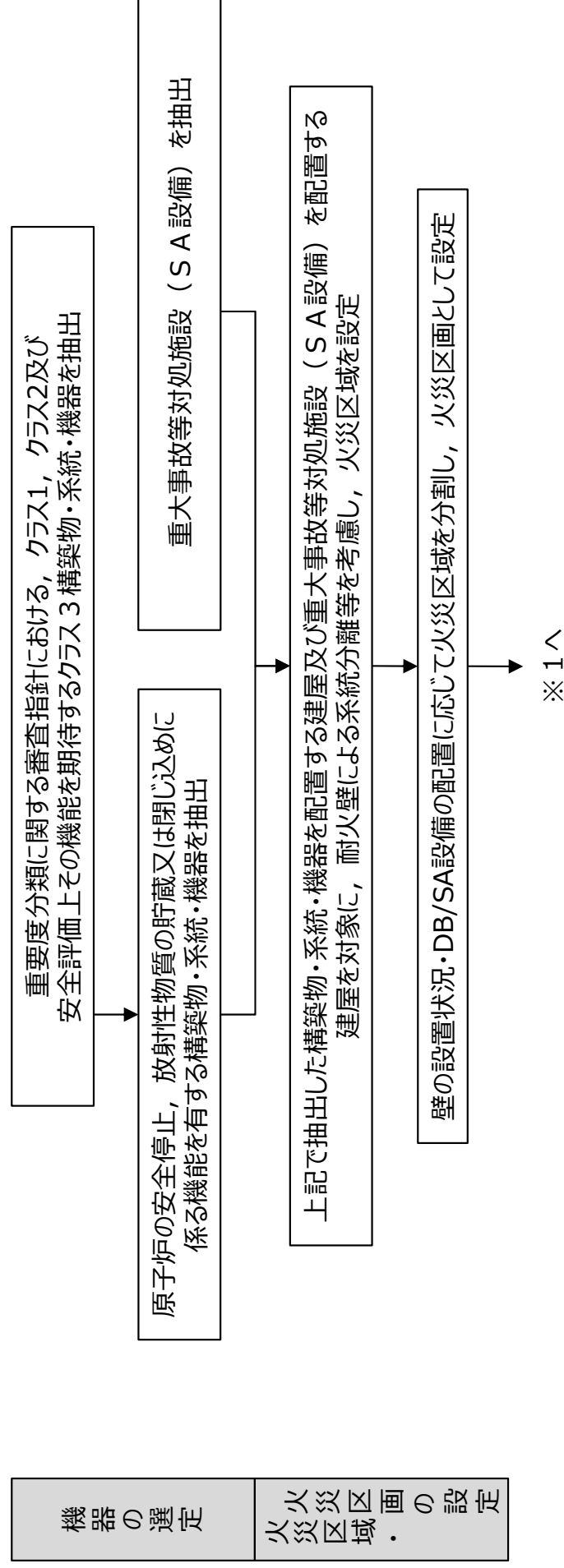


図1 火災感知器の選定及び設置の設計フロー（1 / 4）

4 火災防護審査基準への適合検討

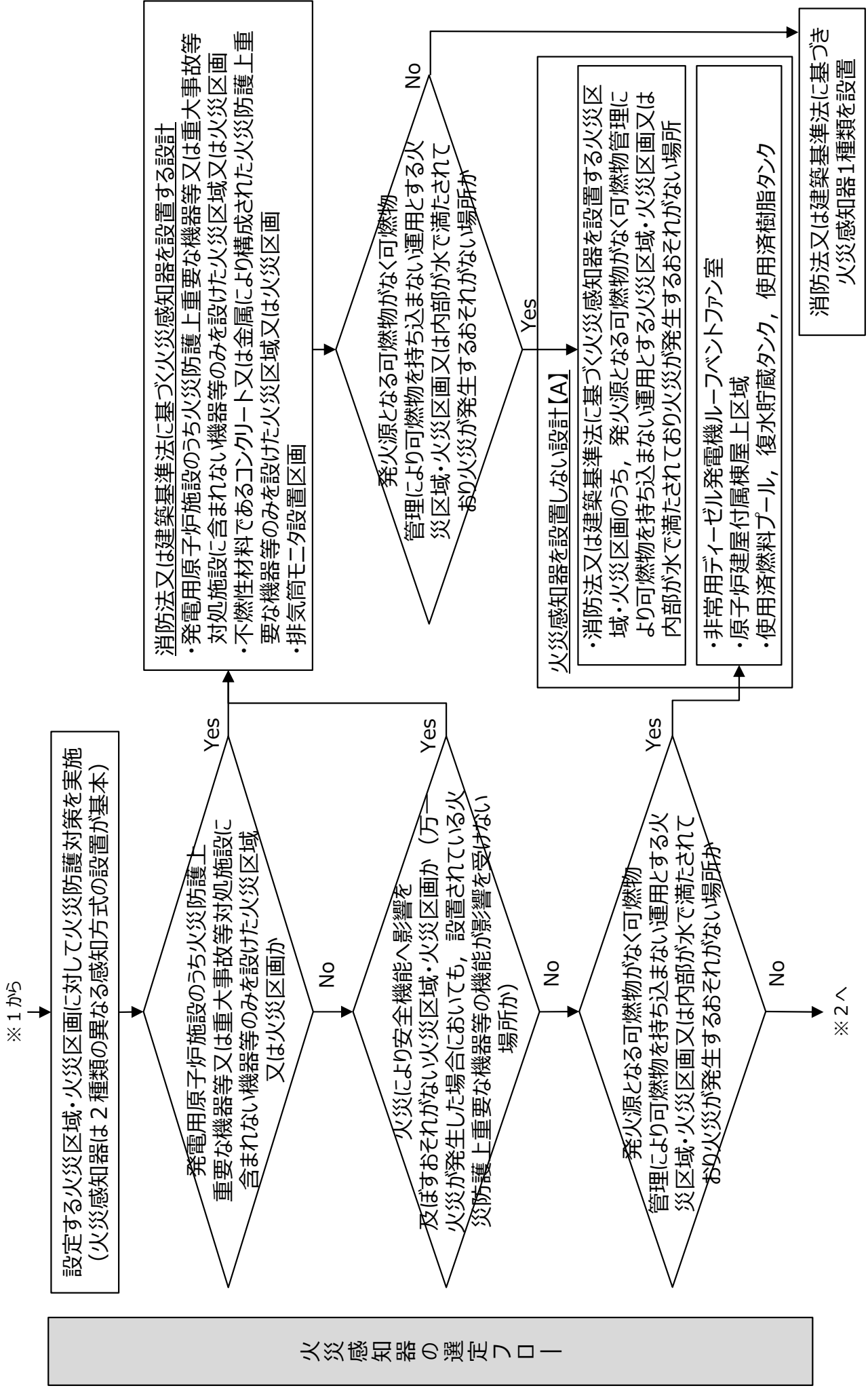


図1 火災感知器の選定及び設置の設計フロー (2 / 4)

4 火災防護審査基準への適合検討

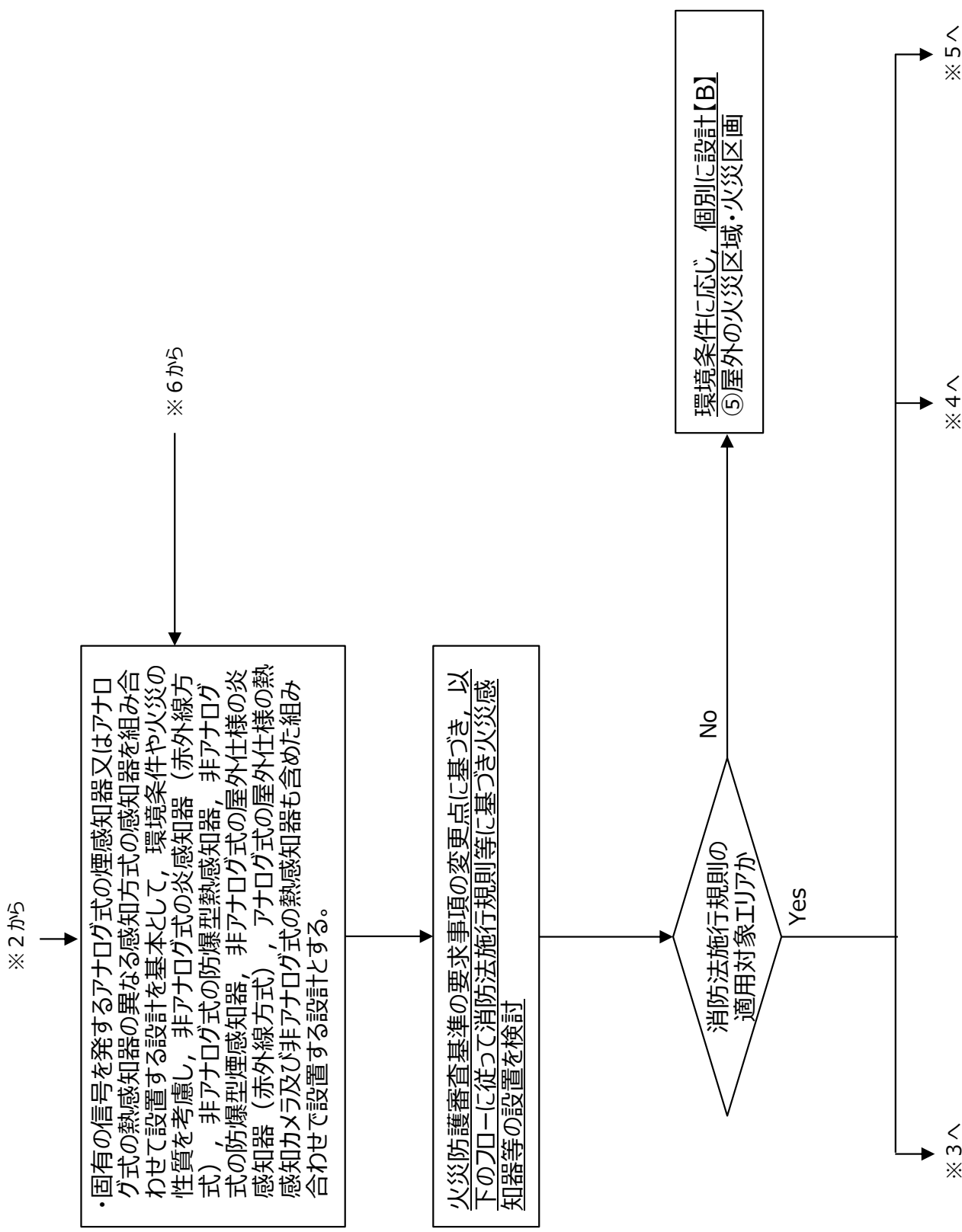


図 1 火災感知器の選定及び設置の設計フロー（3 / 4）

4 火災防護審査基準への適合検討

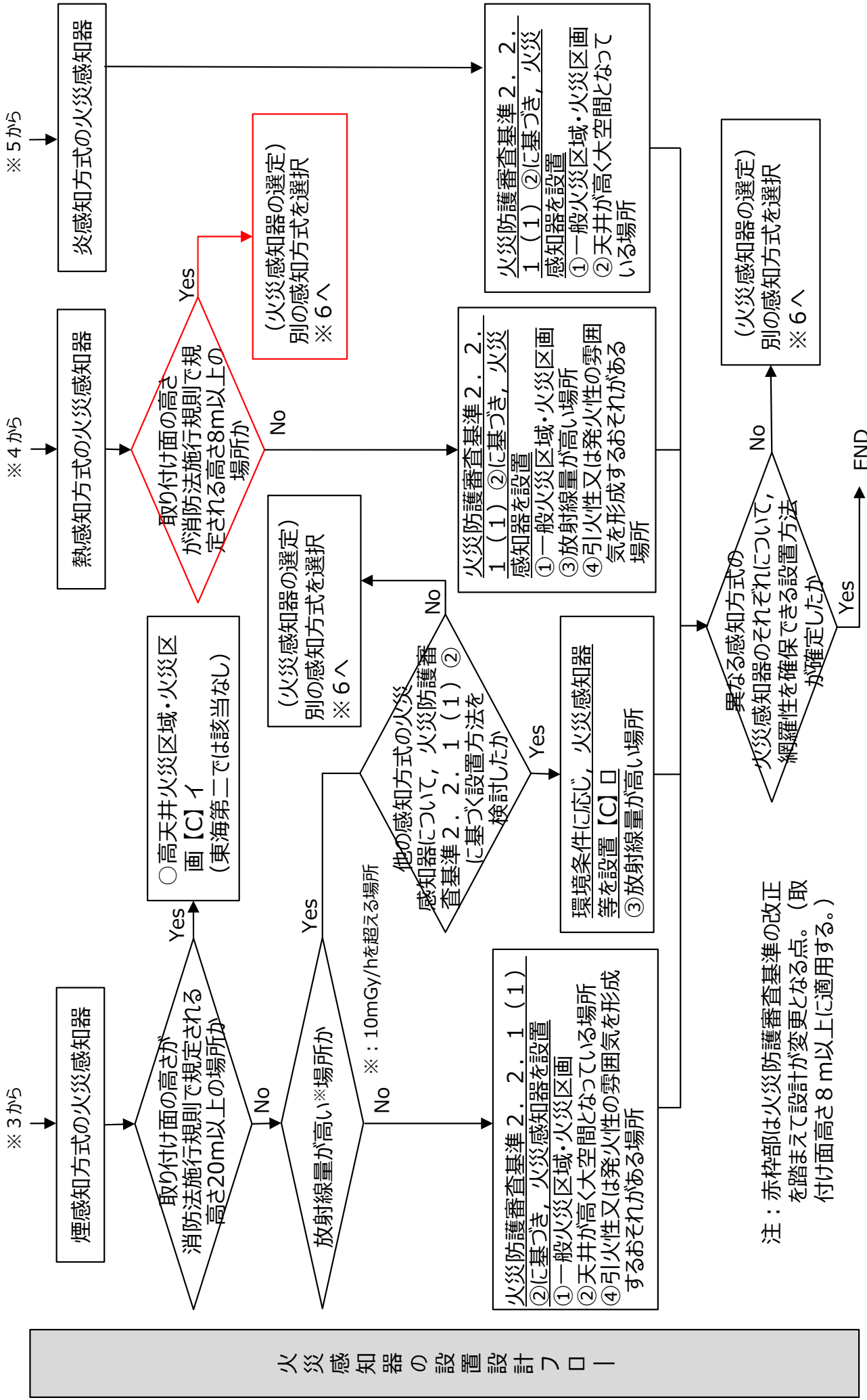


図 1 火災感知器の選定及び設置の設計フロー (4 / 4)

4 火災防護審査基準への適合検討

- 個々の火災感知器の設置場所ごとに予想される火災の性質及び環境条件（放射線，取付面高さ，温度，空気流等）を考慮し，アナログ式の煙感知器，アナログ式の熱感知器を選定することが適さない場合は，故障・誤作動防止等を考慮し，表8の環境条件に応じた火災感知器リストに示すとおり，同一環境条件ごとに適切な火災感知器を選定する。

表8 環境条件に応じた火災感知器リスト

火災感知器の選定で考慮が必要な環境条件	火災感知器(検定品)			感知器と同様の機能を有する機器(検定外品)		
	煙感知方式	熱感知方式	炎感知方式	煙感知方式	熱感知方式	炎感知方式
①一般火災区域・火災区画	アナログ式の煙感知器	アナログ式の熱感知器	非アナログ式の炎感知器	-	-	-
②天井が高く大空間となっている場所	アナログ式の光電分離型煙感知器	-	非アナログ式の炎感知器	-	-	-
③放射線量が高い場所	-	非アナログ式の熱感知器	-	アナログ式の煙吸引式検出設備	-	-
④引火性又は発火性の雰囲気を形成するおそれがある場所	非アナログ式の防爆型煙感知器	非アナログ式の防爆型熱感知器	-	-	-	-
⑤屋外の火災区域・火災区画	-	-	非アナログ式の炎感知器	-	アナログ式の熱感知カメラ	-

注：赤枠部は火災防護審査基準の改正を踏まえて設計が変更となる点。（取付け面高さ8 m以上に適用する。）

4 火災防護審査基準への適合検討

➤ 個々の火災感知器の設置場所ごとの環境条件を踏まえた感知器の選定方針等を表9に示す。

表9 環境条件を踏まえた感知器の選定方針（1/2）

設置対象区域又は区画		東海第二発電所における火災感知器の基本設置方針			設置環境を踏まえた火災感知器の誤作動防止対策
周囲の環境条件と火災感知器の選定方針		種類	アナログ式/ 非アナログ式		
① 一般火災区域・火災区画	-	煙感知器	アナログ式*1,3	-	
		熱感知器	アナログ式*2,3		
② 天井が高く大空間となっている場所	-	炎感知器	非アナログ式	<ul style="list-style-type: none"> 感知原理に「赤外線3波長式」（物質の燃焼時に発生する特有な放射エネルギーの波長帯を3つ検知した場合にのみ発報する）を採用し誤作動防止を図る 建物内に設置していることから、外光（日光）が当たらず、高温物体が近傍にない箇所に設置することにより、誤作動防止を図る 	
		光電分離型煙感知器	アナログ式*1	-	
③ 放射線量が高い場所	-	炎感知器	非アナログ式	<ul style="list-style-type: none"> 感知原理に「赤外線3波長式」（物質の燃焼時に発生する特有な放射エネルギーの波長帯を3つ検知した場合にのみ発報する）を採用し誤作動防止を図る 建物内に設置していることから、外光（日光）が当たらず、高温物体が近傍にない箇所に設置することにより、誤作動防止を図る 	
		煙吸引式検出設備	アナログ式*1	-	
		熱感知器（接点式）	非アナログ式	<ul style="list-style-type: none"> 主蒸気管トンネル室は換気空調設備により安定した室内環境を維持していることから、通常の熱感知器と同様、周囲温度を考慮した作動温度を設定することによって誤作動防止を図る 	

*1: 平常時の状況(煙の濃度)を監視し,かつ,火災現象(煙の濃度の上昇)を把握することができる機能を持つもの
 *2: 平常時の状況(温度)を監視し,かつ,火災現象(急激な温度の上昇)を把握することができる機能を持つもの
 *3: 原子炉格納容器に設置する火災感知器は,運転中は信号を除外する設定とし,プラント停止後に取替を行う

注: 赤枠部は火災防護審査基準の改正を踏まえて設計が変更となる点。(取付け面高さ8 m以上に適用する。)

4 火災防護審査基準への適合検討

表9 環境条件を踏まえた感知器の選定方針（2/2）

東海第二発電所における火災感知器の基本設置方針				
設置対象区域 又は区画	周囲の環境条件と 火災感知器の選定方針	種類	アナログ式/ 非アナログ式	設置環境を踏まえた火災感知器の誤作動防止対策
④ 引火性又は 発火性の雰 囲気を形成 するおそれ がある場所	・充電時に水素発生のおそれがある場所及び 万一の軽油燃料の気化を考慮しなければ ならない場所は、引火性又は発火性の 雰囲気を形成するおそれがあるため、防爆型 の火災感知器を設置	防爆型 煙感知器	非アナログ式	・誤作動を誘発する蒸気等が発生する設備がなく、換気空 調設備により安定した室内環境を維持しており、蒸気等が 充満するおそれはないこと又は地下構造による閉鎖空間に よって、直接風雨にさらされない環境に設置することから誤 作動する可能性は低い
		防爆型 熱感知器	非アナログ式	・室内の周囲温度を考慮し、作動値を室温より高めに設定 すること又は軽油の引火点、当該タンクの最高使用温度 を考慮した温度を作動値とすることから誤作動する可能性 は低い
⑤ 屋外の火災 区域・火災区 画	・屋外であるため、火災区域又は火災区画 全体の火災を感知する必要があるが、火 災による煙が周囲に拡散し煙感知方式によ る火災感知は困難 ・火災区域又は火災区画全体の火災を感 知するために、アナログ式の熱感知カメラ及 び非アナログ式の炎感知器を設置	熱感知カメラ	アナログ式*2	—
		炎感知器	非アナログ式	・感知原理に「赤外線3波長式」（物質の燃焼時に発生す る特異な放射エネルギーの波長帯を3つ検知した場合にのみ 発報する）を採用し誤作動防止を図る ・外光（日光）からの影響を考慮し、遮光カバーを設けるこ とにより、誤作動防止を図る

*2：平常時の状況(温度)を監視し、かつ、火災現象（急激な温度の上昇）を把握することができる機能を持つもの

4 火災防護審査基準への適合検討

- 火災感知器を設置しない、消防法施行規則第23条第4項の適用対象ではない又は火災防護審査基準に定められた方法で火災感知器を設置できない若しくは消防法施行規則に基づき設置することが適切ではない場所

表 1 0 考慮する環境条件ごとの火災感知設計方針

分類	考慮する環境条件等	火災感知器の設置	該当場所
A 火災感知器等を設置しない火災区域・火災区画	発火源となる可燃物がなく可燃物管理により可燃物を持ち込まない運用とする場所	火災が発生するおそれはないことから、火災感知器を設置しない	消防法又は建築基準法に基づく火災感知器を設置する火災区域・火災区画のうち、 発火源となる可燃物がなく可燃物管理により可燃物を持ち込まない運用とする火災区域・火災区画又は内部が水で満たされており火災が発生するおそれがない場所 非常用ディーゼル発電機ルーフトアン室 原子炉建屋付属棟屋上 使用済燃料プール 復水貯蔵タンク 使用済樹脂タンク 海水ポンプ室 常設代替高圧電源装置置場 軽油貯蔵タンク設置区域 可搬型設備用軽油タンク設置区域 緊急時対策所用発電機燃料油貯蔵タンク設置区域
B 消防法施行規則第23条第4項の適用対象ではない火災区域・火災区画	消防法施行規則第23条第4項の適用対象ではない場所	個別の環境条件等に応じた火災感知設計を行う	
C 火災防護審査基準に定められた方法で火災感知器を設置できない又は消防法施行規則に基づき設置することが適切ではない場所	イ 取付面の高さが消防法施行規則第23条第4項で規定される高さ(20m)以上の場所 ロ 放射線量が高い場所	火災感知器を適切な場所に設置することにより、設置場所において発生する火災をもれなく確実に感知できることとする	(該当なし)
			主蒸気管トンネル室

4 火災防護審査基準への適合検討

- 4.2 既工認からの変更点，変更理由の明確化
- 4.1 の選定方針を踏まえて，既工認からの変更点及び変更理由を表 1.1 に示す。
 - なお，図 1 に示すフローの結果，火災区域・火災区画の分類に変更はない。

表 1.1 変更点及び変更理由

分類	変更点	変更理由
① 一般火災区域・火災区画	<ul style="list-style-type: none"> ・「アナログ式の煙感知器・アナログ式の熱感知器」の2種類の組み合わせを「アナログ式の煙感知器・アナログ式の熱感知器・非アナログ式の炎感知器」の3種類の中から2種類の組合せに変更する。 ・感知器の配置について <ul style="list-style-type: none"> ➤ 感知器については，一部の火災区画において機器直上のみを設置する設計としていたため，消防法施行規則（昭和36年自治省令第6号）第23条第4項に従い配置を見直す。 これらにおいては，消防法施行規則を技術的に補完する自動火災報知設備工事基準書に基づく設計とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・火災防護審査基準の改正に伴い，消防法施行規則第23条第4項で定める火災感知器の設置要件においては，取付け面の高さ8m以上にはアナログ式熱感知器設置は適さないため，非アナログ式の炎感知器を選定する。 ・「消防法施行規則第23条第4項」を適用する。

4 火災防護審査基準への適合検討

4.3 火災防護審査基準に基づく火災感知の設計

- 4.1 に示す設計方針に基づく設計のうち、火災防護審査基準に基づく火災感知設計を表 1.2 に示す。

表 1.2 火災区域・火災区画の環境条件等に応じた火災感知器等の種別の選定結果

分類	技術基準規則の解釈※1	火災防護に係る審査基準	該当火災区域・火災区画例	火災感知器等の種別選定結果	火災防護審査基準改正に伴う変更点
① 一般火災区域・火災区画	11条 52条	基準 A ※2 基準 B ※2	・原子炉建屋通路部 ・タービン建屋（ヒーター室）等	・アナログ式煙感知器※3 ・アナログ式熱感知器※3 ・非アナログ式炎感知器（取付け面高が 8 m 以上に適用）	消防法施行規則第 23 条第 4 項に従い、取付け面高が 8m 以上のエリアについては、火災感知器の種別をアナログ式熱感知器から非アナログ式炎感知器に変更する。また、消防法施行規則第 23 条第 4 項に基づき、火災感知器の配置を変更する。
② 天井が高く大空間となっている場所	11条 52条	基準 A ※2 基準 B ※2	・原子炉建屋原子炉棟 6 階（オペレーティングフロア）	・アナログ式光電分離型煙感知器 ・非アナログ式炎感知器	異なる感知方式の火災感知器を消防法施行規則第 23 条第 4 項に基づき設置しており、既工認から変更なし。
③ 放射線量が高い場所	11条 52条	基準 A ※2 基準 B ※2 基準 C ※2	・主蒸気管トンネル室	・アナログ式煙吸引式検出設備 ・非アナログ式熱感知器	異なる感知方式の火災感知器等を消防法施行規則第 23 条第 4 項又は消防法施行規則等と同以上の方法により設置しており、既工認から変更なし。
④ 引火性又は発火性の雰囲気を形成するおそれのある火災区域・火災区画	11条 52条	基準 A ※2 基準 B ※2	・蓄電池室 ・軽油貯蔵タンク設置区域（屋内）	・非アナログ式防塵型煙感知器 ・非アナログ式防塵型熱感知器	異なる感知方式の火災感知器を消防法施行規則第 23 条第 4 項に基づき設置しており、既工認から変更なし。

※1：実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈のうち、適合箇所を示す

※2：基準 A、B、C 及び規則 A の要求事項等は下表参照

※3：原子炉格納容器に設置する火災感知器は、起動時の窒素封入後に作動信号を除外する運用とし、プラント停止後に取替を行う

区分	該当箇所	要求事項等
基準 A	火災防護審査基準【2.2.1 (1) ①】	各火災区域における放射線、取付面高さ、温度、湿度、空気流等の環境条件や予想される火災の性質を考慮して型式を選定し、早期に火災を感知できるように固有の信号を発する異なる感知方式の感知器等（感知器及びこれと同等の機能を有する機器をいう。以下同じ。）をそれぞれ設置すること。また、その設置に当たっては、感知器等の誤作動を防止するための方策を講ずること。
基準 B	火災防護審査基準【2.2.1 (1) ②】	感知器については消防法施行規則（昭和 36 年自治省令第 6 号）第 23 条第 4 項に従い設置すること。
基準 C	火災防護審査基準【2.2.1 (1) ②】	感知器と同等の機能を有する機器については同項において求める火災区域内の感知器の網羅性及び火災報知設備の感知器及び発信機に係る技術上の規格を定める省令（昭和 56 年自治省令第 17 号）第 12 条から第 18 条までに定める感知性能と同等以上の方法により設置すること。
規則 A	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈【柱書】	技術基準規則に定める技術的要件を満足する技術的内容は、本解釈に限定されるものではなく、技術基準規則に照らして十分な保安水準の確保が達成できる技術的根拠があれば、技術基準規則に適合するものと判断する。

4 火災防護審査基準への適合検討

- 火災防護審査基準に基づく設計のうち、放射線量が高い場所の火災感知設計を示す。
- 放射線量が高い場所（主蒸気管トンネル室）は、アナログ式の火災感知器の検出部位が放射線の影響により損傷し、火災感知器が故障することが想定される。このため、放射線の影響を受けないよう検出器部位を当該室外に配置するアナログ式の煙吸引式検出設備を設置する設計とする。
- 主蒸気管トンネル室に設置するアナログ式の煙吸引式検出設備は、試験用配管に煙検知ユニットを接続し、末端部の吸煙口に「煙感知器加煙試験用スプレー」を吹きかけ、発報するまでの時間を測定した試験により光電アナログ式スポット型感知器と同等の感知性能を有していることを確認しており、有効に感知できるよう設置する。
- また、異なる感知方式の感知器として、非アナログ式の熱感知器（接点式）を消防法施行規則に従い設置する。

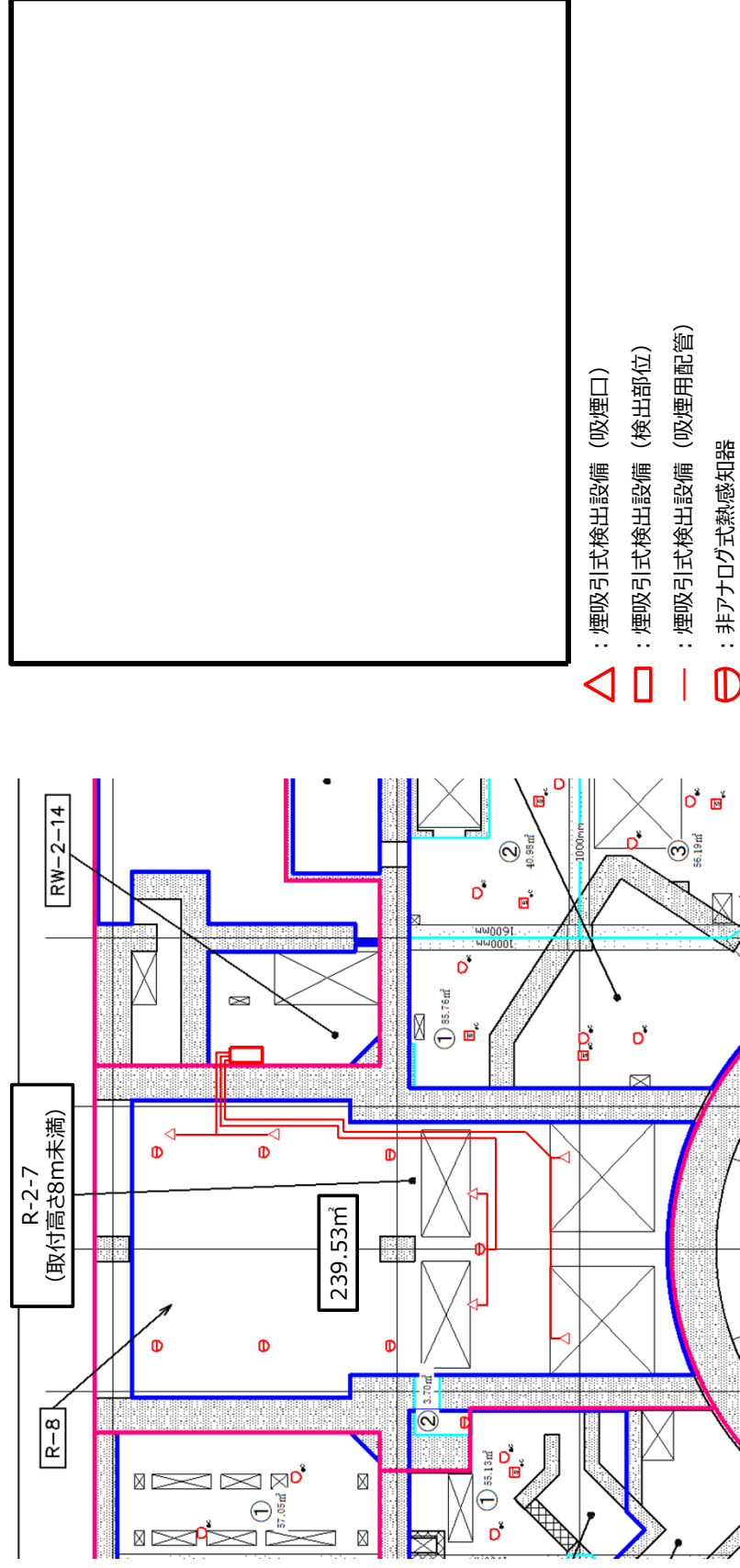


図2 主蒸気管トンネル室

4 火災防護審査基準への適合検討

4. 4 火災防護審査基準によらない火災感知の設計

- 火災防護審査基準改正を受けた分類及び選定する感知器のうち、感知器を設置しない又は火災防護審査基準に定められた方法で火災感知器を設置できない若しくは設置することが適切ではない場所と選定した感知器を表 1 3 に示す

表 1 3 火災区域・火災区画の環境条件等に応じた火災感知器等の種別の選定結果

分類	技術基準規則の解釈※1	火災防護に係る審査基準	該当火災区域・火災区画例	火災感知器等の種別選定結果	保安水準確保の考え方
A 火災感知器等を設置しない火災区域・火災区画	規則 A ※ 2	—	<ul style="list-style-type: none"> ・非常用ディーゼル発電機ルーフトップファン室 ・原子炉建屋付属棟屋上 ・使用済燃料プール、復水貯蔵タンク、使用済樹脂タンク ・FPC 逆洗受けタンク室 ・CUW F/D (A) 室 ・CUW F/D (B) 室 ・新燃料貯蔵庫 ・キャスクピット 	(設置しない)	発火源となる可燃物がなく可燃物管理により可燃物を持ち込まない運用とする火災区域・火災区画又は内部が水で満たされており火災が発生するおそれなく、火災感知器を設置しなくても十分な保安水準の確保が達成できる。 (4. 5 A 参照)
B 消防法施行規則第 23 条第 4 項の適用対象ではない火災区域・火災区画	規則 A ※ 2 11 条 52 条	基準 A ※ 2	<ul style="list-style-type: none"> ・海水ポンプ室 ・常設代替高圧電源装置置場 ・軽油貯蔵タンク設置区域 ・可搬型設備用軽油タンク設置区域 ・緊急時対策所用発電機燃料油貯蔵タンク設置区域 	<ul style="list-style-type: none"> ・非アナログ式炎感知器 ・アナログ式熱感知カメラ ・非アナログ式煙感知器 (防爆型) ・非アナログ式熱感知器 (防爆型) 	当該火災区域・火災区画の火災感知器等は、消防法施行規則第 23 条第 4 項の適用対象ではないため、個別の環境条件に応じた設計として異なる感知方式の火災感知器等を消防法施行規則等と同等以上の方法により設置しており、十分な保安水準の確保を達成する設計としている。(4. 5 B 参照)

※1：実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈のうち、適合箇所を示す

※2：基準 A 及び規則 A の要求事項等は P19 参照 (詳細は別添 1 に示す。)

4 火災防護審査基準への適合検討

4. 5 十分な保安水準の確保（妥当性の確認）

A 火災感知器等を設置しない火災区域・火災区画

➤ 発火源となる可燃物がなく可燃物管理により可燃物を持ち込まない運用とする場所の一例として、非常用ディーゼル発電機ルーバントファン室の概要を以下に示す。

- 非常用ディーゼル発電機ルーバントファン室は、コンクリートで囲われ、発火源となる可燃物が設置されておらず、可燃物管理により不要な可燃物を持ち込まない運用としていくことから、火災が発生するおそれはない。
- したがって、非常用ディーゼル発電機ルーバントファン室は火災感知器を設置しない設計としても十分な保安水準の確保が達成できる。

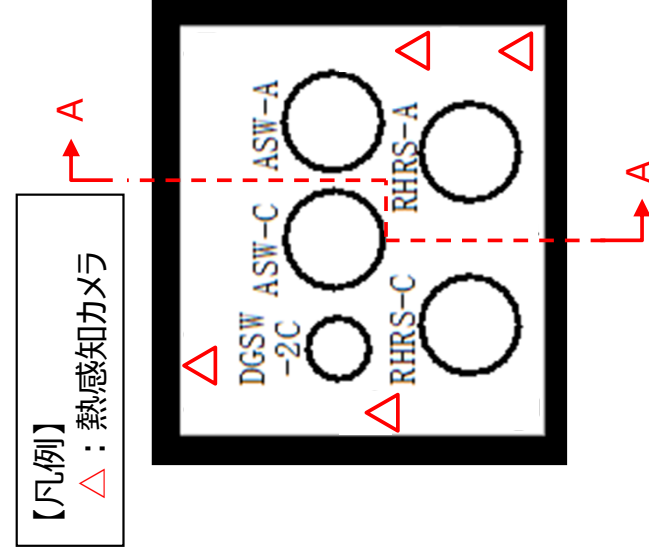


図3 非常用ディーゼル発電機ルーバントファン室

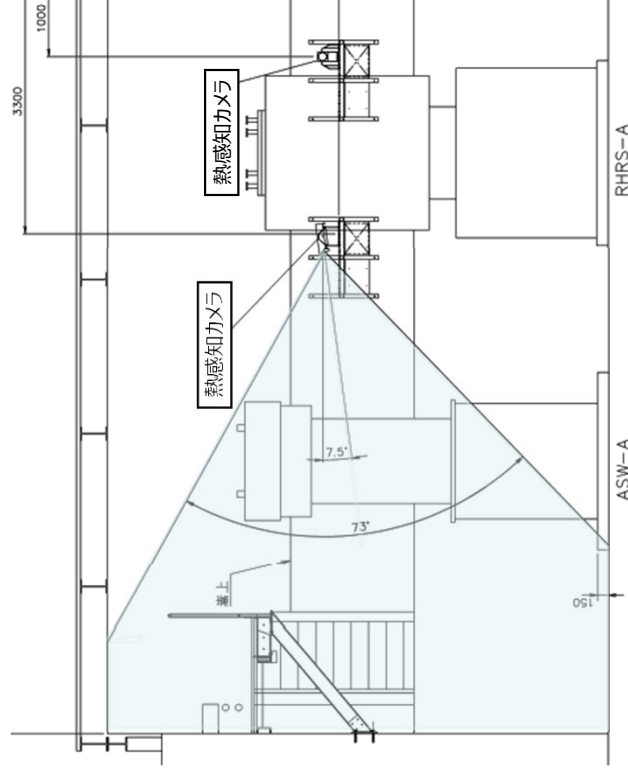
4 火災防護審査基準への適合検討

B 消防法施行規則第23条第4項の適用対象ではない火災区域・火災区画

- 屋外の火災区域・火災区画の一例として海水ポンプ室の概要を示す。
- 海水ポンプ室の火災感知器は，屋外に設置するため火災時の煙の拡散，降水等の影響を考慮し，アナログ式の屋外仕様の熱感知カメラと非アナログ式の炎感知器とする。
- 海水ポンプ室全体の火災を感知するために，アナログ式の熱感知カメラと非アナログ式の炎感知器は，監視範囲に火災の検知に影響を及ぼす死角がないように設置する設計とする。



海水ポンプ室北側平面図



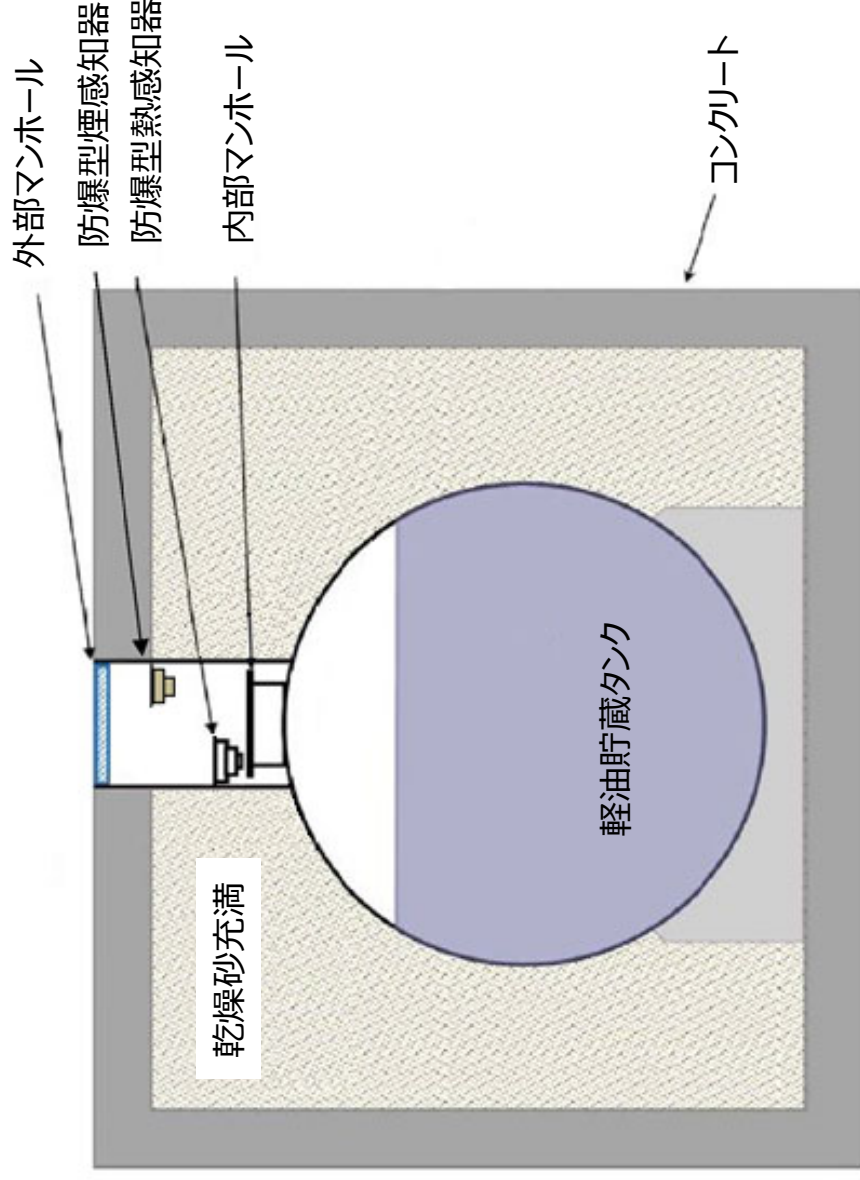
A-A断面

図4 海水ポンプ室

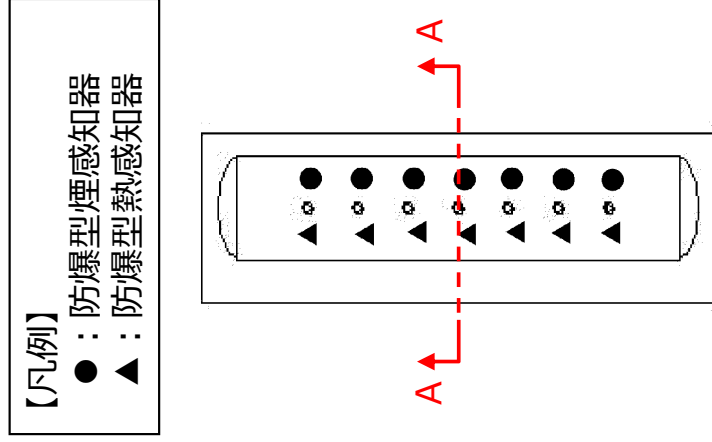
4 火災防護審査基準への適合検討

B 消防法施行規則第23条第4項の適用対象ではない火災区域・火災区画

- 軽油貯蔵タンク設置区域の概要を以下に示す。
- 燃料が気化するおそれがある燃料貯蔵タンクマンホール内の火災感知器は、燃料が気化することを考慮し、防爆型の火災感知器とする。



A-A断面図



軽油貯蔵タンク設置区域平面図

図5 軽油貯蔵タンク設置区域

5 基本設計方針への反映

➤ 4章の火災防護審査基準への適合検討の火災感知の設計を踏まえ、基本設計方針の見直し案を以下に示す。

表 1 4 基本設計方針の見直し案前後表 (1 / 5)

2023年4月7日申請の基本設計方針	基本設計方針見直し案	基準要求事項との関係等
<p>第2章 個別項目</p> <p>1. 火災防護設備の基本設計方針</p> <p>(2) 火災の感知及び消火</p> <p>a. 火災感知設備</p> <p>(a) 火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画（DBトンネル，SAトンネル及びを除く。）の火災感知設備の設計</p> <p>火災感知設備の火災感知器（一部「東海，東海第二発電所共用」（以下同じ。））は、火災区域又は火災区画における放射線，取付面高さ，温度，湿度，空気流等の環境条件，予想される火災の性質を考慮し，火災感知器を設置する火災区域又は火災区画の火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設の種類に応じ，火災を早期に感知できよう，固有の信号を発生するアナログ式の煙感知器及びアナログ式の熱感知器の異なる種類の火災感知器を組み合わせる設計とする。</p>	<p>第2章 個別項目</p> <p>1. 火災防護設備の基本設計方針</p> <p>(2) 火災の感知及び消火</p> <p>a. 火災感知設備</p> <p>(a) 火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画（DBトンネル，SAトンネル及び<u>格納容器圧力逃がし装置を設置する建屋</u>を除く。）の火災感知設備の設計</p> <p>火災感知設備の火災感知器（一部「東海，東海第二発電所共用」（以下同じ。））は、火災区域又は火災区画における放射線，取付面高さ，温度，湿度，空気流等の環境条件，予想される火災の性質を考慮し，火災感知器を設置する火災区域又は火災区画の火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設の種類に応じ，火災を早期に感知できよう，固有の信号を発生するアナログ式の煙感知器，アナログ式の熱感知器又は<u>非アナログ式の炎感知器（炎が発する赤外線又は紫外線を感知するため，炎が生じた時点で感知することができ，火災の早期感知に優位性がある火災感知器）</u>の中から，異なる感知方式の火災感知器を組み合わせる設計とする。</p>	<p>・2.2.1(1)①に基づき固有の信号を有する異なる感知方式(熱・煙・炎)の感知器を組み合わせて選定することを基本とする。</p> <p>【①一般火災区域・火災区画】</p> <p>【②天井が高く大空間となっている場所】</p>

5 基本設計方針への反映

表1-4 基本設計方針の見直し案前後表 (2 / 5)

2023年4月7日申請の基本設計方針	基本設計方針見直し案	基準要求事項との関係等
<p><u>ただし、発火性又は引火性の雰囲気を形成するおそれのある場所及び屋外等は、環境条件や火災の性質を考慮し、非アナログ式の炎感知器（赤外線方式）、非アナログ式の防爆型熱感知器、非アナログ式の防爆型煙感知器、非アナログ式の屋外仕様の炎感知器（赤外線方式）、アナログ式の屋外仕様の熱感知カメラ及び非アナログ式の熱感知器も含めた組み合わせで設置する設計とする。</u></p> <p>火災感知器については、消防法施行規則第23条第4項に従い、火災感知器と同等の機能を有する機器については同項において求める火災区域内の火災感知器の網羅性及び火災報知設備の感知器及び発信機に係る技術上の規格を定める省令第12条から第18条までに定める感知性能と同等以上の方法により設置する設計とする。</p>	<p><u>なお、上記の設計のとおりに火災感知器を設置できない箇所は、環境条件や火災の性質を考慮し、煙吸引式検出設備、非アナログ式の防爆型熱感知器、非アナログ式の防爆型煙感知器、非アナログ式の屋外仕様の炎感知器（赤外線方式）、アナログ式の屋外仕様の熱感知カメラ及び非アナログ式の熱感知器も含めた組み合わせで設置する設計とする。</u></p> <p>火災感知器については、消防法施行規則第23条第4項に従い、火災感知器と同等の機能を有する機器については同項において求める火災区域内の火災感知器の網羅性及び火災報知設備の感知器及び発信機に係る技術上の規格を定める省令第12条から第18条までに定める感知性能と同等以上の方法により設置する設計とする。</p>	<p>【③放射線量が高い場所】</p> <p>【④引火性又は発火性の雰囲気を形成するおそれのある火災区域・火災区画】</p> <p>【⑤屋外の火災区域・火災区画】</p> <p>・2.2.1(1)②に基づき、消防法施行規則第23条第4項等を準拠する。</p> <p>【①一般火災区域・火災区画】</p> <p>【②天井が高く大空間となっている場所】</p> <p>【③放射線量が高い場所】</p> <p>【④引火性又は発火性の雰囲気を形成するおそれのある火災区域・火災区画】</p>
<p><u>また、火災感知器の設置方法については、火災の感知に支障がないことを確認した設置方法についても適用する設計とする。</u></p>	<p><u>ただし、火災感知器を設置する場所の環境条件により火災感知器を「消防法施行規則」に従い設置できない又は設置することが適切ではない場所は、火災感知器を適切な場所に設置することにより、発生する火災をもれなく確実に感知できる設計とする。</u></p>	<p>【③放射線量が高い場所】</p>

5 基本設計方針への反映

表 1 4 基本設計方針の見直し案前後表 (3 / 5)

2023年4月7日申請の基本設計方針	基本設計方針見直し案	基準要求事項との関係等
<p>非アナログ式の火災感知器は、環境条件等を考慮することにより誤作動を防止する設計とする。</p> <p>なお、アナログ式の屋外仕様の熱感知カメラ及び非アナログ式の屋外仕様の炎感知器（赤外線方式）は、監視範囲に火災の検知に影響を及ぼす死角がないように設置する設計とする。</p>	<p>非アナログ式の火災感知器は、環境条件等を考慮することにより誤作動を防止する設計とする。</p> <p>なお、アナログ式の屋外仕様の熱感知カメラ及び非アナログ式の屋外仕様の炎感知器（赤外線方式）は、監視範囲に火災の検知に影響を及ぼす死角がないように設置する設計とする。</p> <p><u>火災により安全機能へ影響を及ぼすおそれがない火災区域又は火災区画は、消防火災又は建築基準法に基づき火災感知器を設置する設計とする。</u></p> <p>また、発火源となるようなものがない火災区域又は火災区画は、可燃物管理により可燃物を持ち込まない運用として保安規定に定めて、管理することから、火災感知器を設置しない設計とする。</p>	<p>・2.2.1(1)①に基づき、誤作動防止のためアナログ式を優先するが、アナログ式の感知器が構造的に存在しない場合は、誤作動防止対策を講じた上で非アナログ式も選定可能する。</p> <p>・2.2.1(1)(参考)に基づき、赤外線感知機能等を備えた監視カメラシステムは、死角となる場所がないよう設置する。 【⑤屋外の火災区域・火災区画】</p> <p>・安全機能へ影響を及ぼすおそれがないエリアは消防火災等に基づき対応</p> <p>【A 火災感知器等を設置しない火災区域・火災区画】</p>

5 基本設計方針への反映

表 1 4 基本設計方針の見直し案前後表 (4 / 5)

2023年4月7日申請の基本設計方針	基本設計方針見直し案	基準要求事項との関係等
<p>火災感知設備のうち火災受信機盤は中央制御室に設置し、火災感知設備の作動状況を常時監視できる設計とする。また、火災受信機盤は、構成されるアナログ式の受信機により作動した火災感知器を1つずつ特定できる設計とする。</p> <p>屋外の海水ポンプエリアを監視するアナログ式の屋外仕様の熱感知カメラの火災受信機盤においては、カメラ機能による映像監視（熱サーモグラフィ）により火災発生箇所の特定が可能設計とする。</p> <p>火災感知器は、自動試験機能又は遠隔試験機能により点検ができる設計とする。</p> <p>自動試験機能又は遠隔試験機能を持たない火災感知器は、機能に異常がないことを確認するため、消防法施行規則に準じ、煙等の火災を模擬した試験を実施する。</p>	<p>火災感知設備のうち火災受信機盤は中央制御室に設置し、火災感知設備の作動状況を常時監視できる設計とする。また、火災受信機盤は、構成されるアナログ式の受信機により作動した火災感知器を1つずつ特定できる設計とする。</p> <p>屋外の火災区域又は火災区画を監視するアナログ式の屋外仕様の熱感知カメラの火災受信機盤においては、カメラ機能による映像監視（熱サーモグラフィ）により火災発生箇所の特定が可能設計とする。</p> <p>火災感知器は、自動試験機能又は遠隔試験機能により点検ができる設計とする。</p> <p>自動試験機能又は遠隔試験機能を持たない火災感知器は、機能に異常がないことを確認するため、消防法施行規則に準じ、煙等の火災を模擬した試験を実施する。</p>	<p>2.2.1(1)④に基づき、火災受信機盤は中央制御室に設置し、2.2.1(1)(参考)に基づき、感知器の設置場所を1つずつ特定することにより、火災の発生場所を特定することができる受信機を設置する。</p> <p>2.2.1(1)(参考)に基づき、感知器の点検は消防法施行規則に準じた模擬試験を基本とするが、取付面の位置が高いこと・過度な被ばくのおそれがある場所の感知器は、自動試験機能又は遠隔試験機能を有するものを選定する。</p>

5 基本設計方針への反映

表 1 4 基本設計方針の見直し案前後表 (5 / 5)

2023年4月7日申請の基本設計方針	基本設計方針見直し案	基準要求事項との関係等
<p>火災感知設備は、外部電源喪失時又は全交流動力電源喪失時においても火災の感知が可能となるように蓄電池を設け、電源を確保する設計とする。また、火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の火災感知設備の電源は、非常用電源、常設代替高压電源装置又は緊急時対策専用発電機からの受電も可能な設計とする。</p>	<p>火災感知設備は、外部電源喪失時又は全交流動力電源喪失時においても火災の感知が可能となるように蓄電池を設け、電源を確保する設計とする。また、火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設を設置する火災区域又は火災区画の火災感知設備の電源は、非常用電源、常設代替高压電源装置又は緊急時対策専用発電機からの受電も可能な設計とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2.2.1(1)③に基づき、外部電源喪失時に機能を失わないように、受信機盤に蓄電池を設けるとともに、DB/SA設備である電源装置からの給電が可能となる。
<p>火災区域又は火災区画の火災感知設備は、凍結等の自然現象によっても、機能、性能が維持できる設計とする。屋外に設置する火災感知設備は、-20℃まで気温が低下しても使用可能な火災感知設備を設置する設計とする。屋外の火災感知設備は、火災感知器の予備を保有し、万一、風水害の影響を受けた場合にも、早期に取替を行うことにより機能及び性能を復旧する設計とする。</p>	<p>火災区域又は火災区画の火災感知設備は、凍結等の自然現象によっても、機能、性能が維持できる設計とする。屋外に設置する火災感知設備は、-20℃まで気温が低下しても使用可能な火災感知設備を設置する設計とする。屋外の火災感知設備は、火災感知器の予備を保有し、万一、風水害の影響を受けた場合にも、早期に取替を行うことにより機能及び性能を復旧する設計とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2.2.2に基づき、自然現象として挙げられている凍結・風水害について考慮する。

6 具体的な火災感知の設計の確認

- 4 火災防護審査基準への適合検討に示した「火災感知器の選定及び設置の設計フロー」を踏まえ設計した消防法適合確認一覧表及び火災感知器の配置を明示した図面を別添7に示す。
- 火災感知器の配置設計に当たり、消防法施行規則第23条第4項に基づいた個数を「消防法設置数」欄に記載し、消防法施行規則第23条第4項に基づき設置するものは「消防法適合確認」欄に「○」を記載している。ただし、火災感知の設計上、特記すべき事項、自動火災報知設備工事基準に基づき設計を行ったもの及び放射線量が高い場所を含むエリア等において個別の設計を行ったものは「消防法適合確認」欄に表15の凡例の記号を記載している。

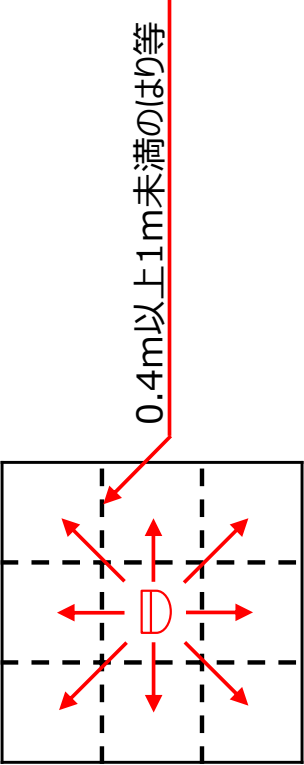
表15 消防法適合確認凡例一覧（1/2）

凡例	種別	凡例理由			感知区域の合計面積		
		取付け高さ	4m未満	4m以上 8m未満	8m以上 15m未満	15m以上 20m未満	
A	煙感知器	火災感知器の種類	60m ²	60m ²	40m ²	40m ²	
		1種	60m ²	60m ²	40m ²	40m ²	
		2種	60m ²	60m ²	40m ²	40m ²	
		3種	20m ²				

0.6m以上1m未満のほり等

6 具体的な火災感知の設計の確認

表 1 5 消防法適合確認凡例一覧 (2 / 2)

凡例	種別	凡例理由															
B	熱感知器	<p>自動火災報知設備工事基準書に基づき、はり等の深さが0.4m以上1m未満で小区画が連続している場合、取付け面高さに応じた面積の範囲内ごとに同一感知区域とすることができる。この場合、各小区画は感知器を設置した区画に隣接していなければならない。</p>  <p style="text-align: center;">0.4m以上1m未満のほり等</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">火災感知器の種類</th> <th colspan="2">感知区域の合計面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">熱感知器</td> <td rowspan="2">熱アナログ式スポット型</td> <td>耐火*</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>15m²</td> <td>10m²</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">定温式スポット型(非アナログ式) (防爆型含む)</td> <td>特種</td> <td>10m²</td> </tr> <tr> <td>1種</td> <td>8m²</td> </tr> </tbody> </table>	火災感知器の種類		感知区域の合計面積		熱感知器	熱アナログ式スポット型	耐火*	その他	15m ²	10m ²	定温式スポット型(非アナログ式) (防爆型含む)	特種	10m ²	1種	8m ²
火災感知器の種類		感知区域の合計面積															
熱感知器	熱アナログ式スポット型	耐火*	その他														
		15m ²	10m ²														
	定温式スポット型(非アナログ式) (防爆型含む)	特種	10m ²														
		1種	8m ²														
C	炎感知器	高さ8m以上の火災区域・火災区画については、消防法施行規則第23条第4項第2号により熱感知器設置は適さない。そのため、非アナログ式の炎感知器を消防法施行規則第23条第4項に基づき設置する。															
D	炎感知器	屋外の火災区域・火災区画は消防法施行規則の適用対象ではないため、火災の検知に影響を及ぼす死角がないよう非アナログ式の炎感知器を設置する。															
E	煙感知器	油タンク及び蓄電池が設置されている火災区域・火災区画は、燃料及び電解液が気化することで、発火性又は引火性の雰囲気を形成するおそれのある場所であることから非アナログ式の防爆型の煙感知器及び非アナログ式の防爆型の熱感知器を設置する。なお、防爆型の熱感知器は定温式スポット型1種となるため、取付け高さ4m未満では総面積 < 60m ² /個、4m以上8m未満では総面積 < 30m ² /個に読み替えること。															
E	熱感知器																
F	煙感知器	高線量火災区域・火災区画の主蒸気管トンネル室については、アナログ式の火災感知器は放射線の影響により故障が想定される。そのため、放射線の影響を受けないよう、検出器部位を当該区画外に配置するアナログ式煙吸引式検出設備と非アナログ式の熱感知器を設置する。															
F	熱感知器																
G	熱感知器	階段室の熱感知器は消防法施行規則第23条第4項第2号により垂直距離が8m未満となるように熱感知器を設置する。															

V-1-1-7 発電用原子炉施設の火災防護に関する説明書

NT2 補② V-1-1-7 R2

第3-2表 原子炉の安全停止に必要な機器等 (1/13)

機能	機器番号	機器名称	火災区域	火災区画
原子炉圧力容器バウンダリ機能	B22-F022A (NO)	主蒸気内側隔離弁 (A)		
	B22-F022B (NO)	主蒸気内側隔離弁 (B)		
	B22-F022C (NO)	主蒸気内側隔離弁 (C)		
	B22-F022D (NO)	主蒸気内側隔離弁 (D)		
	B22-F028A (NO)	主蒸気外側隔離弁 (A)		
	B22-F028B (NO)	主蒸気外側隔離弁 (B)		
	B22-F028C (NO)	主蒸気外側隔離弁 (C)		
	B22-F028D (NO)	主蒸気外側隔離弁 (D)		
	B22-F016 (MO)	主蒸気ドレンライン内側隔離弁		
	B22-F019 (MO)	主蒸気ドレンライン外側隔離弁		
	G33-F001 (MO)	原子炉冷却材浄化系内側隔離弁		
	G33-F004 (MO)	原子炉冷却材浄化系外側隔離弁		
過剰反応度の印加防止	—	制御棒カップリング		
	—	制御棒駆動機構カップリング		
	—	制御棒駆動機構ラッチ機構		
炉心形状の維持	—	炉心支持構造物		
	—	燃料集合体 (燃料除く)		
原子炉緊急停止, 未臨界維持	—	水圧制御ユニット (水圧制御ユニットアキュムレータ, 水圧制御ユニット窒素容器, スクラム弁 (C12-126, C12-127) 含む)		
	SLC-PMP-C001A	ほう酸水注入ポンプ A		
	SLC-PMP-C001B	ほう酸水注入ポンプ B		
	C41-F004A	ほう酸水注入系爆破弁 A		
	C41-F004B	ほう酸水注入系爆破弁 B		
	C41-F001A	ほう酸水注入系貯蔵タンク出口弁 A		
	C41-F001B	ほう酸水注入系貯蔵タンク出口弁 B		

NT2 補② V-1-1-7 R2

第 3-2 表 原子炉の安全停止に必要な機器等 (2/13)

機能	機器番号	機器名称	火災区域	火災区画
原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止／安全弁及び逃がし弁の吹き止まり	B22-F013A～V	逃がし安全弁（安全弁開機能）		
原子炉停止後の除熱機能	B22-F013A (AO)	逃がし安全弁 A		
	B22-F013B (AO)	逃がし安全弁 B ^{*1}		
	B22-F013C (AO)	逃がし安全弁 C ^{*1}		
	B22-F013D (AO)	逃がし安全弁 D		
	B22-F013E (AO)	逃がし安全弁 E		
	B22-F013F (AO)	逃がし安全弁 F ^{*1}		
	B22-F013G (AO)	逃がし安全弁 G		
	B22-F013H (AO)	逃がし安全弁 H ^{*1}		
	B22-F013J (AO)	逃がし安全弁 J		
	B22-F013K (AO)	逃がし安全弁 K ^{*1}		
	B22-F013L (AO)	逃がし安全弁 L ^{*1}		
	B22-F013M (AO)	逃がし安全弁 M		
	B22-F013N (AO)	逃がし安全弁 N		
	B22-F013P (AO)	逃がし安全弁 P		
	B22-F013R (AO)	逃がし安全弁 R ^{*1}		
	B22-F013S (AO)	逃がし安全弁 S		
	B22-F013U (AO)	逃がし安全弁 U		
	B22-F013V (AO)	逃がし安全弁 V		
	RCIC-PMP-C001	原子炉隔離時冷却系ポンプ		
	TBN-RCIC-C002	原子炉隔離時冷却系タービン		
	E51-F010 (MO)	原子炉隔離時冷却系復水貯蔵タンク水供給弁		
	E51-F031 (MO)	原子炉隔離時冷却系ポンプサプレッション・プール水供給弁		
	E51-F013 (MO)	原子炉隔離時冷却系注入弁		
E51-F019 (MO)	原子炉隔離時冷却系ミニフロー弁			
E51-F046 (MO)	原子炉隔離時冷却系潤滑油クーラー冷却水供給弁			
E51-F045 (MO)	原子炉隔離時冷却系蒸気供給弁			
E51-C002 (MO)	原子炉隔離時冷却系トリップ／スロットル弁			
E51-H0	原子炉隔離時冷却系ガバナ弁			

NT2 補② V-1-1-7 R2

第 3-2 表 原子炉の安全停止に必要な機器等 (3/13)

機能	機器番号	機器名称	火災区域	火災区画
(続き) 原子炉停止後の除熱機能	E51-F063 (M0)	原子炉隔離時冷却系内側隔離弁		
	E51-F064 (M0)	原子炉隔離時冷却系外側隔離弁		
	E51-F068 (M0)	原子炉隔離時冷却系タービン排気弁		
	E51-F069 (M0)	原子炉隔離時冷却系真空ポンプ出口弁		
	RCIC-PMP-COND	原子炉隔離時冷却系復水ポンプ		
	RCIC-PMP-VAC	原子炉隔離時冷却系真空ポンプ		
	E51-F022 (M0)	原子炉隔離時冷却系テストバイパス弁		
	E51-F025 (A0)	原子炉隔離時冷却系蒸気入口ドレンポット排水第一止め弁		
	E51-F026 (A0)	原子炉隔離時冷却系蒸気入口ドレンポット排水第二止め弁		
	E51-F005 (A0)	原子炉隔離時冷却系真空タンク復水排水第二止め弁		
	E51-F004 (A0)	原子炉隔離時冷却系真空タンク復水排水第一止め弁		
原子炉停止後の除熱機能／炉心冷却機能	RHR-PMP-C002A	残留熱除去系ポンプ A		
	RHR-PMP-C002B	残留熱除去系ポンプ B		
	RHR-PMP-C002C	残留熱除去系ポンプ C		
	E12-F004A (M0)	残留熱除去系ポンプ A 入口弁		
	E12-F004B (M0)	残留熱除去系ポンプ B 入口弁		
	E12-F004C (M0)	残留熱除去系ポンプ C 入口弁		
	E12-F042A (M0)	残留熱除去系 A 系注入弁		
	E12-F042B (M0)	残留熱除去系 B 系注入弁		
	E12-F042C (M0)	残留熱除去系 C 系注入弁		
	E12-F064A (M0)	残留熱除去系 A 系ミニフロー弁		
	E12-F064B (M0)	残留熱除去系 B 系ミニフロー弁		
	E12-F064C (M0)	残留熱除去系 C 系ミニフロー弁		
	RHR-HEX-B001A	残留熱除去系熱交換器 A		
RHR-HEX-B001B	残留熱除去系熱交換器 B			

NT2 補② V-1-1-7 R2

第 3-2 表 原子炉の安全停止に必要な機器 (4/13)

機能	機器番号	機器名称	火災区域	火災区画
(続き) 原子炉停止後の除熱機能／炉心冷却機能	E12-F024A (MO)	残留熱除去系 A 系テストライン弁* ²		
	E12-F024B (MO)	残留熱除去系 B 系テストライン弁* ²		
	E12-F021 (MO)	残留熱除去系 C 系テストライン弁* ²		
	E12-F009 (MO)	残留熱除去系停止時冷却ライン内側隔離弁		
	E12-F008 (MO)	残留熱除去系停止時冷却ライン外側隔離弁		
	E12-F006A (MO)	残留熱除去系ポンプ A 停止時冷却ライン入口弁		
	E12-F006B (MO)	残留熱除去系ポンプ B 停止時冷却ライン入口弁		
	E12-F053A (MO)	残留熱除去系 A 系停止時冷却注入弁		
	E12-F053B (MO)	残留熱除去系 B 系停止時冷却注入弁		
	E12-F048A (MO)	残留熱除去系熱交換器 A バイパス弁		
	E12-F048B (MO)	残留熱除去系熱交換器 B バイパス弁		
	E12-F003A (MO)	残留熱除去系熱交換器 A 出口弁		
	E12-F003B (MO)	残留熱除去系熱交換器 B 出口弁		
	E12-F047A (MO)	残留熱除去系熱交換器 A 入口弁		
	E12-F047B (MO)	残留熱除去系熱交換器 B 入口弁		
	E12-F016A (MO)	残留熱除去系 A 系格納容器スプレイ弁		
	E12-F016B (MO)	残留熱除去系 B 系格納容器スプレイ弁		
	E12-F027A (MO)	残留熱除去系 A 系サブプレッション・プールのスプレイ弁		
	E12-F027B (MO)	残留熱除去系 B 系サブプレッション・プールのスプレイ弁		
	E12-F011A (MO)	残留熱除去系凝縮水ラインドレン弁 (A)		
E12-F011B (MO)	残留熱除去系凝縮水ラインドレン弁 (B)			

NT2 補② V-1-1-7 R2

第 3-2 表 原子炉の安全停止に必要な機器 (5/13)

機能	機器番号	機器名称	火災区域	火災区画
(続き) 原子炉停止後の除熱機能／炉心冷却機能	E12-F060A (AO)	残留熱除去系 A 系サンプリング弁		
	E12-F060B (AO)	残留熱除去系 B 系サンプリング弁		
	E12-F023 (MO)	残留熱除去系ヘッドスプレイ隔離弁		
	E12-F049 (MO)	残留熱除去系廃棄物処理系隔離弁		
	E12-FF104A (MO)	可燃性ガス濃度制御系 A 冷却器冷却水元弁		
	E12-FF104B (MO)	可燃性ガス濃度制御系 B 冷却器冷却水元弁		
	V25-1003 (MO)	残留熱除去系サンプリング入口第 1 隔離弁		
炉心冷却機能	HPCS-PMP-C001	高圧炉心スプレイ系ポンプ		
	E22-F001 (MO)	高圧炉心スプレイ系ポンプ入口弁 (CST 側)		
	E22-F015 (MO)	高圧炉心スプレイ系ポンプ入口弁 (S/P 側)		
	E22-F004 (MO)	高圧炉心スプレイ系注入弁		
	E22-F012 (MO)	高圧炉心スプレイ系ミニフロー弁		
	E22-F010 (MO)	高圧炉心スプレイ系 CST テスト弁		
	E22-F023 (MO)	高圧炉心スプレイ系 SUPP. テスト弁		
	LPCS-PMP-C001	低圧炉心スプレイ系ポンプ		
	E21-F001 (MO)	低圧炉心スプレイ系ポンプ入口弁		
	E21-F005 (MO)	低圧炉心スプレイ系注入弁		
	E21-F011 (MO)	低圧炉心スプレイ系ミニフロー弁		
	E21-F012 (MO)	低圧炉心スプレイ系テストバイパス弁		
サポート系 (制御設備)	H13-P601	緊急時炉心冷却系操作盤		
	H13-P603	原子炉制御操作盤		
	H13-P609	原子炉保護系 (A) 継電器盤		
	H13-P611	原子炉保護系 (B) 継電器盤		
	H13-P613	プロセス計装盤		
	H13-P614	原子炉廻り温度記録計盤		
	H13-P617	プロセス計装盤		
	H13-P618	残留熱除去系 (B), (C) 補助継電器盤		
	H13-P621	原子炉隔離時冷却系継電器盤		
	H13-P622	原子炉格納容器内側隔離系継電器盤		
H13-P623	原子炉格納容器外側隔離系継電器盤			

NT2 補② V-1-1-7 R2

第 3-2 表 原子炉の安全停止に必要な機器 (6/13)

機能	機器番号	機器名称	火災区域	火災区画
(続き) サポート系 (制御設備)	H13-P625	高圧炉心スプレイ系継電器盤		
	H13-P628	自動減圧系 (A) 継電器盤		
	H13-P629	低圧炉心スプレイ系, 残留熱除去系 (A) 補助継電器盤		
	H13-P631	自動減圧系 (B) 継電器盤		
	H13-P632	漏えい検出系操作盤 (区分 I)		
	H13-P635	プロセス放射線モニタ, 起動時領域モニタ (A) 操作盤		
	H13-P636	プロセス放射線モニタ, 起動時領域モニタ (B) 操作盤		
	H13-P642	漏えい検出系操作盤 (区分 II)		
	H13-P689	サプレッション・プール温度記録計盤 (A)		
	H13-P921	原子炉保護系 1A トリップユニット盤		
	H13-P922	原子炉保護系 1B トリップユニット盤		
	H13-P923	原子炉保護系 2A トリップユニット盤		
	H13-P924	原子炉保護系 2B トリップユニット盤		
	H13-P925	緊急時炉心冷却系 DIV-I-1 トリップユニット盤		
	H13-P926	緊急時炉心冷却系 DIV-II-1 トリップユニット盤		
	H13-P929	高圧炉心スプレイ系トリップユニット盤		
	CP-1	所内電気操作盤		
	PNL-CP-4	タービン補機盤		
	CP-5	窒素置換-空調換気制御盤		
	CP-6A	非常用ガス処理系, 非常用ガス再循環系 A 操作盤		
	CP-6B	非常用ガス処理系, 非常用ガス再循環系 B 操作盤		
	CP-9	タービン補機補助継電器盤		
	PNL-CP-11	タービン補機盤		
	DGCP-2C	2C 非常用ディーゼル発電機励磁装置 (中性点接地変圧器盤, 自動電圧調整器盤, シリコン整流器盤, 交流リアクトル盤及びシリコン整流器用変圧器盤を含む)		
	DGCP-2D	2D 非常用ディーゼル発電機励磁装置 (中性点接地変圧器盤, 自動電圧調整器盤, シリコン整流器盤, 交流リアクトル盤及びシリコン整流器用変圧器盤を含む)		

NT2 補② V-1-1-7 R2

第 3-2 表 原子炉の安全停止に必要な機器 (7/13)

機能	機器番号	機器名称	火災区域	火災区画
(続き) サポート系 (制御設備)	DGCP-HPCS	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機励磁装置 (中性点接地変圧器盤, 自動電圧調整器盤, シリコン整流器盤, 交流リアクトル盤及びシリコン整流器用変圧器盤を含む)		
サポート系 (非常用ディーゼル発電設備 (燃料移送系を含む))	LCP-105	RCIC タービン制御盤		
	C61-P001	中央制御室外原子炉停止制御盤		
	GEN-DG-2C/DGU-2C	2C 非常用ディーゼル発電機 (内燃機関, 調速装置, 非常用調速装置, 冷却水ポンプを含む)		
	GEN-DG-2D/DGU-2D	2D 非常用ディーゼル発電機 (内燃機関, 調速装置, 非常用調速装置, 冷却水ポンプを含む)		
	GEN-DG-HPCS/DGU-HPCS	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機 (内燃機関, 調速装置, 非常用調速装置, 冷却水ポンプを含む)		
	DG-VSL-2C-DO-1	2C 非常用ディーゼル発電機燃料油デイトンク		
	DG-VSL-2D-DO-1	2D 非常用ディーゼル発電機燃料油デイトンク		
	DG-VSL-HPCS-DO-1	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機燃料油デイトンク		
	DG-VSL-DO-A	軽油貯蔵タンク A		
	DG-VSL-DO-B	軽油貯蔵タンク B		
	DO-PMP-2C	2C 非常用ディーゼル発電機燃料移送ポンプ		
	DO-PMP-2D	2D 非常用ディーゼル発電機燃料移送ポンプ		
	DO-PMP-HPCS	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機燃料移送ポンプ		
サポート系 (非常用交流電源設備)	SWGR 2C-BUS	メタルクラッド開閉装置 2C		
	SWGR 2D-BUS	メタルクラッド開閉装置 2D		
	SWGR HPCS-BUS	メタルクラッド開閉装置 HPCS		
	DIN-PC 2C	パワーセンタ 2C		
	DIN-PC 2D	パワーセンタ 2D		
	MCC 2C-3	モータコントロールセンタ		
	MCC 2C-4	モータコントロールセンタ		
	MCC 2C-5	モータコントロールセンタ		

NT2 補② V-1-1-7 R2

第 3-2 表 原子炉の安全停止に必要な機器 (8/13)

機能	機器番号	機器名称	火災区域	火災区画
(続き) サポート系 (非常用交流電源設備)	MCC 2C-6	モータコントロールセンタ		
	MCC 2C-7	モータコントロールセンタ		
	MCC 2C-8	モータコントロールセンタ		
	MCC 2C-9	モータコントロールセンタ		
	MCC 2D-3	モータコントロールセンタ		
	MCC 2D-4	モータコントロールセンタ		
	MCC 2D-5	モータコントロールセンタ		
	MCC 2D-6	モータコントロールセンタ		
	MCC 2D-7	モータコントロールセンタ		
	MCC 2D-8	モータコントロールセンタ		
	MCC 2D-9	モータコントロールセンタ		
	MCC HPCS	モータコントロールセンタ		
	SUPS 2A	非常用無停電電源装置 A		
	SUPS 2B	非常用無停電電源装置 B		
	SUPS DIST PNL 2A	非常用無停電計装分電盤 2A		
	SUPS DIST PNL 2B	非常用無停電計装分電盤 2B		
	120V/240V AC INST. DIST. BUS 2A	交流計装電源用電源盤 2A		
	120V/240V AC INST. DIST. BUS 2B	交流計装電源用電源盤 2B		
	RX PROT MG A MO	原子炉保護系 MG セット A		
	RX PROT MG B MO	原子炉保護系 MG セット B		
PNL-C72-P001	原子炉保護系分電盤 A			
PNL-C72-P002	原子炉保護系分電盤 B			
サポート系 (直流電源設備)	125V DC 2A BATTERY	125V 系蓄電池 A 系		
	125V DC 2B BATTERY	125V 系蓄電池 B 系		
	125V DC HPCS BATTERY	125V 蓄電池 HPCS 系		
	125V DC 2A BATT. CHARGER	直流 125V 充電器 2A		
	125V DC 2B BATT. CHARGER	直流 125V 充電器 2B		
	125V DC HPCS BATT. CHARGER	直流 125V 充電器 HPCS		
	125V DC DIST. CTR 2A	直流 125V 主母線盤 (2A)		
	125V DC DIST. CTR 2B	直流 125V 主母線盤 (2B)		
	125V DC HPCS DIST. CTR	直流 125V 主母線盤 HPCS		
	125V DC MCC 2A-1	直流 125V モータコントロールセンタ 2A-1		
	125V DC MCC 2A-2	直流 125V モータコントロールセンタ 2A-2		

NT2 補② V-1-1-7 R2

第 3-2 表 原子炉の安全停止に必要な機器 (9/13)

機能	機器番号	機器名称	火災区域	火災区画
(続き) サポート系 (直流電源設備)	125V DC DIST PNL 2A-1	直流 125V 分電盤 2A-1		
	125V DC DIST PNL 2A-2	直流 125V 分電盤 2A-2		
	125V DC DIST PNL 2B-1	直流 125V 分電盤 2B-1		
	125V DC DIST PNL 2B-2	直流 125V 分電盤 2B-2		
	125V DC DIST PNL 2A-2-1	直流 125V 分電盤 2A-2-1		
	125V DC DIST PNL 2B-2-1	直流 125V 分電盤 2B-2-1		
	125V DC DIST PNL HPCS	直流 125V 分電盤 HPCS		
	24V DC 2A-1 BATTERY	中性子モニタ用蓄電池 A 系 (2A-1)		
	24V DC 2A-2 BATTERY	中性子モニタ用蓄電池 A 系 (2A-2)		
	24V DC 2B-1 BATTERY	中性子モニタ用蓄電池 B 系 (2B-1)		
	24V DC 2B-2 BATTERY	中性子モニタ用蓄電池 B 系 (2B-2)		
	24V DC 2A-1 BATT. CHARGER	直流±24V 充電器 2A-1		
	24V DC 2A-2 BATT. CHARGER	直流±24V 充電器 2A-2		
	24V DC 2B-1 BATT. CHARGER	直流±24V 充電器 2B-1		
	24V DC 2B-2 BATT. CHARGER	直流±24V 充電器 2B-2		
	24V DC DIST PNL 2A	直流±24V 中性子モニタ用分電盤 (2A)		
	24V DC DIST PNL 2B	直流±24V 中性子モニタ用分電盤 (2B)		
サポート系 (非常用補機冷却系)	RHRS-PMP-A	残留熱除去系海水系ポンプ A		
	RHRS-PMP-B	残留熱除去系海水系ポンプ B		
	RHRS-PMP-C	残留熱除去系海水系ポンプ C		
	RHRS-PMP-D	残留熱除去系海水系ポンプ D		
	3-12-F068A	残留熱除去系熱交換器 (A) 出口弁		
	3-12-F068B	残留熱除去系熱交換器 (B) 出口弁		
	DGSW-PMP-2C	2C 非常用ディーゼル発電機用海水ポンプ		
	DGSW-PMP-2D	2D 非常用ディーゼル発電機用海水ポンプ		
DGSW-PMP-HPCS	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機用海水ポンプ			

NT2 補② V-1-1-7 R2

第 3-2 表 原子炉の安全停止に必要な機器 (10/13)

機能	機器番号	機器名称	火災区域	火災区画
サポート系 (非常用換気空調系)	AH2-9A	中央制御室換気系空気調和機ファン A		
	AH2-9B	中央制御室換気系空気調和機ファン B		
	E2-14A	中央制御室換気系フィルタ系ファン A		
	E2-14B	中央制御室換気系フィルタ系ファン B		
	HVAC-E2-15	中央制御室排気ファン		
	SB2-18A	中央制御室給気隔離弁 (SB2-18A)		
	SB2-18B	中央制御室給気隔離弁 (SB2-18B)		
	SB2-19A	中央制御室給気隔離弁 (SB2-19A)		
	SB2-19B	中央制御室給気隔離弁 (SB2-19B)		
	SB2-20A	中央制御室排気隔離弁 (SB2-20A)		
	SB2-20B	中央制御室排気隔離弁 (SB2-20B)		
	SA31-DMP-M0-F001	中央制御室排煙設備入口隔離弁		
	A0-T41-F086	中央制御室再循環フィルタ装置 (A) 入口ダンパ		
	A0-T41-F088	中央制御室再循環フィルタ装置 (B) 入口ダンパ		
	DMP-A0-T41-F090	中央制御室給気処理装置 (A) 入口ダンパ		
	DMP-A0-T41-F091	中央制御室給気処理装置 (B) 入口ダンパ		
	HVAC-PMP-P2-3	中央制御室チラー冷却水循環ポンプ (A)		
	HVAC-PMP-P2-4	中央制御室チラー冷却水循環ポンプ (B)		
	HVAC-WC2-2	中央制御室チラーユニット (A)		
	HVAC-WC2-1	中央制御室チラーユニット (B)		
TCV-T41-F084A	中央制御室送風機出口温度調節弁 (A)			
TCV-T41-F084B	中央制御室送風機出口温度調節弁 (B)			

NT2 補② V-1-1-7 R2

第 3-2 表 原子炉の安全停止に必要な機器 (11/13)

機能	機器番号	機器名称	火災区域	火災区画
(続き) サポート系 (非常用換気空調系)	HVAC-PV2-10	2C 非常用ディーゼル発電機室換気系ルーフベントファン A		
	HVAC-PV2-11	2C 非常用ディーゼル発電機室換気系ルーフベントファン B		
	HVAC-PV2-6	2D 非常用ディーゼル発電機室換気系ルーフベントファン A		
	HVAC-PV2-7	2D 非常用ディーゼル発電機室換気系ルーフベントファン B		
	HVAC-PV2-8	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機室換気系ルーフベントファン A		
	HVAC-PV2-9	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機室換気系ルーフベントファン B		
	AO-T41-F060A~F	2D 非常用ディーゼル発電機室外気取入ダンパ		
	AO-T41-F061A~D	2D 非常用ディーゼル発電機室外気取入ダンパ		
	AO-T41-F062A~D	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機室外気取入ダンパ		
	AO-T41-F063A~D	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機室外気取入ダンパ		
	AO-T41-F064A~D	2C 非常用ディーゼル発電機室外気取入ダンパ		
	AO-T41-F065A~D	2C 非常用ディーゼル発電機室外気取入ダンパ		
	SW AH2-10A	スイッチギア室空調機 (A)		
	SW AH2-10B	スイッチギア室空調機 (B)		
	DMP-AO-T41-F056	スイッチギア室給気処理装置 (A) 外気取り入れダンパ		
	DMP-AO-T41-F059	スイッチギア室給気処理装置 (B) 外気取り入れダンパ		
	DMP-AO-T41-F057	スイッチギア室給気処理装置 (A) 再循環入口ダンパ		
	DMP-AO-T41-F058	スイッチギア室給気処理装置 (B) 再循環入口ダンパ		
	HVAC-PMP-P2-5	スイッチギア室チラー冷却水循環ポンプ (A)		
	HVAC-PMP-P2-6	スイッチギア室チラー冷却水循環ポンプ (B)		
SW WC2-3A	スイッチギア室チラーユニット 3A			
SW WC2-3B	スイッチギア室チラーユニット 3B			
SW WC2-4A	スイッチギア室チラーユニット 4A			
SW WC2-4B	スイッチギア室チラーユニット 4B			

NT2 補② V-1-1-7 R2

第 3-2 表 原子炉の安全停止に必要な機器 (12/13)

機能	機器番号	機器名称	火災区域	火災区画
(続き) サポート 系 (非常用 換気空調 系)	TCV-T41-F005A	スイッチギア室送風機出口温度調節弁 (A)		
	TCV-T41-F005B	スイッチギア室送風機出口温度調節弁 (B)		
	SW AH2-12A	バッテリー室空調機 (A)		
	SW AH2-12B	バッテリー室空調機 (B)		
	HVAC-E2-11A	バッテリー室排風機 (A)		
	HVAC-E2-11B	バッテリー室排風機 (B)		
	DMP-A0-T41-F054	バッテリー室排風機 A 出口ダンパ		
	DMP-A0-T41-F055	バッテリー室排風機 B 出口ダンパ		
	SW AH2-1	高圧炉心スプレイ系ポンプ室空調機		
	SW AH2-2	高圧炉心スプレイ系ポンプ室空調機		
	SW AH2-3	低圧炉心スプレイ系ポンプ室空調機		
	SW AH2-5	残留熱除去系 B 系ポンプ室空調機		
	SW AH2-6	残留熱除去系 C 系ポンプ室空調機		
SW AH2-7	残留熱除去系 A 系ポンプ室空調機			
プロセス 監視	C51-N002A~H	起動領域計装		
	PT-B22-N051A	原子炉圧力		
	PT-B22-N051B	原子炉圧力		
	LT-B22-N091A, C	原子炉水位 (広帯域)		
	LT-B22-N091B, D	原子炉水位 (広帯域)		
	LT-B22-N044A	原子炉水位 (燃料域)		
	LT-B22-N044B	原子炉水位 (燃料域)		
	PT-26-79.51A	ドライウエル圧力		
	PT-26-79.51B	ドライウエル圧力		
	PT-26-79.52A	サプレッション・チェンバ圧力		
	PT-26-79.52B	サプレッション・チェンバ圧力		
	LT-26-79.5A	サプレッション・プール水位		
	LT-26-79.5B	サプレッション・プール水位		
	TE-T23-N001~6A	サプレッション・プール水温度		
	TE-T23-N001~6B	サプレッション・プール水温度		
TE-T23-N001~6C	サプレッション・プール水温度			

NT2 補② V-1-1-7 R2

第 3-2 表 原子炉の安全停止に必要な機器 (13/13)

機能	機器番号	機器名称	火災区域	火災区画
(続き) プロセス 監視	TE-T23-N001~6D	サブプレッション・プール水 温度		
	FT-E12-N015A	残留熱除去系系統流量 A		
	FT-E12-N015B	残留熱除去系系統流量 B		
	FT-E12-N015C	残留熱除去系系統流量 C		
	FT-E22-N005	高圧炉心スプレイ系系統流 量		
	FT-E21-N003	低圧炉心スプレイ系系統流 量		
	FT-E51-N003	原子炉隔離時冷却系系統流 量		
	FT-E12-N007A	残留熱除去系海水系系統流 量 A		
	FT-E12-N007B	残留熱除去系海水系系統流 量 B		
	PT-13-92A	2C 非常用ディーゼル発電機 用海水ポンプ出口圧力		
	PT-13-92B	2D 非常用ディーゼル発電機 用海水ポンプ出口圧力		
	PT-13-692	高圧炉心スプレイ系ディー ゼル発電機用海水ポンプ出 口圧力		
	CP-1-EI-45	M/C 2C 電圧		
	CP-1-EI-48	M/C 2D 電圧		
	H13-P601-EI-1	M/C HPCS 電圧		
	CP-1-EI-61	直流 125V 主母線盤 2A 電圧		
	CP-1-EI-62	直流 125V 主母線盤 2B 電圧		
	H13-P601-EI-9	直流 125V 主母線盤 HPCS 電圧		
	RE-D23-N003A	格納容器雰囲気放射線モニ タ (D/W)		
	RE-D23-N003B	格納容器雰囲気放射線モニ タ (D/W)		
RE-D23-N003C	格納容器雰囲気放射線モニ タ (S/C)			
RE-D23-N003D	格納容器雰囲気放射線モニ タ (S/C)			
H2E-D23-N002A	格納容器内水素濃度 A			
H2E-D23-N002B	格納容器内水素濃度 B			

注記 *1: 自動減圧機能を有する逃がし安全弁を示す。

*2: サプレッション・プール冷却モードにて使用する。

第3-3表 放射性物質の貯蔵等の機器等 (1/2)

機能	系統名称	機器名称	火災区域
原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって、放射性物質を貯蔵する機能	気体廃棄物処理系	空気作動弁	
		配管, 手動弁, 排ガス予熱器, 排ガス再結合器, 排ガス復水器, 排ガス減衰管, 排ガス前置フィルタ, 後置フィルタ, 排ガス後置除湿器再生装置, メッシュフィルタ等	
		主排気筒放射線モニタ	
	使用済燃料プール	使用済燃料プール(使用済燃料貯蔵ラック含む)	
	新燃料貯蔵庫	新燃料貯蔵庫	
使用済燃料乾式貯蔵容器	容器		
放射性物質の貯蔵機能	サプレッション・プール排水系	配管, 手動弁, サプレッション・チェンバ	
		電動弁	
	復水貯蔵タンク	容器	
	液体廃棄物処理系(機器ドレン処理系)	配管, フィルタ, 脱塩器, タンク	
		空気作動弁	
	液体廃棄物処理系(床ドレン処理系)	配管, フィルタ, タンク	
		空気作動弁	
固体廃棄物処理系	固体廃棄物貯蔵庫		
セメント混練固化装置及び雑固体減容処理設備(液体及び固体の放射性廃棄物処理系)	貯蔵容器, 粉砕機, 排出機, 計量機, セメントサイロ, 計量機, 配管, 金属容器		
放射性物質の閉じ込め機能, 放射線の遮へい及び放出低減	原子炉格納容器	容器	
	原子炉建屋 原子炉建屋常用換気空調系隔離弁	建屋	
		空気作動弁	
	原子炉格納容器隔離弁	空気作動弁, 電動弁	
	格納容器スプレイ冷却モード	配管, 電動弁, ポンプ	
	原子炉建屋ガス処理系	空気作動弁, 電動弁, 空調機, 乾燥装置, 放射線モニタ	
	可燃性ガス濃度制御系	ブロワ, 加熱器, 再結合器, 冷却器, セパレータ, 電動弁	
燃料プール水の補給機能	非常用補給水系(残留熱除去系)	配管, ポンプ, 熱交換器, 空気作動弁, 電動弁	

NT2 補② V-1-1-7 R2

第 3-3 表 放射性物質の貯蔵等の機器等 (2/2)

機能	機器番号	機器名称	火災区域
放射性物質放出の防止機能	気体廃棄物処理系（オフガス系）隔離弁	空気作動弁	
	排気筒	排気筒	
原子炉冷却材を内蔵する機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉冷却材浄化系（原子炉冷却材圧力バウンダリから外れる部分） ・ 主蒸気系 ・ 原子炉隔離時冷却系タービン蒸気供給ライン（原子炉冷却材圧力バウンダリから外れる部分であって外側隔離弁下流からタービン止め弁まで） 	配管，手動弁	
		電動弁，空気作動弁	

NT2 補② V-1-1-7 R2

第3-4表 重大事故等対処施設の機器リスト (1/13)

設備名称	火災区域	火災区画	備考
炉心シュラウド			
シュラウドサポート			
上部格子板			
炉心支持板			
中央燃料支持金具			
周辺燃料支持金具			
制御棒案内管			
原子炉圧力容器			
ジェットポンプ			
使用済燃料プール			
使用済燃料貯蔵ラック			
使用済燃料プール温度 (S A)			
使用済燃料プール水位・温度 (S A 広域)			
スキマサージタンク (A), (B)			
代替燃料プール冷却系ポンプ			
代替燃料プール冷却系熱交換器			
使用済燃料プール監視カメラ			
使用済燃料プール監視カメラ用空冷装置 (エアクーラー)			
使用済燃料プール監視カメラ用空冷装置 (ドライヤー, コンプレッサー)			
静的サイフォンブレイカ			
自動減圧機能用アキュムレータ			
逃がし安全弁 (B22-F013 A, B, C, D, E, F, G, H, J, K, L, M, N, P, R, S, U, V)			
残留熱除去系熱交換器 A			
残留熱除去系熱交換器 B			
残留熱除去系ポンプ A (RHR-PMP-C002A)			
残留熱除去系ポンプ B (RHR-PMP-C002B)			
残留熱除去系ポンプ C (RHR-PMP-C002C)			
残留熱除去系ストレーナ A			
残留熱除去系ストレーナ B			
残留熱除去系ストレーナ C			
弁 (E12-F005)			
弁 (E12-F025A)			
弁 (E12-F025B)			

NT2 補② V-1-1-7 R2

第3-4表 重大事故等対処施設の機器リスト (2/13)

設備名称	火災区域	火災区画	備考
弁 (E12-F025C)			
弁 (E12-FF028)			
残留熱除去系 A 系注入弁 (E12-F042A)			
残留熱除去系 B 系注入弁 (E12-F042B)			
残留熱除去系 C 系注入弁 (E12-F042C)			
高圧炉心スプレイ系ポンプ (HPCS-PMP-C001)			
高圧炉心スプレイ系ストレーナ			
弁 (E22-F014)			
弁 (E22-F035)			
高圧炉心スプレイ系注入弁 (E22-F004)			
低圧炉心スプレイ系注入弁 (E21-F005)			
低圧炉心スプレイ系ポンプ (LPCS-PMP-C001)			
低圧炉心スプレイ系ストレーナ			
弁 (E21-F018)			
原子炉隔離時冷却系ポンプ (RCIC-PMP-C001)			
原子炉隔離時冷却系ストレーナ			
弁 (E51-F017)			
常設高圧代替注水系ポンプ			
常設低圧代替注水系ポンプ			
代替淡水貯槽 (水槽 A, B, C, D, E, F)			
西側淡水貯水設備			
代替循環冷却系ポンプ A			
代替循環冷却系ポンプ B			
残留熱除去系海水系ポンプ A (RHRS-PMP-A)			
残留熱除去系海水系ポンプ B (RHRS-PMP-B)			
残留熱除去系海水系ポンプ C (RHRS-PMP-C)			
残留熱除去系海水系ポンプ D (RHRS-PMP-D)			
残留熱除去系海水系ストレーナ A			
残留熱除去系海水系ストレーナ B			
緊急用海水ポンプ			
緊急用海水系ストレーナ			
耐圧強化ベント系一次隔離弁 (2-26B-90)			
耐圧強化ベント系二次隔離弁 (2-26B-91)			
原子炉隔離時冷却系注入弁 (E51-F013)			
原子炉隔離時冷却系蒸気供給弁 (E51-F045)			
高圧代替注水系タービン止め弁 (SA13-MO-F300)			
制御棒			

NT2 補② V-1-1-7 R2

第3-4表 重大事故等対処施設の機器リスト (3/13)

設備名称	火災区域	火災区画	備考
制御棒駆動機構			
水圧制御ユニット (東側) (水圧制御ユニットアキュムレータ, 水圧制御ユニット窒素容器, スクラム弁 (C12-126, C12-127) 含む)			
水圧制御ユニット (西側) (水圧制御ユニットアキュムレータ, 水圧制御ユニット窒素容器, スクラム弁 (C12-126, C12-127) 含む)			
ほう酸水注入ポンプ A (SLC-PMP-C001A)			
ほう酸水注入ポンプ B (SLC-PMP-C001B)			
ほう酸水貯蔵タンク (SLC-VSL-A001)			
弁 (C41-F029A)			
弁 (C41-F029B)			
起動領域計装 (C51-N002A~H)			
起動領域計装 前置増幅器 (H22-P030)			
起動領域計装 前置増幅器 (H22-P031)			
起動領域計装 前置増幅器 (H22-P032)			
起動領域計装 前置増幅器 (H22-P033)			
出力領域計装			
原子炉圧力容器温度 (TE-B22-N030H, TE-B22-N030S)			
原子炉圧力容器温度 (TE-B22-N030C, TE-B22-N030G)			
高圧代替注水系系統流量 (FT-SA13-N006)			
低圧代替注水系原子炉注水流量 (常設ライン用) (FT-SA11-N201)			
低圧代替注水系原子炉注水流量 (常設ライン狭帯域用) (FT-SA11-N200)			
低圧代替注水系原子炉注水流量 (可搬ライン用) (FT-SA11-N206)			
低圧代替注水系原子炉注水流量 (可搬ライン狭帯域用) (FT-SA11-N207)			
代替循環冷却系原子炉注水流量 (A系) (FT-SA17-N013A)			
代替循環冷却系原子炉注水流量 (B系) (FT-SA17-N013B)			
代替循環冷却系ポンプ入口温度 (TE-SA17-N001A)			
代替循環冷却系ポンプ入口温度 (TE-SA17-N001B)			

NT2 補② V-1-1-7 R2

第3-4表 重大事故等対処施設の機器リスト (4/13)

設備名称	火災区域	火災区画	備考
残留熱除去系熱交換器入口温度 A (TE-E12-N004A)			
残留熱除去系熱交換器入口温度 B (TE-E12-N004B)			
残留熱除去系熱交換器出口温度 A (TE-E12-N027A)			
残留熱除去系熱交換器出口温度 B (TE-E12-N027B)			
原子炉隔離時冷却系系統流量 (FT-E51-N003)			
高压炉心スプレイ系系統流量 (FT-E22-N005)			
低压炉心スプレイ系系統流量 (FT-E21-N003)			
残留熱除去系系統流量 A (FT-E12-N015A)			
残留熱除去系系統流量 B, C (FT-E12-N015B, N015C)			
原子炉圧力 (PT-B22-N051A)			
原子炉圧力 (PT-B22-N051B)			
原子炉圧力 (S A) (PT-B22-N071B, D)			
原子炉圧力 (S A) (PT-B22-N071A, C)			
原子炉水位 (広帯域) (LT-B22-N091A, C)			
原子炉水位 (広帯域) (LT-B22-N079B, D)			
原子炉水位 (広帯域) (LT-B22-N091B, D)			
原子炉水位 (広帯域) (LT-B22-N079A, C)			
原子炉水位 (燃料域) (LT-B22-N044A)			
原子炉水位 (燃料域) (LT-B22-N044B)			
原子炉水位 (S A広帯域) (LT-B22-N010)			
原子炉水位 (S A燃料域) (LT-B22-N020)			
ドライウエル圧力 (PT-26-79.60)			
サプレッション・チェンバ圧力 (PT-26-79.61)			
サプレッション・プール水温度 (TE-T23-N040, N050)			
サプレッション・プール水温度 (TE-T23-N030)			
ドライウエル雰囲気温度 (TE-26-79.61A, 61B, 62A, 62B)			
ドライウエル雰囲気温度 (TE-26-79.63A, 63B, 64A, 64B)			
サプレッション・チェンバ雰囲気温度 (TE-26-79.65A)			
サプレッション・チェンバ雰囲気温度 (TE-26-79.65B)			
格納容器内水素濃度 (S A) (H2E-SA19-N002A)			
格納容器内水素濃度 (S A) (H2E-SA19-N002B)			
格納容器内酸素濃度 (S A) (O2E-SA19-N001A)			
格納容器内酸素濃度 (S A) (O2E-SA19-N001B)			
格納容器下部水温 (TE-SA42-N100A, B, C, D, E) (TE-SA42-N200A, B, C, D, E)			
代替淡水貯槽水位 (LT-SA11-N0212)			
西側淡水貯水設備水位 (LT-SA11-N230)			
低压代替注水系格納容器スプレイ流量 (常設ライン用) (FT-SA11-N202)			
低压代替注水系格納容器スプレイ流量 (可搬ライン用) (FT-SA11-N208)			

NT2 補② V-1-1-7 R2

第3-4表 重大事故等対処施設の機器リスト (5/13)

設備名称	火災区域	火災区画	備考
低圧代替注水系格納容器下部注水流量 (FT-SA11-N204)			
代替循環冷却系格納容器スプレイ流量 (TE-SA17-N018A)			
代替循環冷却系格納容器スプレイ流量 (TE-SA17-N018B)			
サプレッション・プール水位 (LT-26-79.60)			
格納容器下部水位 (LS-SA42-N001A, 002A, 003A, 004A, 005A) (LS-SA42-N001B, 002B, 003B, 004B, 005B)			
原子炉建屋水素濃度 (H2E-SA16-N004)			
原子炉建屋水素濃度 (H2E-SA16-N005)			
原子炉建屋水素濃度 (H2E-SA16-N001)			
原子炉建屋水素濃度 (H2E-SA16-N002)			
原子炉建屋水素濃度 (H2E-SA16-N003)			
自動減圧系の起動阻止スイッチ			
ATWS 緩和設備 (代替制御棒挿入機能)			
ATWS 緩和設備 (代替再循環系ポンプトリップ機能)			
過渡時自動減圧機能			
手動スイッチ (代替制御棒挿入機能)			
再循環系ポンプ遮断器手動スイッチ			
低速度用電源装置遮断器手動スイッチ			
再循環系ポンプ遮断器 A			
再循環系ポンプ遮断器 B			
再循環系ポンプ低速度用電源装置遮断器 A, B			
フィルタ装置入口水素濃度			
静的触媒式水素再結合器動作監視装置			
フィルタ装置水位 (LT-SA14-N101A, LT-SA14-N101B)			
フィルタ装置圧力 (PT-SA14-N102)			
フィルタ装置スクラビング水温度 (TE-SA14-N103)			
残留熱除去系海水系系統流量 (FT-E12-N007A)			
残留熱除去系海水系系統流量 (FT-E12-N007B)			
緊急用海水系流量 (残留熱除去系熱交換器) (FT-SA21-N011)			
緊急用海水系流量 (残留熱除去系補機) (FT-SA21-N015)			
常設高圧代替注水系ポンプ吐出圧力 (PT-SA13-N005)			
常設低圧代替注水系ポンプ吐出圧力 (PT-SA11-N213A, B)			
代替循環冷却系ポンプ吐出圧力 A (PT-SA17-N005A)			
代替循環冷却系ポンプ吐出圧力 B (PT-SA17-N005B)			
原子炉隔離時冷却系ポンプ吐出圧力 (PT-E51-N004)			

NT2 補② V-1-1-7 R2

第3-4表 重大事故等対処施設の機器リスト (6/13)

設備名称	火災区域	火災区画	備考
高压炉心スプレイ系ポンプ吐出圧力 (PT-E22-N004)			
残留熱除去系ポンプ吐出圧力 (PT-E12-N056A)			
残留熱除去系ポンプ吐出圧力 (PT-E12-N056B, C)			
低压炉心スプレイ系ポンプ吐出圧力 (PT-E21-N052)			
安全パラメータ表示システム (SPDS)			
M/C 2C 電圧			
M/C 2D 電圧			
M/C HPCS 電圧			
P/C 2C 電圧			
P/C 2D 電圧			
緊急用 M/C 電圧			
緊急用 P/C 電圧			
直流 125V 主母線盤 2A 電圧			
直流 125V 主母線盤 2B 電圧			
直流 125V 主母線盤 HPCS 電圧			
直流±24V 中性子モニタ用分電盤 2A 電圧			
直流±24V 中性子モニタ用分電盤 2B 電圧			
緊急用直流 125V 主母線盤電圧			
非常用窒素供給系 A 系供給圧力			
非常用窒素供給系 B 系供給圧力			
非常用窒素供給系 A 系高压窒素ボンベ圧力			
非常用窒素供給系 B 系高压窒素ボンベ圧力			
非常用逃がし安全弁駆動系 A 系供給圧力			
非常用逃がし安全弁駆動系 B 系供給圧力			
非常用逃がし安全弁駆動系 A 系高压窒素ボンベ圧力			
非常用逃がし安全弁駆動系 B 系高压窒素ボンベ圧力			
衛星電話設備 (固定型)			
統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備 (テレビ会議システム, IP 電話, IP-FAX)			
緊急時対策支援システム伝送装置			
格納容器内雰囲気ガスサンプリング装置			
非常用ガス処理系排気筒			
格納容器雰囲気放射線モニタ (D/W) (RE-D23-N003B)			
格納容器雰囲気放射線モニタ (D/W) (RE-D23-N003A)			
格納容器雰囲気放射線モニタ (S/C) (RE-D23-N003C)			
格納容器雰囲気放射線モニタ (S/C) (RE-D23-N003D)			

NT2 補② V-1-1-7 R2

第3-4表 重大事故等対処施設の機器リスト (7/13)

設備名称	火災区域	火災区画	備考
フィルタ装置出口放射線モニタ (低レンジ) (RE-SA14-N501)			
フィルタ装置出口放射線モニタ (高レンジ) (RE-SA14-N500)			
フィルタ装置出口放射線モニタ (高レンジ) (RE-SA14-N502)			
耐圧強化ベント系放射線モニタ (RE-D17-N700A, B)			
使用済燃料プールエリア放射線モニタ (低レンジ) (RE-SA20-N030)			
使用済燃料プールエリア放射線モニタ (高レンジ) (RE-SA20-N300)			
中央制御室換気系空気調和機ファン A (HVAC-AH2-9A)			
中央制御室換気系空気調和機ファン B (HVAC-AH2-9B)			
中央制御室換気系フィルタ系ファン (HVAC-E2-14A)			
中央制御室換気系フィルタ系ファン (HVAC-E2-14B)			
中央制御室換気系フィルタユニット A (HVAC-FLT-A)			
中央制御室換気系フィルタユニット B (HVAC-FLT-B)			
緊急時対策所非常用送風機 A			
緊急時対策所非常用送風機 B			
緊急時対策所非常用フィルタ装置 A			
緊急時対策所非常用フィルタ装置 B			
二次遮蔽			
中央制御室遮蔽			
中央制御室遮蔽 (待避室)			
緊急時対策所遮蔽			
第二弁操作室遮蔽			
第二弁操作室差圧計			
中央制御室待避室差圧計			
緊急時対策所用差圧計			
中央制御室給気隔離弁 (SB2-18A, B)			
中央制御室給気隔離弁 (SB2-19A, B)			
中央制御室排気隔離弁 (SB2-20A, B)			
フィルタ装置遮蔽			
配管遮蔽			
原子炉格納容器 (サプレッション・チェンバ)			
原子炉格納容器 (ドライウエル)			
機器搬入用ハッチ			
所員用エアロック			

NT2 補② V-1-1-7 R2

第3-4表 重大事故等対処施設の機器リスト (8/13)

設備名称	火災区域	火災区画	備考
サブプレッション・チェンバアクセスハッチ			
原子炉格納容器貫通部			
原子炉建屋原子炉棟			
原子炉建屋大物搬入口			
原子炉建屋エアロック			
原子炉建屋基礎盤			
真空破壊弁 (2-26V-40 (NO), 41 (NO), 42 (NO), 43 (NO), 44 (NO), 45 (NO), 46 (NO), 47 (NO), 48 (NO), 49 (NO), 56 (NO))			
ダイヤフラム・フロア			
ベント管			
非常用ガス再循環系排風機 A (HVAC-E2-13A)			
非常用ガス再循環系排風機 B (HVAC-E2-13B)			
非常用ガス再循環系フィルタトレイン A (FRVS-FLT-A)			
非常用ガス再循環系フィルタトレイン B (FRVS-FLT-B)			
非常用ガス処理系排風機 A (HVAC-E2-10A)			
非常用ガス処理系排風機 B (HVAC-E2-10B)			
非常用ガス処理系フィルタトレイン A (SGTS-FLT-A)			
非常用ガス処理系フィルタトレイン B (SGTS-FLT-B)			
静的触媒式水素再結合器			
ドライウェルベント弁 (2-26B-12 (MO))			
サブプレッション・チェンバベント弁 (2-26B-10 (MO))			
第二弁 (SA14-F001A)			
第二弁バイパス弁 (SA14-F001B)			
圧力開放板			
フィルタ装置			
遠隔人力操作機構			
コリウムシールド			
格納容器床ドレンサンプスリット・排水弁			
格納容器床ドレンサンプ導入管カバー			
格納容器機器ドレンサンプスリット排水弁			
格納容器機器ドレンサンプ導入管カバー			
ブローアウトパネル閉止装置			
移送ポンプ			

NT2 補② V-1-1-7 R2

第3-4表 重大事故等対処施設の機器リスト (9/13)

設備名称	火災区域	火災区画	備考
2C 非常用ディーゼル発電機 (GEN-DG-2C/DGU-2C) (内燃機関, 調速装置, 非常用調速装置, 冷却水ポンプを含む)			
2D 非常用ディーゼル発電機 (GEN-DG-2D/DGU-2D) (内燃機関, 調速装置, 非常用調速装置, 冷却水ポンプを含む)			
非常用ディーゼル発電機空気だめ A (VSL-2C-DGAE-1A)			
非常用ディーゼル発電機空気だめ A (VSL-2D-DGAE-1A)			
安全弁 (3-14Z1)			
安全弁 (3-14Z101)			
2C 非常用ディーゼル発電機燃料油デイトンク (DG-VSL-2C-D0-1)			
2C 非常用ディーゼル発電機燃料油デイトンク ベント管 (3-11/4-D0-120)			
2D 非常用ディーゼル発電機燃料油デイトンク (DG-VSL-2D-D0-1)			
2D 非常用ディーゼル発電機燃料油デイトンク ベント管 (3-11/4-D0-20)			
2C 非常用ディーゼル発電機燃料移送ポンプ			
2D 非常用ディーゼル発電機燃料移送ポンプ			
軽油貯蔵タンク A			
軽油貯蔵タンク A ベント管			
軽油貯蔵タンク B			
軽油貯蔵タンク B ベント管			
2C 非常用ディーゼル発電機励磁装置 (中性点接地変圧器盤, 自動電圧調整器盤, シリコン整流器盤, 交流リアクトル盤及びシリコン整流器用変圧器盤を含む)			
2D 非常用ディーゼル発電機励磁装置 (中性点接地変圧器盤, 自動電圧調整器盤, シリコン整流器盤, 交流リアクトル盤及びシリコン整流器用変圧器盤を含む)			
2C 非常用ディーゼル発電機保護継電装置			
2C 非常用ディーゼル発電機保護継電装置			
2D 非常用ディーゼル発電機保護継電装置			
2D 非常用ディーゼル発電機保護継電装置			

NT2 補② V-1-1-7 R2

第 3-4 表 重大事故等対処施設の機器リスト (10/13)

設備名称	火災区域	火災区画	備考
2C 非常用ディーゼル発電機用海水ポンプ (DGSW-PMP-2C)			
2D 非常用ディーゼル発電機用海水ポンプ (DGSW-PMP-2D)			
2C 非常用ディーゼル発電機用海水ストレーナ			
2D 非常用ディーゼル発電機用海水ストレーナ			
高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機空気だめ A (VSL-HPCS-DGAE-1A)			
安全弁 (3-14Z201)			
高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機燃料油デイトンク (DG-VSL-HPCS-D0-1)			
高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機燃料油デイトンク ベント管 (3-11/4-D0-220)			
高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機燃料移送ポンプ			
高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機 (GEN-DG-HPCS/DGU-HPCS) (内燃機関, 調速装置, 非常用調速装置, 冷却水ポンプを含む)			
高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機励磁装置 (中性点接地変圧器盤, 自動電圧調整器盤, シリコン整流器盤, 交流リアクトル盤及びシリコン整流器用変圧器盤を含む)			
高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機保護継電装置 (DG HPCS 制御盤)			
高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機保護継電装置 (6.9kV SWGR. HPCS)			
高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機用海水ポンプ (DGSW-PMP-HPCS)			
高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機用海水ストレーナ			
No. 1 常設代替高圧電源装置燃料油サービスタンク			
No. 2 常設代替高圧電源装置燃料油サービスタンク			
No. 3 常設代替高圧電源装置燃料油サービスタンク			
No. 4 常設代替高圧電源装置燃料油サービスタンク			
No. 5 常設代替高圧電源装置燃料油サービスタンク			
No. 6 常設代替高圧電源装置燃料油サービスタンク			
常設代替高圧電源装置燃料移送ポンプ			
No. 1 常設代替高圧電源装置 (内燃機関, 調速装置, 非常用調速装置, 冷却水ポンプ, 励磁装置, 保護継電装置を含む)			

NT2 補② V-1-1-7 R2

第 3-4 表 重大事故等対処施設の機器リスト (11/13)

設備名称	火災区域	火災区画	備考
No. 2 常設代替高压電源装置 (内燃機関, 調速装置, 非常用調速装置, 冷却水ポンプ, 励磁装置, 保護継電装置含む)			
No. 3 常設代替高压電源装置 (内燃機関, 調速装置, 非常用調速装置, 冷却水ポンプ, 励磁装置, 保護継電装置含む)			
No. 4 常設代替高压電源装置 (内燃機関, 調速装置, 非常用調速装置, 冷却水ポンプ, 励磁装置, 保護継電装置含む)			
No. 5 常設代替高压電源装置 (内燃機関, 調速装置, 非常用調速装置, 冷却水ポンプ, 励磁装置, 保護継電装置含む)			
No. 6 常設代替高压電源装置 (内燃機関, 調速装置, 非常用調速装置, 冷却水ポンプ, 励磁装置, 保護継電装置含む)			
緊急時対策所用発電機燃料油サービスタンク A			
緊急時対策所用発電機燃料油サービスタンク A ベント管			
緊急時対策所用発電機燃料油サービスタンク B			
緊急時対策所用発電機燃料油サービスタンク B ベント管			
緊急時対策所用発電機給油ポンプ 2A			
緊急時対策所用発電機給油ポンプ 2B			
緊急時対策所用発電機燃料油貯蔵タンク A			
緊急時対策所用発電機燃料油貯蔵タンク A ベント管			
緊急時対策所用発電機燃料油貯蔵タンク B			
緊急時対策所用発電機燃料油貯蔵タンク B ベント管			
緊急時対策所用発電機 2A (内燃機関, 調速装置, 非常用調速装置, 冷却水ポンプ, 励磁装置を含む)			
緊急時対策所用発電機 2B (内燃機関, 調速装置, 非常用調速装置, 冷却水ポンプ, 励磁装置を含む)			
緊急時対策所用発電機保護継電装置			
非常用無停電電源装置 A			
非常用無停電電源装置 B			
緊急用無停電電源装置			
125V 系蓄電池 A 系 (125V DC 2A BATTERY)			
125V 系蓄電池 B 系 (125V DC 2B BATTERY)			
125V 系蓄電池 HPCS 系 (125V DC HPCS BATTERY)			
中性子モニタ用蓄電池 A 系 (24V DC 2A BATTERY)			
中性子モニタ用蓄電池 B 系 (24V DC 2B BATTERY)			
緊急用 125V 系蓄電池			

NT2 補② V-1-1-7 R2

第 3-4 表 重大事故等対処施設の機器リスト (12/13)

設備名称	火災区域	火災区画	備考
緊急時対策所用 125V 系蓄電池			
メタルクラッド開閉装置 2C			
メタルクラッド開閉装置 2D			
パワーセンタ 2C			
パワーセンタ 2D			
モータコントロールセンタ (MCC 2C-9)			
モータコントロールセンタ (MCC 2D-9)			
モータコントロールセンタ (MCC 2C-7, MCC 2C-8)			
モータコントロールセンタ (MCC 2D-7, MCC 2D-8)			
モータコントロールセンタ (MCC 2C-3, MCC 2C-5)			
モータコントロールセンタ (MCC 2D-3, MCC 2D-5)			
モータコントロールセンタ (MCC 2C-6, MCC 2D-6)			
モータコントロールセンタ (MCC 2C-4)			
モータコントロールセンタ (MCC 2D-4)			
動力変圧器 (2C)			
動力変圧器 (2D)			
メタルクラッド開閉装置 HPCS			
モータコントロールセンタ HPCS			
動力変圧器 HPCS (MCC HPCS)			
緊急用メタルクラッド開閉装置			
緊急用パワーセンタ			
緊急用直流 125V 主母線盤			
緊急用モータコントロールセンタ 1			
緊急用モータコントロールセンタ 2			
緊急用モータコントロールセンタ 3			
緊急用断路器			
緊急用動力変圧器			
緊急用計装交流主母線盤			
緊急用電源切替盤			
緊急用無停電計装分電盤			
緊急用直流 125V 充電器			
緊急用直流 125V モータコントロールセンタ			
緊急用直流 125V 計装分電盤			
常設代替高圧電源装置遠隔操作盤			
緊急時対策所用メタルクラッド開閉装置			
緊急時対策所用動力変圧器			
緊急時対策所用パワーセンタ			
緊急時対策所用モータコントロールセンタ			

NT2 補② V-1-1-7 R2

第 3-4 表 重大事故等対処施設の機器リスト (13/13)

設備名称	火災区域	火災区画	備考
緊急時対策所用 100V 分電盤			
緊急時対策所用直流 125V 主母線盤			
緊急時対策所用直流 125V 分電盤			
緊急時対策所用災害対策本部操作盤			
緊急時対策所用非常用換気空調設備操作盤			
可搬型代替低圧電源車接続盤			
可搬型代替低圧電源車接続盤			
可搬型代替直流電源設備用電源切替盤			
直流 125V 主母線盤 2A (直流 125V 主母線盤 2A 電圧含む)			
直流 125V 主母線盤 2B (直流 125V 主母線盤 2B 電圧含む)			
可搬型整流器用変圧器			
直流 125V モータコントロールセンタ 2A-2 (125V DC MCC 2A-2)			
直流 125V モータコントロールセンタ 2A-1 (125V DC MCC 2A-1)			
非常用無停電計装分電盤			
直流 125V 主母線盤 HPCS			
直流±24V 中性子モニタ用分電盤 2A (直流±24V 中性子モニタ用分電盤 2A 電圧含む) (直流 ±24V 充電器 (2A))			
直流±24V 中性子モニタ用分電盤 2B (直流±24V 中性子モニタ用分電盤 2B 電圧含む) (直流 ±24V 充電器 (2B))			
可搬型設備用軽油タンク A~D			
可搬型設備用軽油タンク A~D ベント管			
可搬型設備用軽油タンク E~H			
可搬型設備用軽油タンク E~H ベント管			
貯留堰			
取水構造物			
S A用海水ピット取水塔			
海水引込み管			
S A用海水ピット			
緊急用海水取水管			
緊急用海水ポンプピット			
手動弁, 配管			

NT2 補② V-1-1-7 R2

V-6 図面



工事計画認可申請 第 9-3-1 図


東海第二発電所

名称
 その他発電用原子炉の附属施設のうち
 火災防護設備に係る
 機器の配置を明示した図面及び構造図
 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (1/40)

日本原子力発電株式会社

8608

凡例

 火災区域の境界



 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域




工事計画認可申請	第 9-3-2 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面及び構造図 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (2/40)
日本原子力発電株式会社	
8608	


凡例

 火災区域の境界
 火災区画の境界
 ※ 上下階と繋がっている火災区域




凡例

 火災区域の境界

 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域

 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位 mm)

工事計画認可申請

第 9-3-3 図

東海第二発電所

名称
 その他発電用原子炉の附属施設のうち
 火災防護設備に係る
 機器の配置を明示した図面及び構造図
 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (3/40)

日本原子力発電株式会社

8608



凡例

 火災区域の境界

 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域

工事計画認可申請

第 9-3-4 図

東海第二発電所

名 称

その他発電用原子炉の附属施設のうち
火災防護設備に係る
機器の配置を明示した図面及び構造図
(火災区域構造物及び火災区画構造物) (4/40)


日本原子力発電株式会社

8608



工事計画認可申請	第 9-3-5 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面及び構造図 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (5/40)
日本原子力発電株式会社	
8608	

凡例

 火災区域の境界

 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域




工事計画認可申請	第 9-3-6 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面及び構造図 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (6/40)
日本原子力発電株式会社	
8608	

凡例

 火災区域の境界


 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域

 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位 (特記なき場合 mm)



凡例

 火災区域の境界

 火災区画の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域

工事計画認可申請

第 9-3-7 図

東海第二発電所

名 称


その他発電用原子炉の附属施設のうち
火災防護設備に係る
機器の配置を明示した図面及び構造図
(火災区域構造物及び火災区画構造物) (7/40)


日本原子力発電株式会社


8608



凡例

 火災区域の境界

 火災区画の境界

※  上下階と繋がっている火災区域

 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位 mm

工事計画認可申請

第 9-3-8 図

東海第二発電所

名称
 その他発電用原子炉の附属施設のうち
 火災防護設備に係る
 機器の配置を明示した図面及び構造図
 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (8/40)



日本原子力発電株式会社

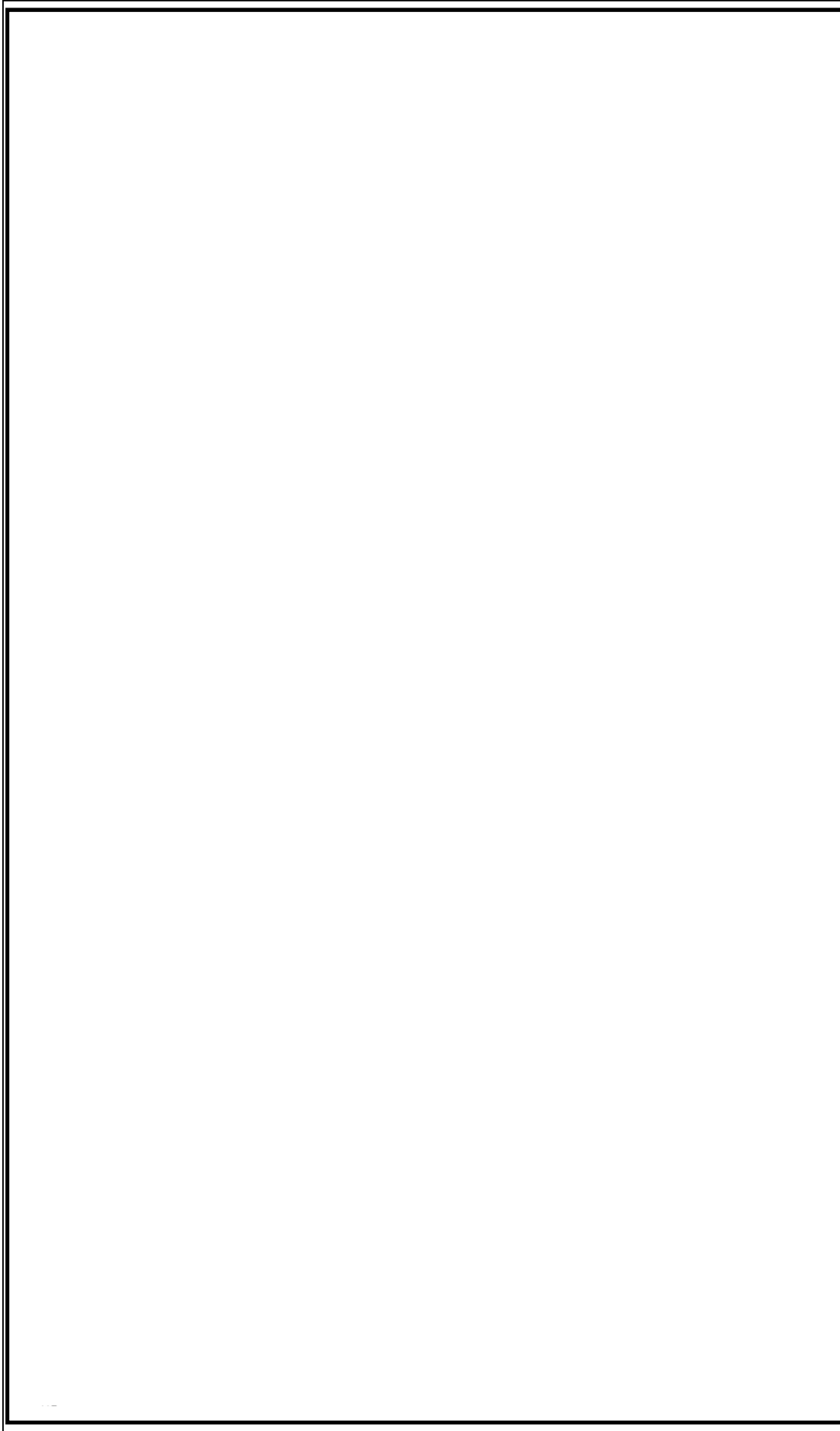
8608




工事計画認可申請	第 9-3-9 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面及び構造図 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (9/40)
日本原子力発電株式会社	
8608	

凡例

-  火災区域の境界
-  火災区画の境界
- ※ 上下階と繋がっている火災区域



凡例

- 
 火災区域の境界
- ※ 上下階と繋がっている火災区域

工事計画認可申請 第 9-3-10 図

東海第二発電所

名称
 その他発電用原子炉の附属施設のうち
 火災防護設備に係る
 機器の配置を明示した図面及び構造図
 (火災区域構造物及び火災区域構造物) (10/40)

日本原子力発電株式会社

8608



凡例

 火災区域の境界

 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位 mm)

工事計画認可申請 第 9-3-11 図

東海第二発電所

名称
 その他発電用原子炉の附属施設のうち
 火災防護設備に係る
 機器の配置を明示した図面及び構造図
 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (11/40)

日本原子力発電株式会社

8608



工事計画認可申請	第 9-3-12 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面及び構造図 (火災区域域構造物及び火災区域面構造物) (12/40)
日本原子力発電株式会社	
8608	

凡例

- 火災区域の境界
- ※ 上下階と繋がっている火災区域



工事計画認可申請 第 9-3-13 図

東海第二発電所

名称
 その他発電用原子炉の附属施設のうち
 火災防護設備に係る
 機器の配置を明示した図面及び構造図
 (火災区域構造物及び火災区域構造物) (13/40)

日本原子力発電株式会社

8608

凡例


火災区域の境界



※ 上下階と繋がっている火災区域



凡例

- 
 火災区域の境界
- ※ 上下階と繋がっている火災区域

工事計画認可申請 第 9-3-14 図

東海第二発電所


名称
 その他発電用原子炉の附属施設のうち
 火災防護設備に係る
 機器の配置を明示した図面及び構造図
 (火災区域構造物及び火災区域構造物) (14/40)

日本原子力発電株式会社

8608



凡例

- 
 火災区域の境界
- ※ 上下階と繋がっている火災区域

工事計画認可申請 第 9-3-15 図

東海第二発電所

名称
 その他発電用原子炉の附属施設のうち
 火災防護設備に係る
 機器の配置を明示した図面及び構造図
 (火災区域構造物及び火災区域構造物) (15/40)

日本原子力発電株式会社

8608



凡例

■ 火災区域の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域

////// 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位 (mm)

工事計画認可申請 第 9-3-16 図

東海第二発電所

名称
 その他発電用原子炉の附属施設のうち
 火災防護設備に係る
 機器の配置を明示した図面及び構造図
 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (16/40)

日本原子力発電株式会社

8608



工事計画認可申請 第 9-3-17 図

東海第二発電所

名称
その他発電用原子炉の附属施設のうち
火災防護設備に係る
機器の配置を明示した図面及び構造図
(火災区域構造物及び火災区域構造物) (17/40)

日本原子力発電株式会社

8608

凡例

火災区域の境界



※ 上下階と繋がっている火災区域



工事計画認可申請 第 9-3-18 図

東海第二発電所

名称
その他発電用原子炉の附属施設のうち
火災防護設備に係る
機器の配置を明示した図面及び構造図
(火災区域構造物及び火災区域構造物) (18/40)

日本原子力発電株式会社

8608

凡例

火災区域の境界
上下階と繋がっている火災区域

※



工事計画認可申請 第 9-3-19 図

東海第二発電所

名称
その他発電用原子炉の附属施設のうち
火災防護設備に係る
機器の配置を明示した図面及び構造図
(火災区域域構造物及び火災区域構造物) (19/40)

日本原子力発電株式会社

8608

凡例

火災区域の境界

※ 上下階と繋がっている火災区域




凡例
[] 火災区域の境界
※ 上下階と繋がっている火災区域


工事計画認可申請	第 9-3-20 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面及び構造図 (火災区域構造物及び火災区域構造物) (20/40)
日本原子力発電株式会社	
8608	



凡例

 火災区域の境界

※  上下階と繋がっている火災区域

 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位 (mm)

工事計画認可申請 第 9-3-21 図

東海第二発電所


名称
 その他発電用原子炉の附属施設のうち
 火災防護設備に係る
 機器の配置を明示した図面及び構造図
 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (21/40)


日本原子力発電株式会社


8608



凡例

 火災区域の境界

※  上下階と繋がっている火災区域

 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位 (mm)

工事計画認可申請 第 9-3-22 図

東海第二発電所

名称
 その他発電用原子炉の附属施設のうち
 火災防護設備に係る
 機器の配置を明示した図面及び構造図
 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (22/40)

日本原子力発電株式会社

8608



工事計画認可申請 第 9-3-23 図


東海第二発電所


名称
 その他発電用原子炉の附属施設のうち
 火災防護設備に係る
 機器の配置を明示した図面及び構造図
 (火災区画構造物及び火災区画構造物) (23/40)



日本原子力発電株式会社

8608

凡例

 火災区画の境界

※  上下階と繋がっている火災区画

 建屋ごとの火災区画及び火災区画構造物の厚さの最小部位  (mm)



工事計画認可申請 第 9-3-24 図


東海第二発電所


名称
 その他発電用原子炉の附属施設のうち
 火災防護設備に係る
 機器の配置を明示した図面及び構造図
 (火災区域域構造物及び火災区域面構造物) (24/40)

日本原子力発電株式会社

8608

凡例

 火災区域の境界

※  上下階と繋がっている火災区域

 建屋ごとの火災区域及び火災区域面構造物の厚さの最小部位 ( mm)



凡例



火災区域の境界

建屋ごとの火災区域及び火災区域画構造物の厚さの最小部位 (mm)

工事計画認可申請 第 9-3-25 図

東海第二発電所

名称
 その他発電用原子炉の附属施設のうち
 火災防護設備に係る
 機器の配置を明示した図面及び構造図
 (火災区域画構造物及び火災区域画構造物) (25/40)

日本原子力発電株式会社

8608



工事計画認可申請 第 9-3-26 図

東海第二発電所

名称
 その他発電用原子炉の附属施設のうち
 火災防護設備に係る
 機器の配置を明示した図面及び構造図
 (火災区域構造物及び火災区域構造物) (26/40)

日本原子力発電株式会社

8608

凡例



火災区域の境界
 火災区域及び火災区域構造物の厚さの最小部位 (mm)
 建屋ごとの火災区域及び火災区域構造物の厚さの最小部位 (mm)



凡例

 火災区域の境界

 火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位 (特記なき場合 mm)

工事計画認可申請 第 9-3-27 図

東海第二発電所

名称
 その他発電用原子炉の附属施設のうち
 火災防護設備に係る
 機器の配置を明示した図面及び構造図
 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (27/40)

日本原子力発電株式会社

8608



工事計画認可申請 第 9-3-28 図

東海第二発電所

凡例

 火災区域の境界
 火災区画の境界

名 称
 その他発電用原子炉の附属施設のうち
 火災防護設備に係る
 機器の配置を明示した図面及び構造図
 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (28/40)

日本原子力発電株式会社

8608



凡例

-  火災区域の境界
-  火災区画の境界
-  建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位 (特記なき場合 mm)

工事計画認可申請	第 9-3-29 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面及び構造図 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (29/40)
日本原子力発電株式会社	
8608	



工事計画認可申請 第 9-3-30 図

東海第二発電所

凡例
 火災区域の境界
 火災区画の境界

名 称
 その他発電用原子炉の附属施設のうち
 火災防護設備に係る
 機器の配置を明示した図面及び構造図
 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (30/40)


日本原子力発電株式会社

8608



凡例

 火災区域の境界

 火災区画の境界

工事計画認可申請 第 9-3-31 図

東海第二発電所


名称
 その他発電用原子炉の附属施設のうち
 火災防護設備に係る
 機器の配置を明示した図面及び構造図
 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (31/40)


日本原子力発電株式会社


8608



凡例

 火災区域の境界

 火災区画の境界

 建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位 mm)

工事計画認可申請 第 9-3-32 図

東海第二発電所

名称
 その他発電用原子炉の附属施設のうち
 火災防護設備に係る
 機器の配置を明示した図面及び構造図
 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (32/40)

日本原子力発電株式会社

8608

工事計画認可申請	第 9-3-33 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面及び構造図 (火災区域構造物及び火災区域構造物) (33/40)
日本原子力発電株式会社	
8608	

凡例

火災区域の境界
 建屋ごとの火災区域及び火災区域構造物の厚さの最小部位 (mm)



凡例



火災区域の境界

建屋ごとの火災区域及び火災区画構造物の厚さの最小部位 mm)

工事計画認可申請 第 9-3-34 図

東海第二発電所

名称
 その他発電用原子炉の附属施設のうち
 火災防護設備に係る
 機器の配置を明示した図面及び構造図
 (火災区域構造物及び火災区画構造物) (34/40)

日本原子力発電株式会社

8608



工事計画認可申請 第 9-3-35 図

東海第二発電所

名称
その他発電用原子炉の附属施設のうち
火災防護設備に係る
機器の配置を明示した図面及び構造図
(火災区域構造物及び火災区域構造物) (35/40)

日本原子力発電株式会社

8608

凡例



火災区域の境界



工事計画認可申請 第 9-3-36 図

東海第二発電所

名称
 その他発電用原子炉の附属施設のうち
 火災防護設備に係る
 機器の配置を明示した図面及び構造図
 (火災区域構造物及び火災区域構造物) (36/40)

日本原子力発電株式会社

8608

凡例

火災区域の境界





凡例



火災区域の境界

建屋ごとの火災区域及び火災区域画構造物の厚さの最小部位

(mm)

工事計画認可申請 第 9-3-37 図

東海第二発電所

名称
 その他発電用原子炉の附属施設のうち
 火災防護設備に係る
 機器の配置を明示した図面及び構造図
 (火災区域画構造物及び火災区域画構造物) (37/40)


日本原子力発電株式会社

8608



凡例

 火災区域の境界

 建屋ごとの火災区域及び火災区域画構造物の厚さの最小部位 (mm)

工事計画認可申請 第 9-3-38 図

東海第二発電所

名称
 その他発電用原子炉の附属施設のうち
 火災防護設備に係る
 機器の配置を明示した図面及び構造図
 (火災区域画構造物及び火災区域画構造物) (38/40)

日本原子力発電株式会社


8608



工事計画認可申請	第 9-3-39 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設のうち 火災防護設備に係る 機器の配置を明示した図面及び構造図 (火災区域構造物及び火災区域構造物) (39/40)
日本原子力発電株式会社	
8608	




凡例

 火災区域の境界

 建屋ごとの火災区域及び火災区域画構造物の厚さの最小部位 (mm)



凡例

-  火災区域の境界
-  火災区域及び火災区域画構造物の厚さの最小部位
-  建屋ごとの火災区域画構造物 (40/40)

工事計画認可申請 第 9-3-40 図

東海第二発電所

名称
 その他発電用原子炉の附属施設のうち
 火災防護設備に係る
 機器の配置を明示した図面及び構造図
 (火災区域画構造物及び火災区域画構造物) (40/40)

日本原子力発電株式会社

8608

本資料のうち、枠囲みの内容は営業秘密又は防護上の観点から公開できません。

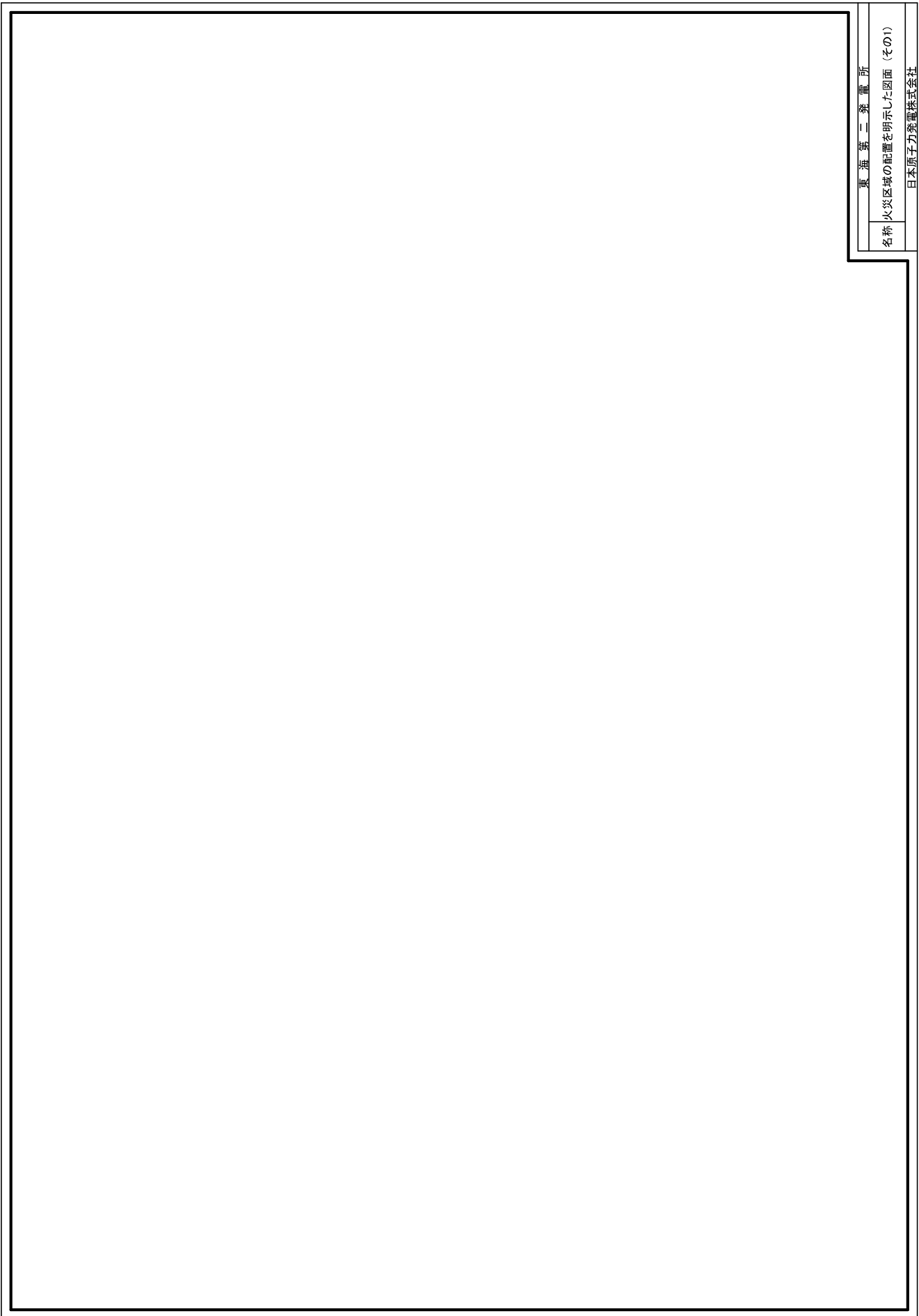
東海第二発電所 工事計画審査資料	
資料番号	補足-300 改0

工事計画に係る補足説明資料

補足-300 【発電用原子炉施設の火災防護に関する補足説明資料
火災防護について】

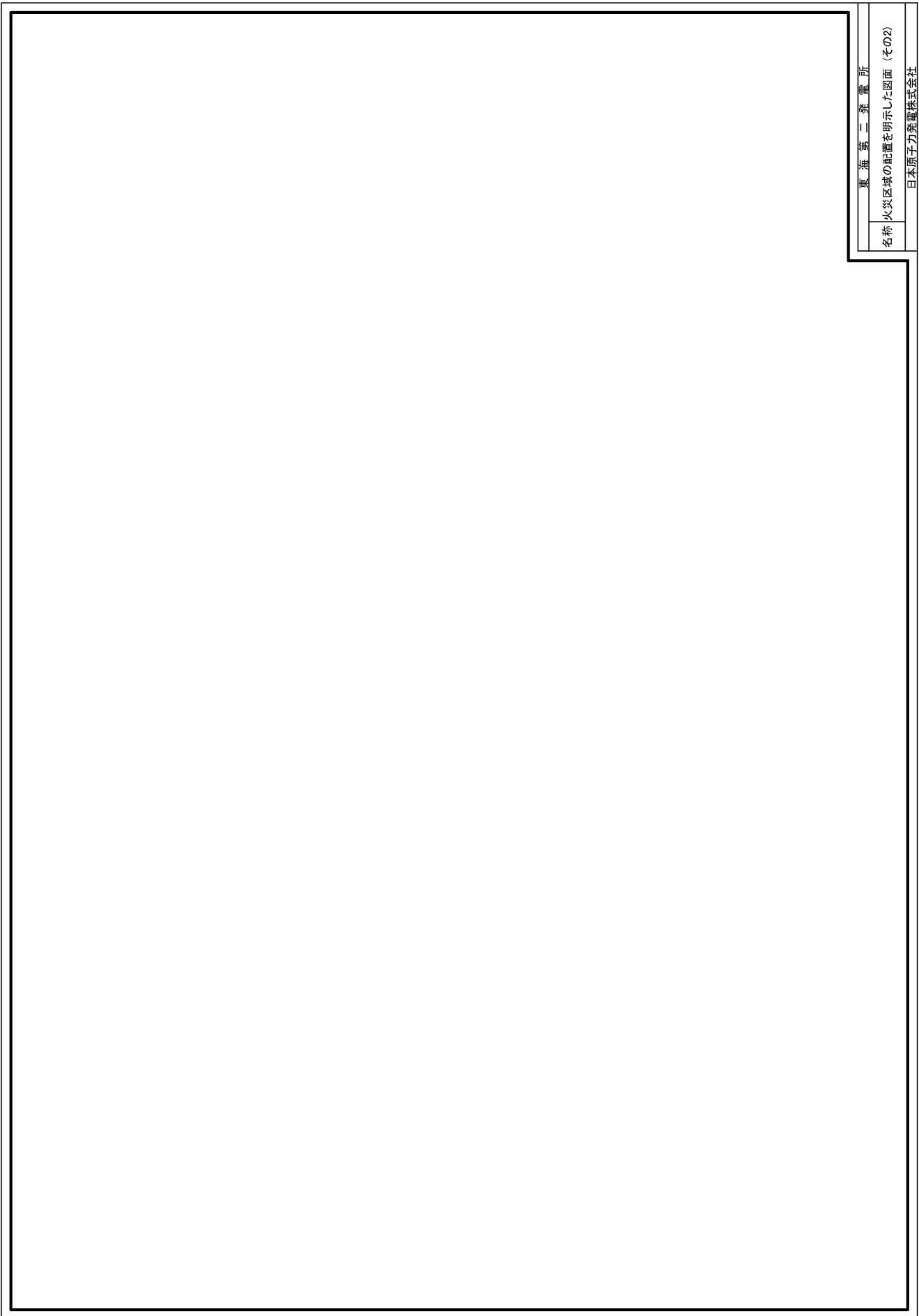
平成 30 年 10 月

日本原子力発電株式会社



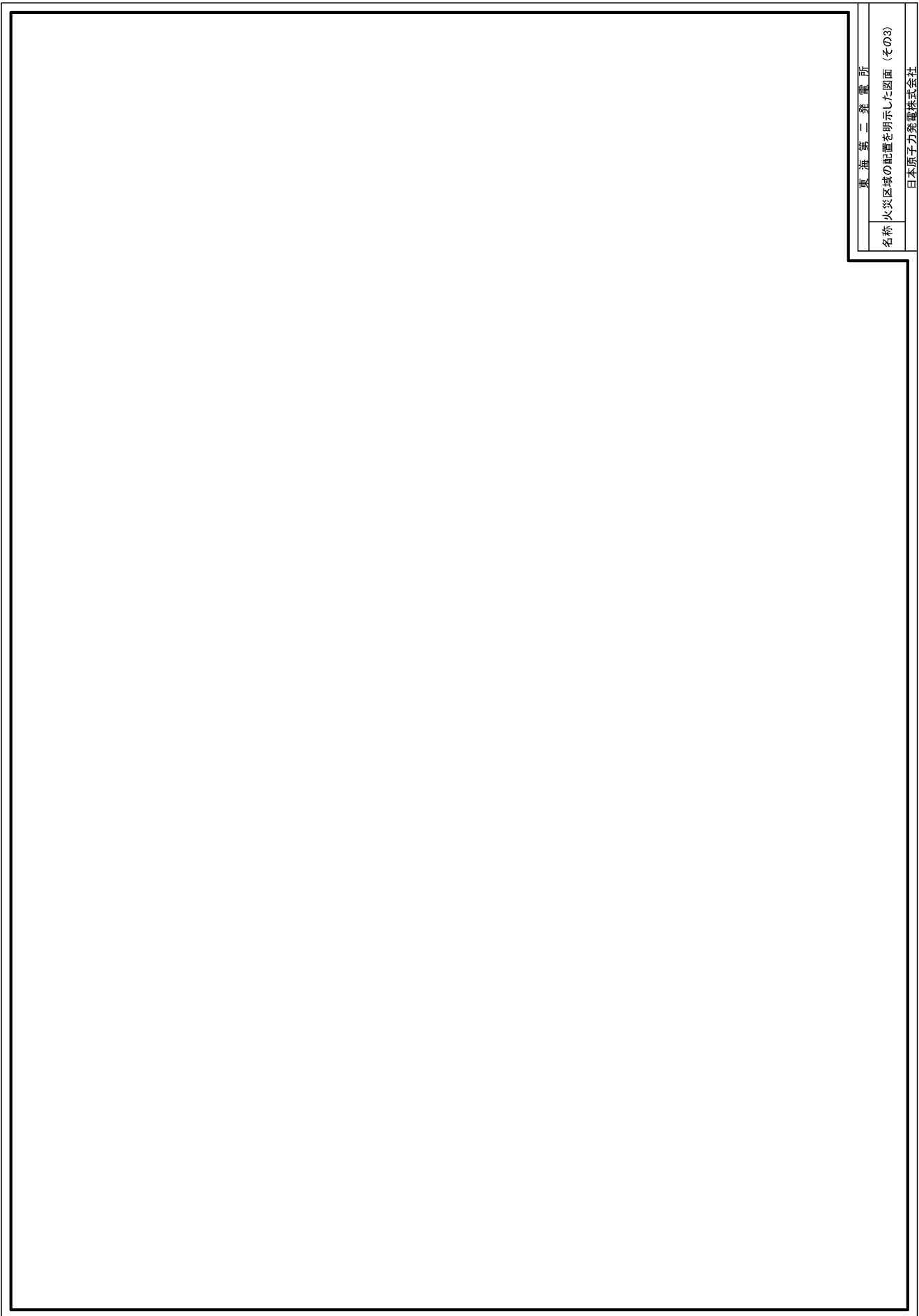
東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面（その1）

日本原子力発電株式会社



東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面（その2）

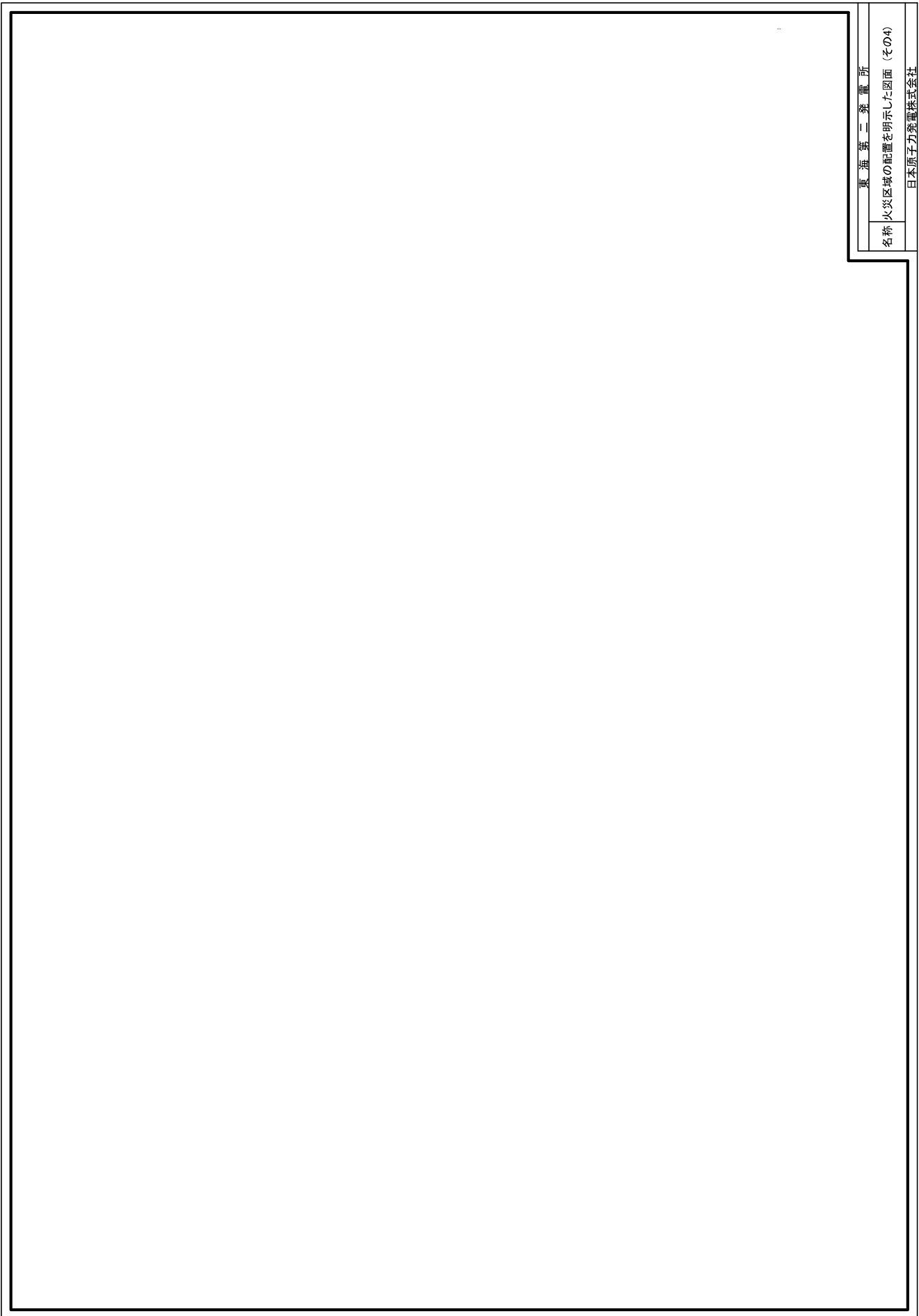
日本原子力発電株式会社



東海第二発電所

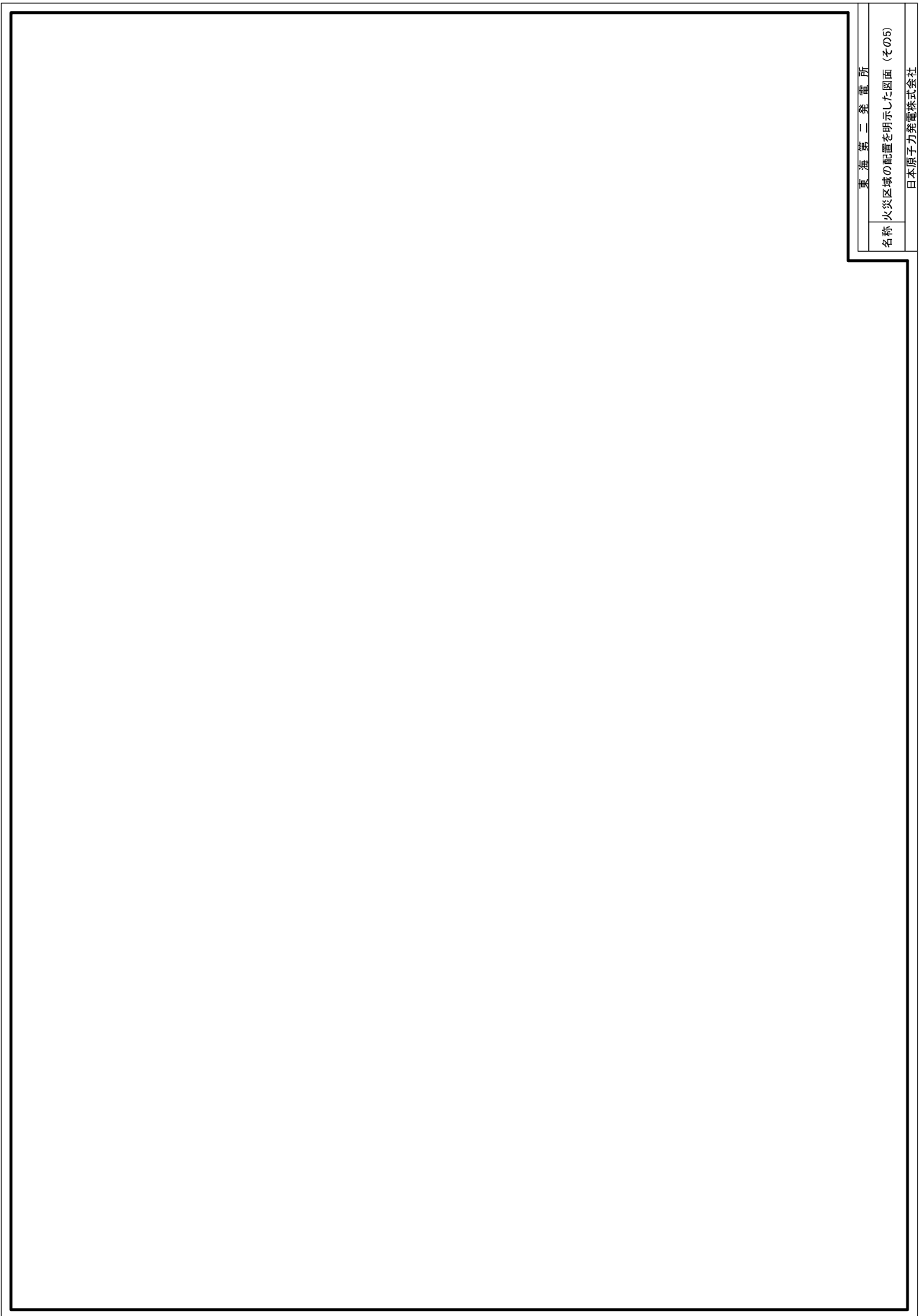
名称 火災区域の配電を明示した図面（その3）

日本原子力発電株式会社



東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面（その4）

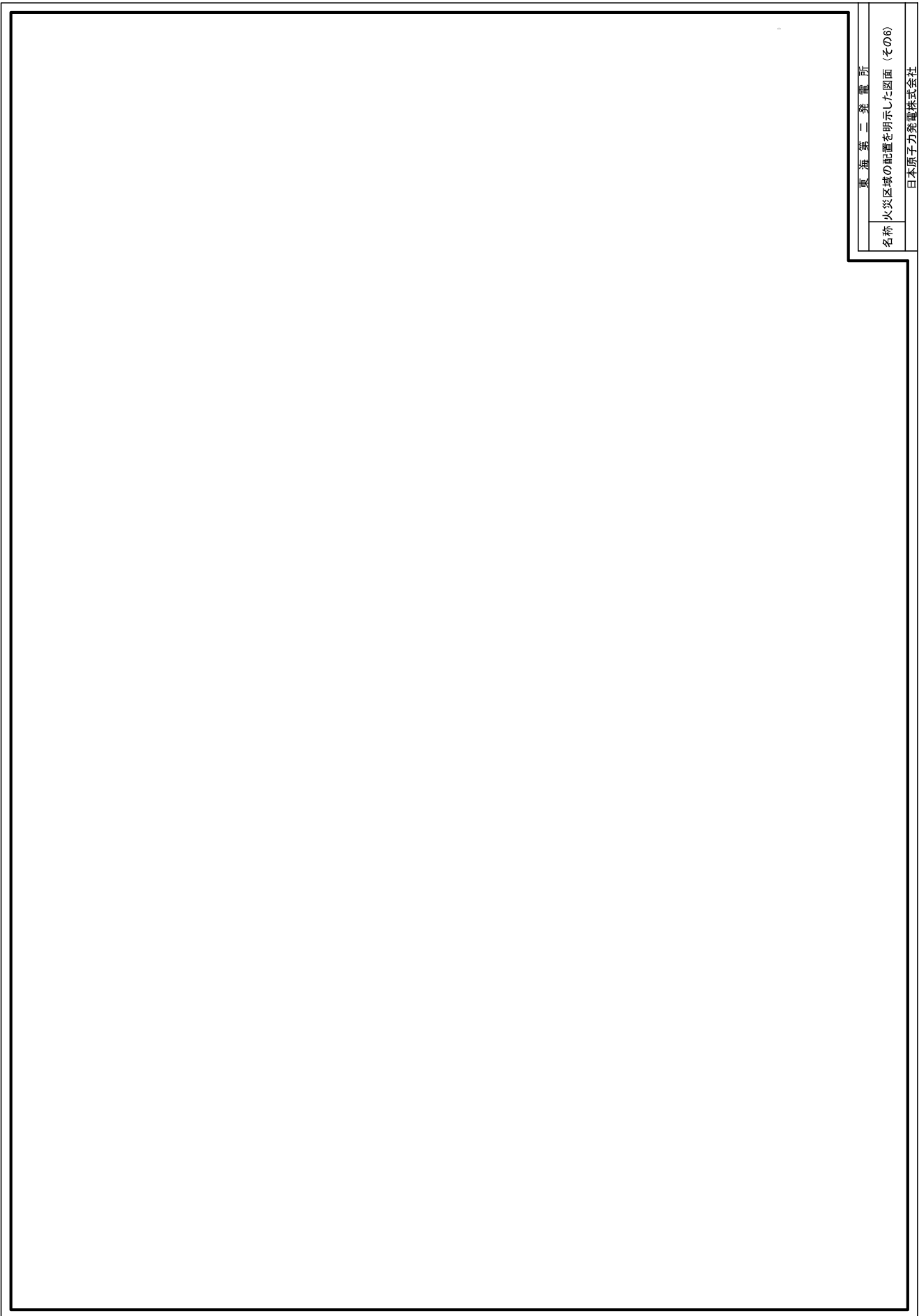
日本原子力発電株式会社



東海第二発電所

名称 火災区域の配置を明示した図面（その5）

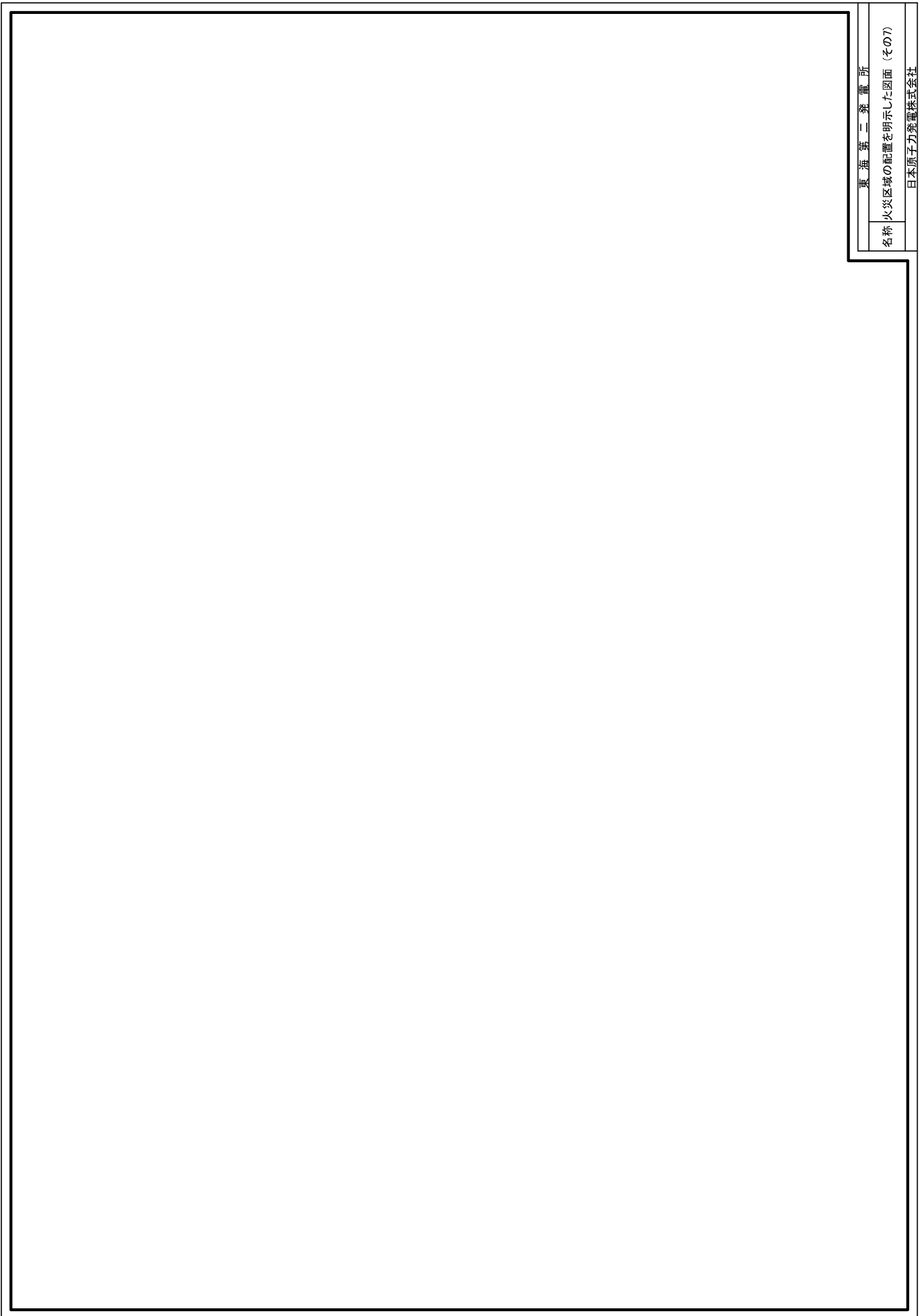
日本原子力発電株式会社



東海第二発電所

名称 火災区域の配置を明示した図面（その6）

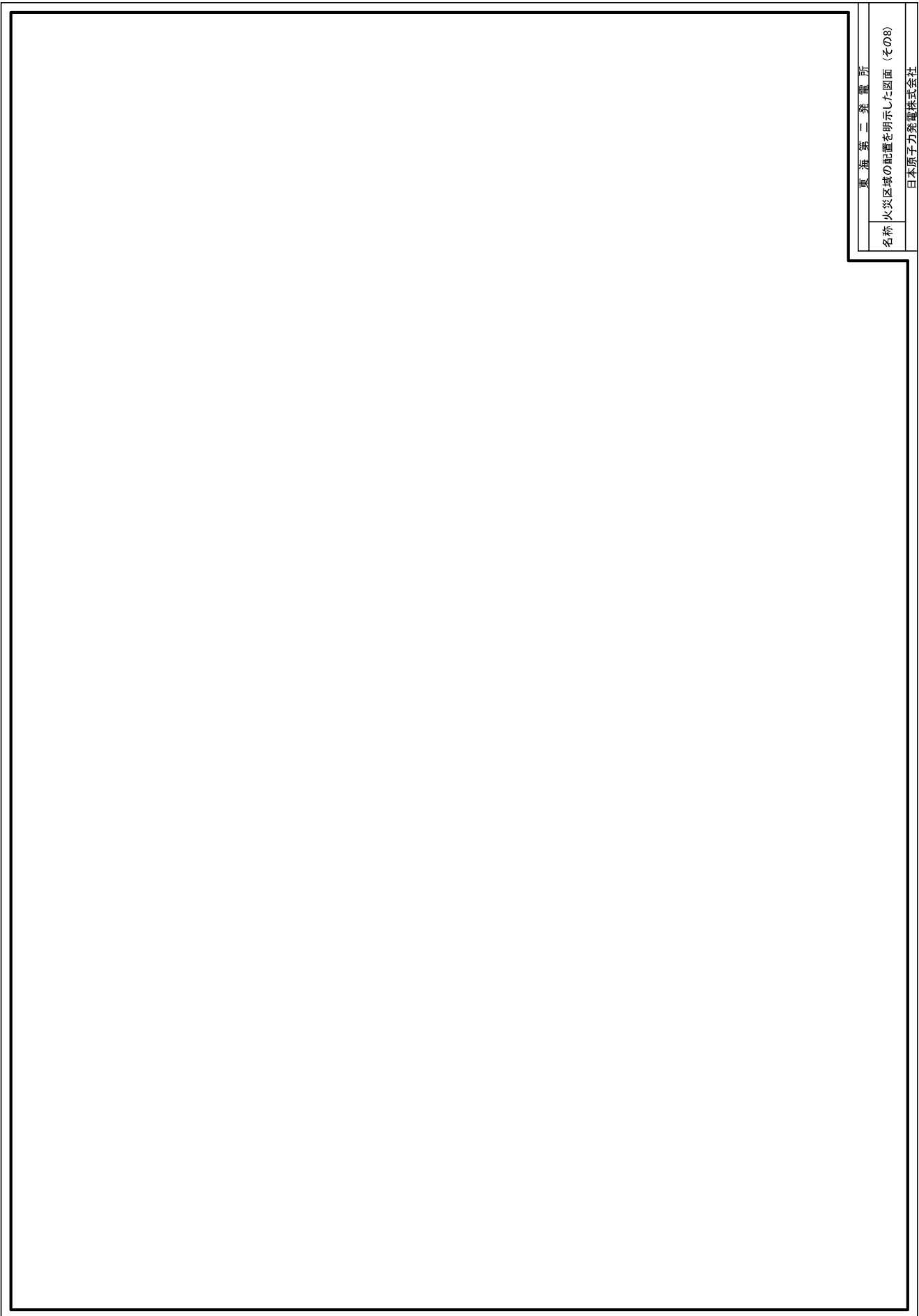
日本原子力発電株式会社



東海第二発電所

名称 火災区域の配置を明示した図面（その7）

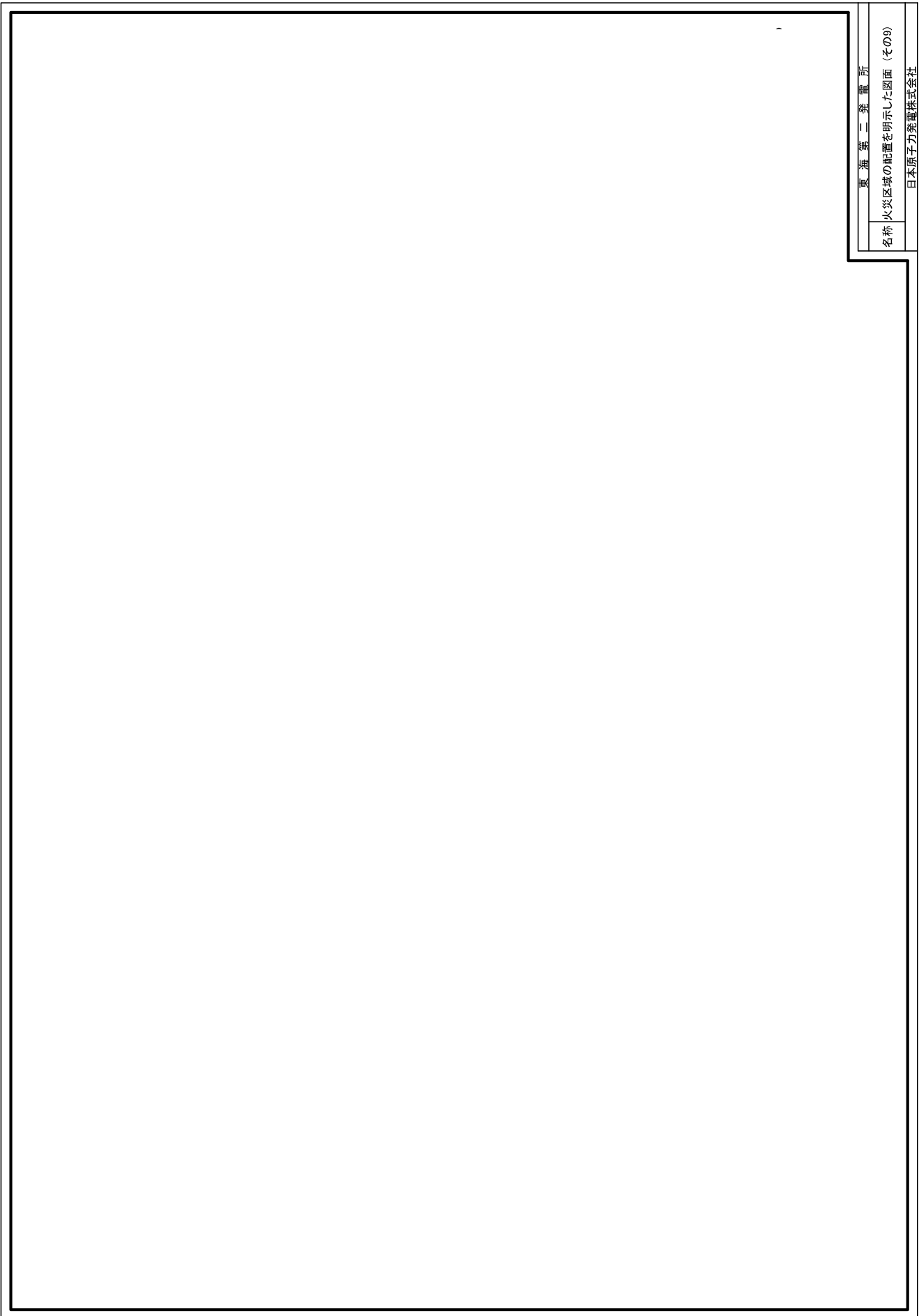
日本原子力発電株式会社



東海第二発電所

名称 火災区域の配電を明示した図面（その8）

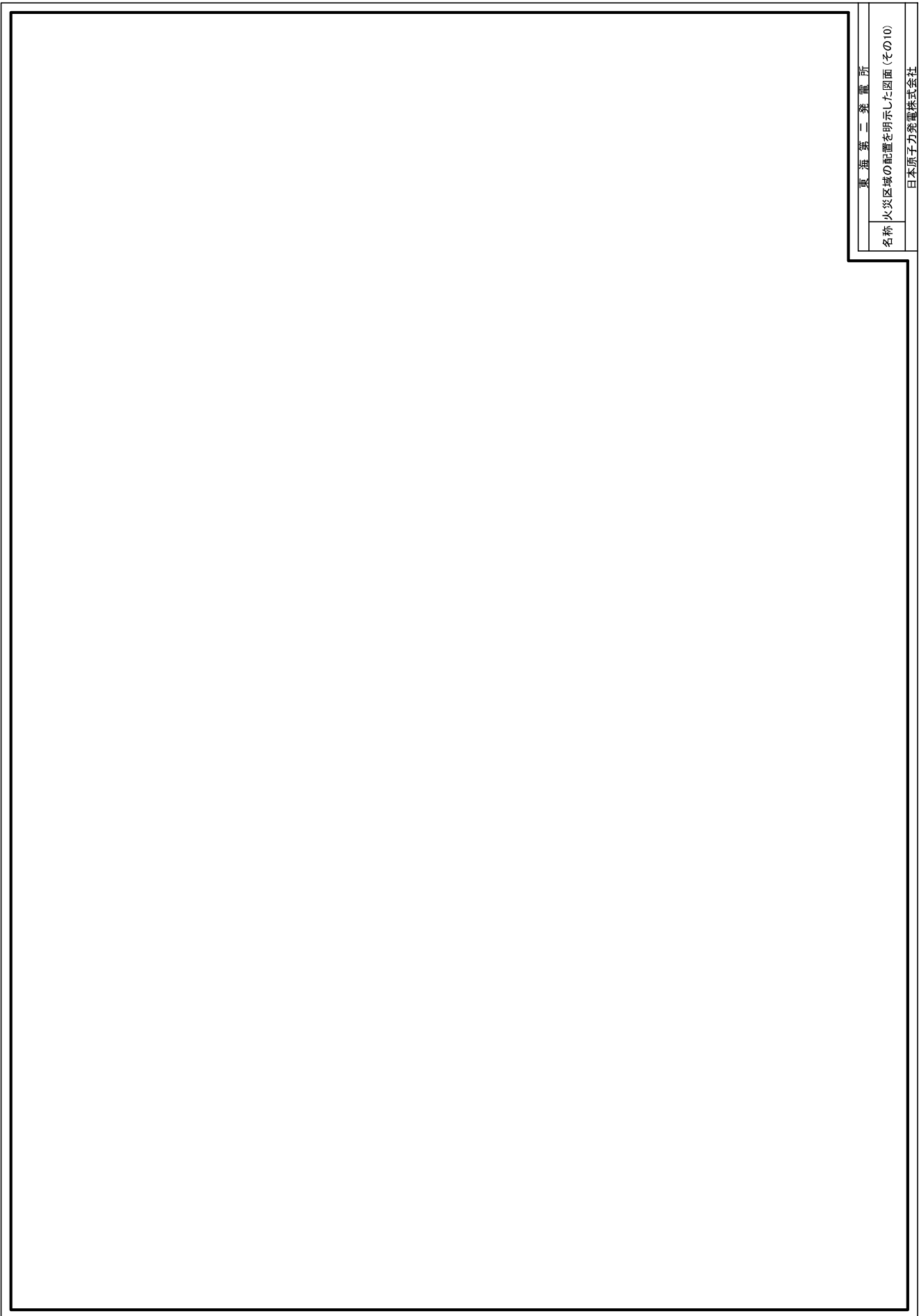
日本原子力発電株式会社



東海第二発電所

名称 火災区域の配置を明示した図面（その9）

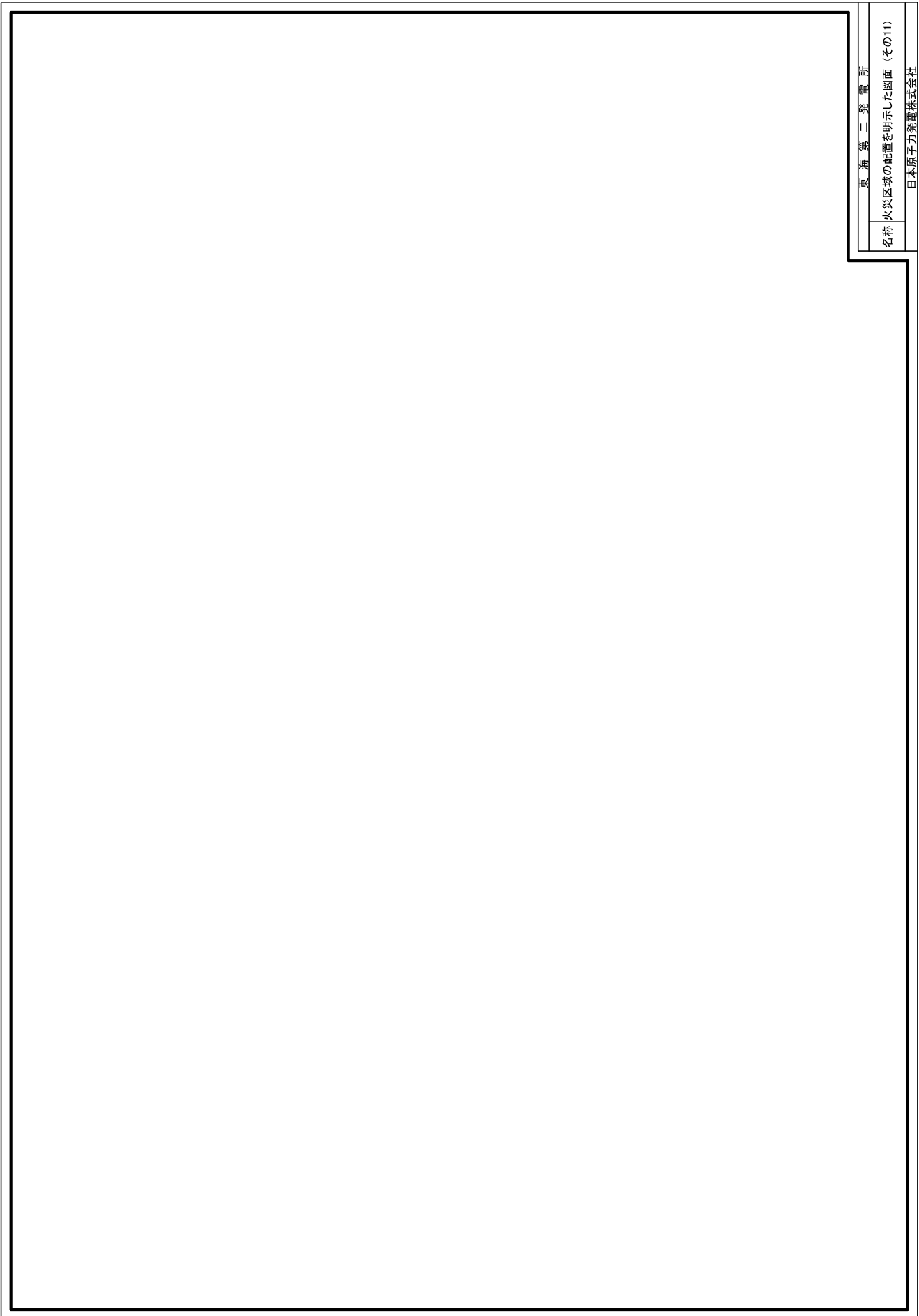
日本原子力発電株式会社



東海第二発電所

名称 火災区域の配置を明示した図面(その10)

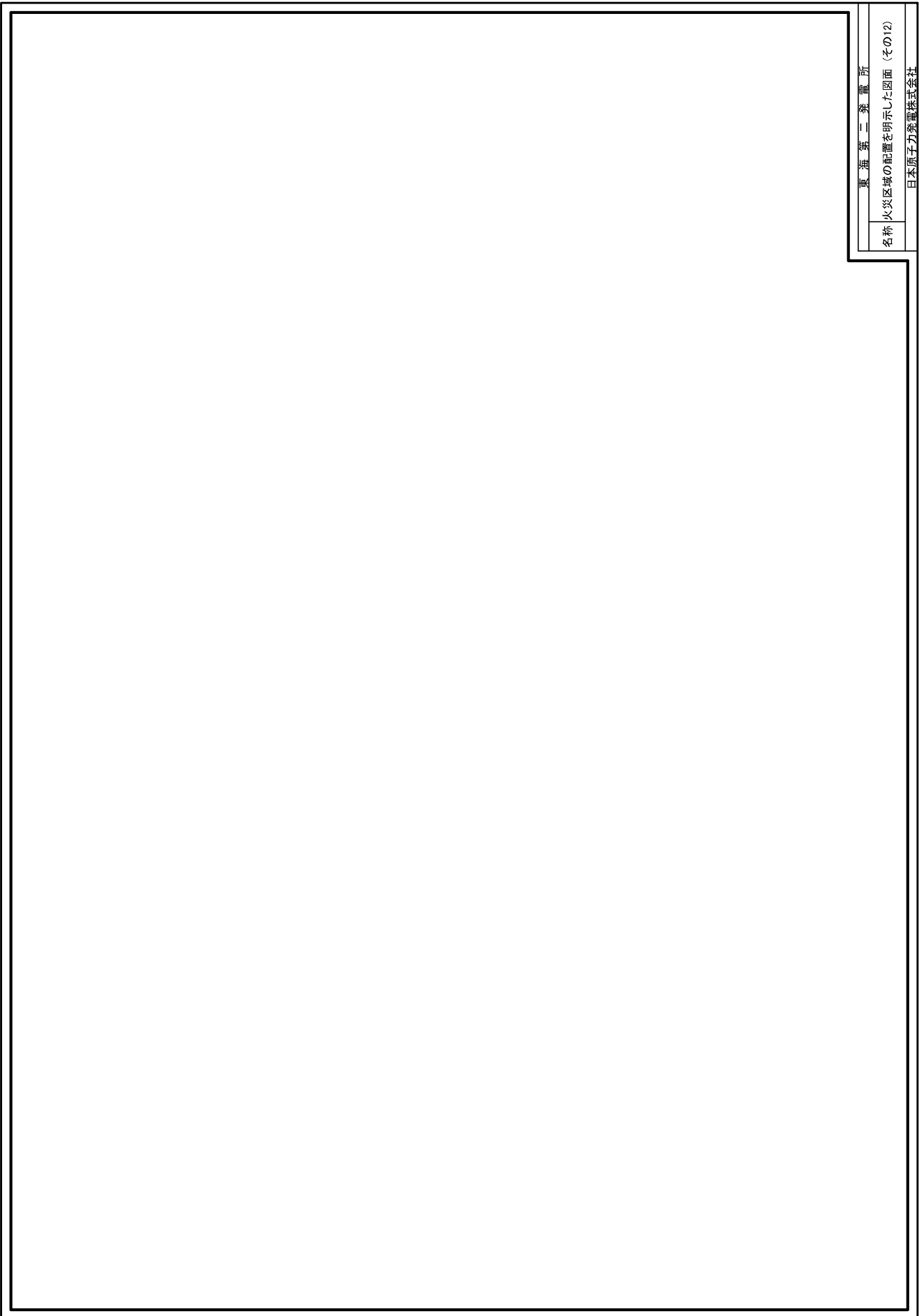
日本原子力発電株式会社



東海第二発電所

名称 火災区域の配置を明示した図面（その11）

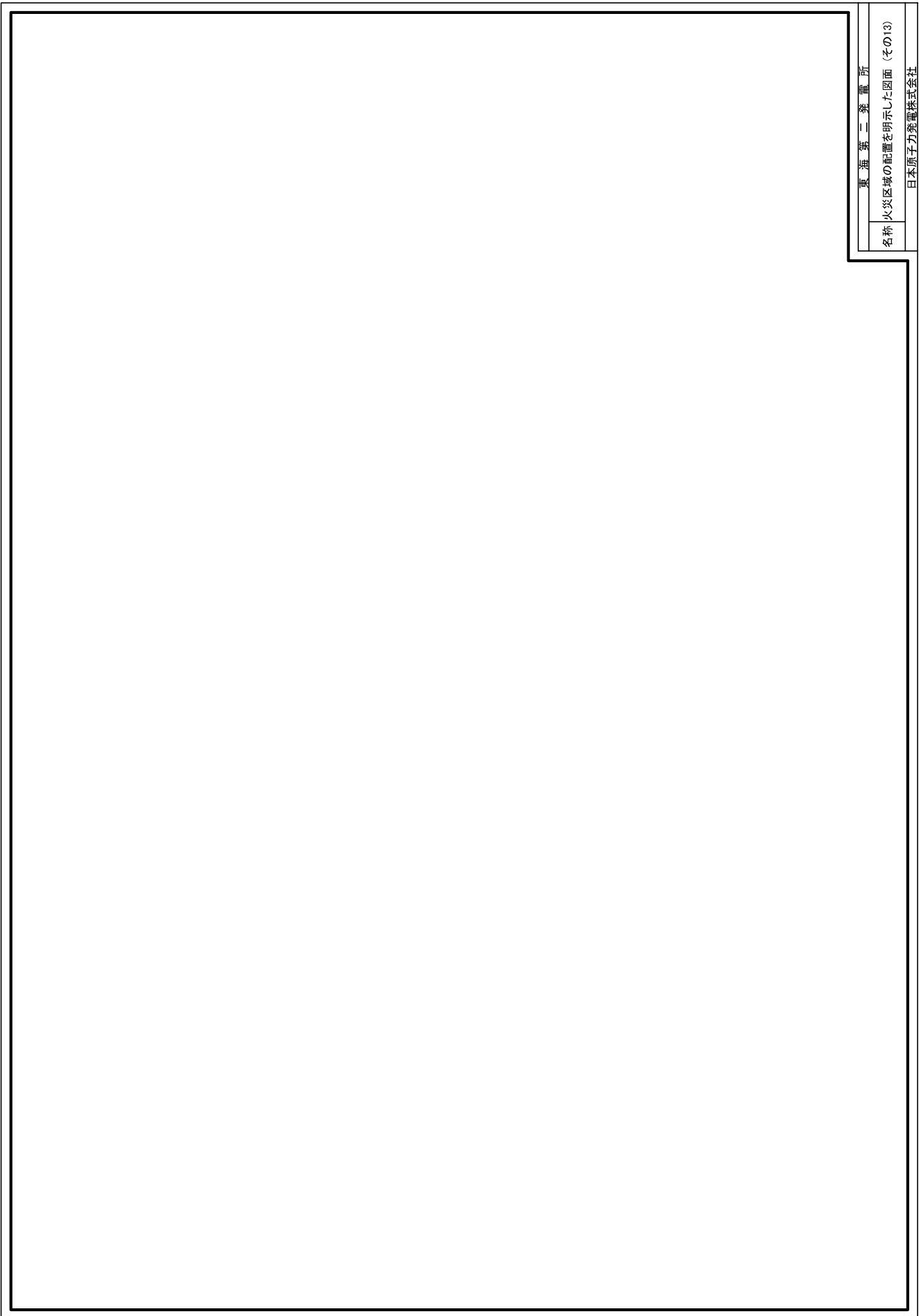
日本原子力発電株式会社



東海第二発電所

名称 火災区域の配置を明示した図面（その12）

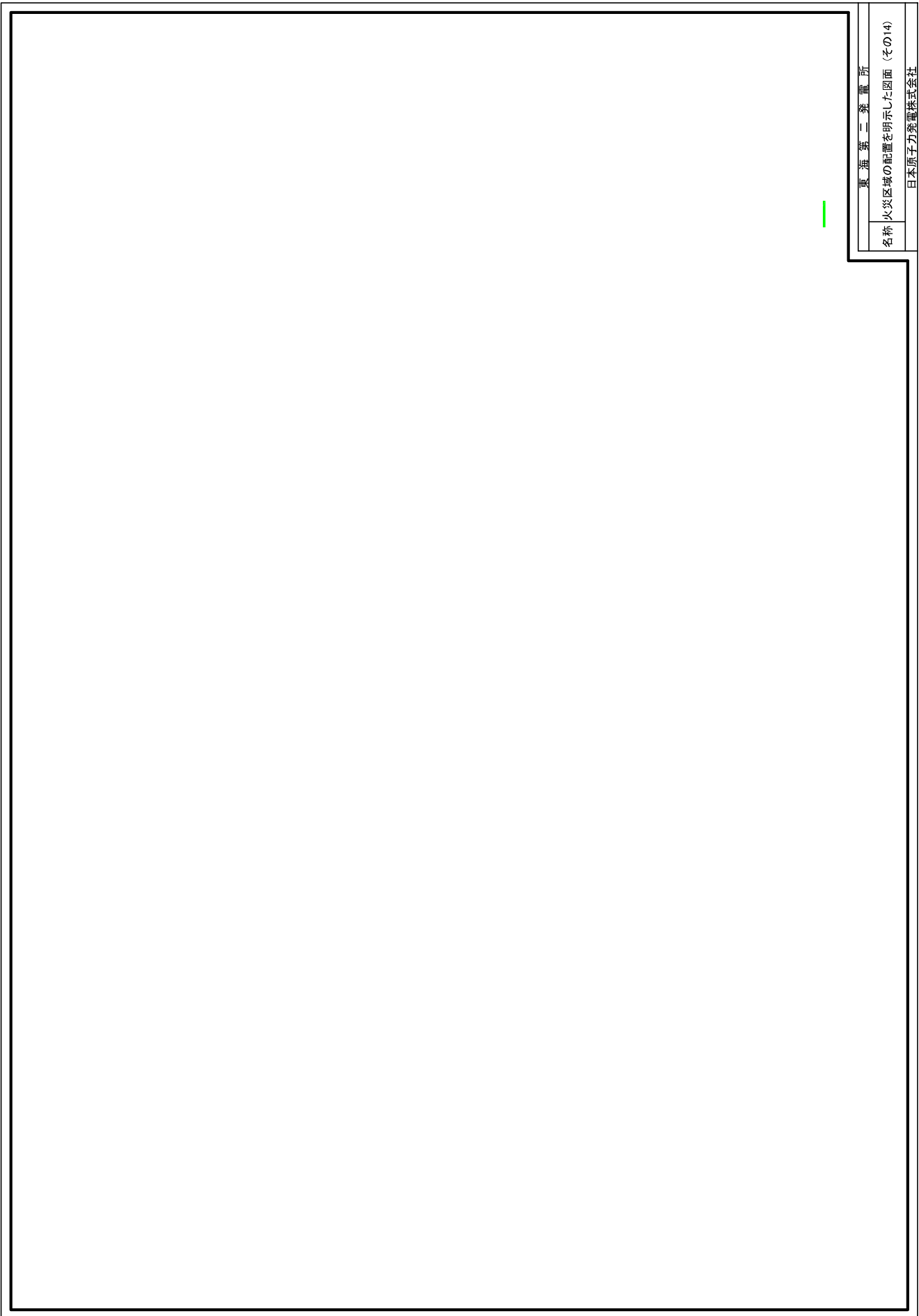
日本原子力発電株式会社



東海第二発電所

名称 火災区域の配置を明示した図面（その13）

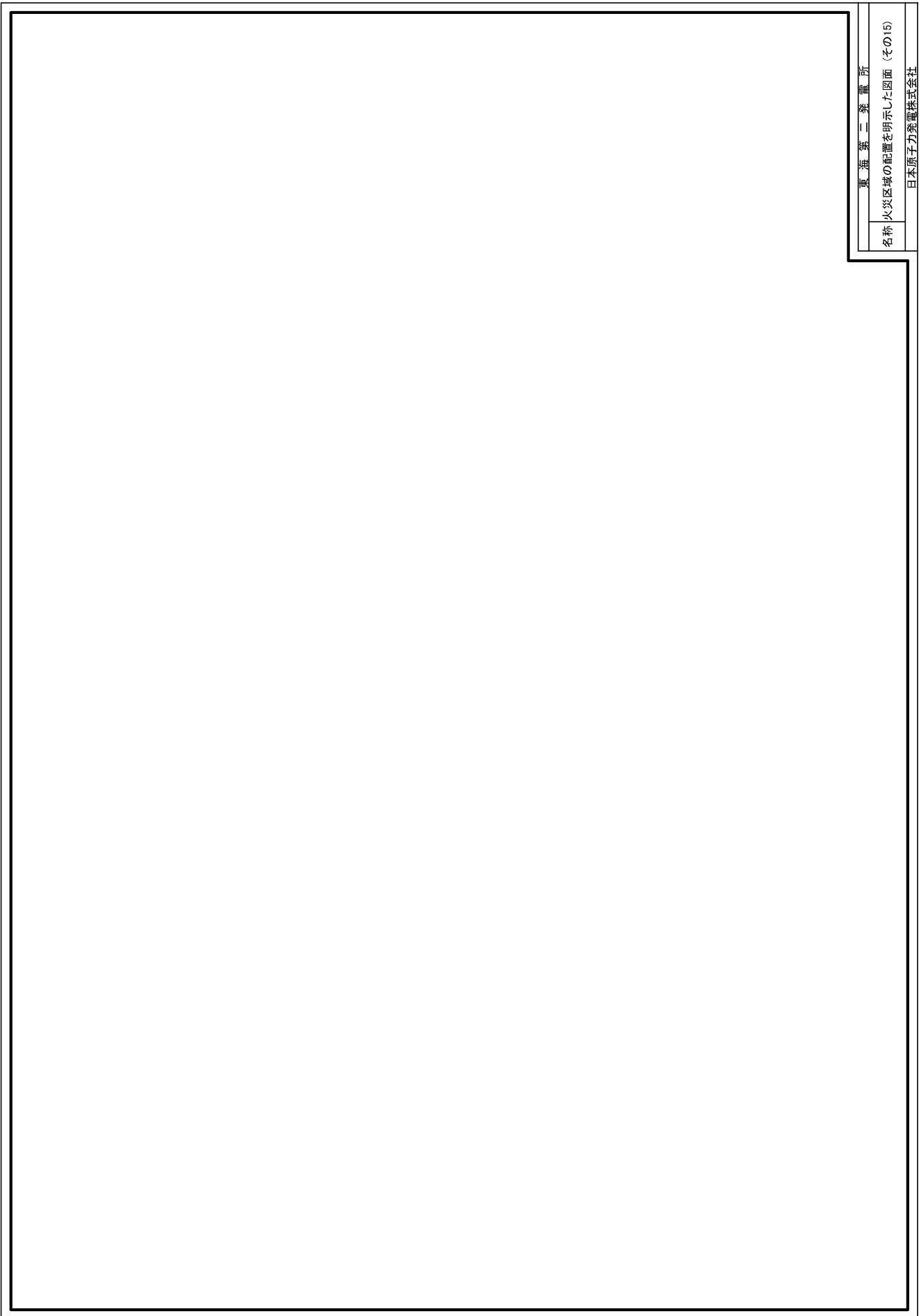
日本原子力発電株式会社



東海第二発電所

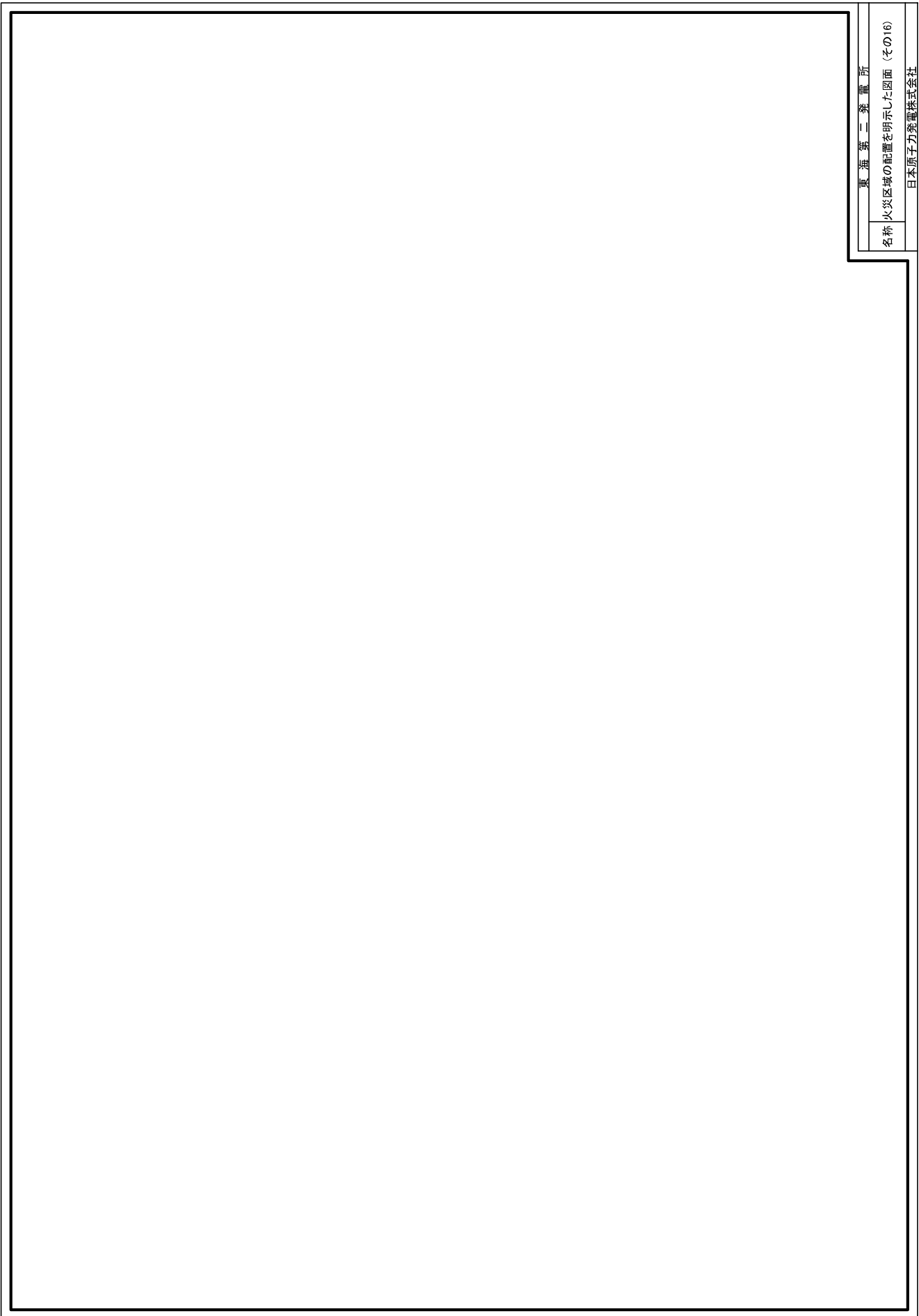
名称 火災区域の配置を明示した図面（その14）

日本原子力発電株式会社



東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面（その15）

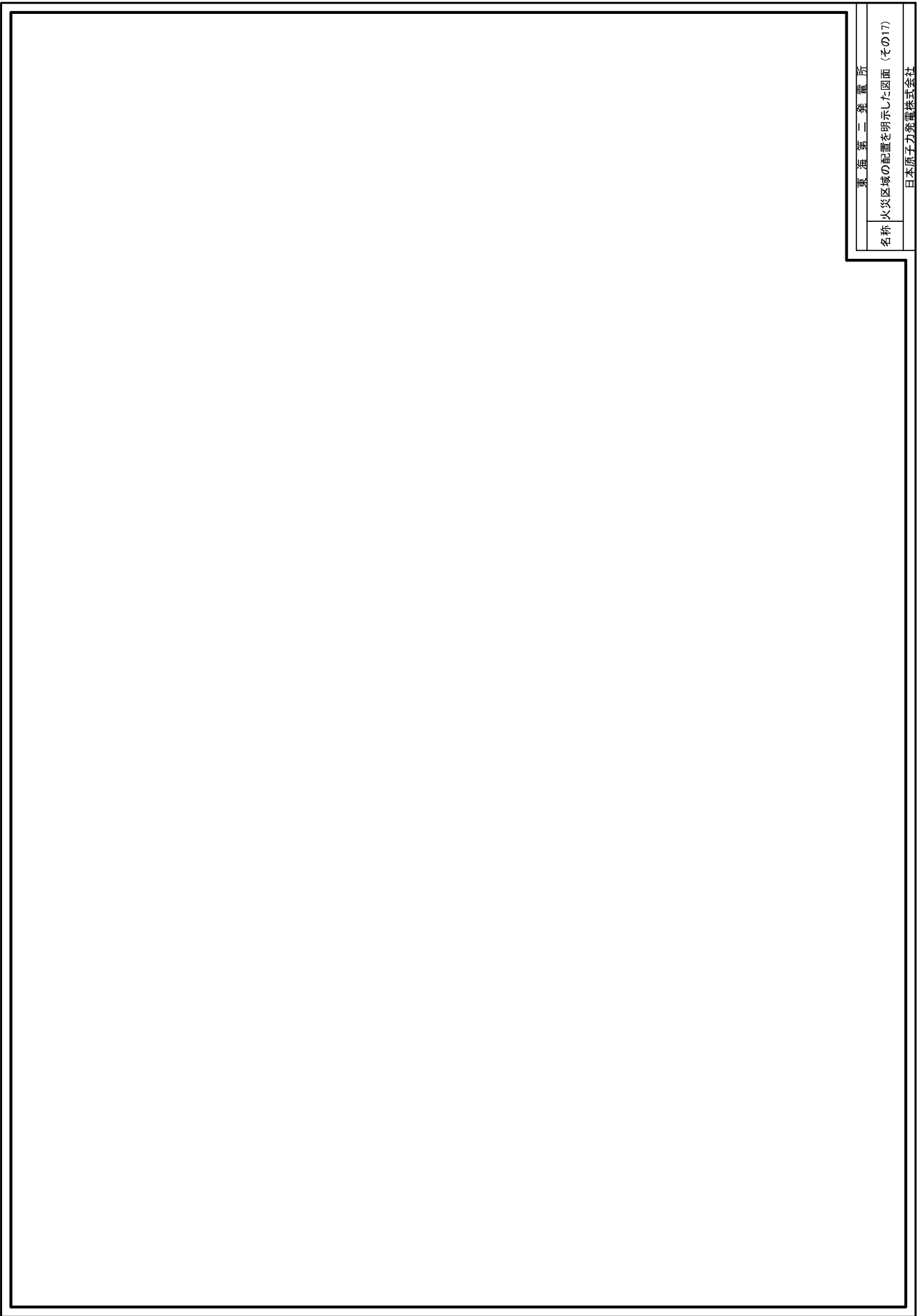
日本原子力発電株式会社



東海第二発電所

名称 火災区域の配置を明示した図面（その16）

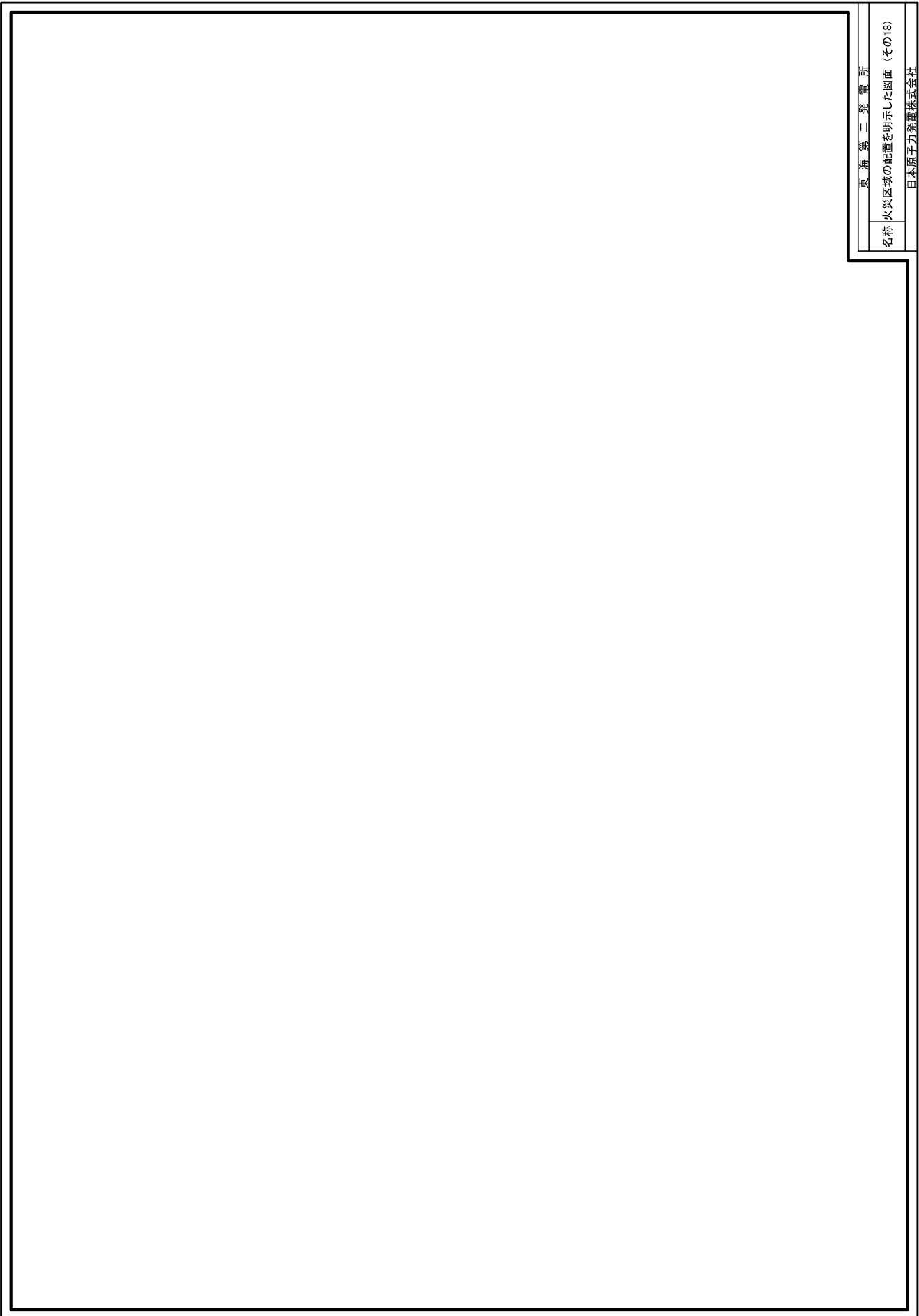
日本原子力発電株式会社



東海第二発電所

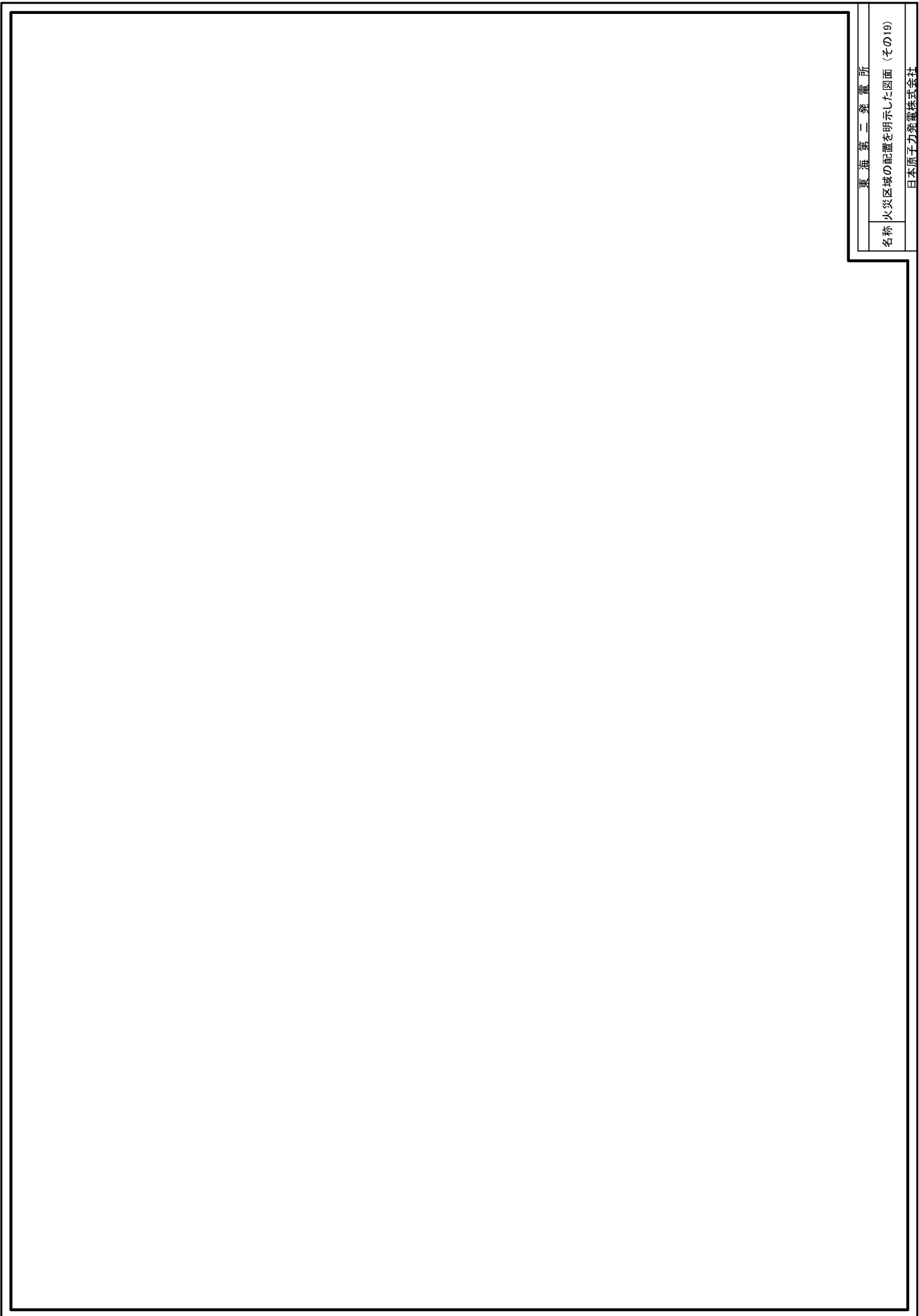
名称 火災区域の配置を明示した図面（その17）

日本原子力発電株式会社



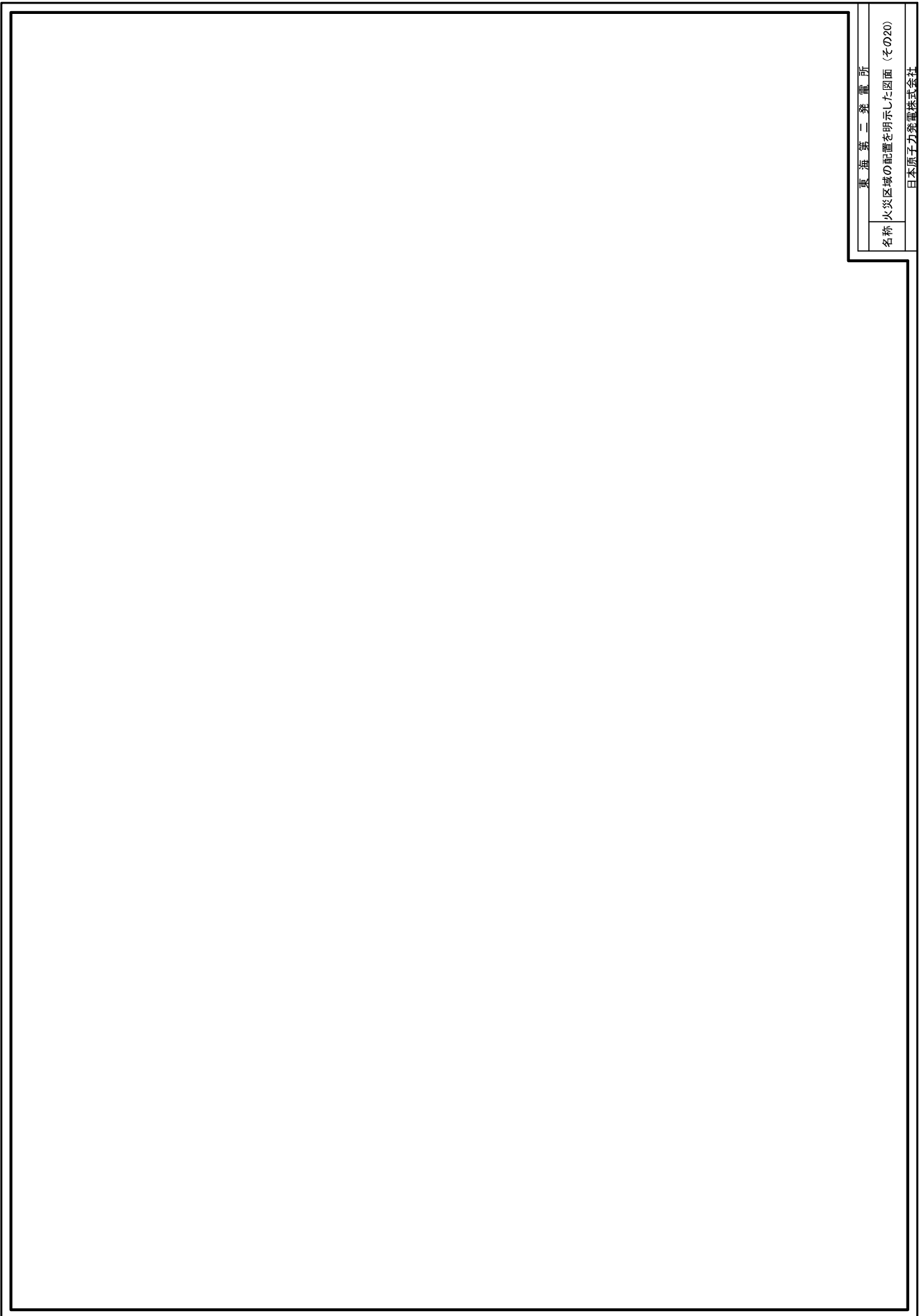
東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面（その18）

日本原子力発電株式会社



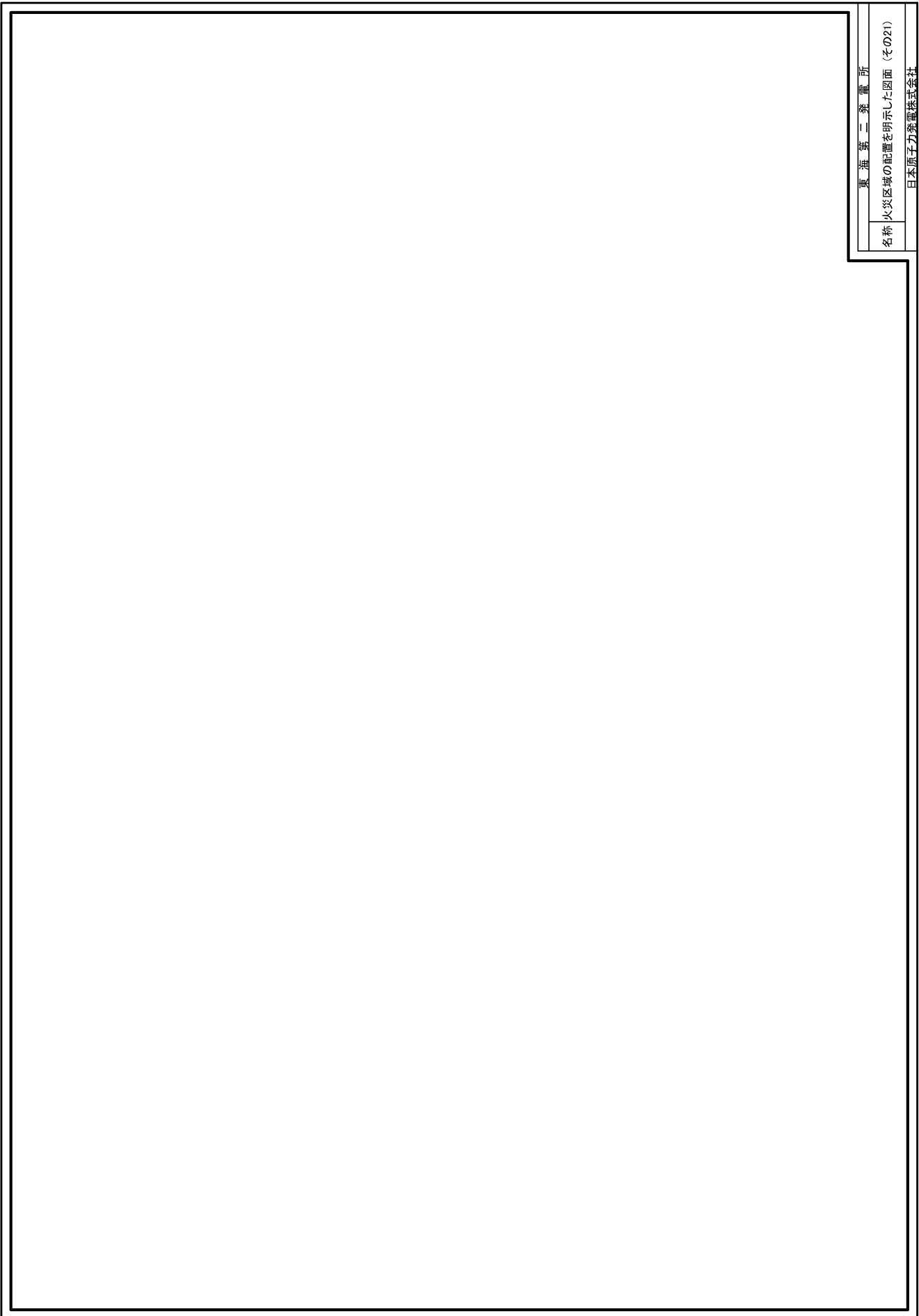
東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面（その19）

日本原子力発電株式会社



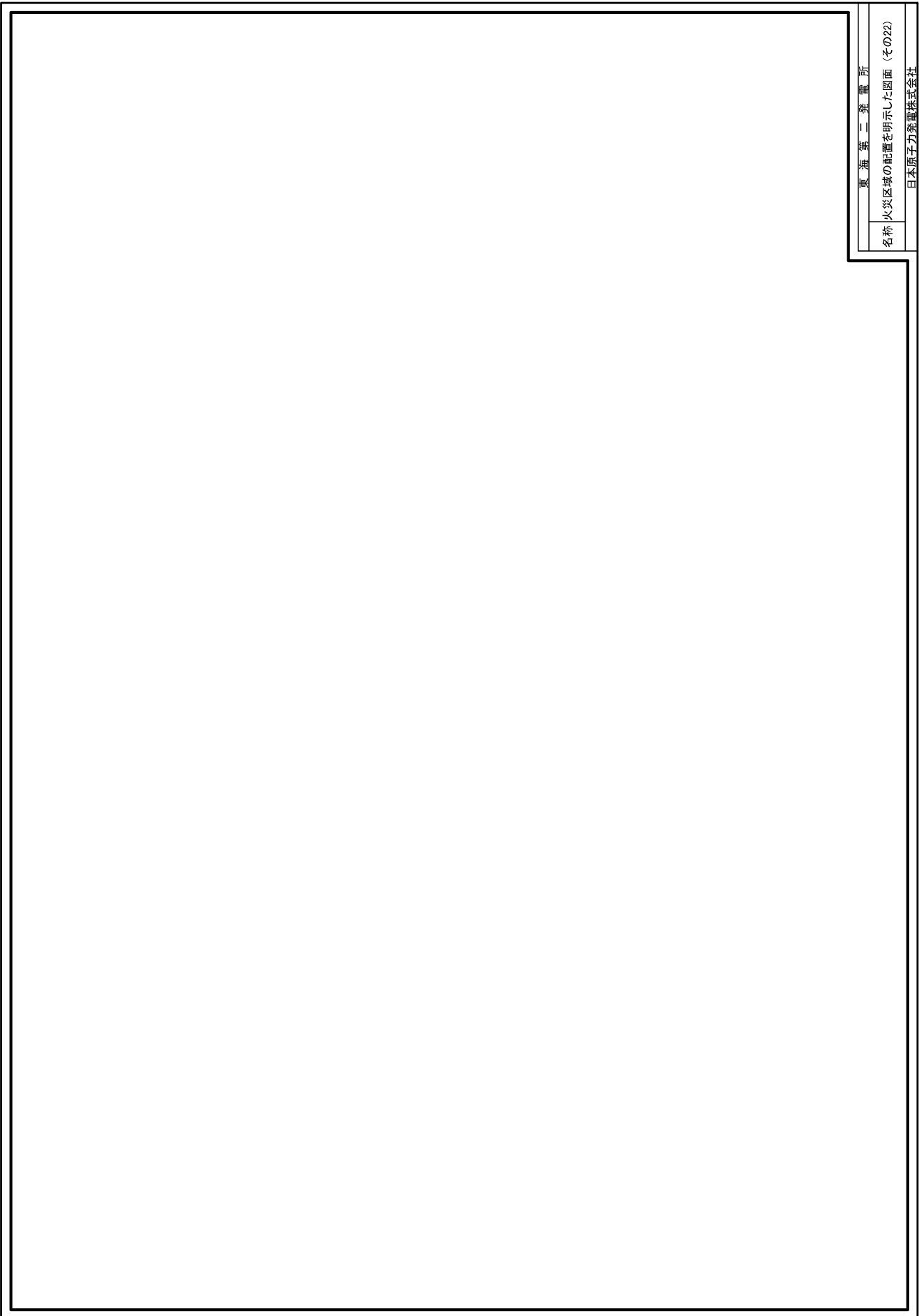
東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面（その20）

日本原子力発電株式会社



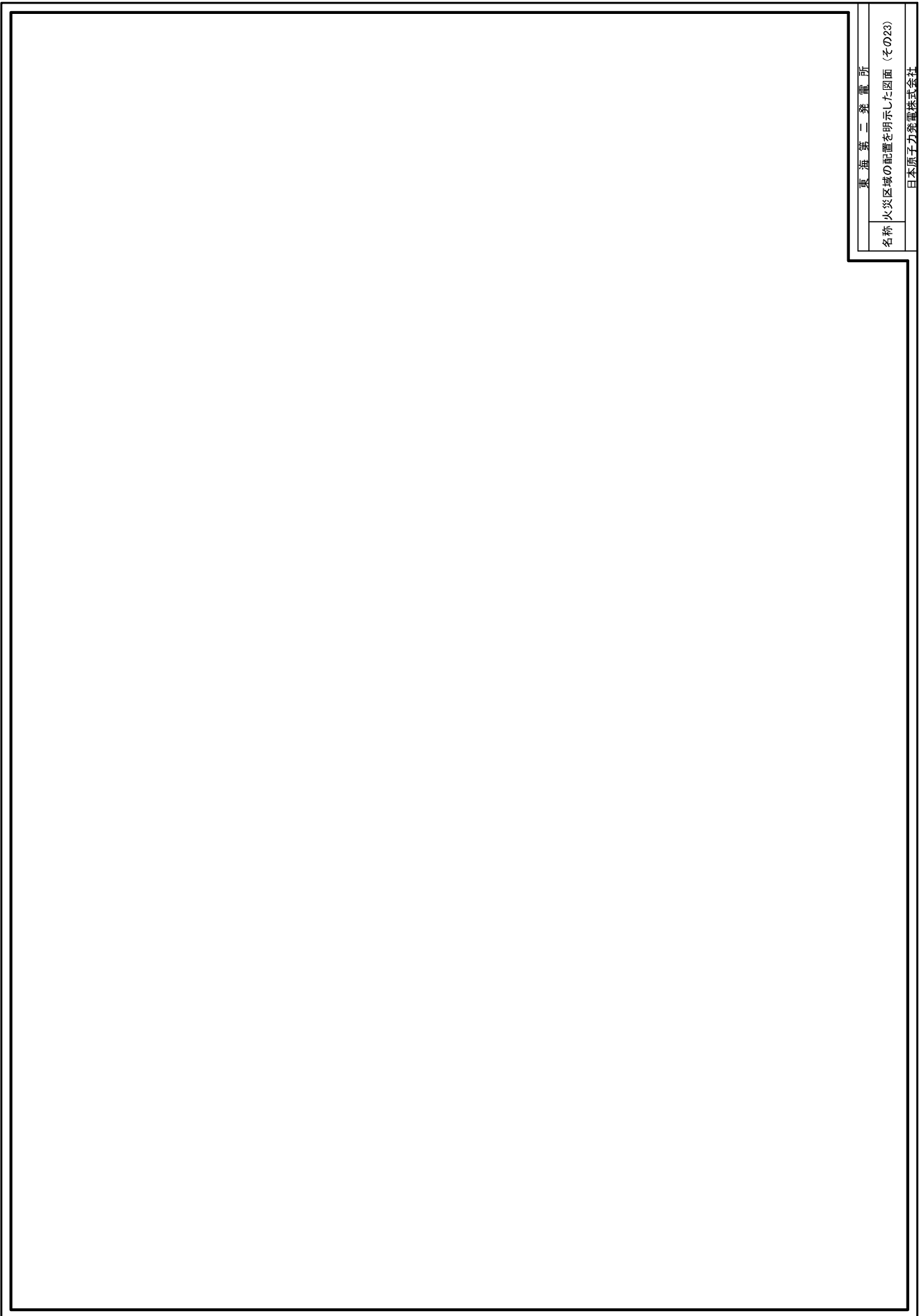
東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面（その21）

日本原子力発電株式会社



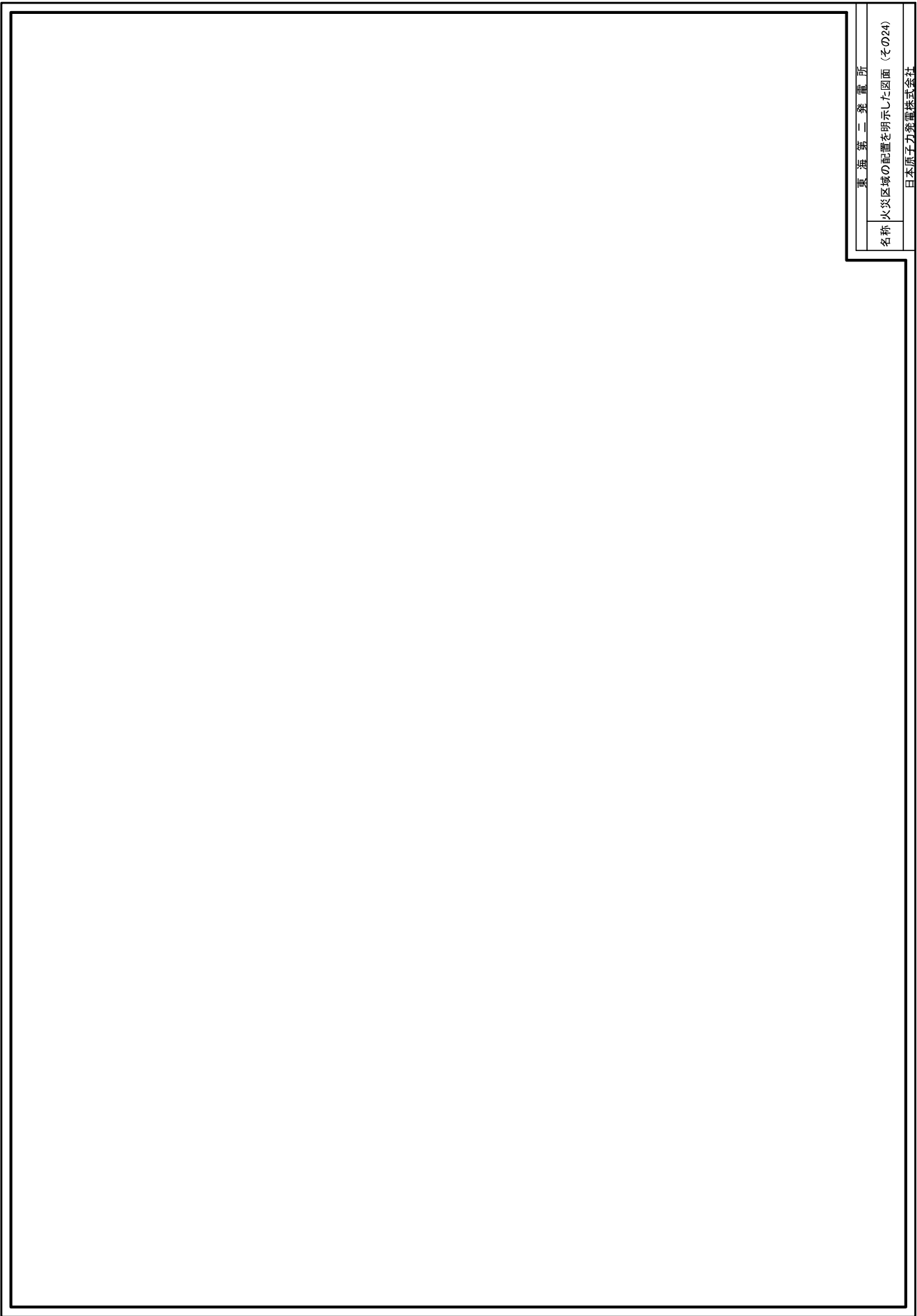
東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面（その22）

日本原子力発電株式会社



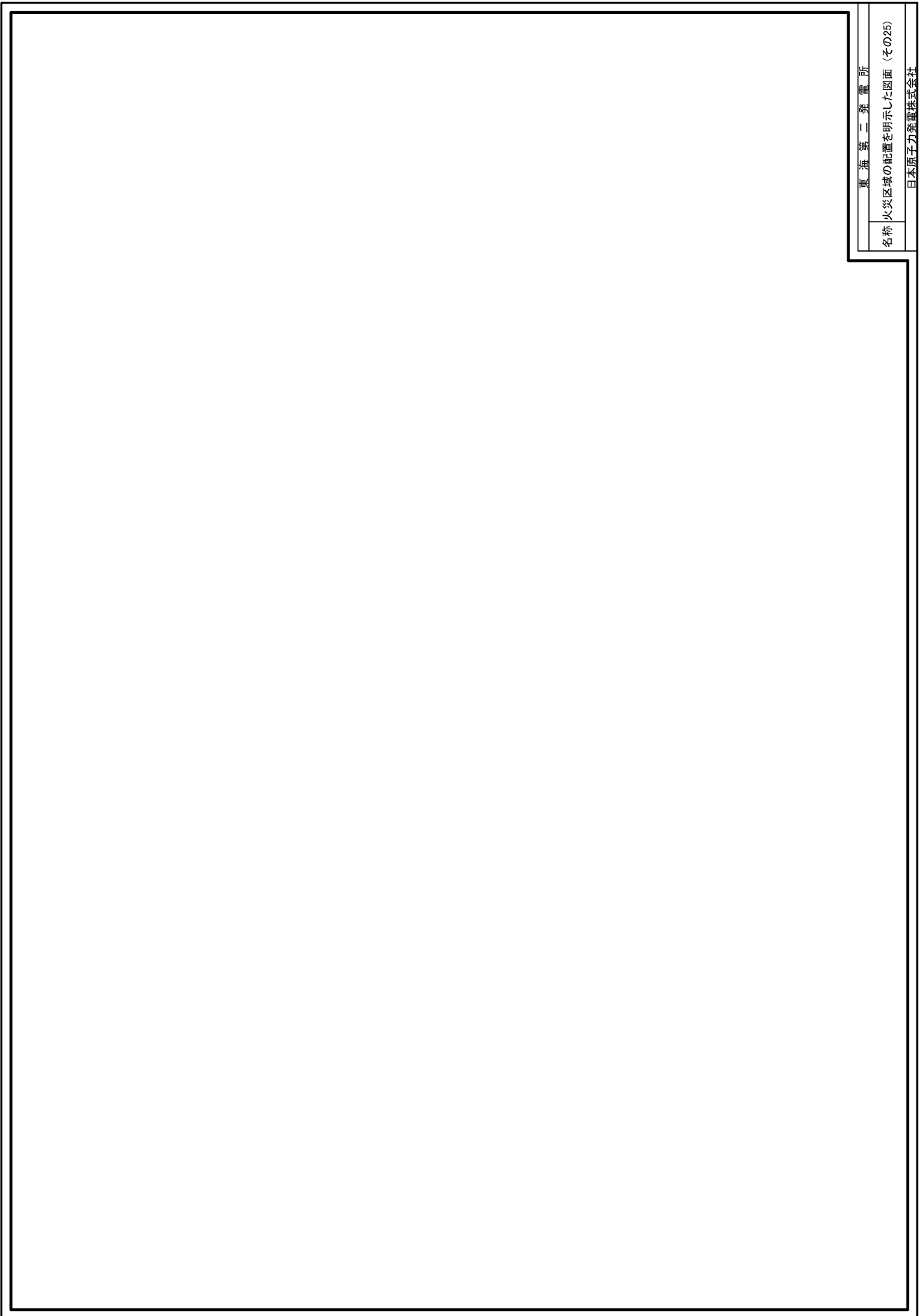
東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面（その23）

日本原子力発電株式会社



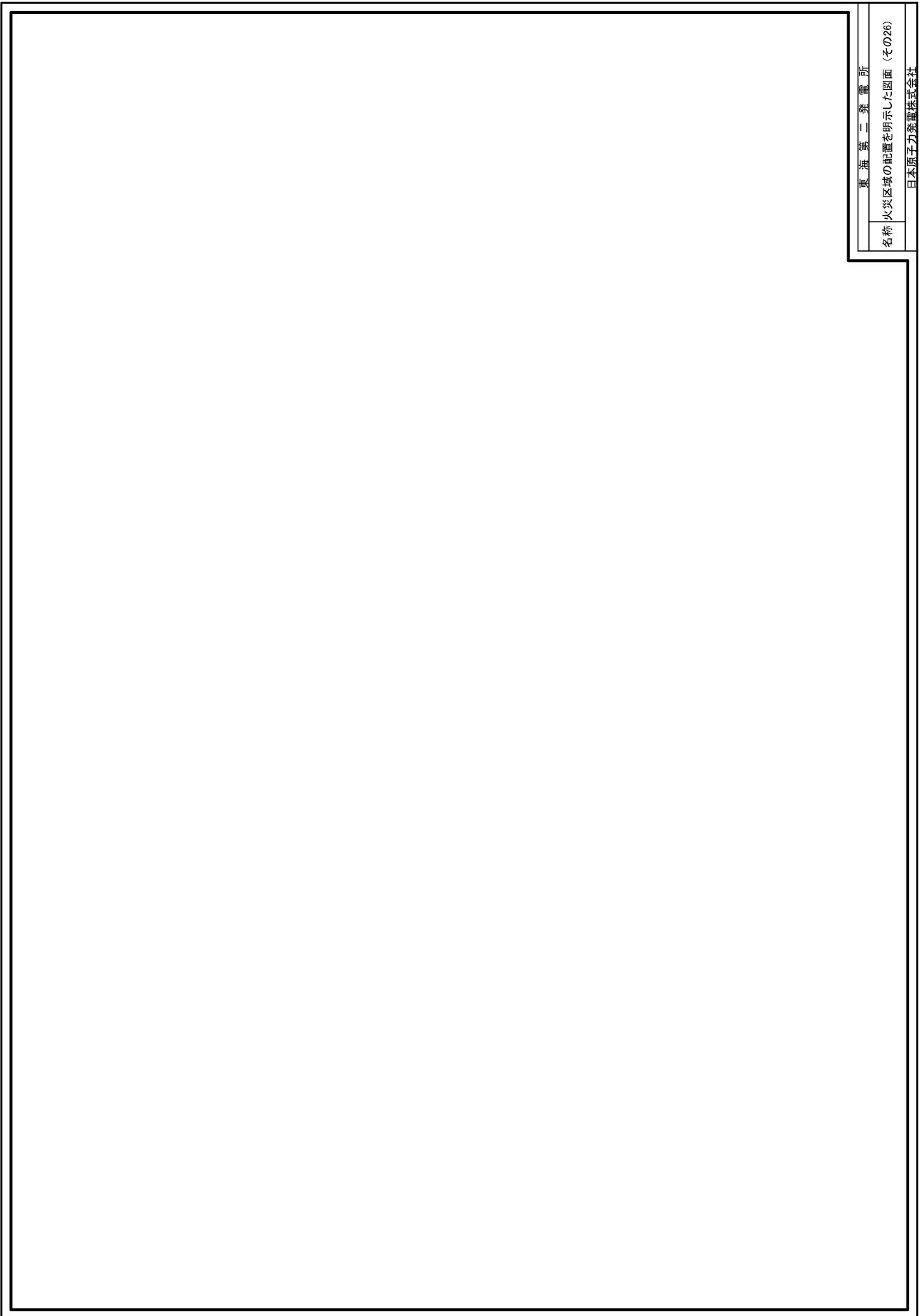
東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面（その24）

日本原子力発電株式会社



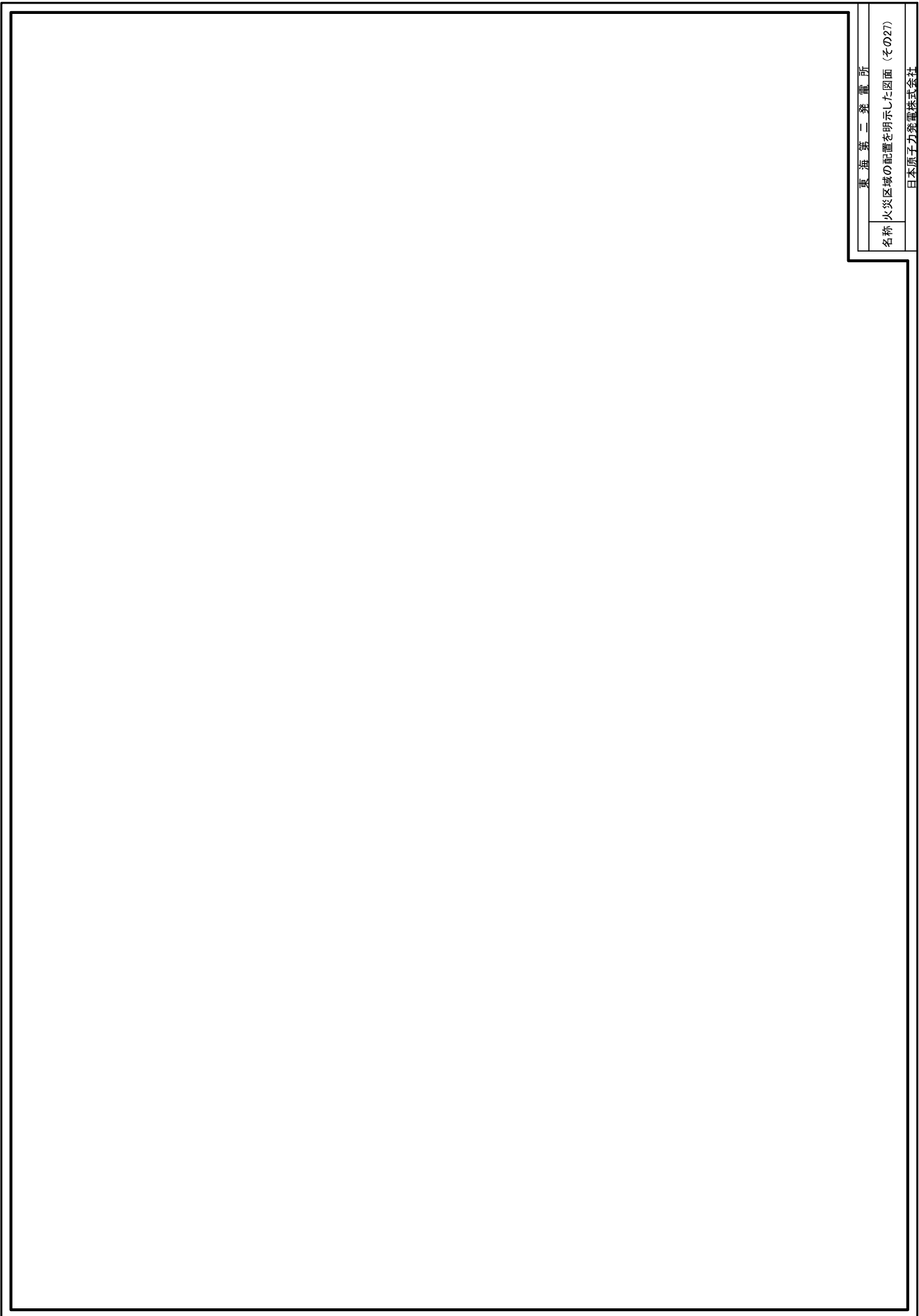
東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面（その25）

日本原子力発電株式会社



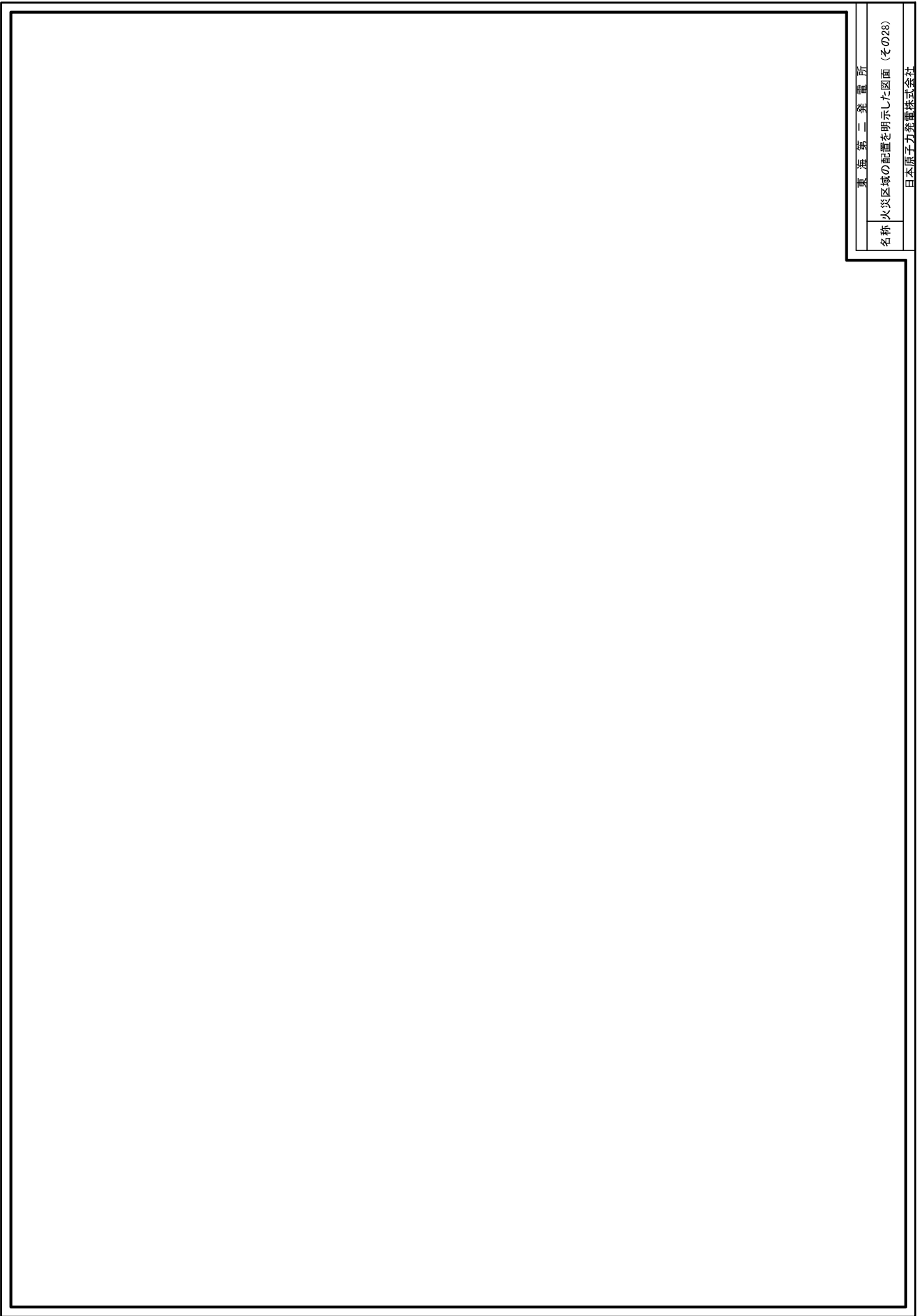
東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面（その26）

日本原子力発電株式会社



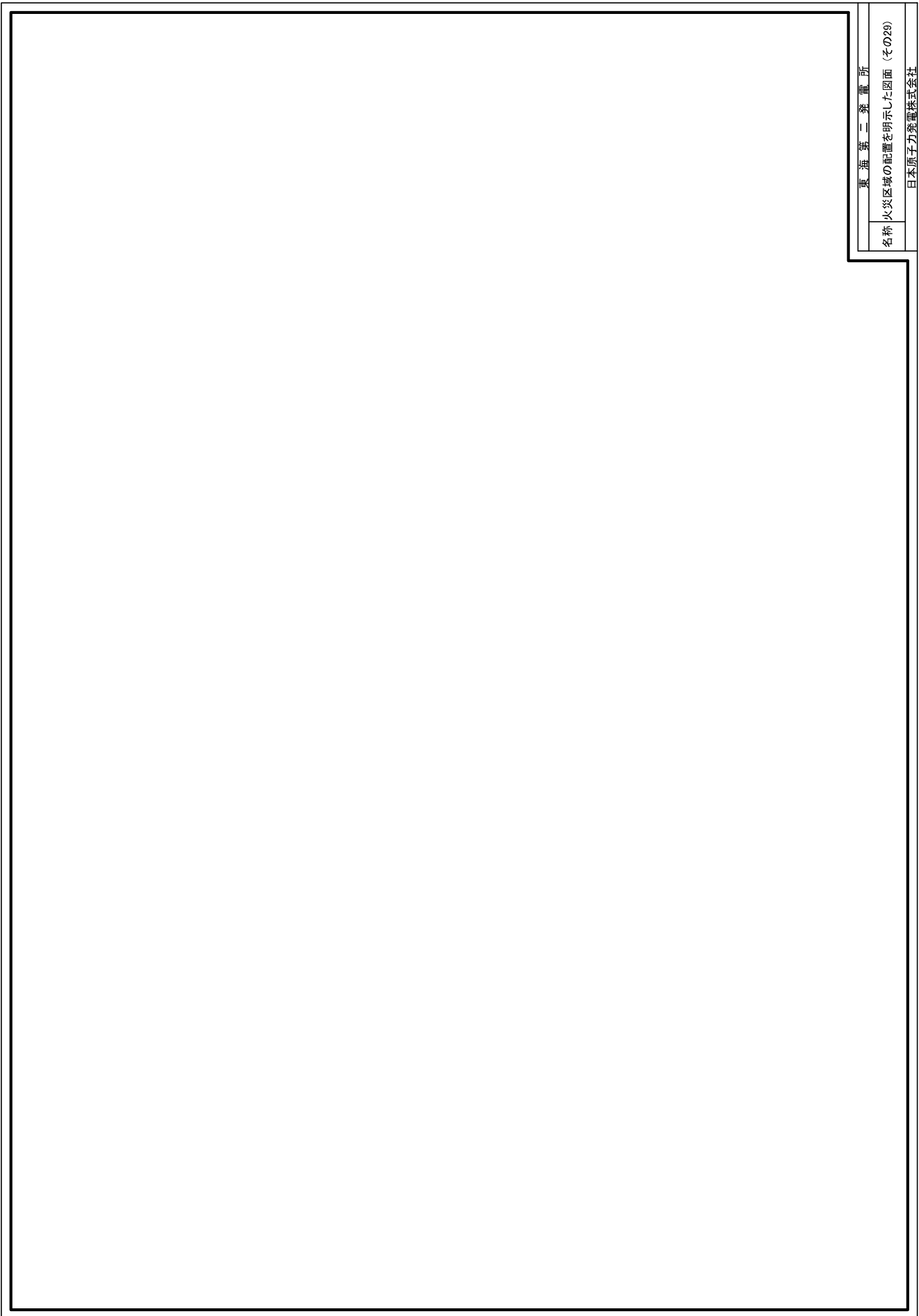
東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面（その27）

日本原子力発電株式会社



東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面（その28）

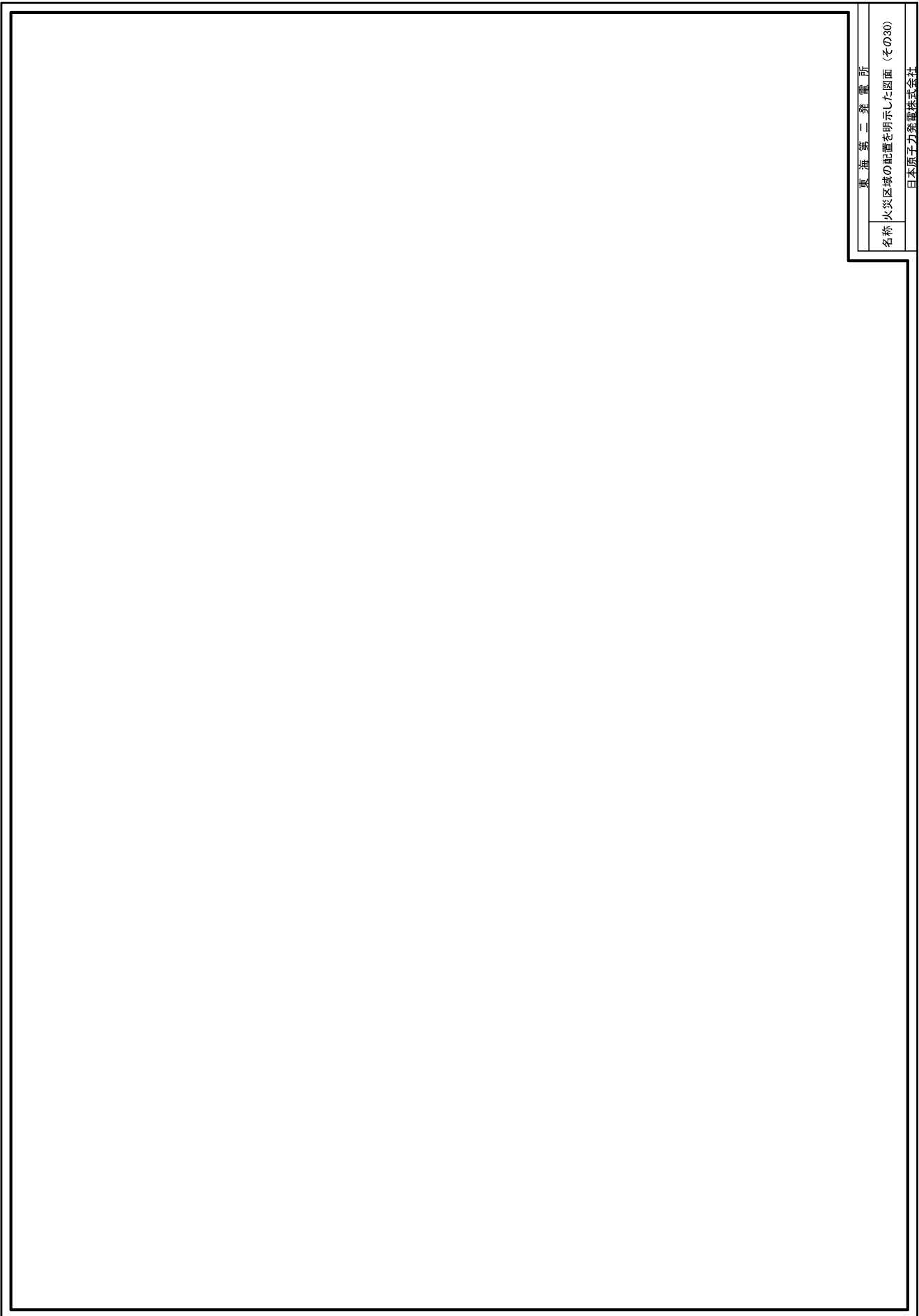
日本原子力発電株式会社



東海第二発電所

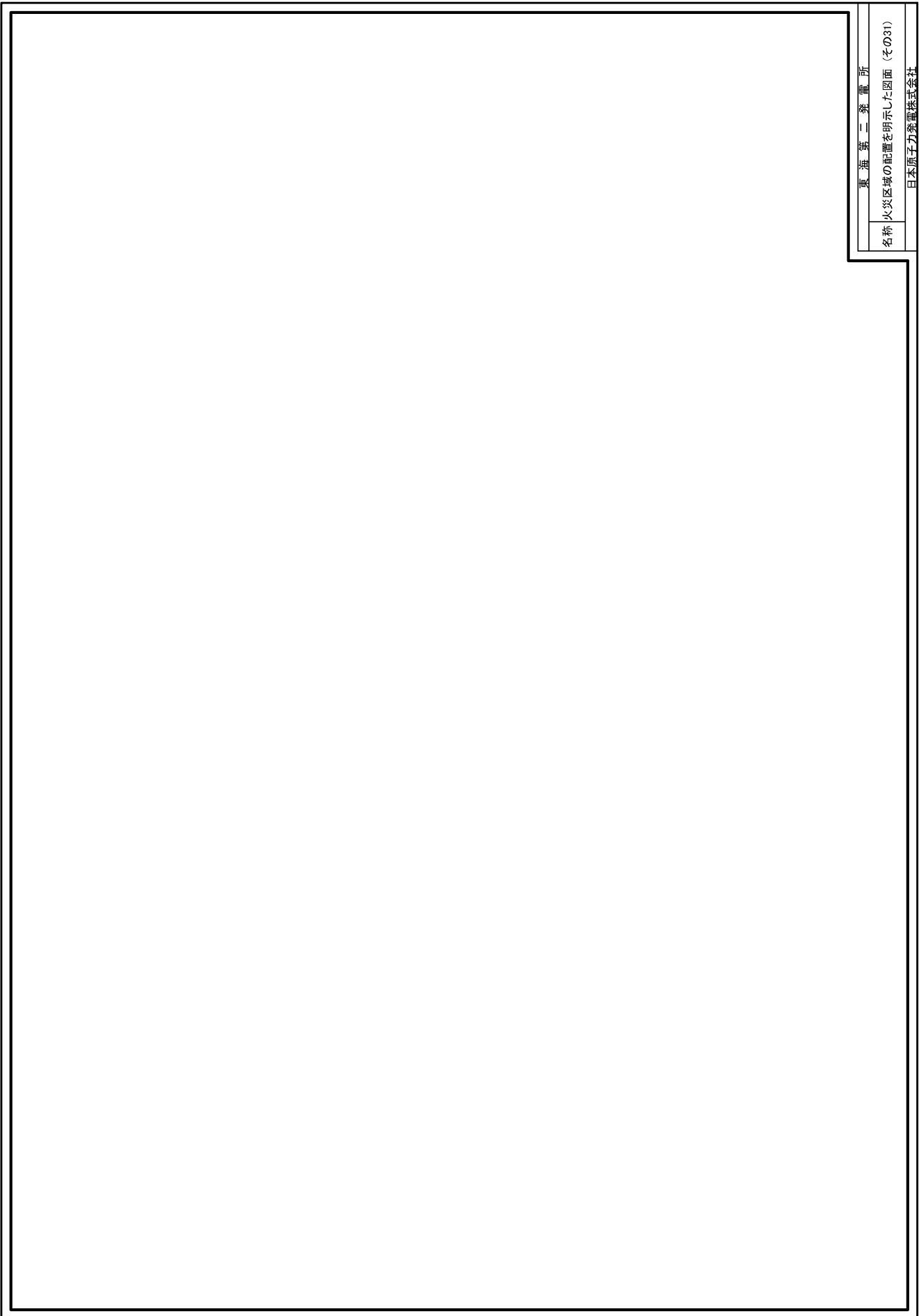
名称 火災区域の配置を明示した図面（その29）

日本原子力発電株式会社



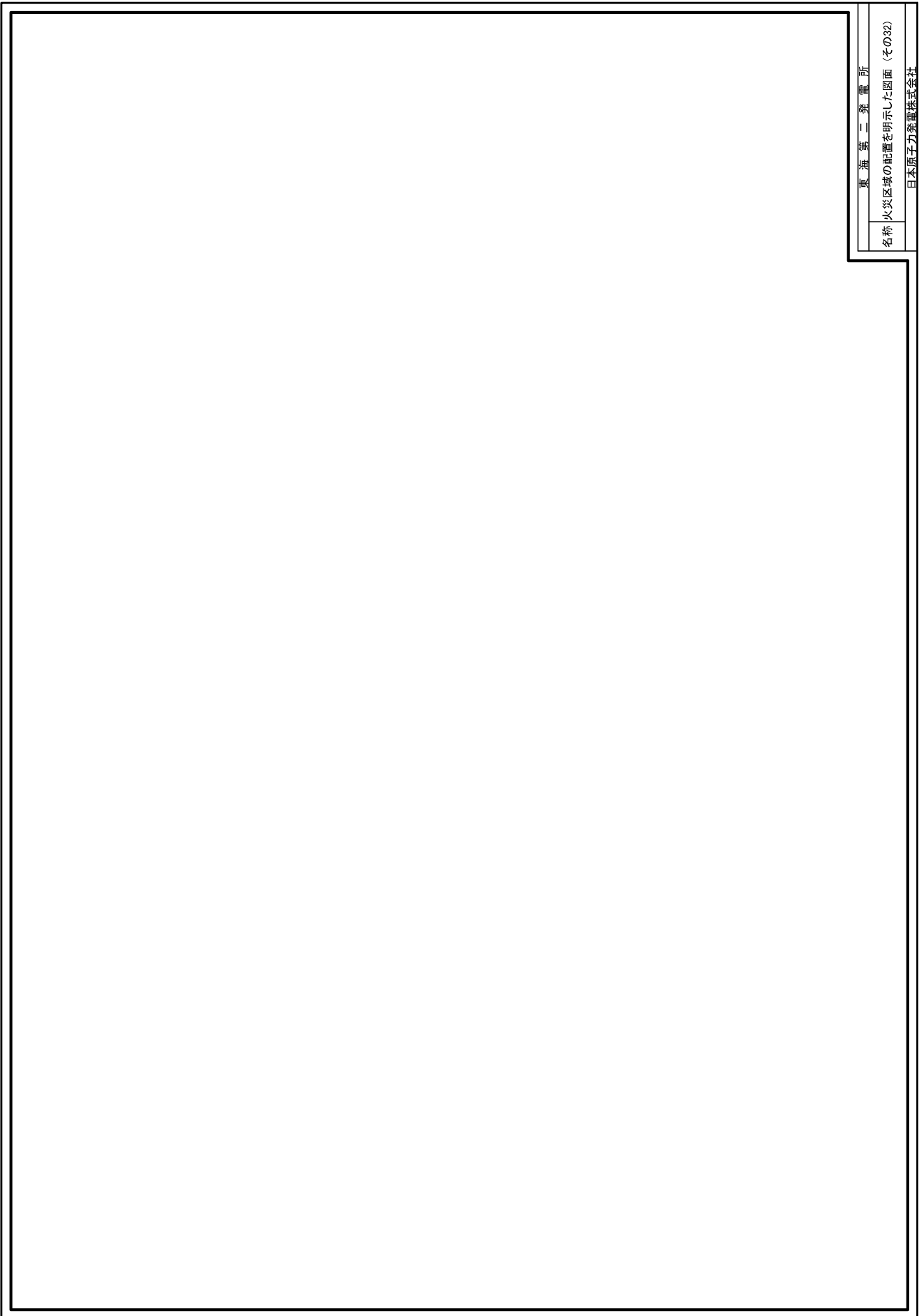
東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面（その30）

日本原子力発電株式会社



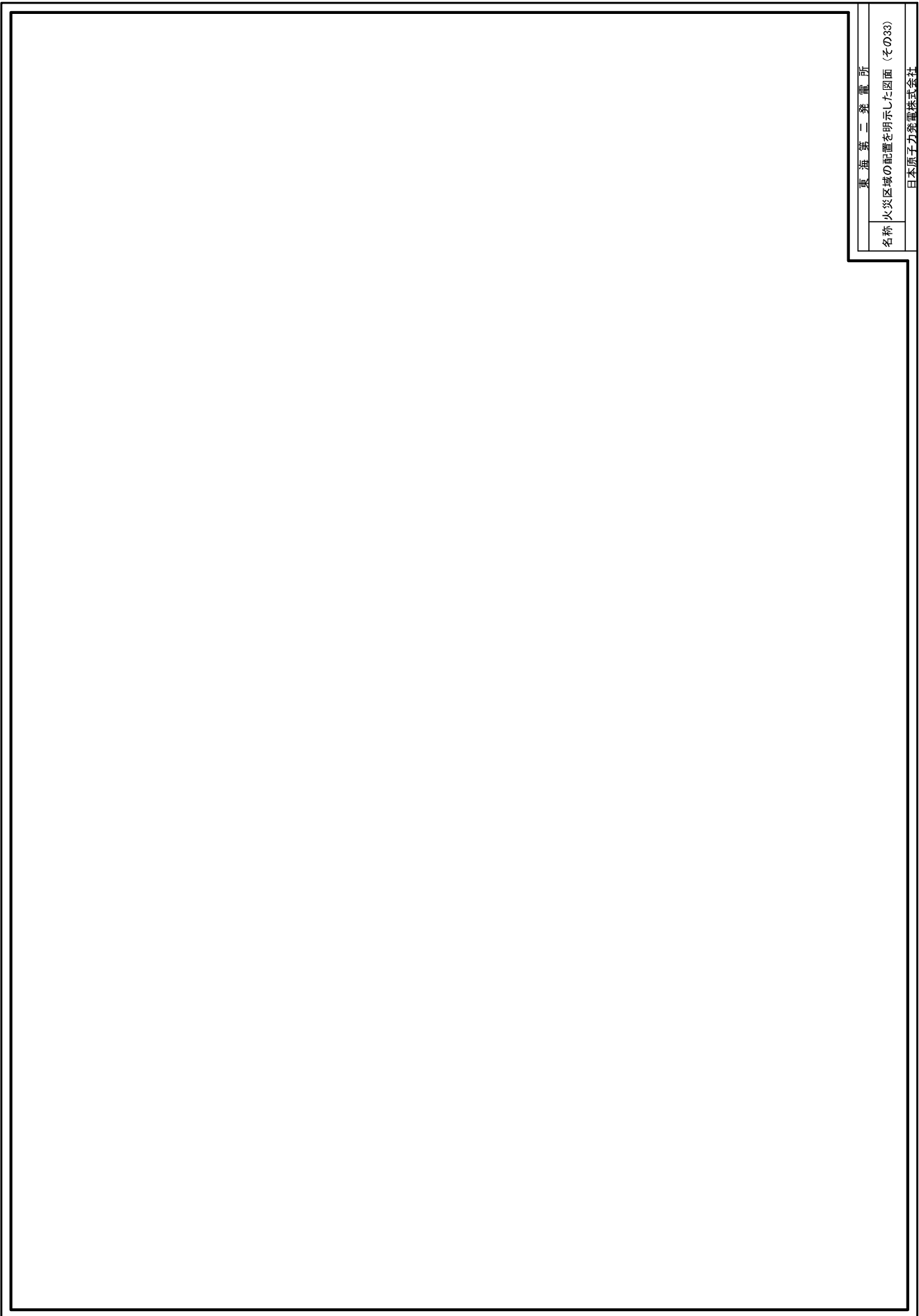
東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面（その31）

日本原子力発電株式会社



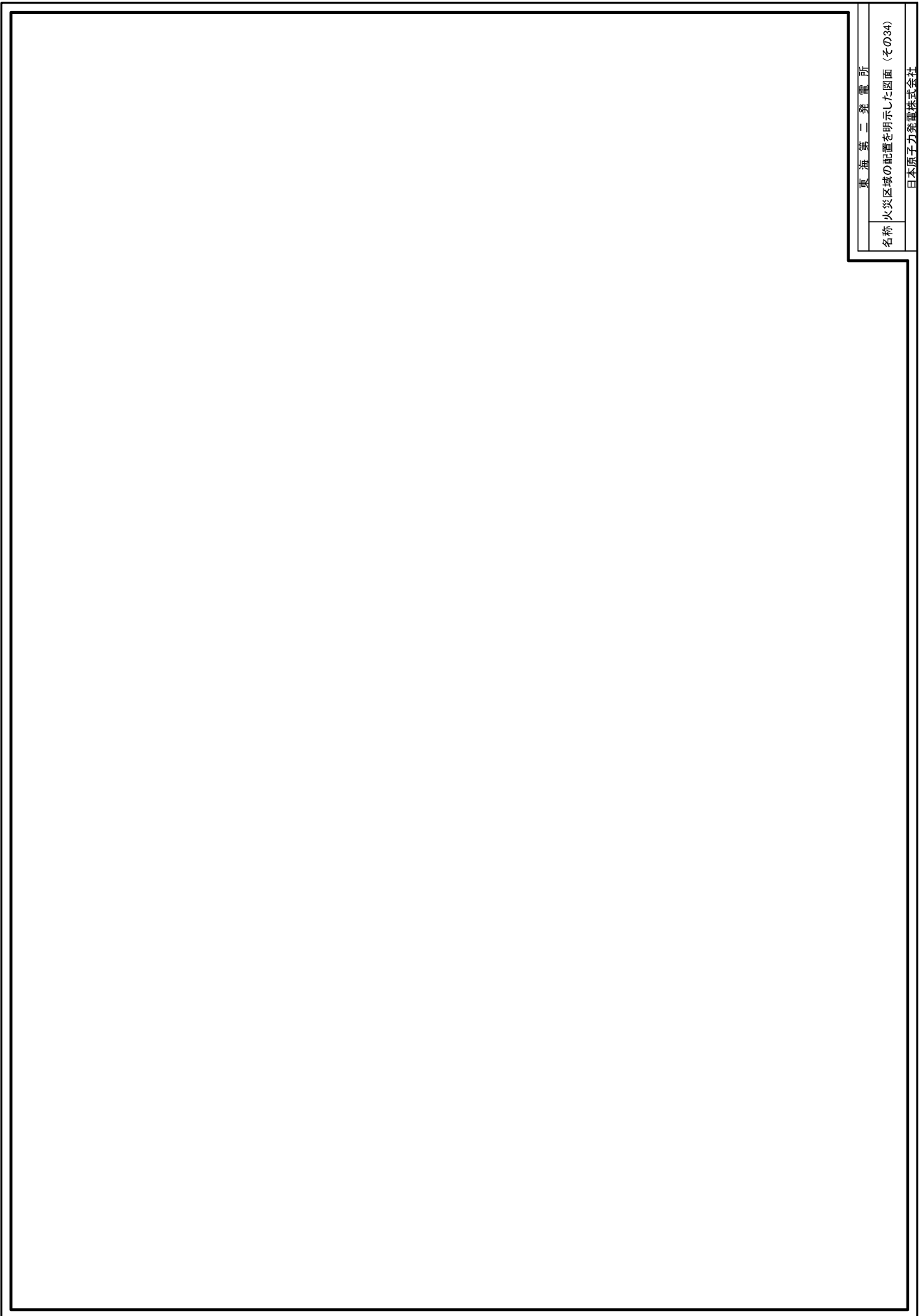
東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面（その32）

日本原子力発電株式会社



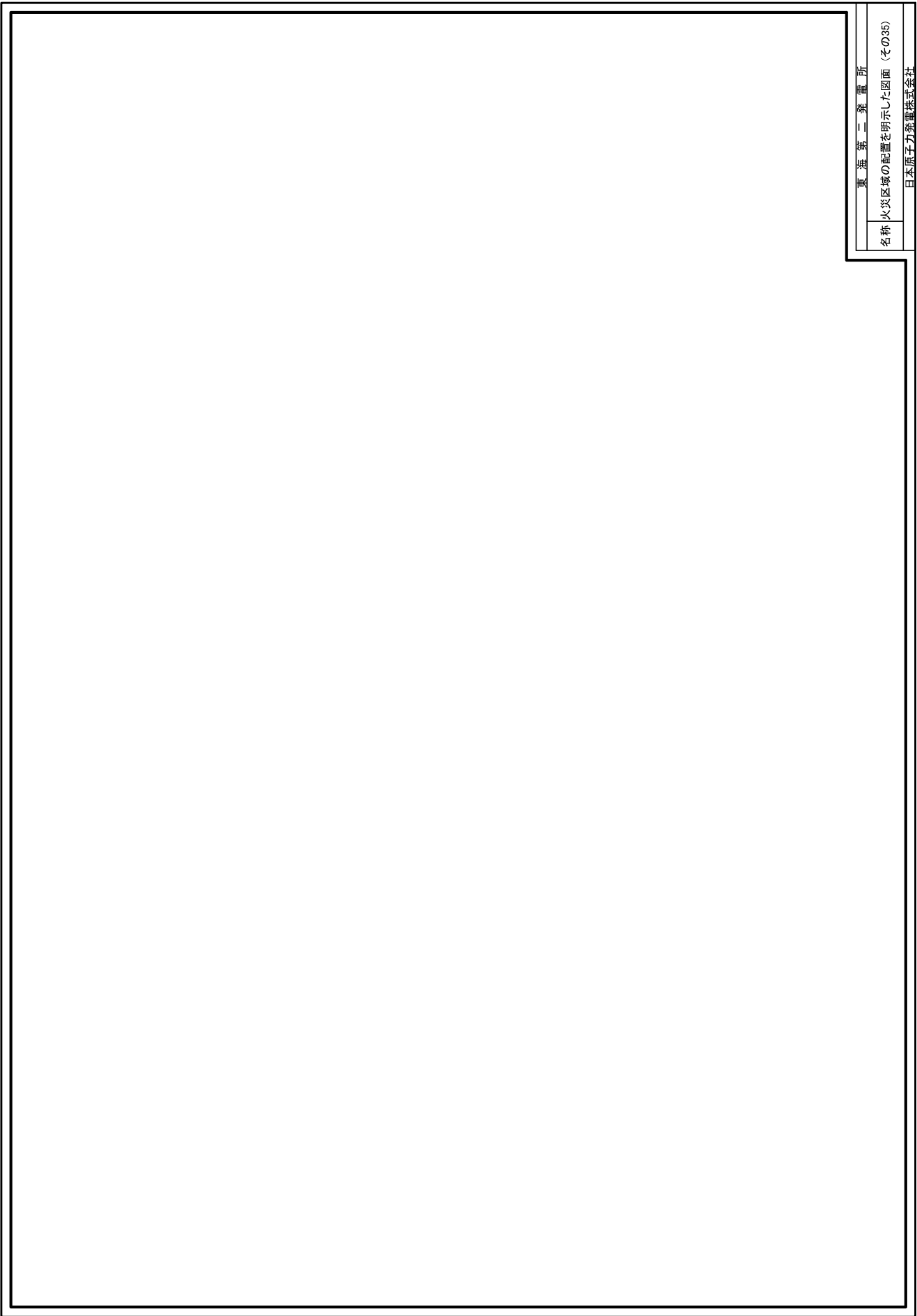
東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面（その33）

日本原子力発電株式会社



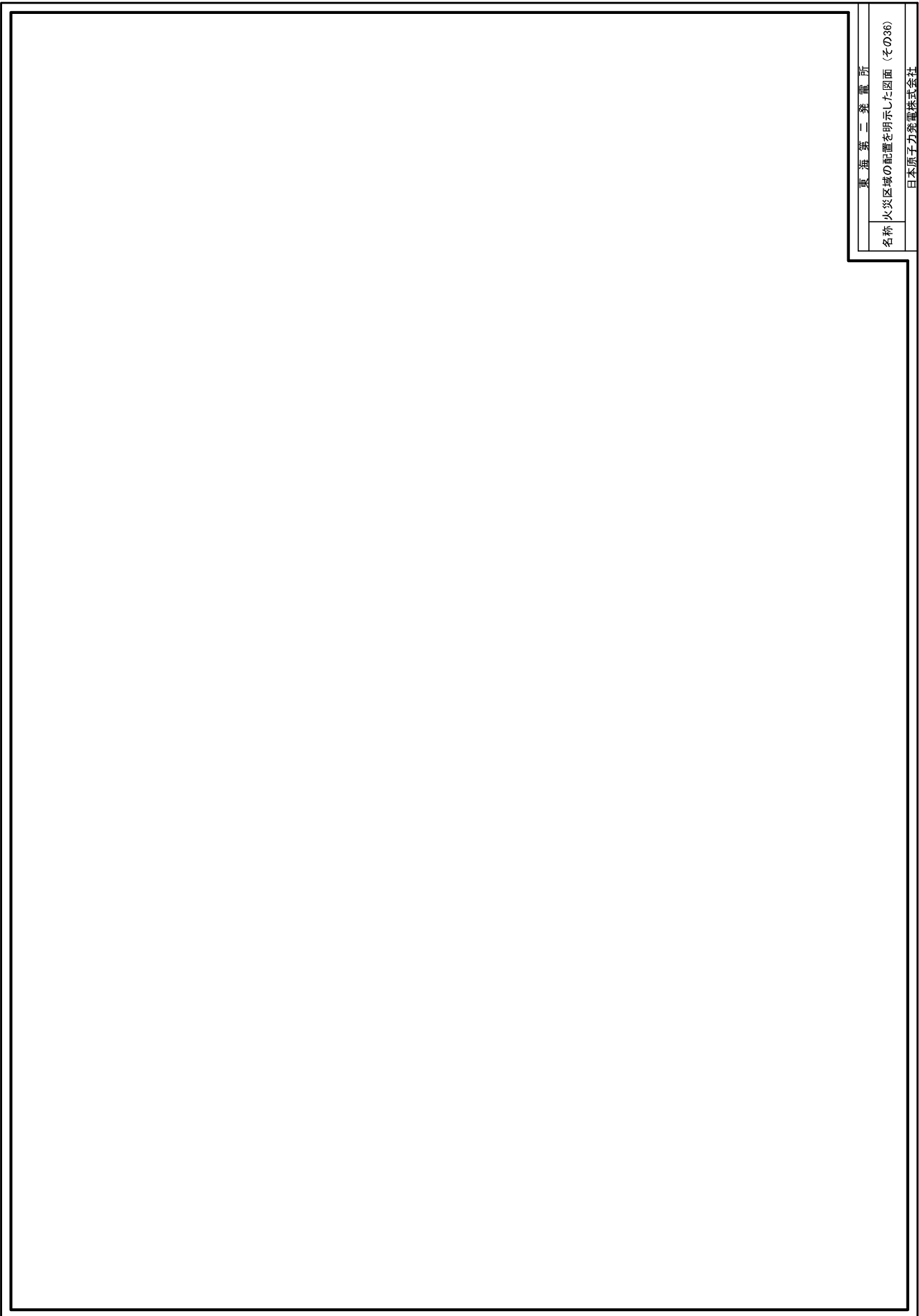
東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面（その34）

日本原子力発電株式会社



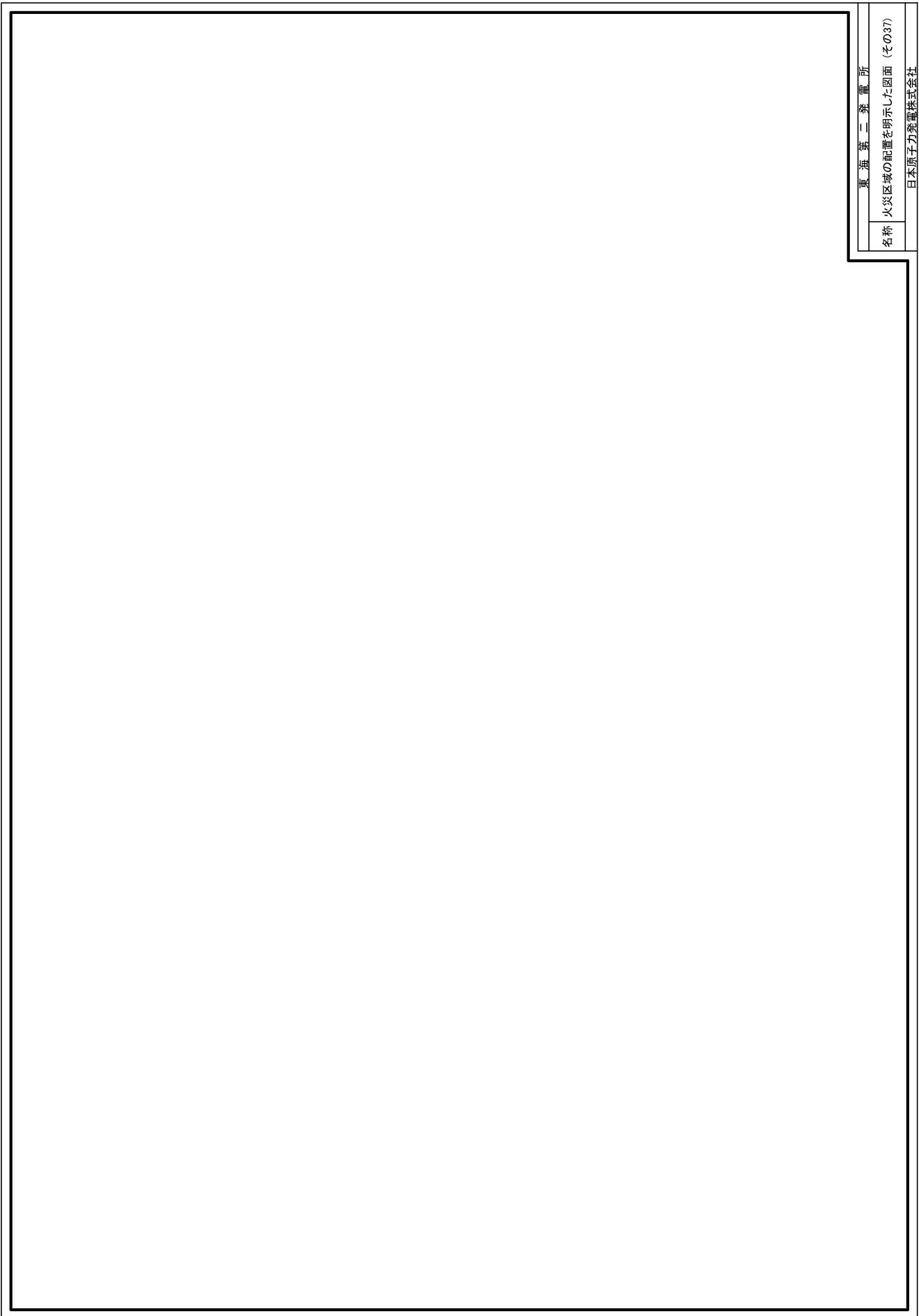
東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面（その35）

日本原子力発電株式会社



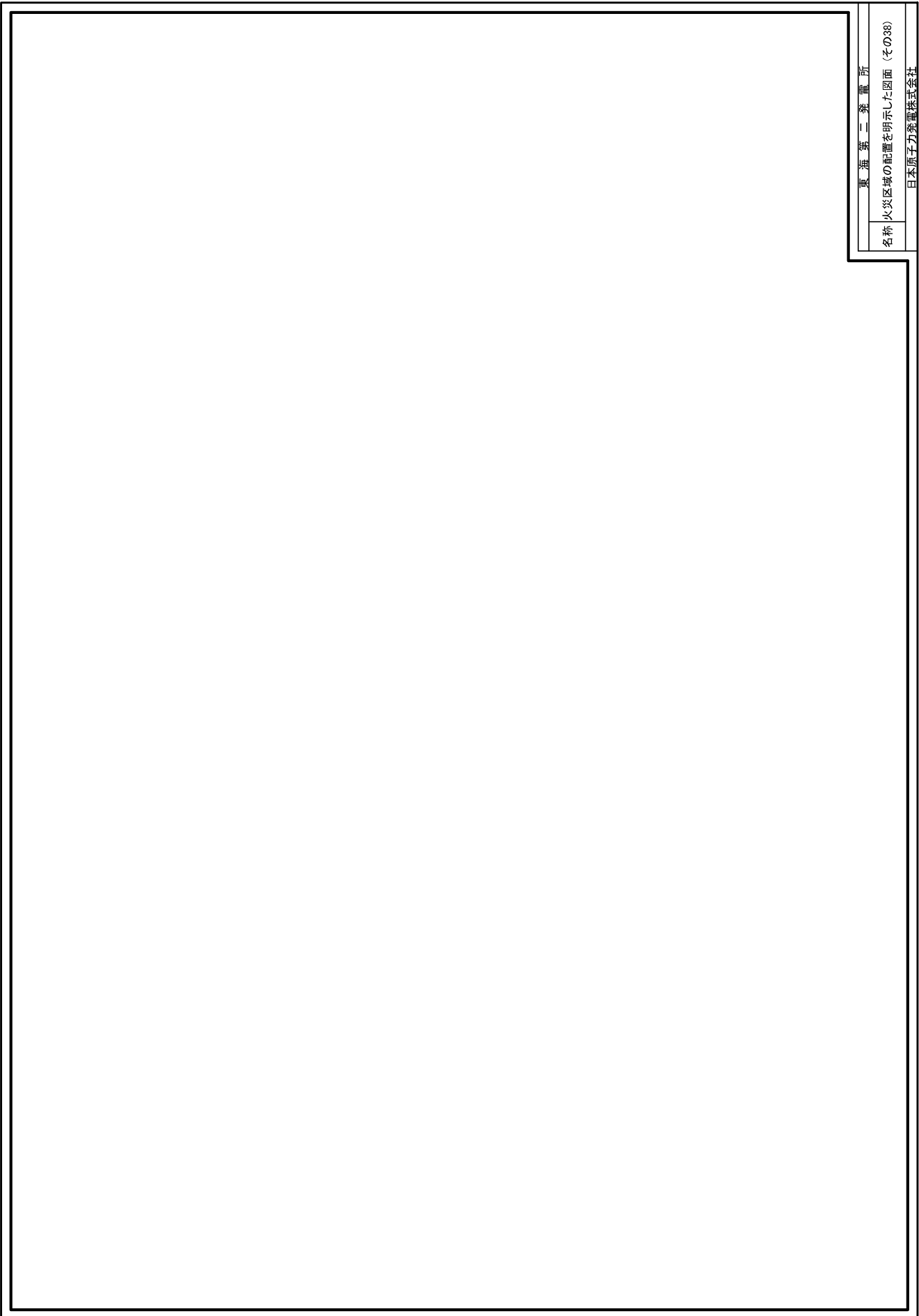
東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面（その36）

日本原子力発電株式会社



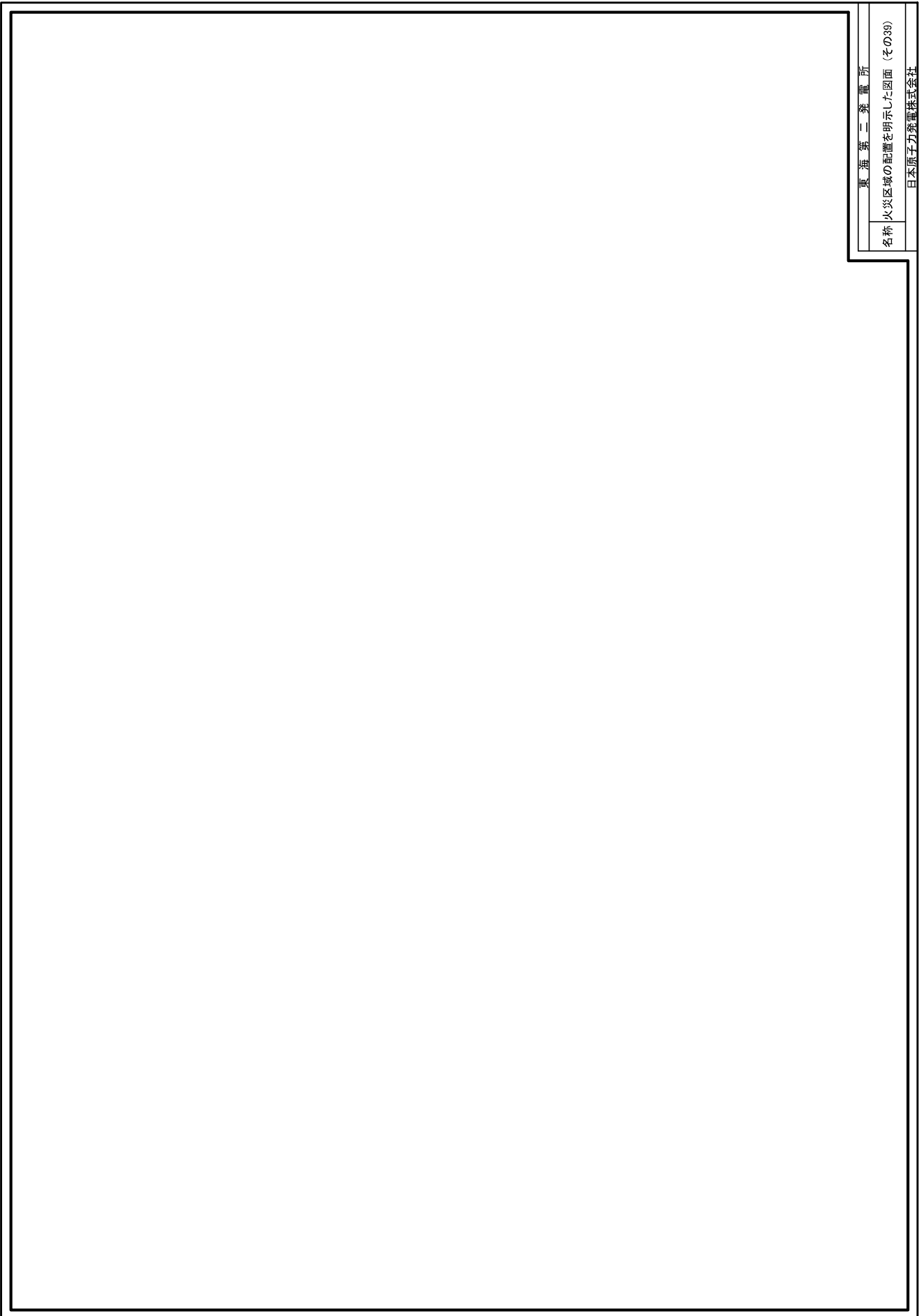
東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面 (その37)

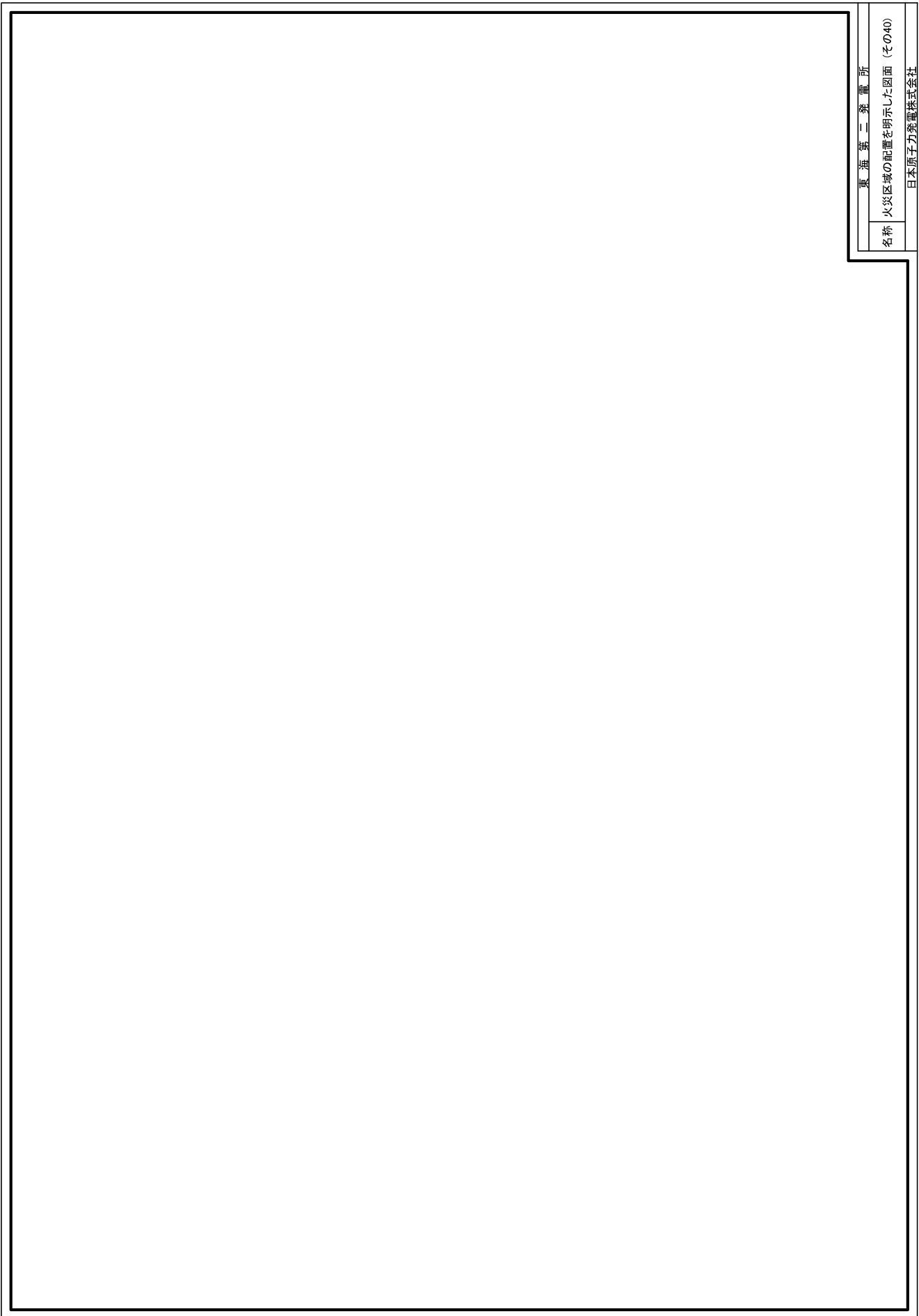
日本原子力発電株式会社



東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面（その38）

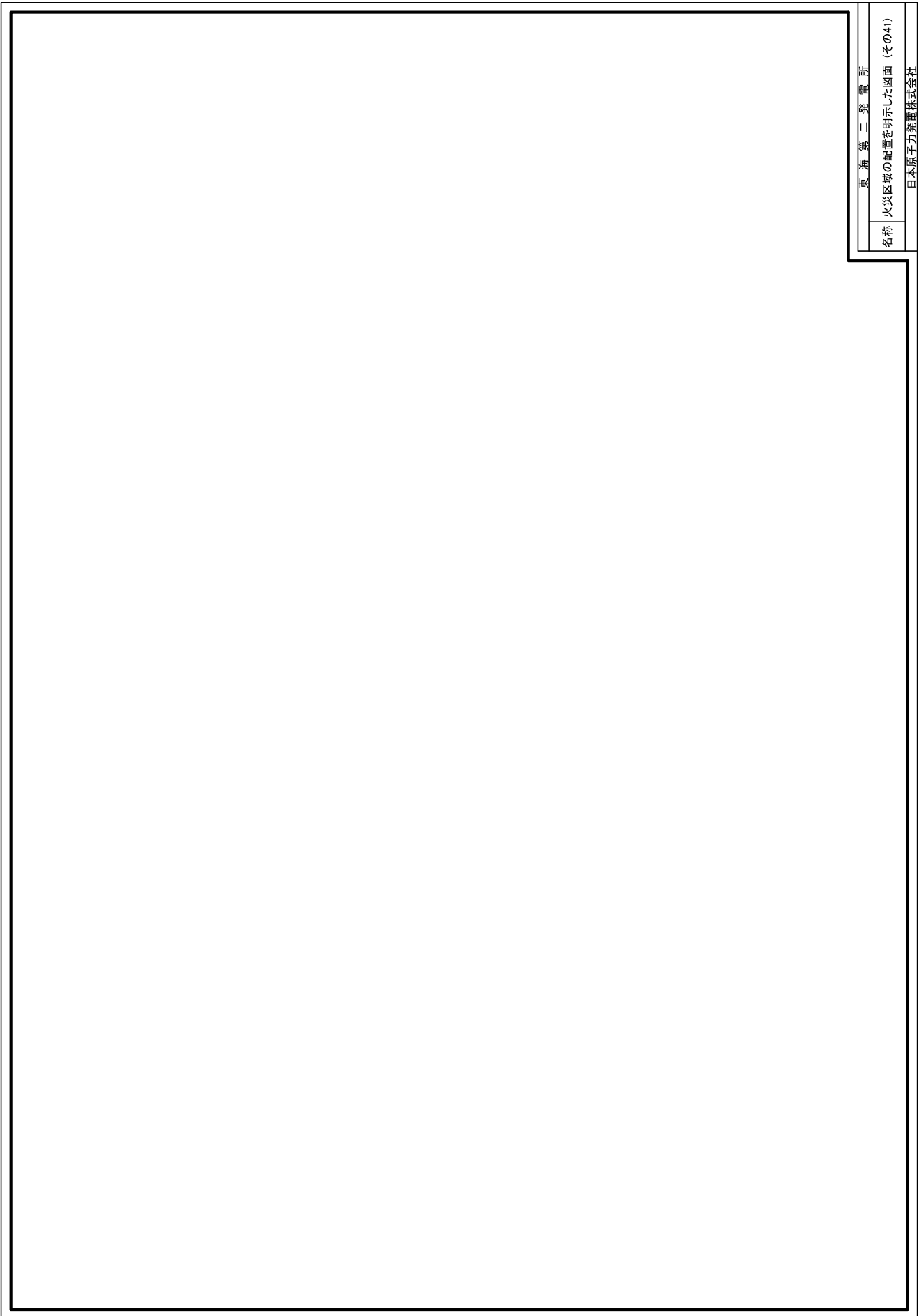
日本原子力発電株式会社





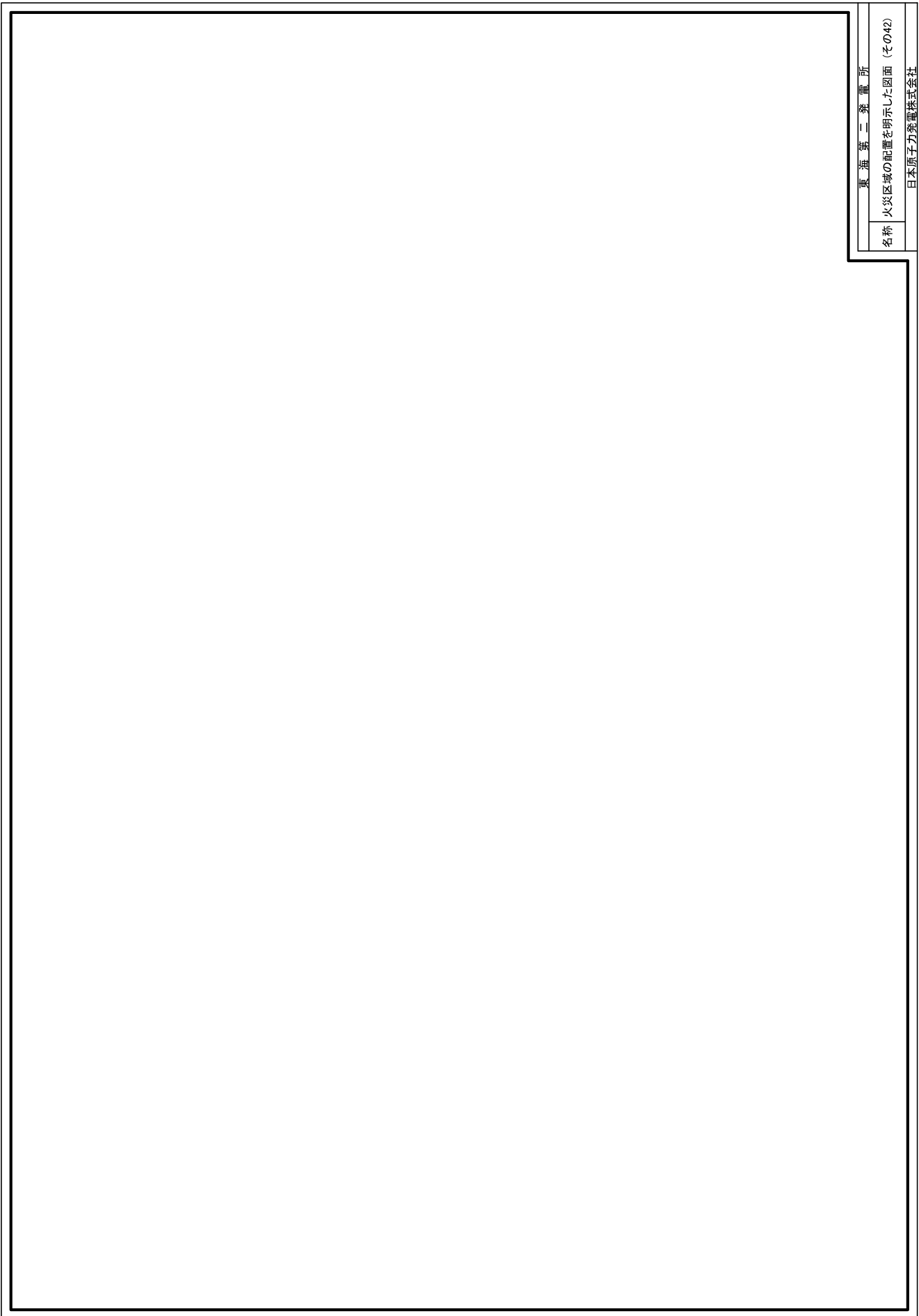
東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面 (その40)

日本原子力発電株式会社



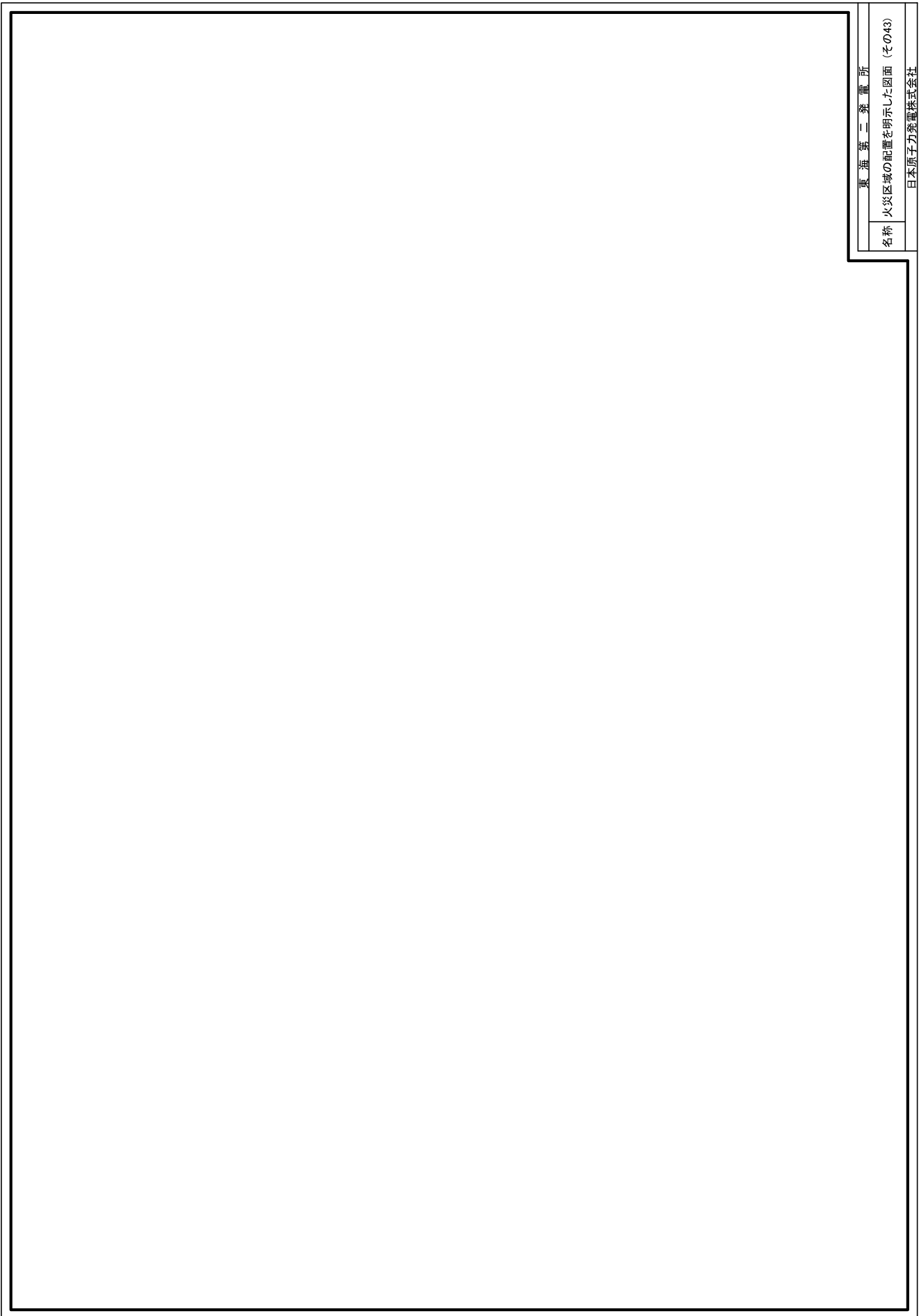
東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面 (その41)

日本原子力発電株式会社



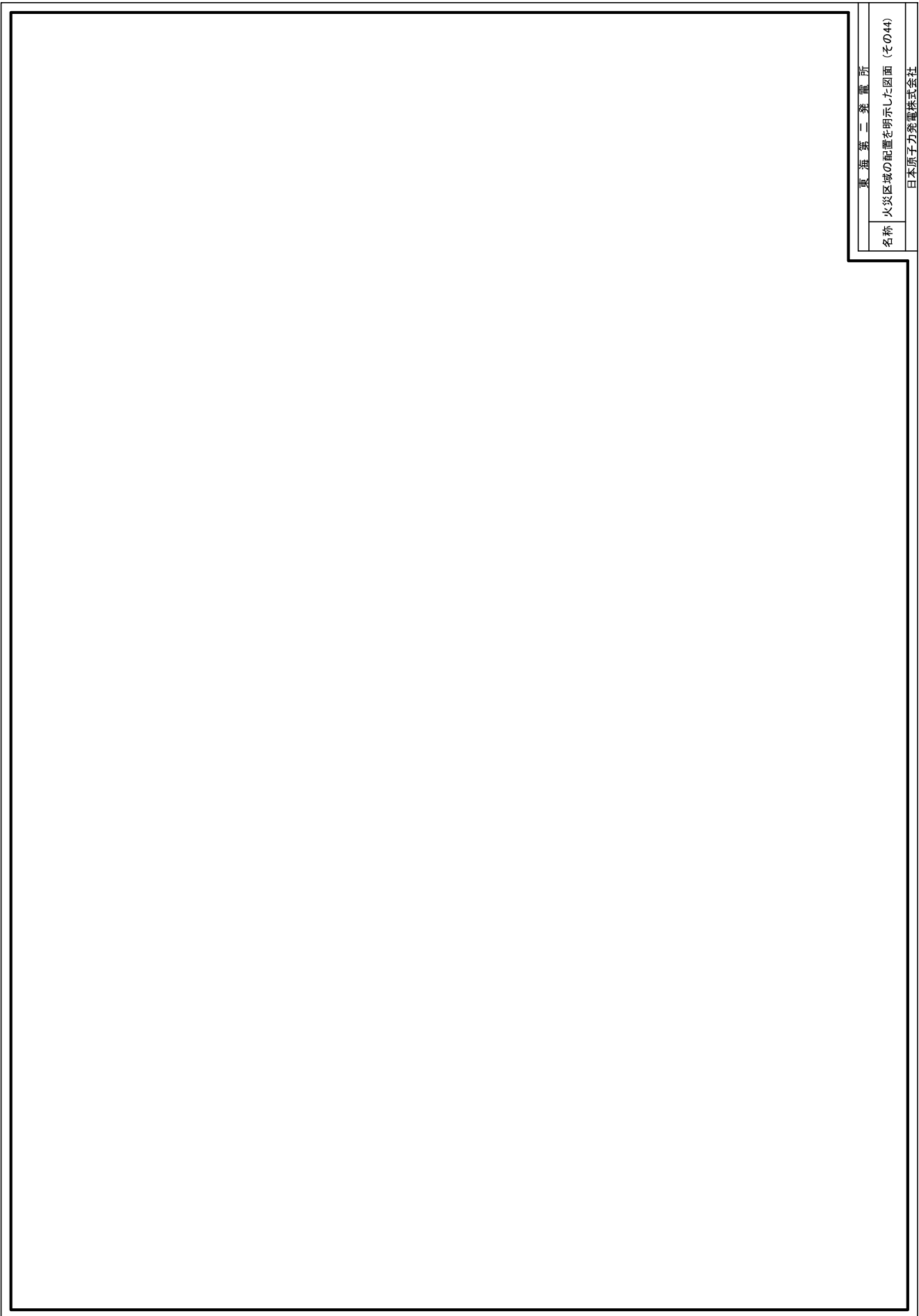
東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面 (その42)

日本原子力発電株式会社



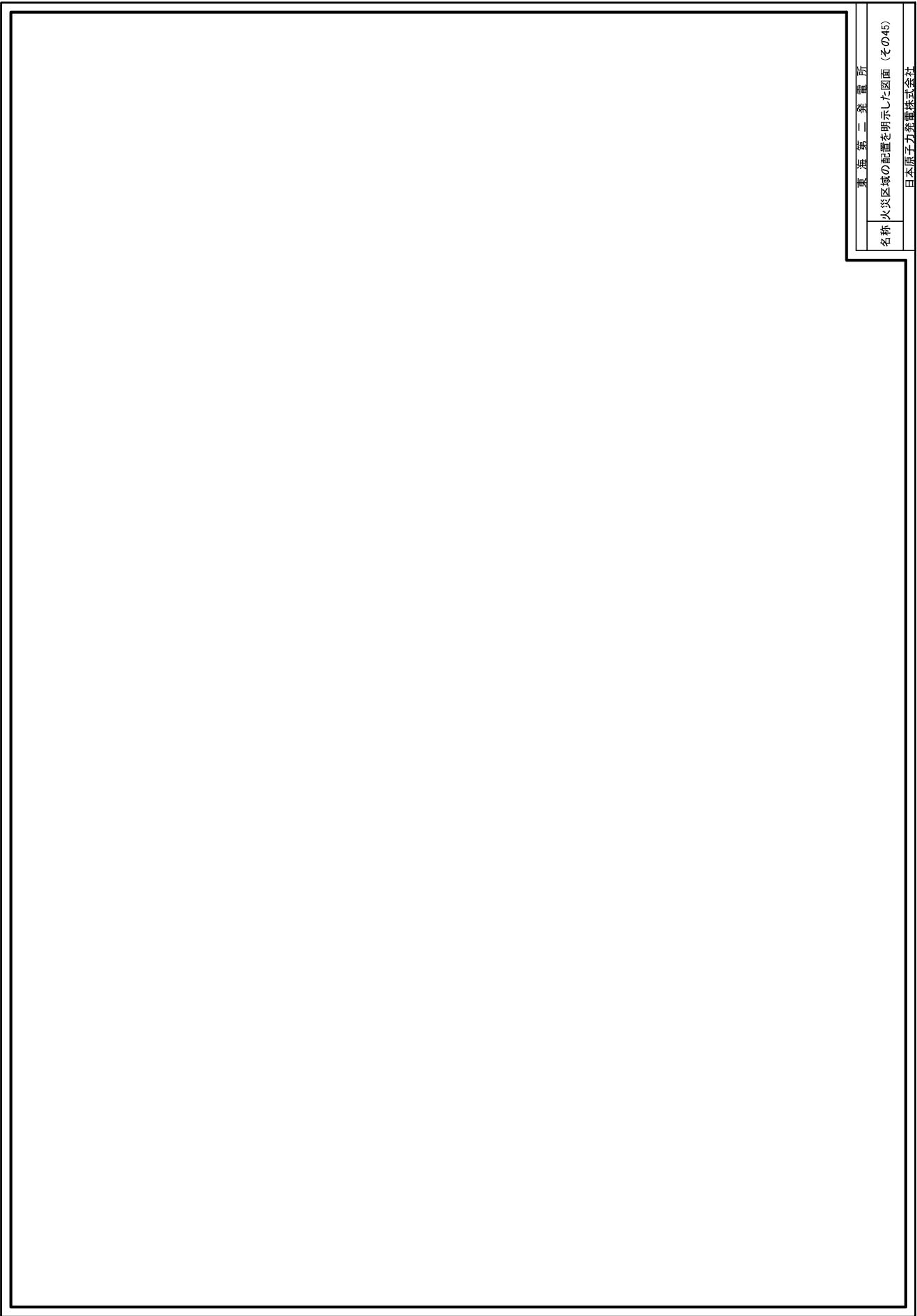
東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面 (その43)

日本原子力発電株式会社



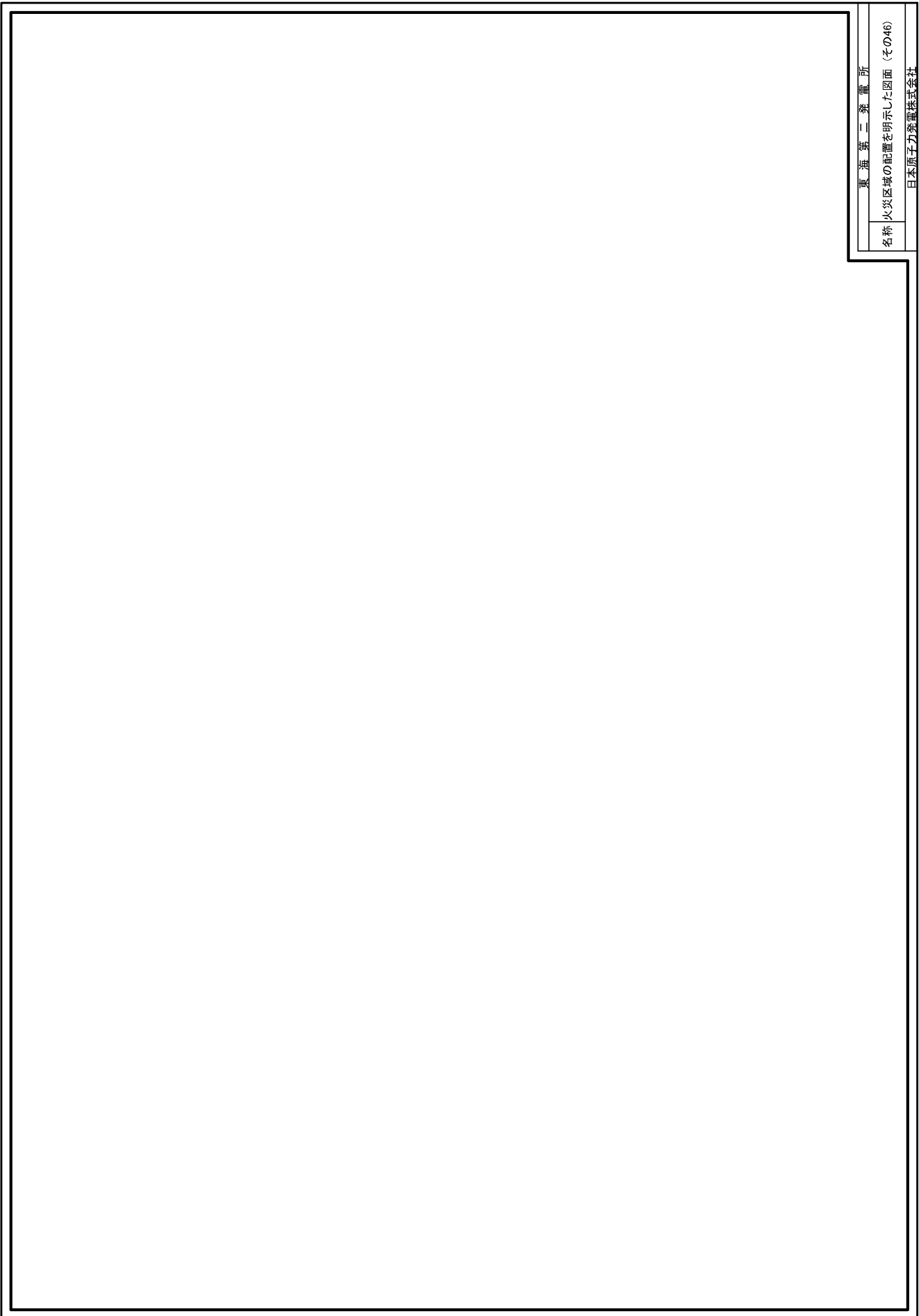
東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面（その44）

日本原子力発電株式会社



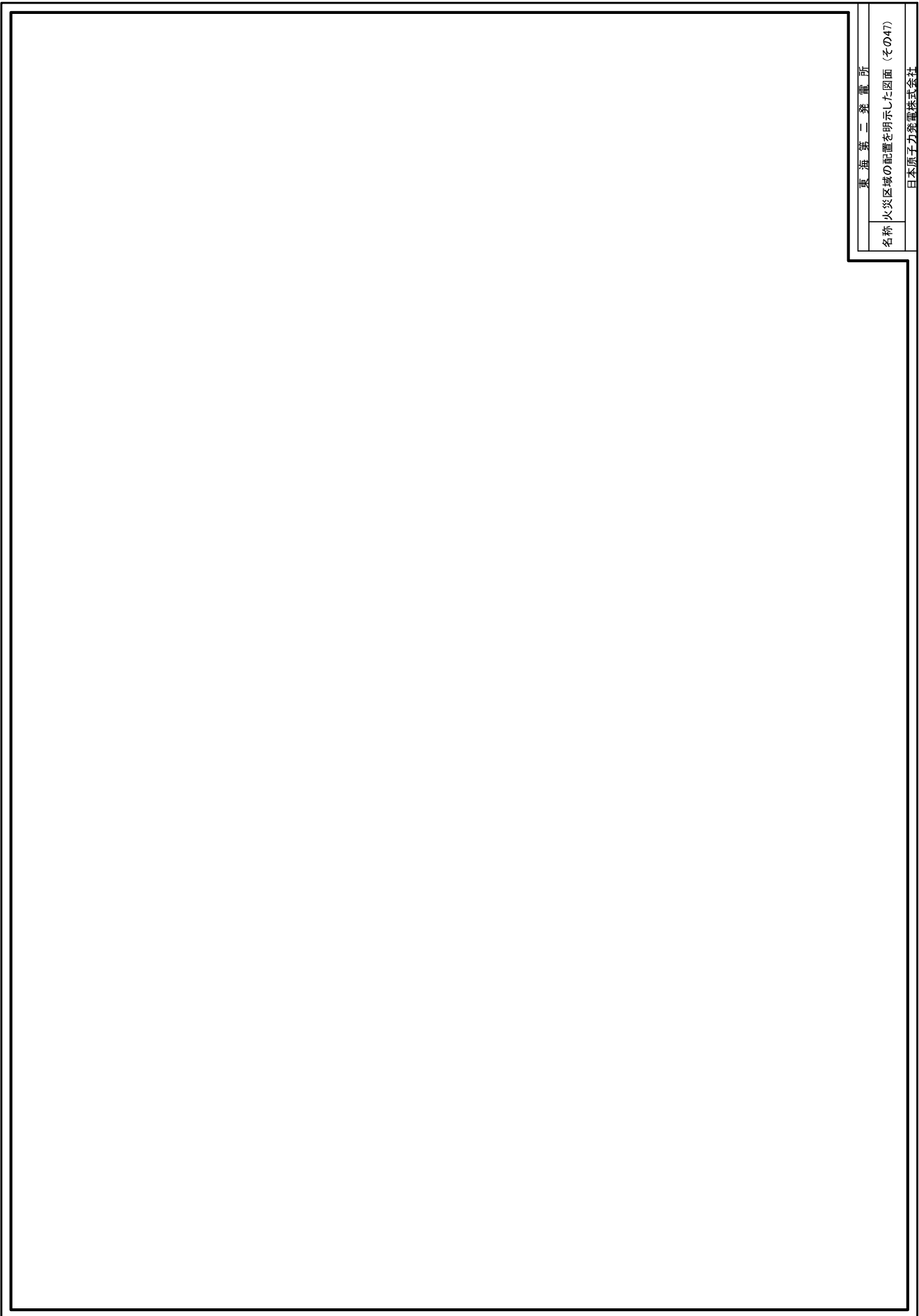
東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面（その45）

日本原子力発電株式会社



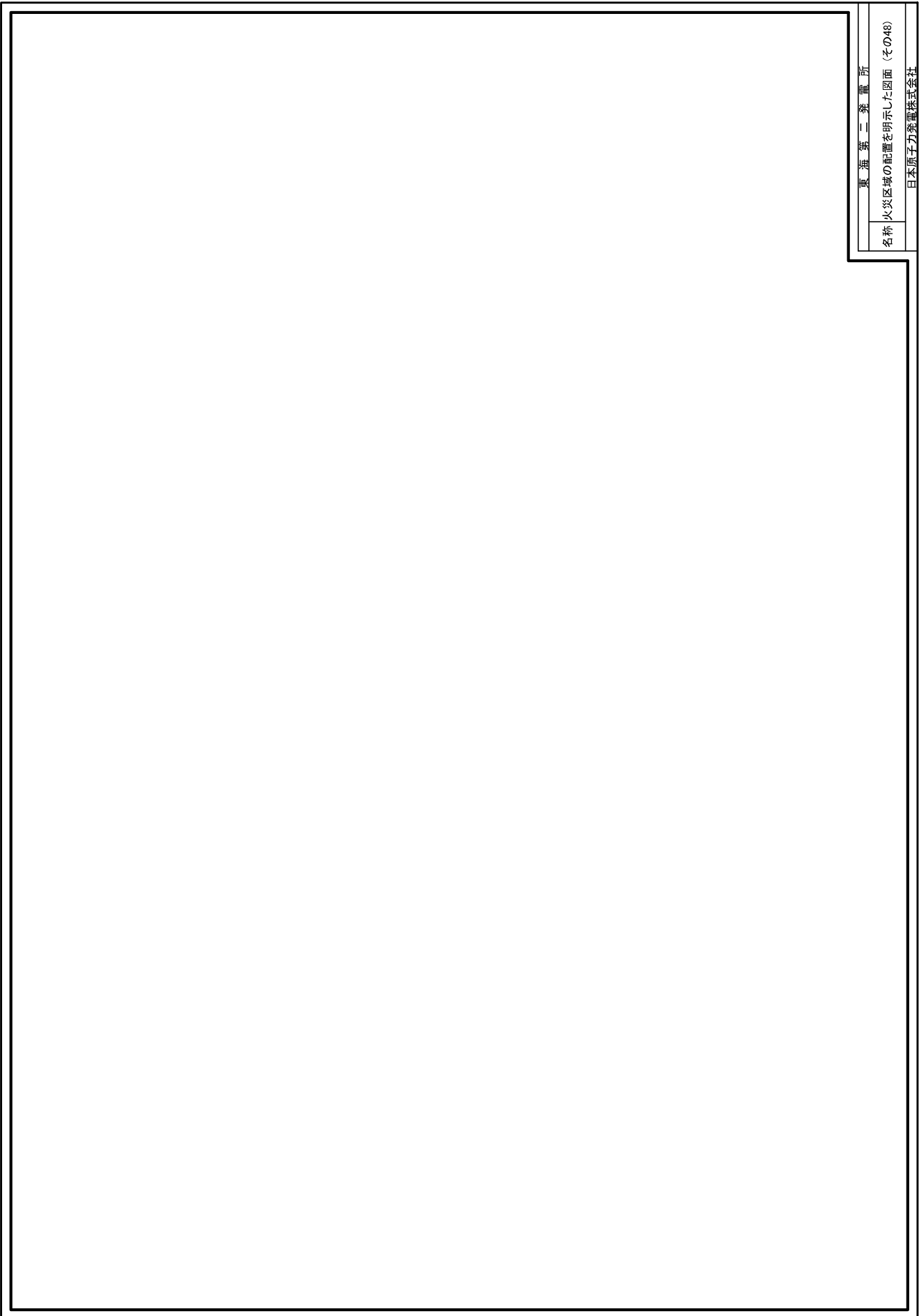
東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面（その46）

日本原子力発電株式会社



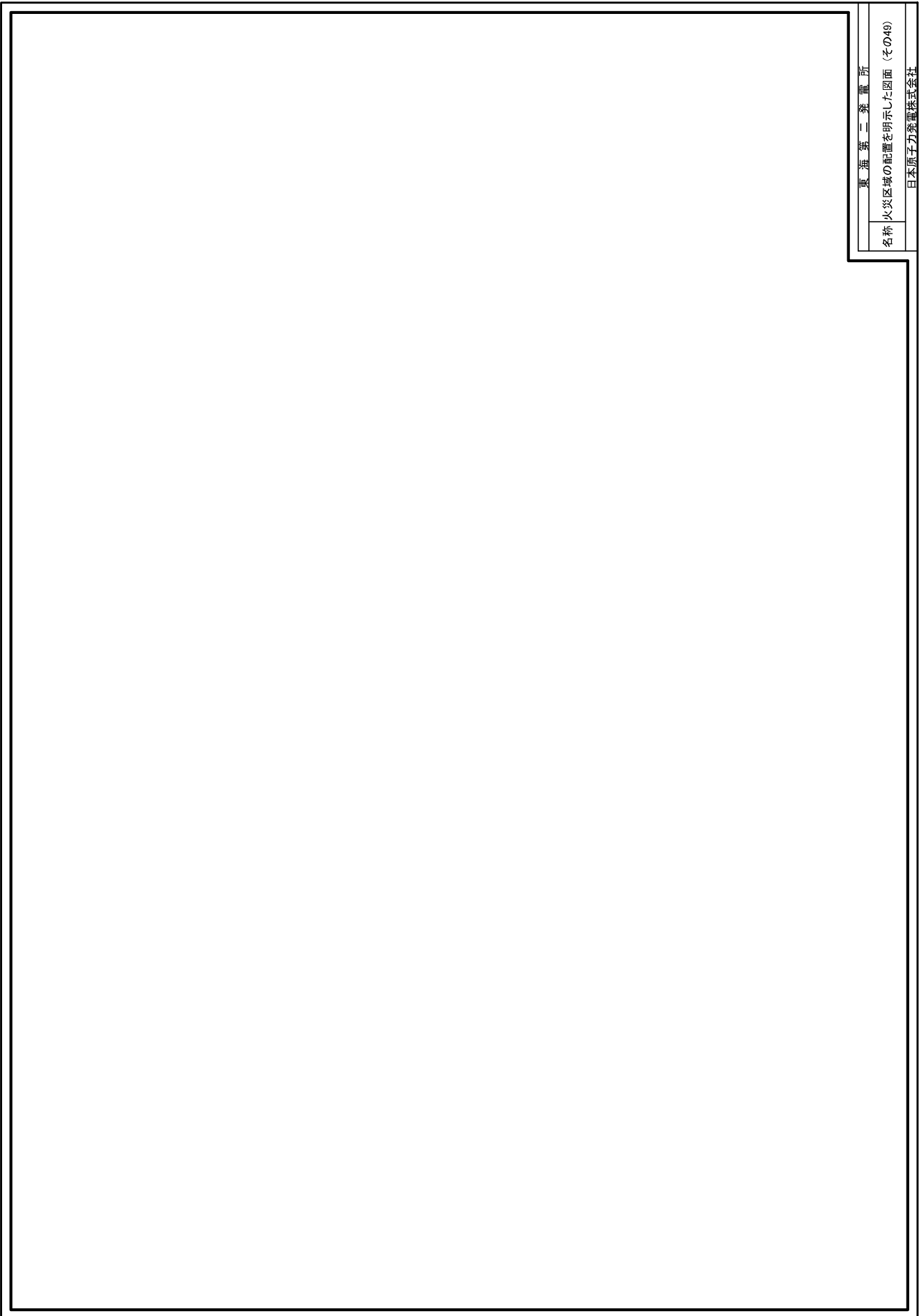
東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面（その47）

日本原子力発電株式会社



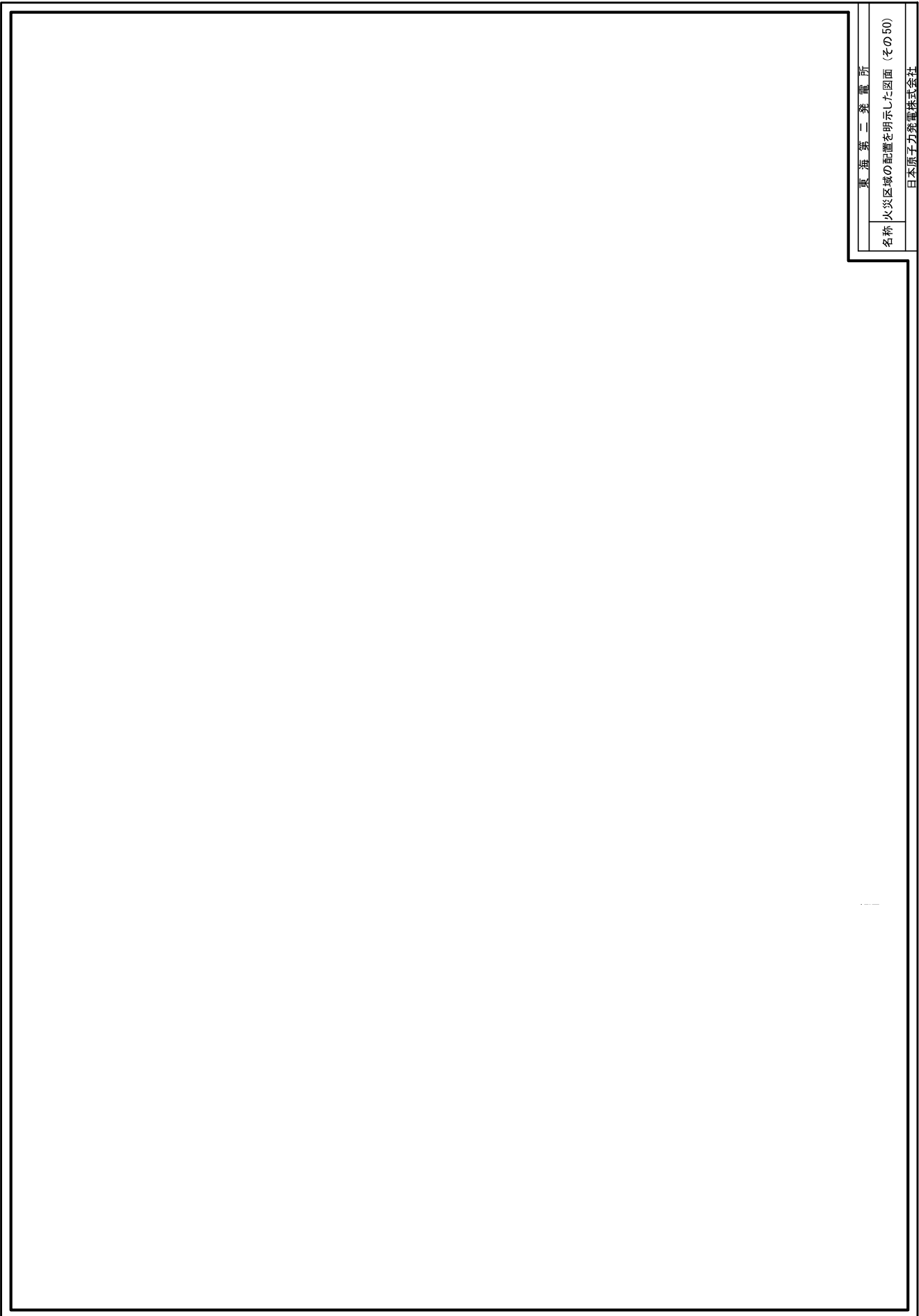
東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面（その48）

日本原子力発電株式会社



東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面（その49）

日本原子力発電株式会社



東海第二発電所	
名称	火災区域の配置を明示した図面（その50）
日本原子力発電株式会社	

V-1-1-7 発電用原子炉施設の火災防護に関する説明書

NT2 補② V-1-1-7 R2

第5-1表 火災感知器の型式ごとの設置状況について

火災感知器の設置場所	火災感知器の型式	
<ul style="list-style-type: none"> 一般区域 「異なる2種類の火災感知器」の設置要求を満足するため、火災感知器を設置 格納容器圧力逃がし装置格納槽 常設代替低圧注水系ポンプ室 緊急用海水ポンプエリア 	煙感知器 (感度:煙濃度 10%)	熱感知器 (感度:温度 60~75℃)
	火災時に炎が生じる前の発煙段階から感知できる煙感知器を設置(アナログ式)	火災時に生じる熱を感知できる熱感知を設置(アナログ式)
<ul style="list-style-type: none"> 蓄電池室, 緊急用 125V 系蓄電池室, 非常用 125V 系蓄電池室等 蓄電池室は万一の水素濃度上昇を考慮 軽油貯蔵タンク設置区域, 可搬型設備用軽油タンク, 緊急時対策所用発電機燃料油貯蔵タンク 万一の燃料気化による引火性又は発火性の雰囲気を形成する可能性を考慮 	防爆型煙感知器 (感度:煙濃度 10%)	防爆型熱感知器 (感度:65℃)
	防爆機能を有する火災感知器として煙感知器を設置(非アナログ式)	防爆機能を有する火災感知器として熱感知器を設置(非アナログ式)
原子炉建屋原子炉棟 6階 (オペレーティングフロア) <ul style="list-style-type: none"> 天井が高く大空間であるため、煙の拡散を考慮 	煙感知器 (感度:煙濃度 50%/スパーン)	炎感知器 (公称監視距離最大 60m以内)
	赤外光を発する発光部と受光部間の光路上を煙が遮った時の受光量変化で火災検出する光電式分離型煙感知器を設置(アナログ式)	炎から発生する赤外線波長を感知する炎感知器を設置(非アナログ式)
<ul style="list-style-type: none"> 海水ポンプ室, 常設代替高圧電源装置置場(屋外区域) 	炎感知器 (公称監視距離最大 60m以内)	熱感知カメラ (感度:温度 80℃)
	炎感知器(赤外線)を設置 なお、炎感知器(紫外線)は太陽光による誤作動の頻度が高いため設置しない(非アナログ式)	屋外であり煙による火災感知が困難であるため、炎から放射される赤外線エネルギーを感知する熱感知カメラを設置(アナログ式)
原子炉格納容器内	煙感知器 (感度:煙濃度 10%)	熱感知器 (感度:温度 70~80℃)
	火災時に炎が生じる前の発煙段階から感知できる煙感知器を設置(アナログ式)	火災時に生じる熱を感知できる熱感知を設置(アナログ式)
主蒸気管トンネル室 (高線量区域)	煙感知器 (感度:煙濃度 10%)	熱感知器 (感度:温度 70℃~93℃)
	検出器部分を高線量区域外に設置可能な煙吸引式感知器を設置(アナログ式)	放射線の影響を受けにくい非アナログ式の熱感知器を設置(非アナログ式)

NT2 補② V-1-1-7 R2

本資料のうち、枠囲みの内容は営業秘密又は防護上の観点から公開できません。

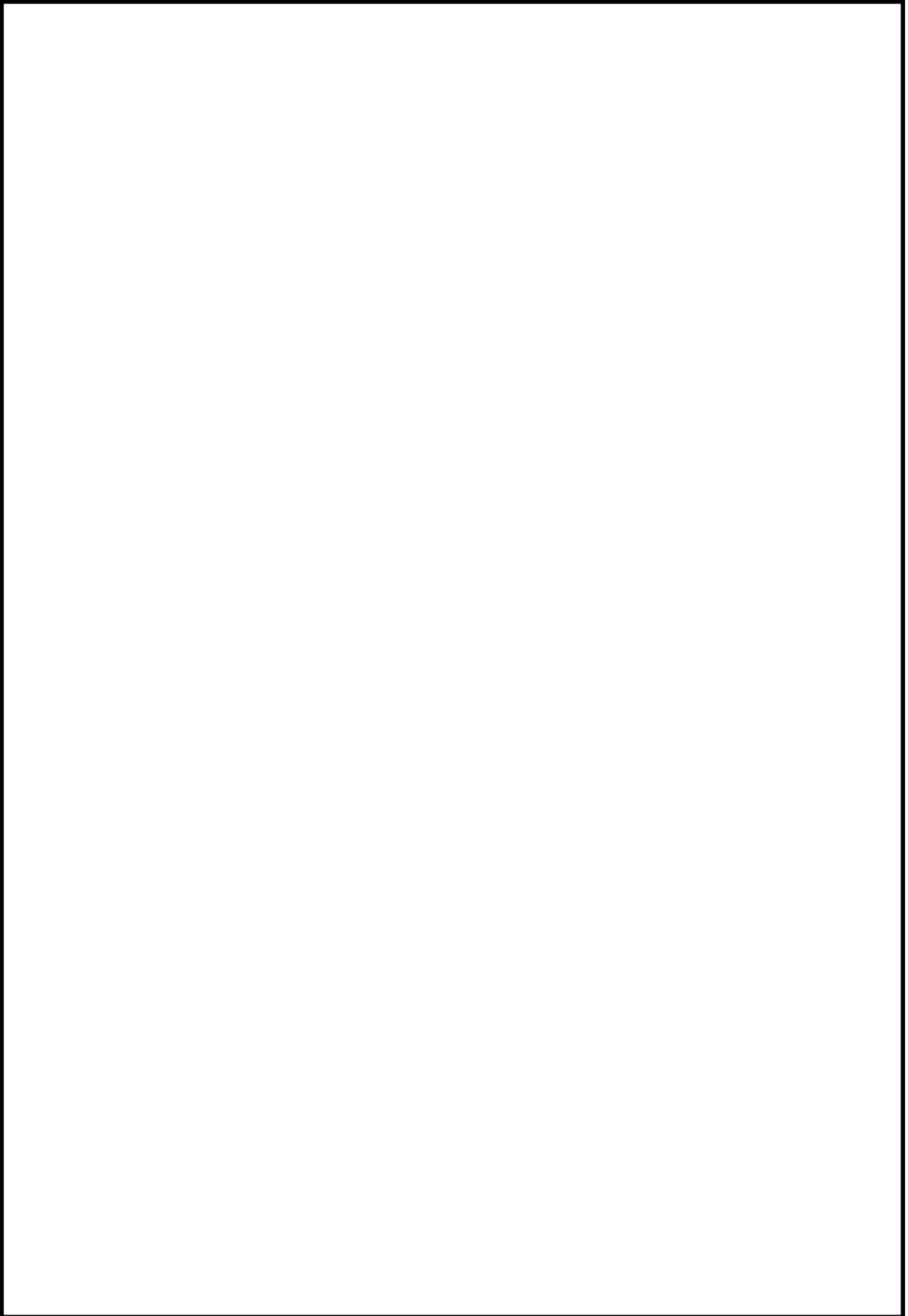
東海第二発電所 工事計画審査資料	
資料番号	補足-300 改0

工事計画に係る補足説明資料

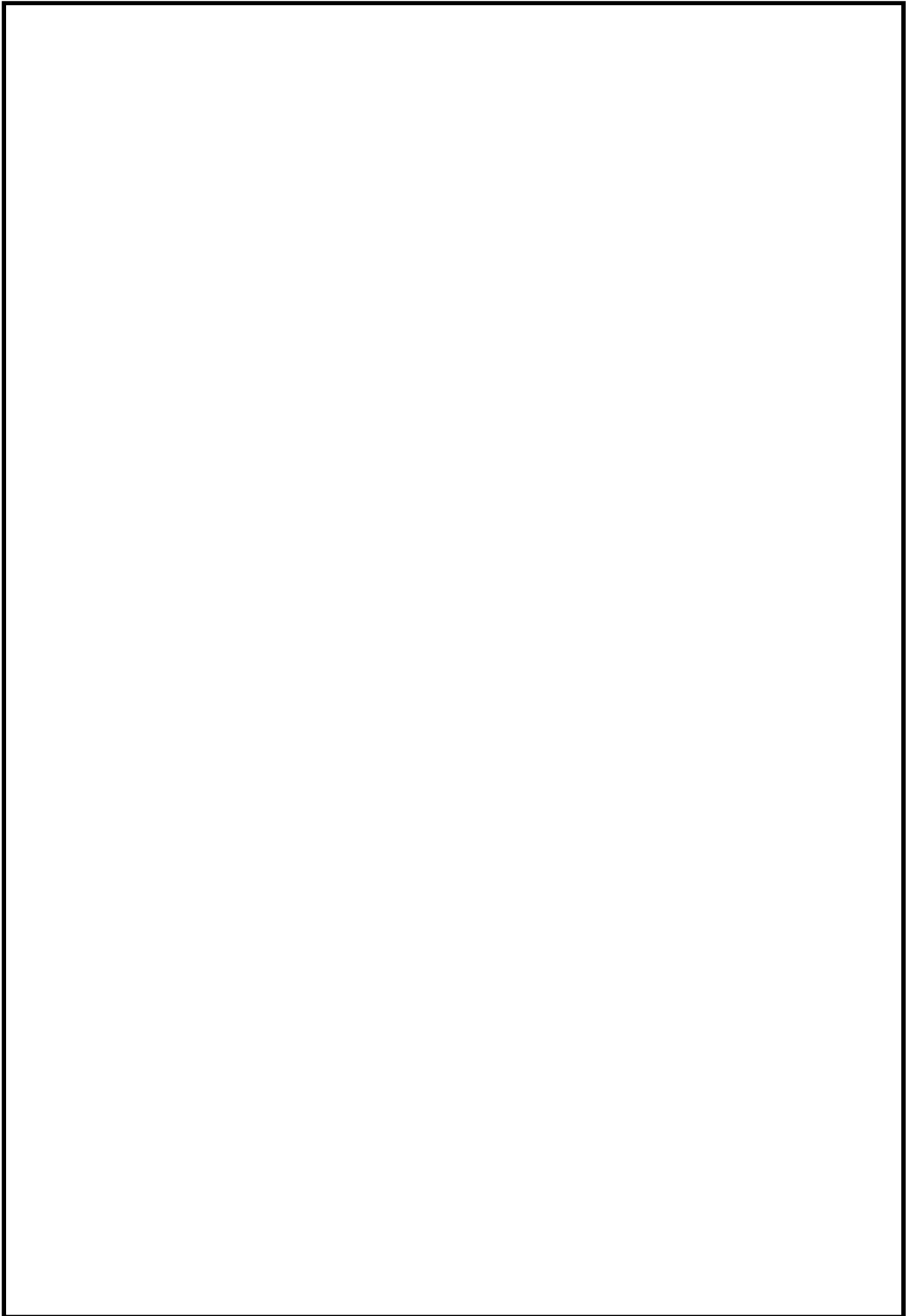
補足-300 【発電用原子炉施設の火災防護に関する補足説明資料
火災防護について】

平成 30 年 10 月

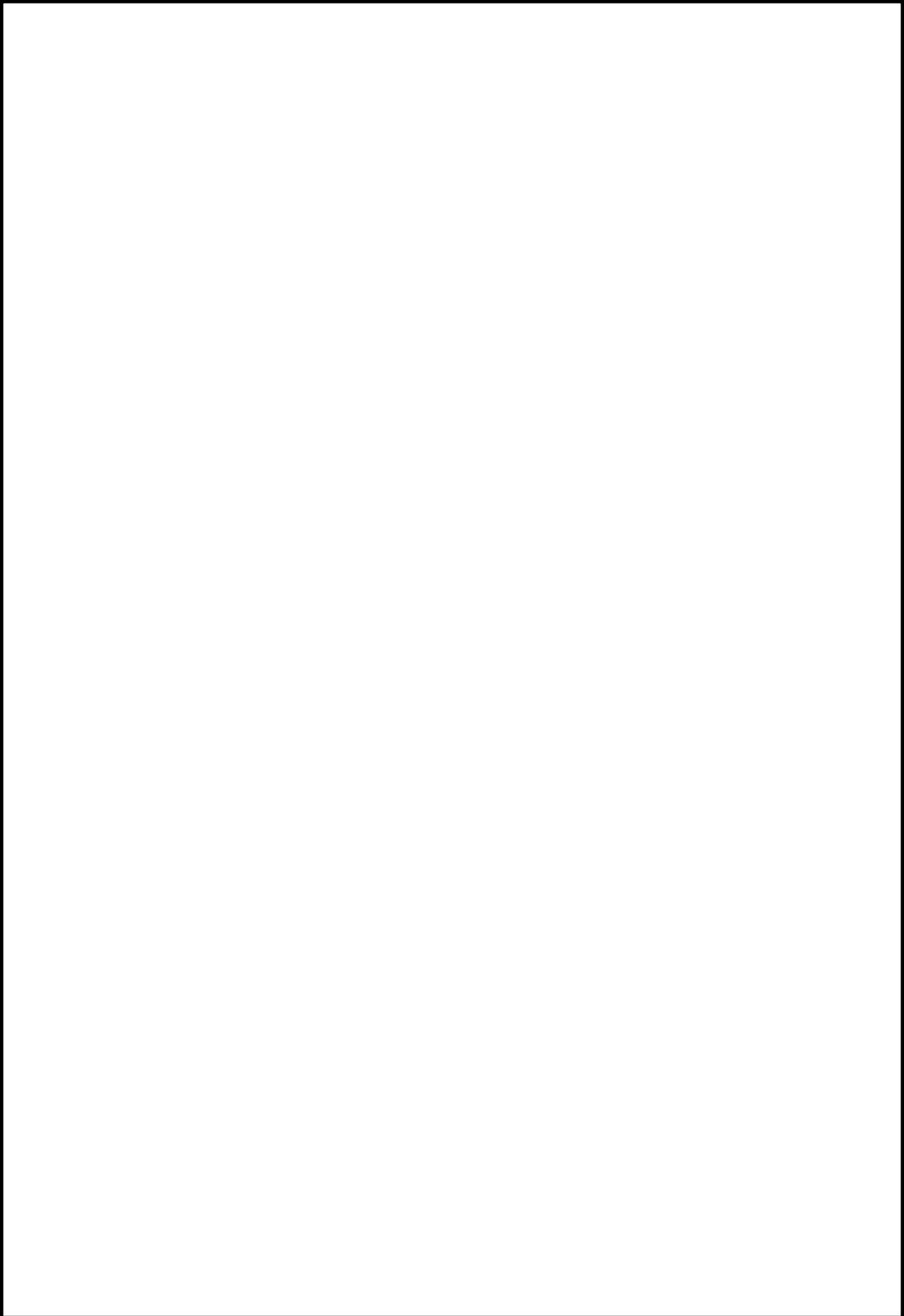
日本原子力発電株式会社



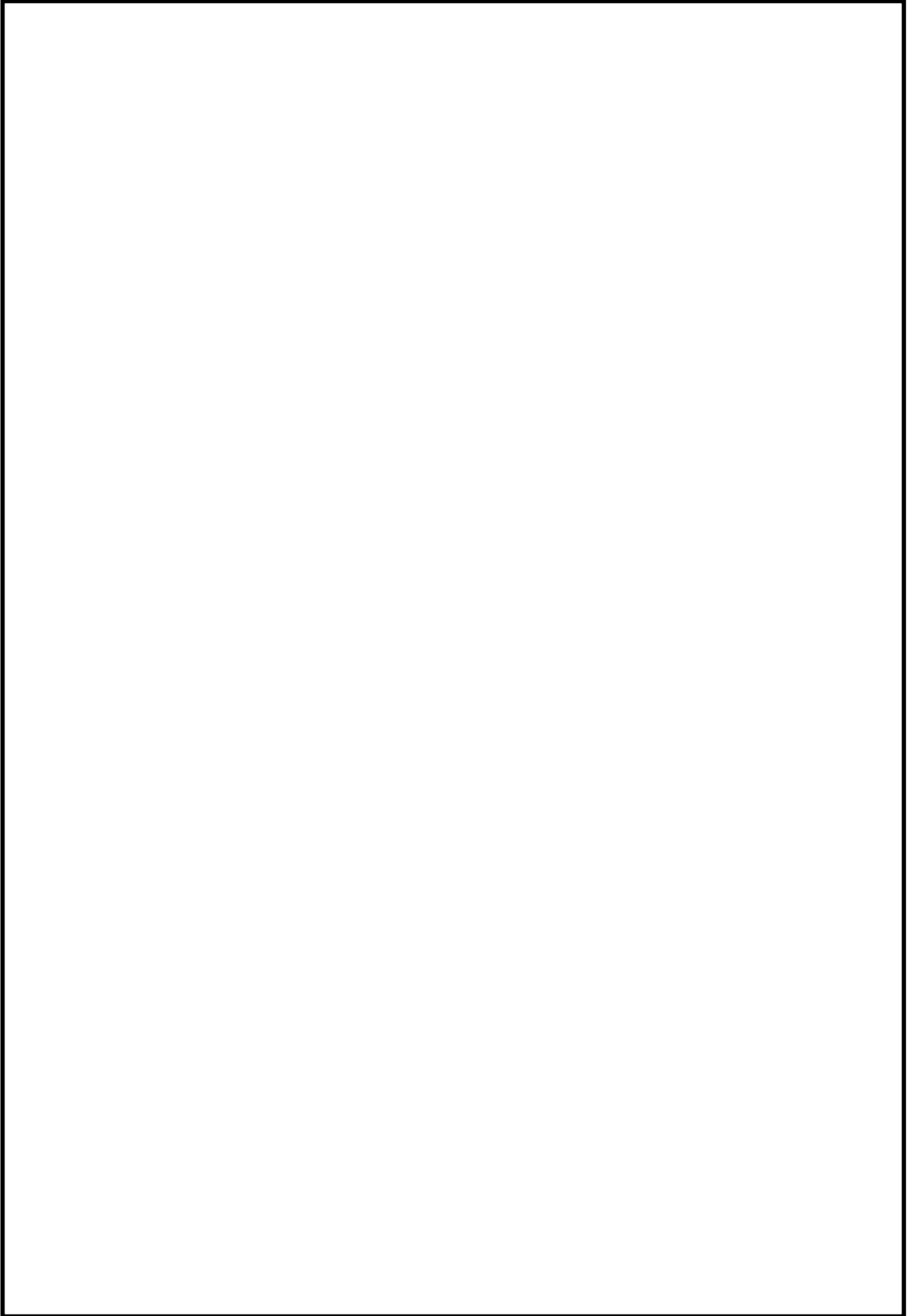
補-3-11-11



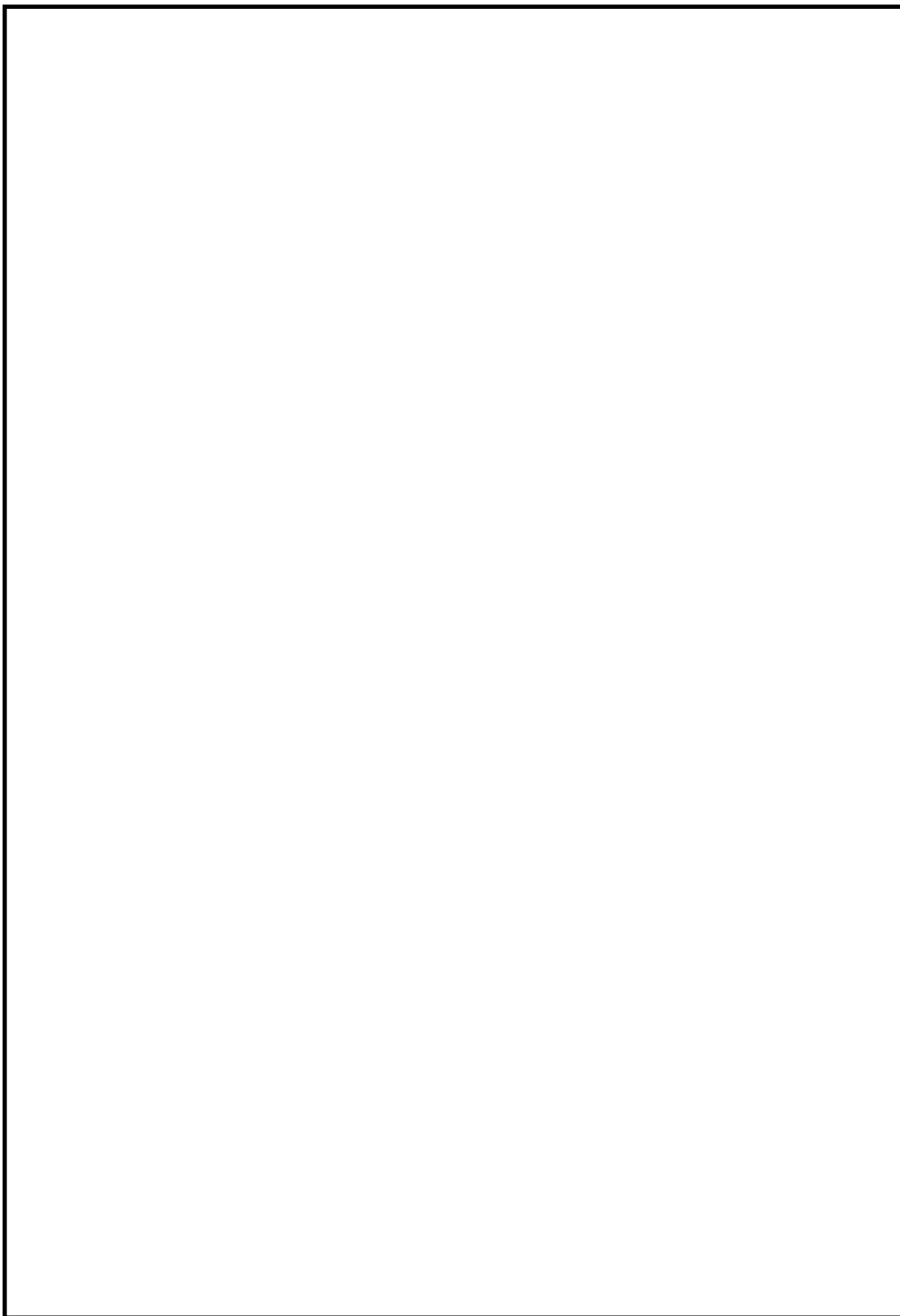
補-3-11-12



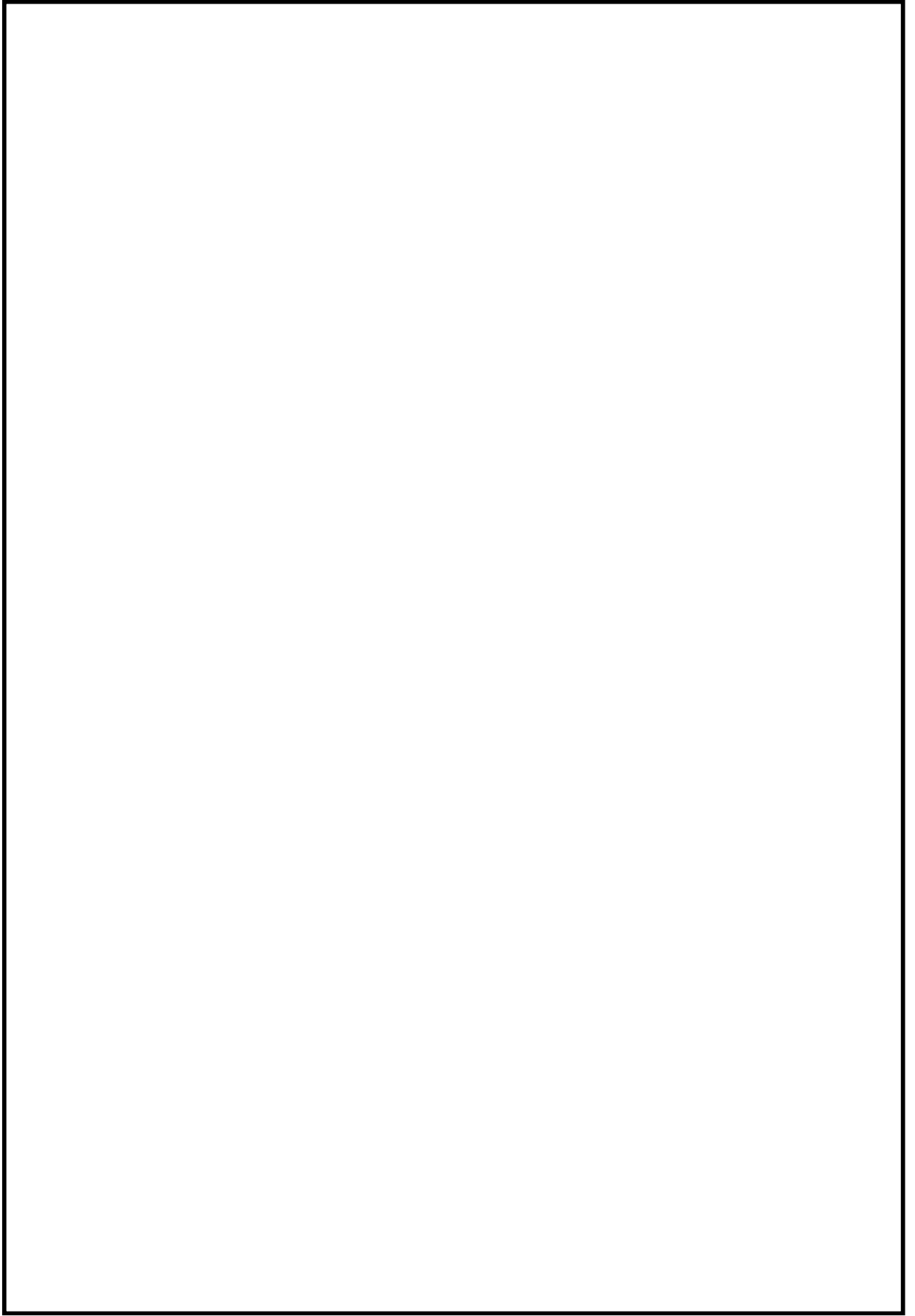
補-3-11-13



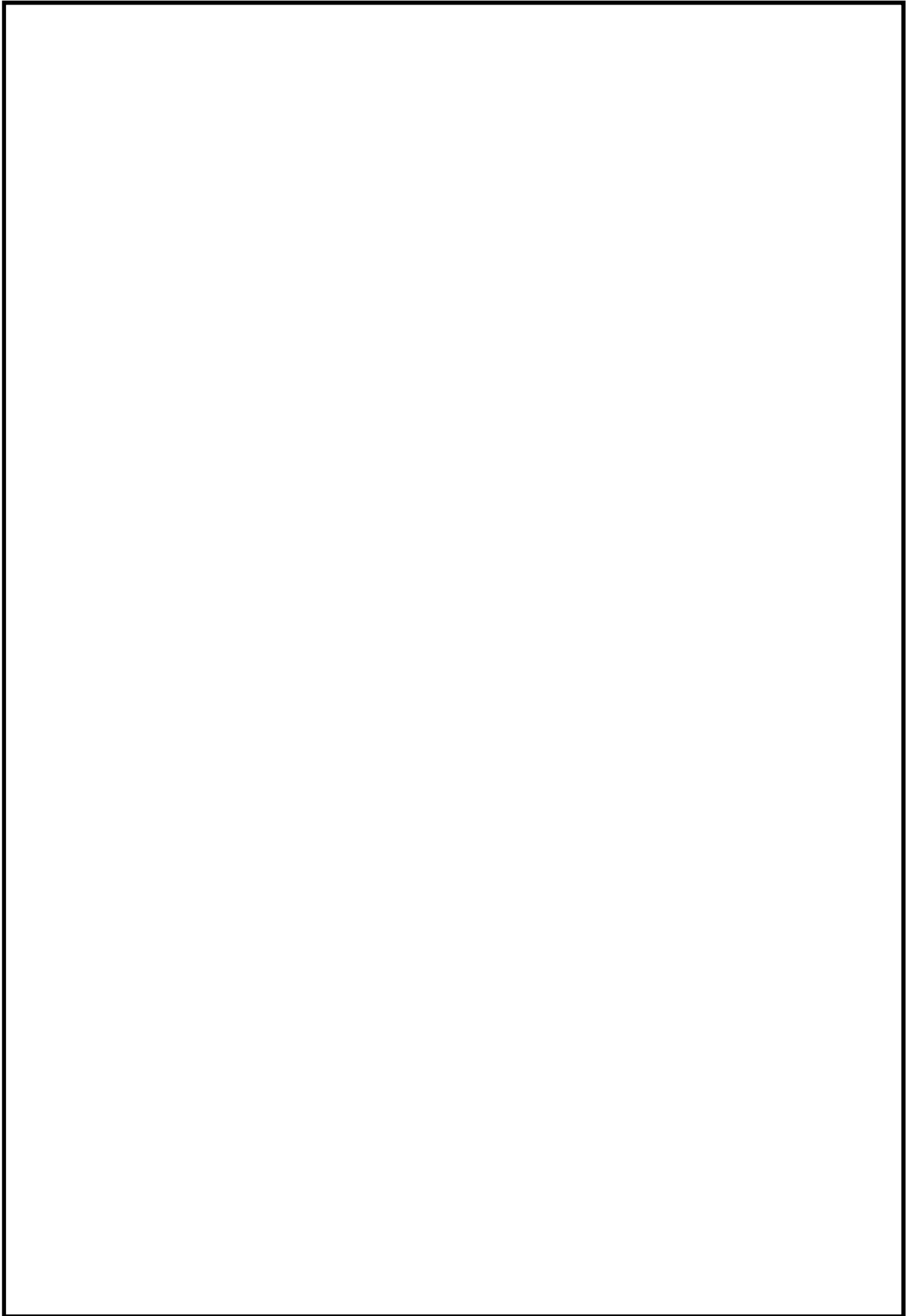
補-3-11-14



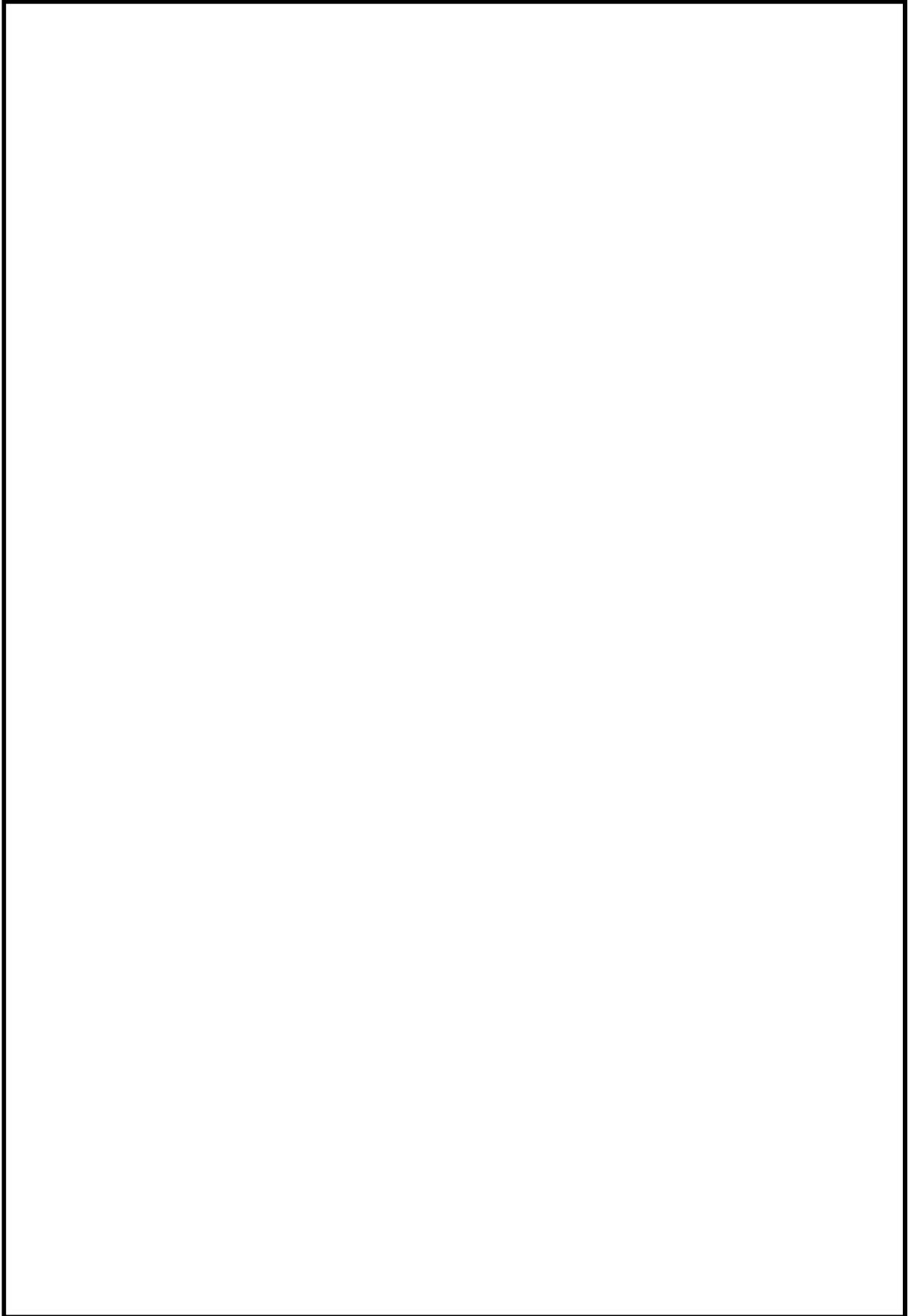
補-3-11-15



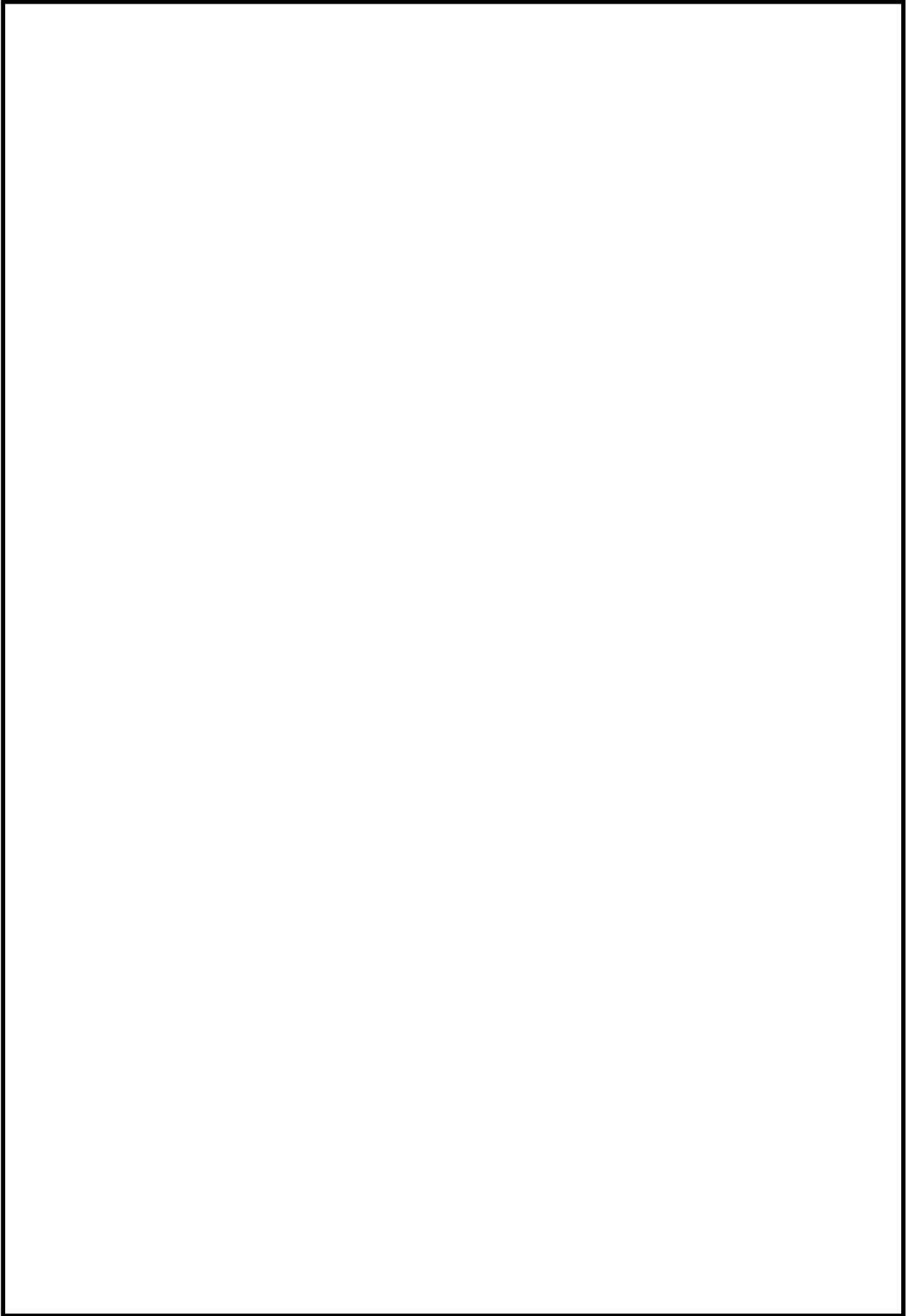
補-3-11-16



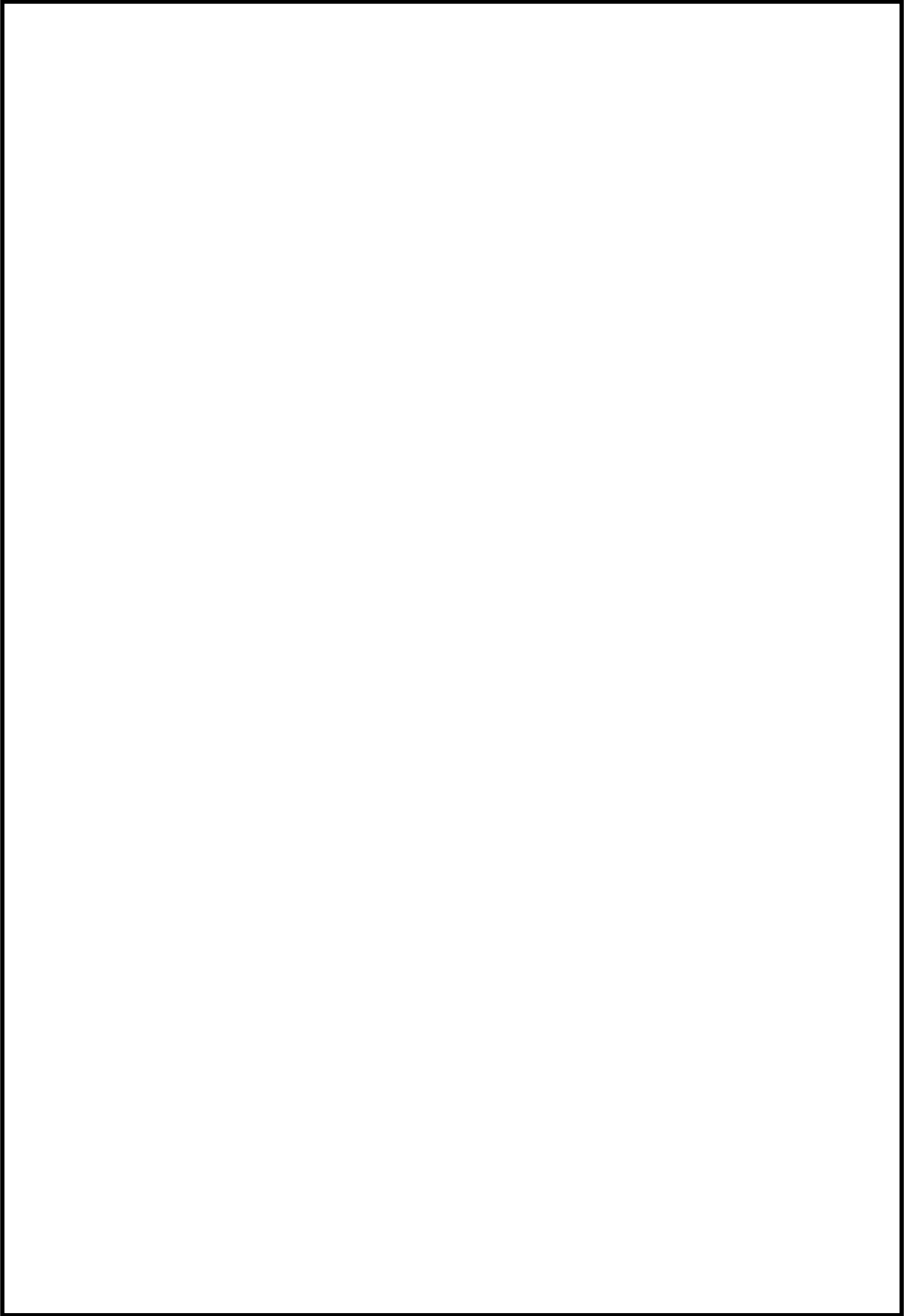
補-3-11-17



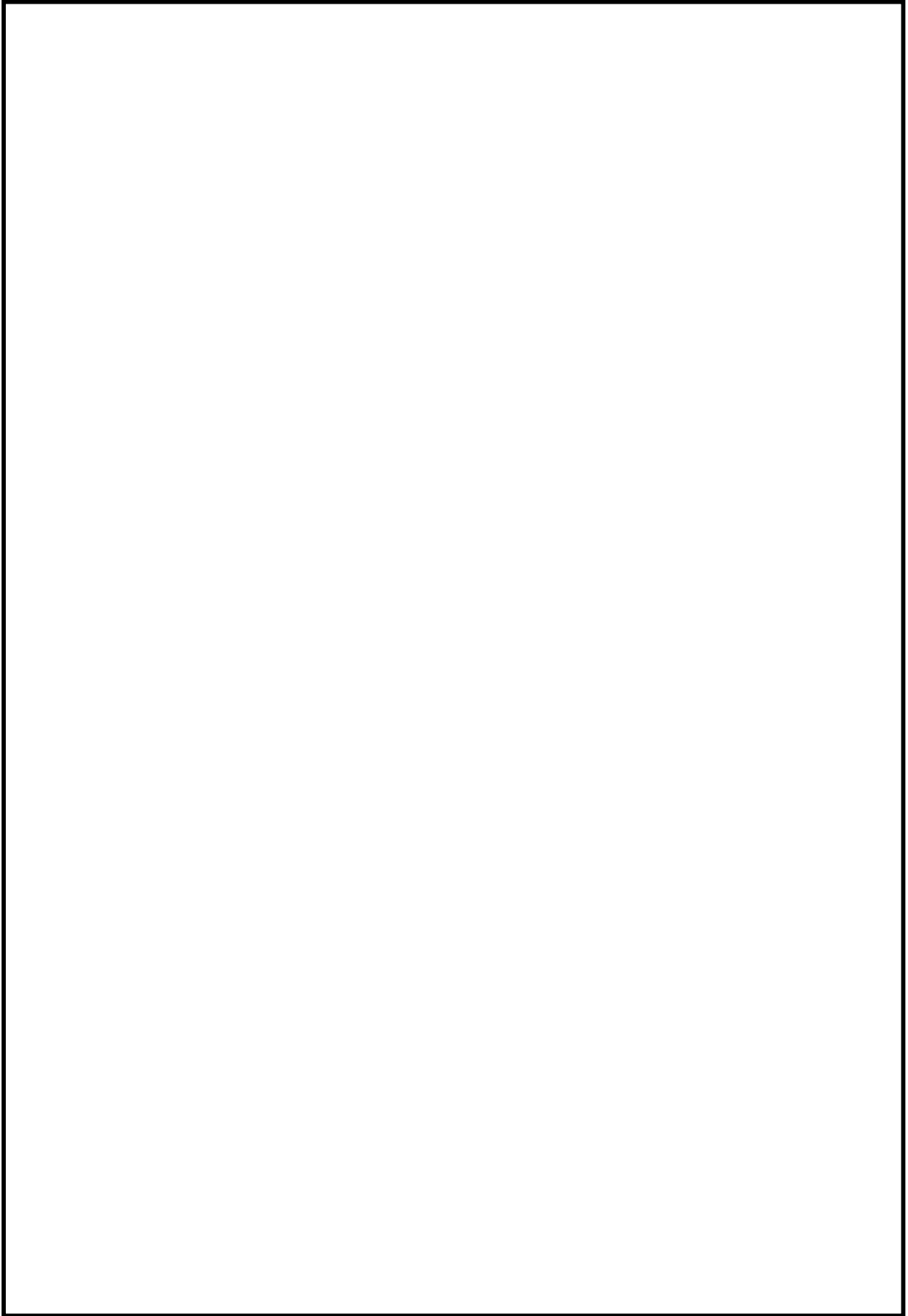
補-3-11-18



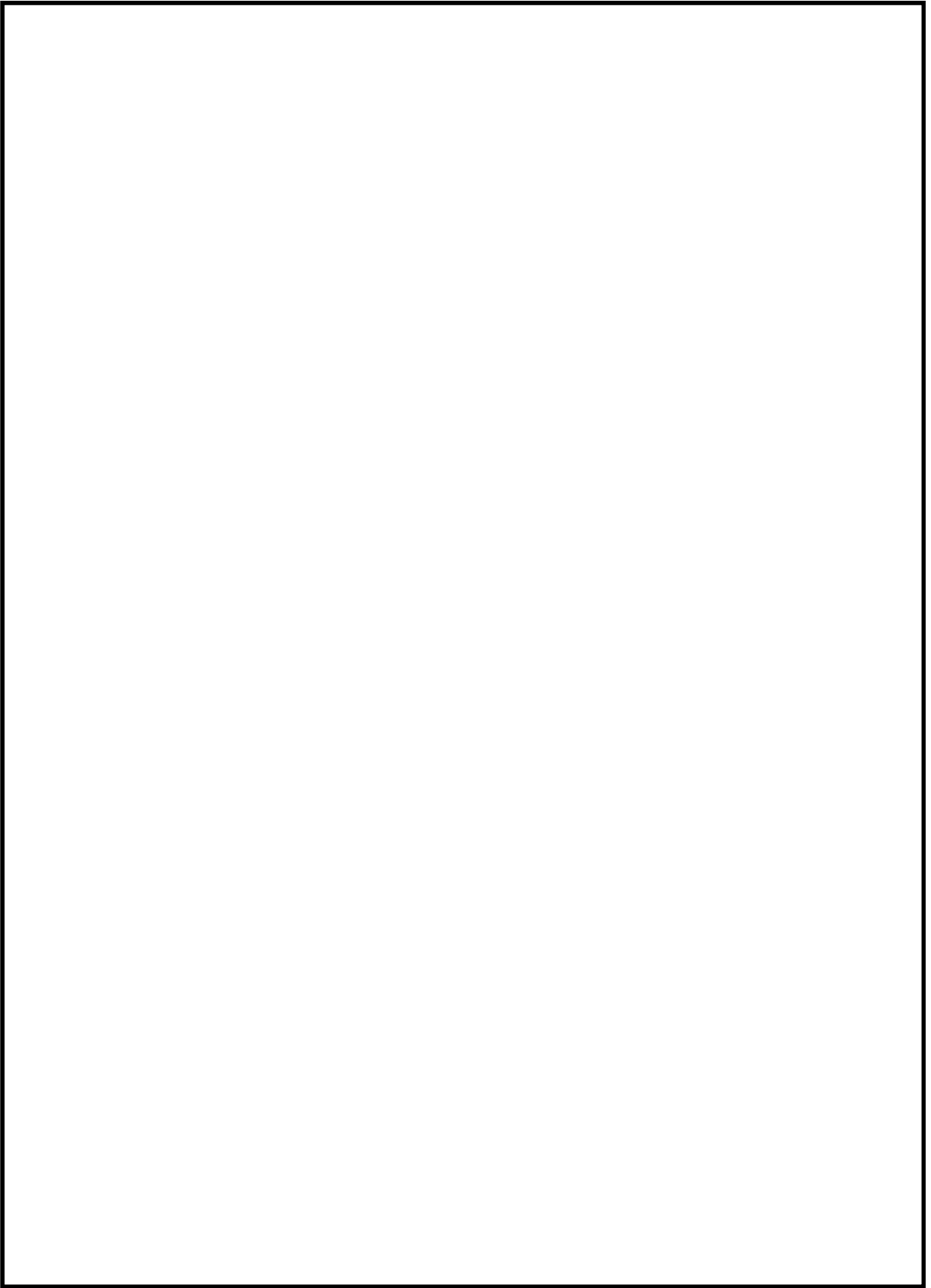
補-3-11-19



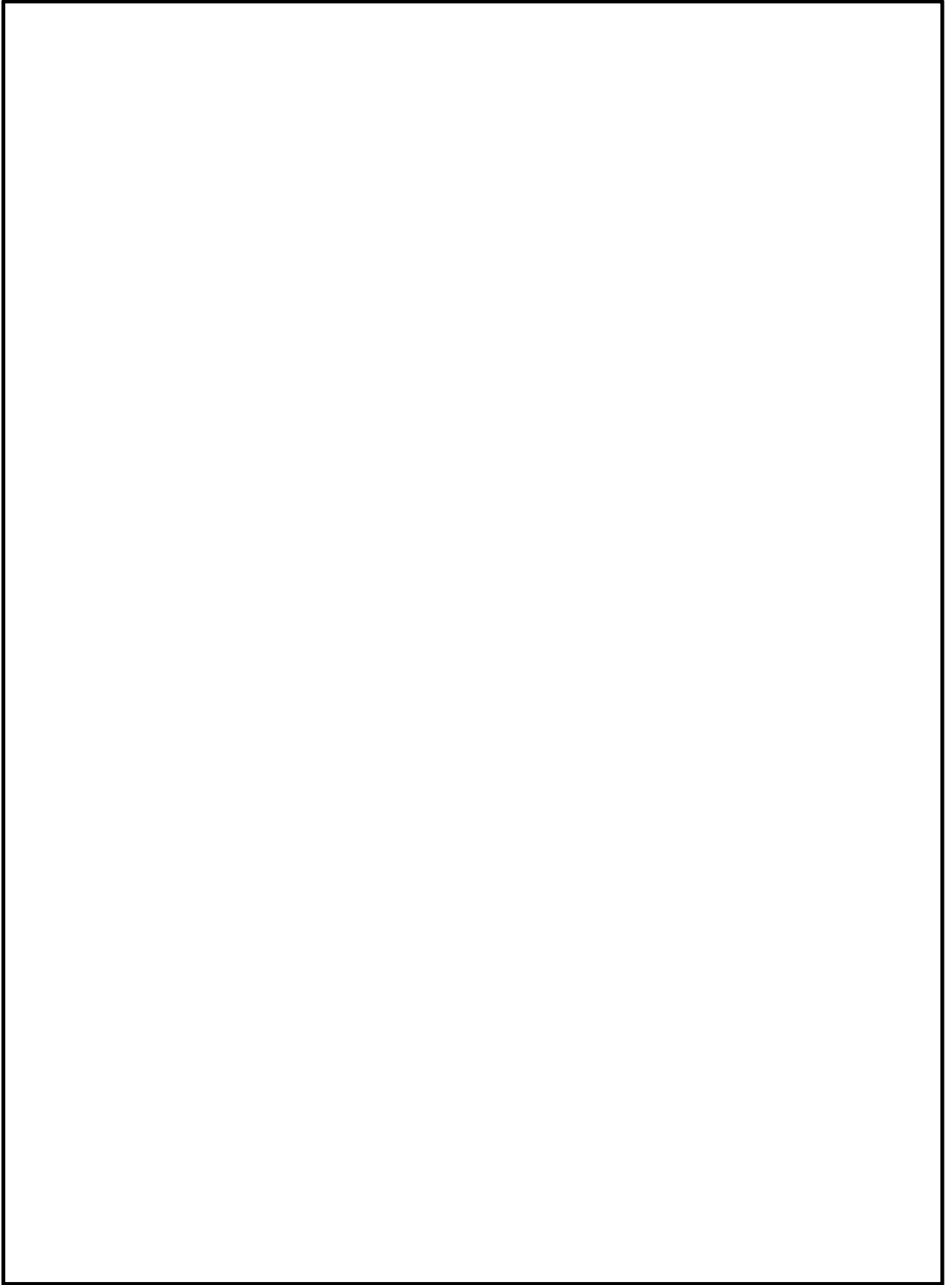
補-3-11-20



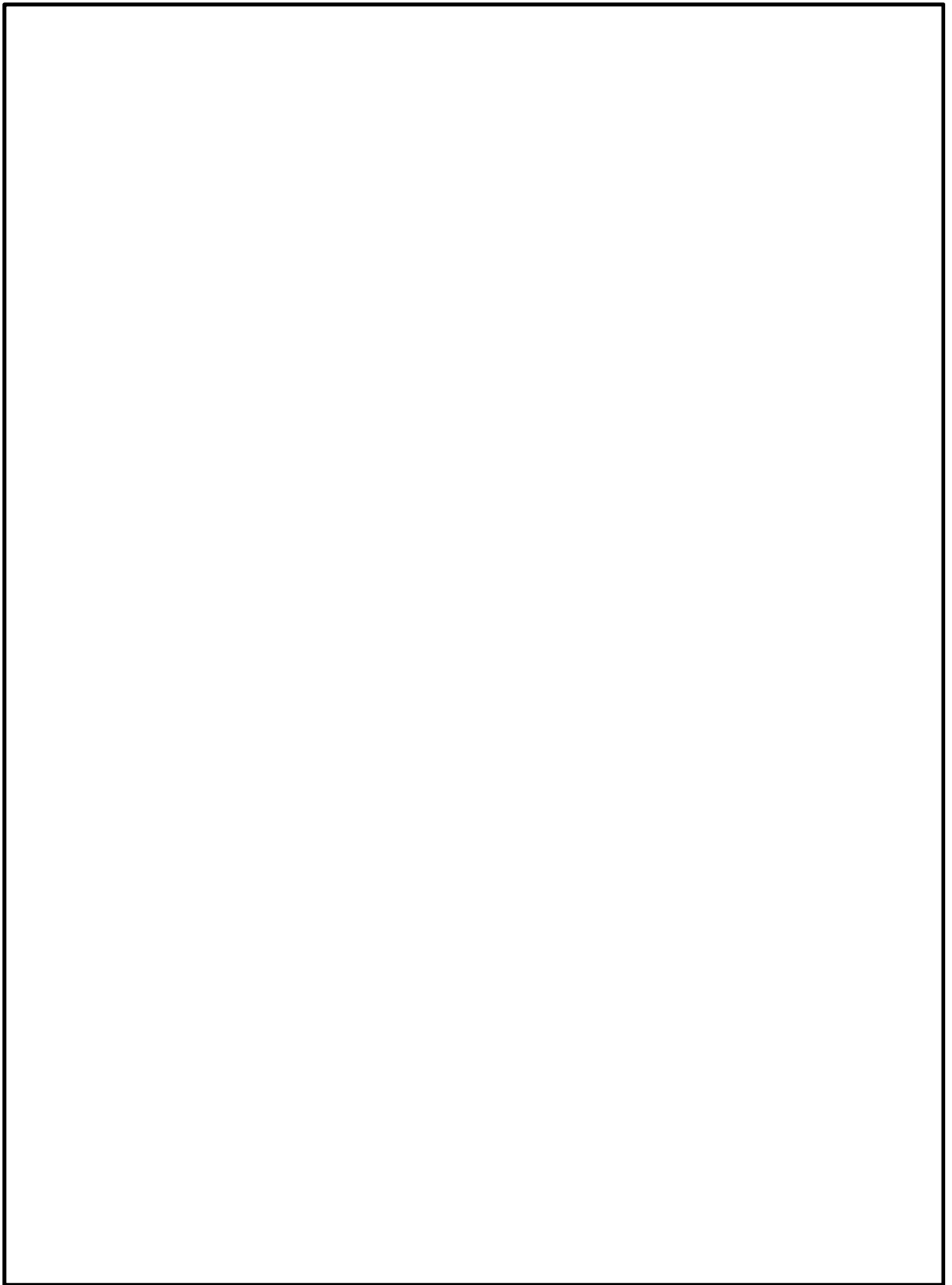
補-3-11-21



補-3-11-22



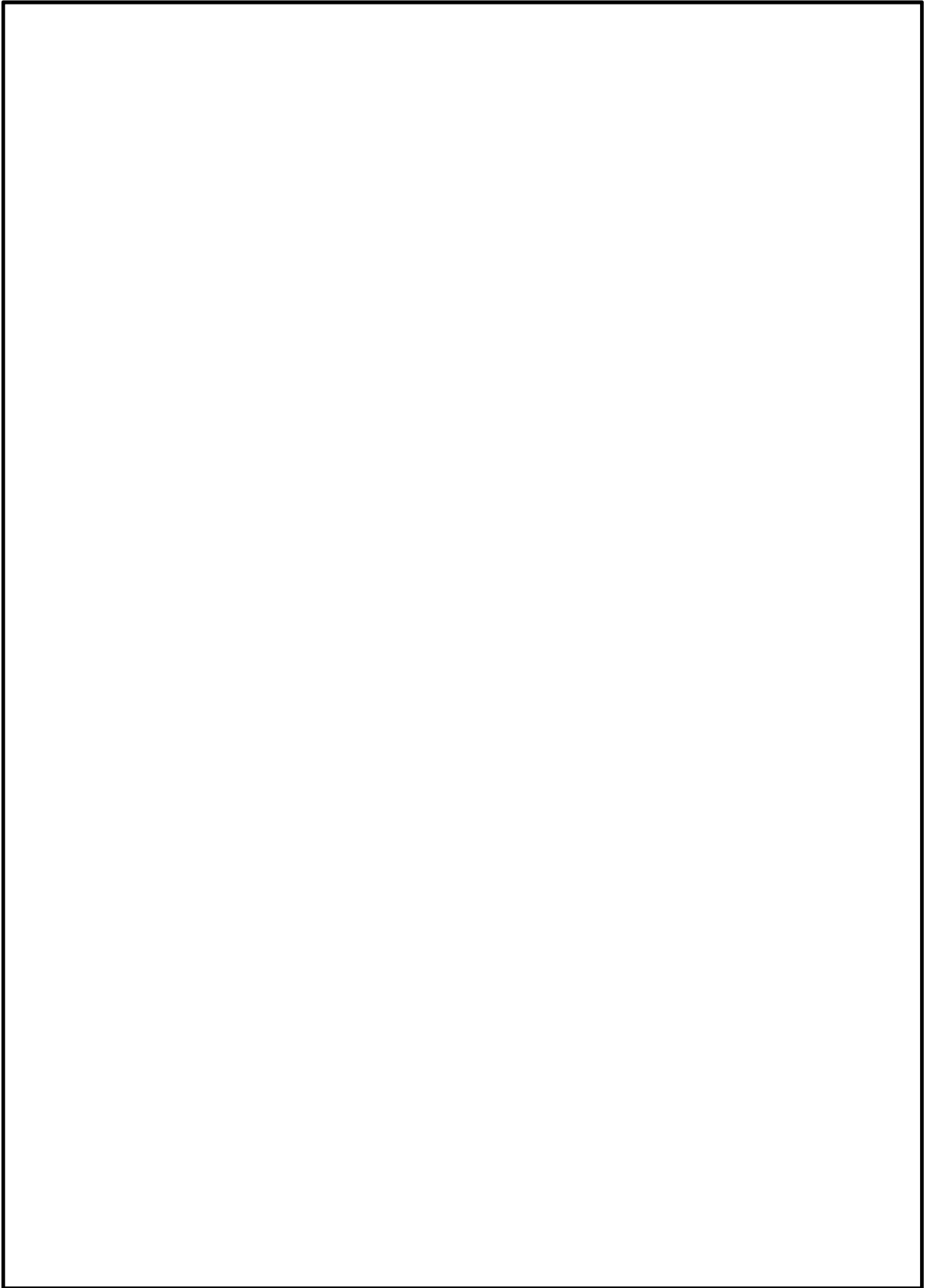
補-3-11-23



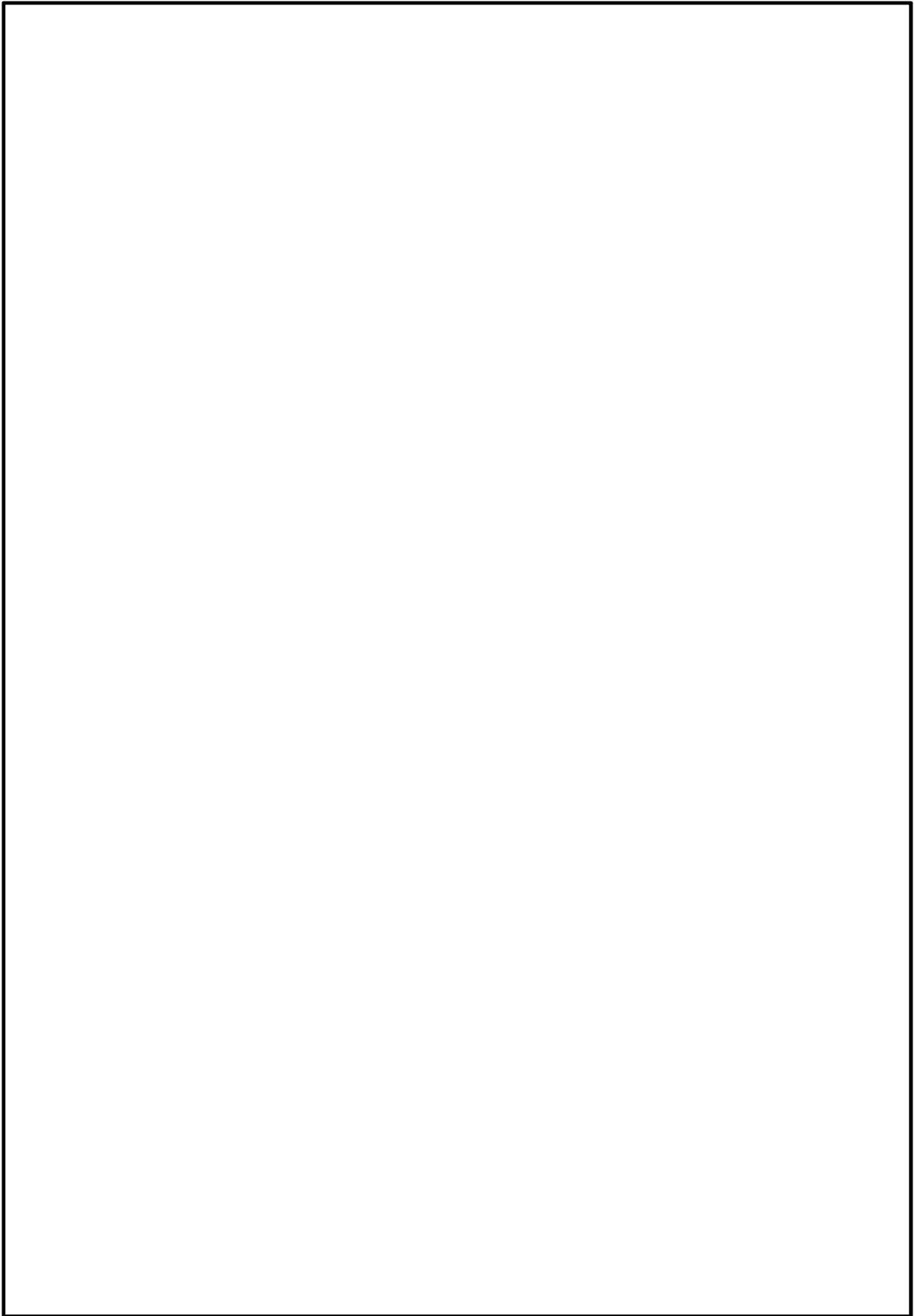
補-3-11-24



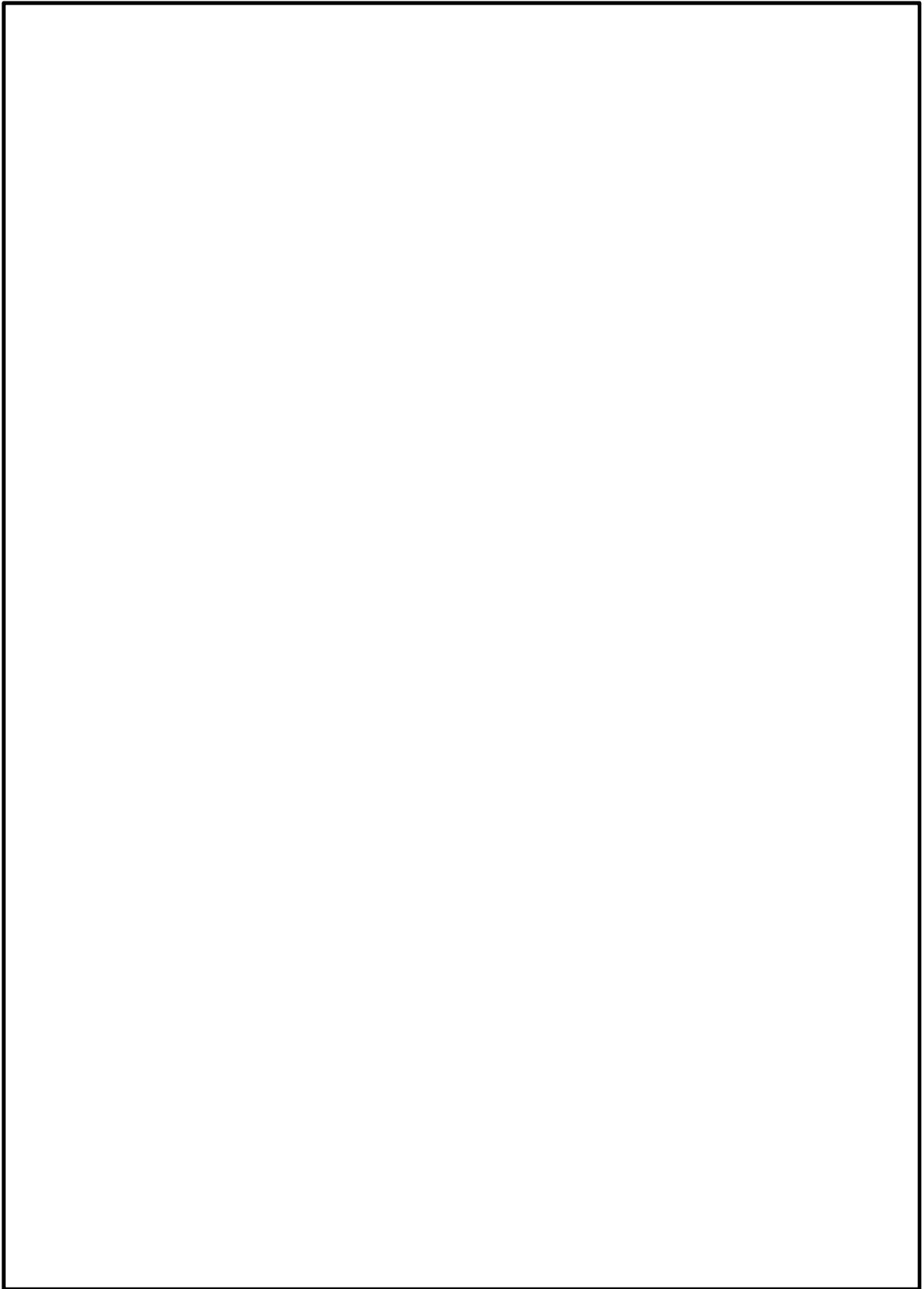
補-3-11-25



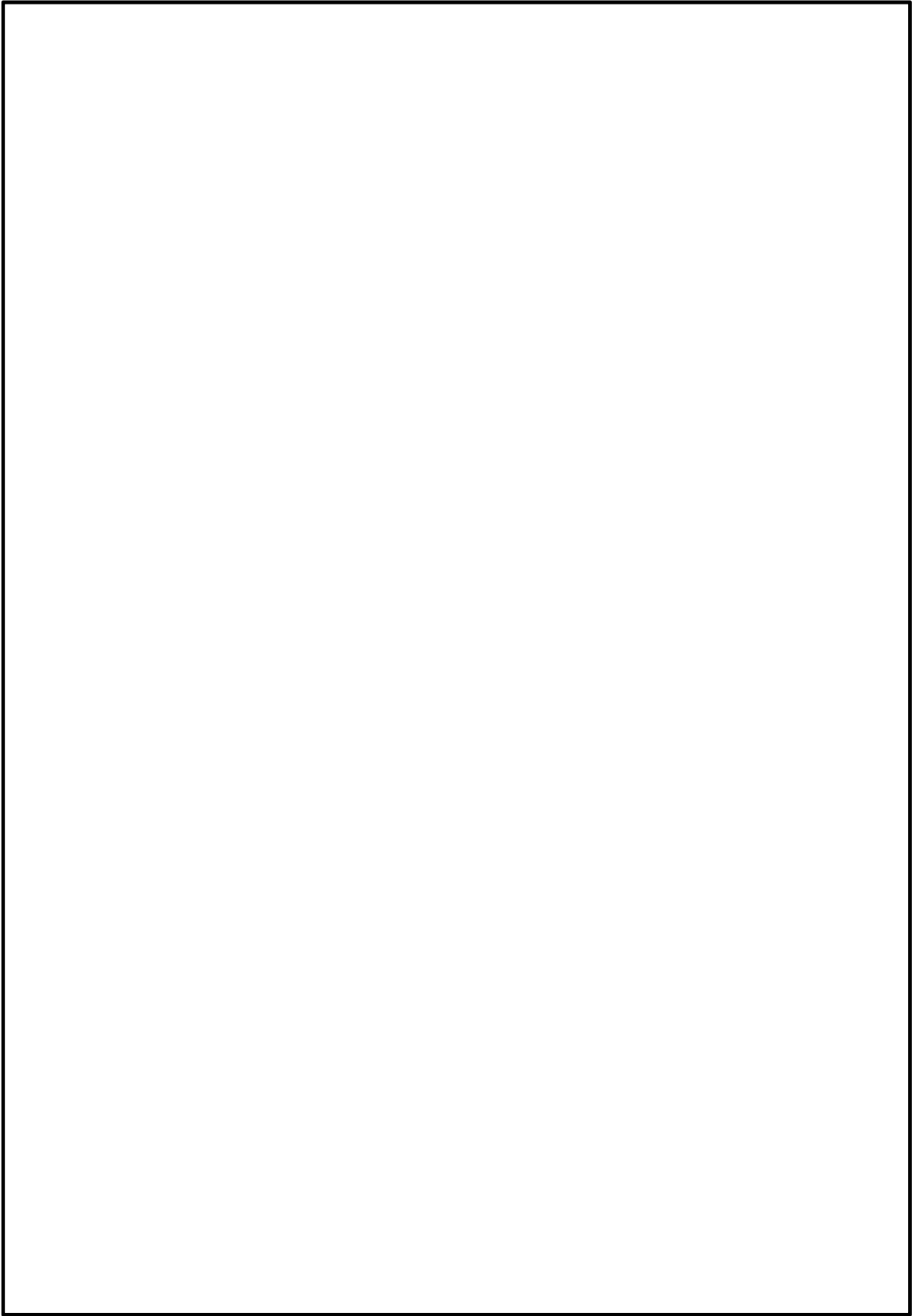
補-3-11-26



補-3-11-27



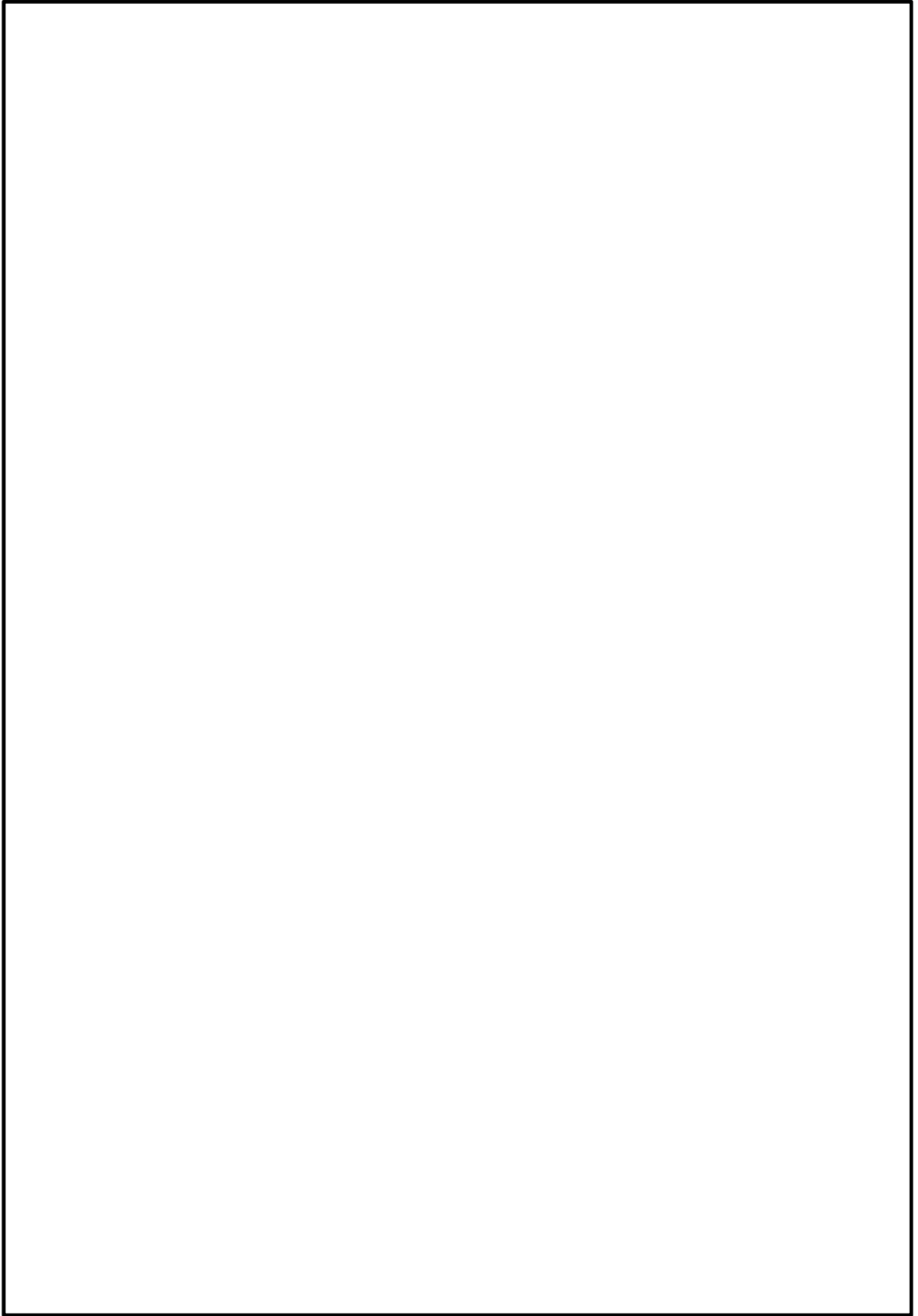
補-3-11-28



補-3-11-29



補-3-11-30



補-3-11-31



補-3-11-32



補-3-11-33

東海第二発電所

火災による損傷の防止

東海第二発電所における火災感知器及び消火設備の区画別設置状況について

※1 原子炉の安全停止に必要な機器・放射性物質貯蔵等の機能を有する機器・重大事故等対処設備のうち、火災防護対策が必要な機器であり、耐震SクラスまたはSs機能維持設計

※2 全域及び局所とは、ハロゲン化物自動消火設備を示し、使用するガスはハロゲン化物を示す。

※3 備考欄にSAと記載のあるものは41条のみで火災防護が要求される重大事故対象設備が設置される火災区画
※今後の詳細設計で変更する可能性がある

火災区域 又は 火災区画	区画 (部屋) 名称	火災防護対策 が必要な機器 の有無※1	火災感知器 (消防法要求の 感知器は除く)	消火 設備※2	消火 方法	消火設備／感知 器の耐震クラス	備考
	RHR 熱交換器 A 室 代替循環冷 却系ポンプ A 室	有	煙感知器 熱感知器	局所	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	SA
	B2 階通路	有	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	可燃物が殆どない ため消火活動が困 難とならない SA
	RCIC ポンプ室	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	SA
	サンプポンプ室 (東)	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	LPCS ポンプ室 常設高圧代替注 水系ポンプ室	有	煙感知器 熱感知器	局所	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	SA
	HPCS ポンプ室	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	
	サンプポンプ室 (西)	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	RHR 熱交換器 B 室 代替循環冷 却系ポンプ B 室	有	煙感知器 熱感知器	局所	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	SA
	RHR ポンプ B 室	有	煙感知器 熱感知器	局所	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	SA
	RHR ポンプ C 室	有	煙感知器 熱感知器	局所	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	
	RHR ポンプ A 室	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	
	非常用ディーゼ ル(2C)室	有	煙感知器 熱感知器	二酸化炭素 消火設備	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	
	非常用ディーゼ ル(HPCS)室	有	煙感知器 熱感知器	二酸化炭素 消火設備	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	
	非常用ディーゼ ル(2D)室	有	煙感知器 熱感知器	二酸化炭素 消火設備	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	
	A 系スイッチギ ア室	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	SA
	HPCS 系スイッ チギア室	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	

火災区域 又は 火災区画	区画 (部屋) 名称	火災防護対策 が必要な機器 の有無※1	火災感知器 (消防法要求の 感知器は除く)	消火 設備※2	消火 方法	消火設備／感知 器の耐震クラス	備考
	RHR 熱交換器 A 室	有	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	不燃材，難燃材で構 成し，火災荷重を低 く抑えることで，煙 充満により消火困 難にならない SA
	B1 階通路(東)	有	煙感知器 熱感知器	局所	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	SA
	B1 階通路(西)	有	煙感知器 熱感知器	局所	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	SA
	RHR 熱交換器 B 室	有	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	不燃材，難燃材で構 成し，火災荷重を低 く抑えることで，煙 充満により消火困 難にならない SA
	非常用ディーゼ ル(2C)室	有	煙感知器 熱感知器	二酸化炭素 消火設備	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	
	非常用ディーゼ ル(HPCS)室	有	煙感知器 熱感知器	二酸化炭素 消火設備	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	
	非常用ディーゼ ル(2D)室	有	煙感知器 熱感知器	二酸化炭素 消火設備	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	
	B 系スイッチギ ア室(MCR 外操 作盤)	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	
	B 系スイッチギ ア室	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	SA
	D/G-2D デイタ ンク室	有	煙感知器 熱感知器	二酸化炭素 消火設備	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	
	D/G-HPCS デイ タンク室	有	煙感知器 熱感知器	二酸化炭素 消火設備	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	
	D/G-2C デイタ ンク室	有	煙感知器 熱感知器	二酸化炭素 消火設備	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	
	RHR 熱交換器 A 室	有	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	不燃材，難燃材で構 成し，火災荷重を低 く抑えることで，煙 充満により消火困 難にならない SA
	1 階通路(東)	有	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	不燃材，難燃材で構 成し，火災荷重を低 く抑えることで，煙 充満により消火困 難にならない SA
	1 階通路(西)	有	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	不燃材，難燃材で構 成し，火災荷重を低 く抑えることで，煙 充満により消火困 難にならない SA

火災区域 又は 火災区画	区画 (部屋) 名称	火災防護対策 が必要な機器 の有無※1	火災感知器 (消防法要求の 感知器は除く)	消火 設備※2	消火 方法	消火設備／感知 器の耐震クラス	備考
	RHR 熱交換器 B 室	有	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	不燃材，難燃材で構 成し，火災荷重を低 く抑えることで，煙 充満により消火困 難にならない SA
	125V バッテリ ー室(2B)	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	
	24V バッテリ ー室(2A)	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	
	125V バッテリ ー室(2B)	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	
	MG(A)エリア	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	
	MG(B)エリア	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	
	125V 充電器 2A エリア	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	SA
	125V 充電器 2B エリア	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	SA
	直流 125V 蓄電 池 2A 室	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	
	直流 125V 蓄電 池 HPCS 室	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	
	エレベータマシ ン室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	TIP ドライブメ カニズム室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	2 階通路(東)	有	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	不燃材，難燃材で構 成し，火災荷重を低 く抑えることで，煙 充満により消火困 難にならない SA
	2 階通路(西)	有	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	不燃材，難燃材で構 成し，火災荷重を低 く抑えることで，煙 充満により消火困 難にならない SA
	CUW ポンプ B 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	CUW 配管室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	

火災区域 又は 火災区画	区画 (部屋) 名称	火災防護対策 が必要な機器 の有無※1	火災感知器 (消防法要求の 感知器は除く)	消火 設備※2	消火 方法	消火設備／感知 器の耐震クラス	備考
	CUW ポンプ A 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	MS トンネル室	有	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	不燃材、難燃材で構成し、火災荷重を低く抑えることで、煙充満により消火困難にならない
	ケーブル処理室	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	
	コンピュータ室	有	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	SA
	中央制御室	有	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	運転員が常駐しており、早期に感知・消火が可能 SA
	中央制御室床下 コンクリートピット	有	煙感知器 熱感知器	局所	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	
	バッテリー排気 ファン A 室	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	
	バッテリー排気 ファン B 室	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	
	プロセスコンピュータ室	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	SA
	3 階通路(東)	有	煙感知器 熱感知器	局所	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	SA
	3 階通路(西)	有	煙感知器 熱感知器	局所	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	SA
	RHR 弁室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	当該火災区画の弁は消火後に手動操作することで対応可能。SA
	メタクラ空調機 A エリア	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	SA
	メタクラ空調機 B エリア	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	SA
	MCR 空調機 A エリア	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	SA
	MCR 空調機 B エリア	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	SA
	MCR バイパスフィルタ A エリア	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	
	MCR バイパスフィルタ B エリア	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	SA

火災区域 又は 火災区画	区画 (部屋) 名称	火災防護対策 が必要な機器 の有無※1	火災感知器 (消防法要求の 感知器は除く)	消火 設備※2	消火 方法	消火設備／感知 器の耐震クラス	備考
	代替燃料プール 冷却系ポンプ、熱 交換器室	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	SA
	制御棒補修室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	4階通路(東)	有	煙感知器 熱感知器	局所	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	SA
	4階通路(西)	有	煙感知器 熱感知器	局所	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	SA
	CUW 熱交換器室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	CUW 逆洗タンク /ポンプ室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	FPC ポンプ室	有	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	不燃材、難燃材で構 成し、火災荷重を低 く抑えることで、煙 充満により消火困 難にならない SA
	FPC 熱交換器室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	FPC 輸送ポンプ 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	FPC 保持ポンプ A室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	FPC 逆洗受けタ ンク室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	FPC 保持ポンプ B室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	5階通路(エレ ベータ側)	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	キャスクビット 除染室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	非常用ガス再循 環系(A)エリア	有	煙感知器 熱感知器	局所	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	SA
	非常用ガス再循 環系(B)エリア	有	煙感知器 熱感知器	局所	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	SA
	非常用ガス処理 系(A)エリア	有	煙感知器 熱感知器	局所	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	SA
	非常用ガス処理 系(B)エリア	有	煙感知器 熱感知器	局所	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	SA
	5階通路(西)	有	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	不燃材、難燃材で構 成し、火災荷重を低 く抑えることで、煙 充満により消火困 難にならない SA

火災区域 又は 火災区画	区画 (部屋) 名称	火災防護対策 が必要な機器 の有無※1	火災感知器 (消防法要求の 感知器は除く)	消火 設備※2	消火 方法	消火設備/感知 器の耐震クラス	備考
	SLC ポンプ (A) エリア	有	煙感知器 熱感知器	局所	自動	C(Ss 機能維持)/ 同上	
	SLC ポンプ (B) エリア	有	煙感知器 熱感知器	局所	自動	C(Ss 機能維持)/ 同上	
	CUW F/D(A)室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	CUW F/D(B)室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	CUW 保持ポンプ 3A 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	CUW 保持ポンプ 3B 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	CUW プリコート ポンプ室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	新燃料貯蔵庫	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	FPC F/D(A, B)室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	キャスクピット	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	FPC プリコート ポンプ室	有	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)/ C(Ss 機能維持)	SA
	オペフロ	有	光電分離式 煙感知器 炎感知器	消火器	手動	固縛(消火器)/ C(Ss 機能維持)	不燃材, 難燃材で構成 し, 火災荷重を低く抑 えることで, 煙充満に より消火困難になら ない, SA
	PCV 全域	有	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)/ C(Ss 機能維持)	ページ用排風機に より排煙可能な設 計とすることから, 煙充満により消火 困難にならない SA
	復水脱塩塔室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	B1 階通路	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	ACID/CAUSTIC ポンプ室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	低圧復水ポンプ 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	樹脂再生塔室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	

火災区域 又は 火災区画	区画 (部屋) 名称	火災防護対策 が必要な機器 の有無※1	火災感知器 (消防法要求の 感知器は除く)	消火 設備※2	消火 方法	消火設備/感知 器の耐震クラス	備考
	バッチオイルタンク室	無	—	二酸化炭素 消火設備	自動	Cクラス/ —	
	EHC 制御油圧装置室	無	—	二酸化炭素 消火設備	自動	Cクラス/ —	
	B1 復水器室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	ディーゼル消火ポンプ室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	タービン電気室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	所内ボイラー室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	1 階通路	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	真空ポンプ室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	グランドコンデンサー室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	空気抽出器室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	排ガスコンデンサ B 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	1 階階段室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	排ガスコンデンサ A 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	MDRFP (A) , (B) エリア	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	ヒーター室	有	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)/ Cクラス	
	主油タンク室	無	—	二酸化炭素 消火設備	自動	Cクラス/ —	
	RCW/TCW 熱交換器エリア	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	OG 再結合器 B 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	OG 再結合器 A 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	2 階階段室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	T/B1FL 機械工作 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	タービン建屋給 気 ファン 室 (2A/2B)	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	

火災区域 又は 火災区画	区画 (部屋) 名称	火災防護対策 が必要な機器 の有無※1	火災感知器 (消防法要求の 感知器は除く)	消火 設備※2	消火 方法	消火設備/感知 器の耐震クラス	備考
	メンテナンス室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	HVAC 制御室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	タービン建屋給 気ファン室 (1A/1B)	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	タービンオペレ ーティングフロ ア	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	オペレーティングフ ロア排気ファン室 (A/B/C)	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	RW 建屋給気フ ァン室(A/B)	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	タービン建屋排 気ファン室 (A/B/C)	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	RW 建屋排気フ ァン室(3B)	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	RW 建屋排気フ ァン室(3A)	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	原子炉建屋排気 ファン室 (2A/2B)	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	NATRAS 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	エレベータマシ ン室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	原子炉建屋給気 ファン室 (3A/3B)	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	サンプルラック 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	オフガス室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	TDRFP (A) 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	TDRFP (B) 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	使用済樹脂タン ク室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	B1 階北側ポン プエリア	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	B1 階北側通路	有	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)/ C(Ss 機能維持)	
	廃液収集ポンプ 他室入口	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	

火災区域 又は 火災区画	区画 (部屋) 名称	火災防護対策 が必要な機器 の有無※1	火災感知器 (消防法要求の 感知器は除く)	消火 設備※2	消火 方法	消火設備／感知 器の耐震クラス	備考
	廃液収集タンク 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	廃液収集ポンプ 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	廃液スラッジ貯 蔵室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	廃液中和ポンプ 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	廃液中和タンク 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	濃縮廃液ポンプ 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	廃液中和ポンプ 他室入口エリア 緊急用海水系隔 離弁(Hx 行き, 補機行き)エリ ア	有	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	SA
	南側中地下1階 ポンプエリア	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	北側中地下1階 床ドレンポンプ エリア	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	洗濯廃液ドレン ポンプエリア	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	廃液サンプルタ ンク室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	オフガスサンプ ルラック室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	1階北側通路	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	オフガス弁室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	オフガスプロワ 室	有	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	
	RW 制御室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	1階中央通路	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	緊急用電気室 (緊急用 MCC 他)	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	SA
	緊急用電気室 (緊急用蓄電池)	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	SA
	1階南側通路	有	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	SA
	オフガスハッチ エリア	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	

火災区域 又は 火災区画	区画 (部屋) 名称	火災防護対策 が必要な機器 の有無※1	火災感知器 (消防法要求の 感知器は除く)	消火 設備※2	消火 方法	消火設備／感知 器の耐震クラス	備考
	クラリファイヤ ーポンプエリア	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	樹脂充填筒エリ ア	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	サンプルタンク 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	クラリファイヤ ータンク室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	ディストレート コレクターポン プエリア	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	ディストレート コレクタータン ク室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	連絡配管路出入 口エリア	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	緊急用電気室 (緊急用直流 125V MCC)	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	SA
	廃液濃縮器ポン プ室入口	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	コンセントレー タポンプ(B)室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	コンセントレー タポンプ(A)室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	レシービングタ ンク室	有	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	SA
	北側階段室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	遠心分離器 B 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	遠心分離器 A 室	有	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	SA
	3 階通路	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	廃液濃縮器 A 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	廃液濃縮器 B 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	活性炭ベッド室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	再生ガスメッ シュフィルター室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	除湿器室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	除湿器室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	排ガス再生装置 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	

火災区域 又は 火災区画	区画 (部屋) 名称	火災防護対策 が必要な機器 の有無※1	火災感知器 (消防法要求の 感知器は除く)	消火 設備※2	消火 方法	消火設備/感知 器の耐震クラス	備考
	真空ポンプ室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	コンプレッサー 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	AUX タンク室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	メンテナンスエ リア	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	原子炉建屋換気 系弁エンクロー ジャー	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	原子炉建屋換気 系弁エンクロー ジャー	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	クレーンA 給電 用ケーブルリール 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	セメント混練固 化装置室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	減容固化系移送 ポンプ室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	減容固化系溶解 タンク室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	高電導度ドレン サンプリングポ ンプ室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	減容固化系溶解 ポンプ室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	階段室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	通路	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	洗濯廃液受タン ク室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	電磁ろ過器供給 ポンプ室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	クラッドスラリ 上澄水受タンク 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	シール水ポン プ・タンク室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	ポンプ保守室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	階段室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	予備室C	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	

火災区域 又は 火災区画	区画 (部屋) 名称	火災防護対策 が必要な機器 の有無※1	火災感知器 (消防法要求の 感知器は除く)	消火 設備※2	消火 方法	消火設備／感知 器の耐震クラス	備考
	機器ドレン処理 水ポンプ・凝縮 水収集ポンプ室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	機器ドレンサン プリングポン プ・床ドレンサ ンプリングポン プ室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	除染シンク室廊 下	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	除染シンク室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	エレベーター室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	(欠番)	—	—	—	—	—	—
	洗濯廃液供給ポ ンプ室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	減容固化体移送 装置室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	減容固化系キャ ッピング装置室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	減容固化系ペレ ット充填装置室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	減容固化系容器 移送装置室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	減容固化体空容 器置場	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	空気圧縮機室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	(欠番)	—	—	—	—	—	—
	所内蒸気復水ポ ンプ・タンク室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	配管ダクト室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	使用済樹脂貯蔵 タンク室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	ろ過水ポンプ・ タンク室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	電磁ろ過器供給 タンク室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	前置ろ過器室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	

火災区域 又は 火災区画	区画 (部屋) 名称	火災防護対策 が必要な機器 の有無※1	火災感知器 (消防法要求の 感知器は除く)	消火 設備※2	消火 方法	消火設備/感知 器の耐震クラス	備考
	廃活性炭吸引装 置室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	通路	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	濃縮廃液受けタ ンク室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	機器ドレン処理 水タンク室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	(欠番)	—	—	—	—	—	—
	パワーセンタ室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	減容固化系硫酸 ソーダ添加タン ク室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	バルブ室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	固化剤供給タン ク室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	減容固化系ペレ ットホッパ室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	排気ブロワ・排 気フィルタ室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	廃油供給ポン プ・タンク室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	焼却炉灰取出ボ ックス室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	熔融炉 2 次燃焼 器燃焼室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	熔融電源室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	I R 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	タンク保守室 B	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	チェス室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	クラッドスラリ 濃縮器循環ポン プ室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	サンプリングシ ンク室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	集中清掃機器室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	バッテリー室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	

火災区域 又は 火災区画	区画 (部屋) 名称	火災防護対策 が必要な機器 の有無※1	火災感知器 (消防法要求の 感知器は除く)	消火 設備※2	消火 方法	消火設備／感知 器の耐震クラス	備考
	電気室空調器	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	通路	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	バルブエリア室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	クラッドスラリ 濃縮器室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	クラッドスラリ 濃縮器加熱器室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	連絡通路	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	チェス室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	パイプチェス室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	減容固化系造粒 機室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	減容固化系放射 線モニタサンプ ルラック室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	ドラム挿入室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	エレベーター室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	焼却炉室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	セラミックフィ ルタ灰取出コン ベア室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	通路	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	階段室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	機器搬出入用ト ラックエリア室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	ポンプメンテナ ンス除染パン室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	超ろ過器供給ポ ンプ室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	チェス室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	電磁ろ過器バル ブ室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	電磁ろ過器循環 供給ポンプ・スポ ンジボール移送 ポンプ室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	

火災区域 又は 火災区画	区画 (部屋) 名称	火災防護対策 が必要な機器 の有無※1	火災感知器 (消防法要求の 感知器は除く)	消火 設備※2	消火 方法	消火設備/感知 器の耐震クラス	備考
	予備室A	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	(欠番)	—	—	—	—	—	—
	サイトバンクト ラックエリア室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	(欠番)	—	—	—	—	—	—
	クラッドスラリ 濃縮器室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	キャスト除染ピ ット室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	スキマサージタ ンク室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	電磁ろ過器A室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	電磁ろ過器B室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	連絡配管路室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	減容固化系電気 ヒーター室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	減容固化系乾燥 機室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	階段室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	2次セラミック フィルタ室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	(欠番)	—	—	—	—	—	—
	階段室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	操作室中3階	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	操作室2階	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	超ろ過器供給タ ンク室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	チェス室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	電磁ろ過器保守 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	パイプチェス室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	超ろ過器室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	サイドバンク更 衣室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	

火災区域 又は 火災区画	区画 (部屋) 名称	火災防護対策 が必要な機器 の有無※1	火災感知器 (消防法要求の 感知器は除く)	消火 設備※2	消火 方法	消火設備/感知 器の耐震クラス	備考
	使用済燃料用キ ャスク保管スペ ース室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	階段室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	階段室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	減容固化系粒子 ブロワ	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	チェス室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	サンプリングシ ンク室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	チェス室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	通路	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	冷凍機室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	補機冷却水機器 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	減容固化系ミス トセパレータ室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	チェス室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	減容固化系供給 ポンプ室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	階段室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	雑固体切断機室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	雑固体前処理室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	投入室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	通路	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	排ガス処理室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	排ガス処理室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	チェス室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	

火災区域 又は 火災区画	区画 (部屋) 名称	火災防護対策 が必要な機器 の有無※1	火災感知器 (消防法要求の 感知器は除く)	消火 設備※2	消火 方法	消火設備／感知 器の耐震クラス	備考
	送風機C室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	給気加熱コイル C室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	送風機B室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	給気加熱コイル B室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	送風機A室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	給気加熱コイル A室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	(欠番)	—	—	—	—	—	—
	減容固化系循環 ポンプ室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	サンプリングシ ンク室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	減容固化系供給 タンク	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	減容固化系乾燥 機室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	減容固化系乾燥 機排気ブロワ	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	減容固化系乾燥 機復水器室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	計器保守室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	排ガスフィルタ 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	タンクベント室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	エレベーター機 械室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	サンプルラック 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	建屋排気系フィ ルタユニット室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	通路	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	

火災区域 又は 火災区画	区画 (部屋) 名称	火災防護対策 が必要な機器 の有無※1	火災感知器 (消防法要求の 感知器は除く)	消火 設備※2	消火 方法	消火設備／感知 器の耐震クラス	備考
	主排気系排風機	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	階段室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	補機冷却水サー ジタンク・冷水 膨張タンク室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	(欠番)	—	—	—	—	—	—
	チェンジングス ペース室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	階段室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	復水貯蔵タンク エリア	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	海水ポンプ室北 側	有	炎感知器 熱感知カメラ	消火器又は 移動式消火 設備	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	屋外であり煙充満 により消火困難に ならない
	海水ポンプ室南 側	有	炎感知器 熱感知カメラ	消火器又は 移動式消火 設備	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	屋外であり煙充満 により消火困難に ならない
	DG-2C ルーフベ ントファン室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	不燃性材料で構成 し多重化されおり、 火災により全機能 喪失とならない
	DG-2D ルーフベ ントファン室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	不燃性材料で構成 し多重化されてお り、火災により全機 能喪失とならない
	DG-HPCS ルーフ ベントファン室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	不燃性材料で構成 し多重化されてい るため、火災により 全機能喪失となら ない
	バッテリー空調 機 A エリア	有	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	屋外であり煙充満 により消火困難に ならない
	バッテリー空調 機 B エリア	有	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	屋外であり煙充満 により消火困難に ならない
	メタクラチラー ユニット 4B エ リア	有	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	屋外であり煙充満 により消火困難に ならない
	メタクラチラー ユニット 4A エ リア	有	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	屋外であり煙充満 により消火困難に ならない
	MCR チラーユニ ット-2 エリア	有	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	屋外であり煙充満 により消火困難に ならない

火災区域 又は 火災区画	区画 (部屋) 名称	火災防護対策 が必要な機器 の有無※1	火災感知器 (消防法要求の 感知器は除く)	消火 設備※2	消火 方法	消火設備／感知 器の耐震クラス	備考
	MCR チラーユニ ット-1 エ リア	有	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	屋外であり煙充満 により消火困難に ならない
	メタクラチラー ユニット 3A エ リア	有	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	屋外であり煙充満 により消火困難に ならない
	メタクラチラー ユニット 3B エ リア	有	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	屋外であり煙充満 により消火困難に ならない
	軽油貯蔵タンク A 室	有	煙感知器 熱感知器	消火器又は 移動式消火 設備	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	屋外であり煙充満 により消火困難に ならない
	軽油貯蔵タンク B 室	有	煙感知器 熱感知器	消火器又は 移動式消火 設備	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	屋外であり煙充満 により消火困難に ならない
	可搬型設備用軽 油タンク室 (西 側)	有	煙感知器 熱感知器	消火器又は 移動式消火 設備	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	屋外であり煙充満 により消火困難に ならない SA
	可搬型設備用軽 油タンク室 (南 側)	有	煙感知器 熱感知器	消火器又は 移動式消火 設備	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	屋外であり煙充満 により消火困難に ならない SA
	緊急時対策所用 発電機燃料油タ ンク A 室	有	煙感知器 熱感知器	消火器又は 移動式消火 設備	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	屋外であり煙充満 により消火困難に ならない SA
	緊急時対策所用 発電機燃料油タ ンク B 室	有	煙感知器 熱感知器	消火器又は 移動式消火 設備	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	屋外であり煙充満 により消火困難に ならない SA
	常設低圧代替注 水系ポンプ室	有	煙感知器 熱感知器	局所	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	SA
	常設低圧代替注 水系配管カルバ ート	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	可燃物が殆どない ため消火活動が困 難とならない SA
	常設低圧代替注 水系配管カルバ ート	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	可燃物が殆どない ため消火活動が困 難とならない SA
	代替淡水貯槽	無	—	—	—	—	不燃材で構成され ているため火災に よって影響を受け ない。 SA
	格納容器圧力逃 がし装置格納槽	有	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	設置機器の火災荷 重が小さく、消火困 難とはならない SA
	格納容器圧力逃 がし装置弁・制 御盤室	有	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	設置機器の火災荷 重が小さく、消火困 難とはならない SA
	格納容器圧力逃 がし装置用配管 カルバート	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	可燃物が殆どない ため消火活動が困 難とならない SA

火災区域 又は 火災区画	区画 (部屋) 名称	火災防護対策 が必要な機器 の有無※1	火災感知器 (消防法要求の 感知器は除く)	消火 設備※2	消火 方法	消火設備/感知 器の耐震クラス	備考
	緊急用海水ポン プピット	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)/ 同上	SA
	排気筒モニタ A 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	排気筒モニタ B 室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	給水加熱器保管 庫	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	排水ポンプ室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	西側淡水貯水設 備	無	—	—	—	—	不燃材で構成され ているため火災に よって影響を受け ない。SA
	ハロン消火設備 ポンベ室 A	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	機器ハッチ室	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)/ 同上	
	燃料移送ポンプ 前室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	D/G 2D 燃料移送 ポンプ室	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)/ 同上	
	D/G HPCS 燃料移 送ポンプ室	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)/ 同上	
	D/G 2C 燃料移送 ポンプ室	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)/ 同上	
	ディーゼル駆動 消火ポンプ用燃 料移送ポンプ室	無	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)/ 同上	
	常設代替高圧電 源装置用燃料移 送ポンプ A 室	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)/ 同上	SA
	常設代替高圧電 源装置用燃料移 送ポンプ B 室	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)/ 同上	SA
	換気機械室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	緊急用電気品室	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)/ 同上	SA
	ハロン消火設備 ポンベ室 B	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	不燃材で構成し、火 災荷重を低く抑え ることで、煙充満に よって消火困難にな らない
	常設代替高圧電 源装置エリア A	有	炎感知器 熱感知カメラ	消火器又は 移動式消火 設備	手動	固縛(消火器)/ C(Ss 機能維持)	屋外であり煙充満 により消火困難に ならない SA

火災区域 又は 火災区画	区画 (部屋) 名称	火災防護対策 が必要な機器 の有無※1	火災感知器 (消防法要求の 感知器は除く)	消火 設備※2	消火 方法	消火設備/感知 器の耐震クラス	備考
	常設代替高圧電 源装置エリア B	有	炎感知器 熱感知カメラ	消火器又は 移動式消火 設備	手動	固縛(消火器)/ C(Ss 機能維持)	屋外であり煙充満 により消火困難に ならない SA
	常設代替高圧電 源装置エリア C	有	炎感知器 熱感知カメラ	消火器又は 移動式消火 設備	手動	固縛(消火器)/ C(Ss 機能維持)	屋外であり煙充満 により消火困難に ならない SA
	階段室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	DB トンネル	有	煙感知器 熱感知器	全域	手動	C(Ss 機能維持)/ 同上	常時換気されてお り、煙充満により消 火困難にはならな いが、トンネル長が 長いこと、消火器運 搬のためのスペース が十分でないおそ れがあることから、 固定式の消火設 備を設置する。
	SA トンネル	有	煙感知器 熱感知器	全域	手動	C(Ss 機能維持)/ 同上	
	西側淡水貯水設 備水位計室	有	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	SA
	緊急時対策所建 屋 発電機室 2A	有	煙感知器 熱感知器	二酸化炭素 消火設備	自動	C(Ss 機能維持)/ 同上	SA
	緊急時対策所建 屋 発電機室 2B	有	煙感知器 熱感知器	二酸化炭素 消火設備	自動	C(Ss 機能維持)/ 同上	SA
	緊急時対策所建 屋 ハロン消火 設備室	無	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)/ C(Ss 機能維持)	緊急時対策所給 気・排気配管 (SA) は不燃材で構成さ れており火災の影 響を受けない。
	緊急時対策所建 屋 CO2 消火設 備室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	緊急時対策所建 屋 防護具保管 室	無	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)/ C(Ss 機能維持)	・緊急時対策所の運 用に必要な物品を 配備する火災区画 ・緊急時対策所給 気・排気配管 (SA) は不燃材で構成さ れており火災の影 響を受けない。
	緊急時対策所建 屋 試料分析室	無	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)/ C(Ss 機能維持)	・防護具保管エリア へのアクセスルー ト ・緊急時対策所給 気・排気配管 (SA) は不燃材で構成さ れており火災の影 響を受けない。
	緊急時対策所建 屋 階段室	無	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)/ C(Ss 機能維持)	緊急時対策所のア クセスルート
	緊急時対策所建 屋 1 階通路部	無	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)/ C(Ss 機能維持)	緊急時対策所のア クセスルート

火災区域 又は 火災区画	区画 (部屋) 名称	火災防護対策 が必要な機器 の有無※1	火災感知器 (消防法要求の 感知器は除く)	消火 設備※2	消火 方法	消火設備/感知 器の耐震クラス	備考
	緊急時対策所建 屋 1階エアロ ック室	無	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)/ C(Ss 機能維持)	緊急時対策所のア クセスルート
	緊急時対策所建 屋 チェンジン グエリア	無	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)/ C(Ss 機能維持)	・汚染の持ち込みを 防止する区画 ・緊急時対策所給 気・排気配管 (SA) は不燃材で構成さ れており火災の影 響を受けない。
	緊急時対策所建 屋 1階通路部	無	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)/ C(Ss 機能維持)	・緊急時対策所のア クセスルート ・緊急時対策所給 気・排気配管 (SA) は不燃材で構成さ れており火災の影 響を受けない。
	緊急時対策所建 屋 空気ポンベ 室	有	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)/ C(Ss 機能維持)	・不燃材で構成し、 火災荷重を低く抑 えることで、煙充満 により消火困難に ならない SA ・緊急時対策所給 気・排気配管 (SA) は不燃材で構成さ れており火災の影 響を受けない。
	緊急時対策所建 屋 階段室	無	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)/ C(Ss 機能維持)	緊急時対策所への アクセスルート
	緊急時対策所建 屋 通信機械室	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)/ 同上	・SA ・緊急時対策所給 気・排気配管 (SA) は不燃材で構成さ れており火災の影 響を受けない。
	緊急時対策所建 屋 2階通路部	無	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)/ C(Ss 機能維持)	・緊急時対策所への アクセスルート ・緊急時対策所給 気・排気配管 (SA) は不燃材で構成さ れており火災の影 響を受けない。
	緊急時対策所建 屋 発電機給気 ファン室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	緊急時対策所建 屋 2階エアロ ック室	無	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)/ C(Ss 機能維持)	・緊急時対策所への アクセスルート ・緊急時対策所給 気・排気配管 (SA) は不燃材で構成さ れており火災の影 響を受けない。

火災区域 又は 火災区画	区画 (部屋) 名称	火災防護対策 が必要な機器 の有無※1	火災感知器 (消防法要求の 感知器は除く)	消火 設備※2	消火 方法	消火設備／感知 器の耐震クラス	備考
	緊急時対策所	有	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	・SA ・緊急時対策所給 気・排気配管 (SA) は不燃材で構成さ れており火災の影 響を受けない。
	緊急時対策所建 屋 2階電気品室	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	・SA ・緊急時対策所給 気・排気配管 (SA) は不燃材で構成さ れており火災の影 響を受けない。
	緊急時対策所建 屋 24V 蓄電池 室 2B	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	・SA ・緊急時対策所給 気・排気配管 (SA) は不燃材で構成さ れており火災の影 響を受けない。
	緊急時対策所建 屋 24V 蓄電池 室 2A	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	・SA 緊急時対策所給 気・排気配管 (SA) は不燃材で構成さ れており火災の影 響を受けない。
	緊急時対策所建 屋 2階エアロ ック室	無	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	・緊急時対策所への アクセスルート ・緊急時対策所給 気・排気配管 (SA) は不燃材で構成さ れており火災の影 響を受けない。
	緊急時対策所建 屋 食料庫	無	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	・緊急時対策所の運 用に必要な物品を 配備する火災区画 ・緊急時対策所給 気・排気配管 (SA) は不燃材で構成さ れており火災の影 響を受けない。
	緊急時対策所建 屋 災害対策本 部室空調機械室	無	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	緊急時対策所給 気・排気配管 (SA) は不燃材で構成さ れており火災の影 響を受けない。
	緊急時対策所建 屋 排煙機械室	無	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	緊急時対策所給 気・排気配管 (SA) は不燃材で構成さ れており火災の影 響を受けない。
	緊急時対策所建 屋 災害対策本 部冷凍機室	無	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	緊急時対策所給 気・排気配管 (SA) は不燃材で構成さ れており火災の影 響を受けない。

火災区域 又は 火災区画	区画 (部屋) 名称	火災防護対策 が必要な機器 の有無※1	火災感知器 (消防法要求の 感知器は除く)	消火 設備※2	消火 方法	消火設備／感知 器の耐震クラス	備考
	緊急時対策所建 屋 125V 蓄電池 室	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	・SA ・緊急時対策所給 気・排気配管 (SA) は不燃材で構成さ れており火災の影 響を受けない。
	緊急時対策所建 屋 125V 充電器 盤室	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	・SA ・緊急時対策所給 気・排気配管 (SA) は不燃材で構成さ れており火災の影 響を受けない。
	緊急時対策所建 屋 通路部	無	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	・屋上へのアクセ ス ルート ・緊急時対策所給 気・排気配管 (SA) は不燃材で構成さ れており火災の影 響を受けない。
	緊急時対策所建 屋 3階電気品室	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	・SA ・緊急時対策所給 気・排気配管 (SA) は不燃材で構成さ れており火災の影 響を受けない。
	緊急時対策所建 屋 非常用換気 設備室	有	煙感知器 熱感知器	全域	自動	C(Ss 機能維持)／ 同上	・SA ・緊急時対策所給 気・排気配管 (SA) は不燃材で構成さ れており火災の影 響を受けない。
	緊急時対策所建 屋 建屋空調機 械室	無	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	緊急時対策所給 気・排気配管 (SA) は不燃材で構成さ れており火災の影 響を受けない。
	緊急時対策所建 屋 4階エアロ ック室	無	煙感知器 熱感知器	消火器	手動	固縛(消火器)／ C(Ss 機能維持)	屋上へのアクセ ス ルート
	緊急時対策所建 屋 屋上	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	廃棄物収納容器 置き場・サーベ イエリア	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	西側階段室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	仕分け・切断作 業場	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	搬出入エリア	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	
	輸送容器置き 場・廃棄体検査 場	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)／ —	

火災区域 又は 火災区画	区画 (部屋) 名称	火災防護対策 が必要な機器 の有無※1	火災感知器 (消防法要求の 感知器は除く)	消火 設備※2	消火 方法	消火設備/感知 器の耐震クラス	備考
	東側階段室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	排気機械室	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	検査待ち廃棄体 置き場・廃棄体 搬出入エリア	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	仕分け・切断作 業場天井	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	機器・予備品エ リア	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	固体廃棄物貯蔵 庫 A 棟地下 1 階	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	固体廃棄物貯蔵 庫 B 棟地下 1 階	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	固体廃棄物貯蔵 庫 A 棟 1 階	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	固体廃棄物貯蔵 庫 B 棟 1 階	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	固体廃棄物貯蔵 庫 B 棟 2 階	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	
	使用済燃料乾式 貯蔵建屋	無	—	消火器	手動	固縛(消火器)/ —	

表1 消防法適合確認一覧表

火災区域 又は 火災区画	区画(部屋)名称	感知 区域	取付高さ (m)	はり等の高さ x (m)	小区画 面積	煙感知器										熱感知器							炎感知器		熱感知カメラ														
						総面積 <75㎡	総面積 <150 ㎡	総面積 連続 小区画 による 同一区 画 <60㎡	消防法 設置数	減数設置 適用	設置数	合計	消防法 適合 確認	耐火構造		非耐火構造		総面積 連続 小区画 による 同一区 画 <15㎡	消防法 設置数	減数設置 適用	設置数	合計	消防法 適合 確認	設置数	合計	消防法 適合 確認	設置数	合計											
														総面積 <35㎡	総面積 <70㎡	総面積 <25㎡	総面積 <40㎡												設置数	設置数									
C-2-1	コンピュータ室	1	4m未満	—	44.41	—	44.41	—	1	—	1	1	1	○	—	44.41	—	—	—	—	1	—	1	1	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
C-2-2	中央制御室	1	4m未満	—	511.67	—	511.67	—	4	—	4	4	○	—	511.67	—	—	—	—	—	8	—	8	8	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	中央制御室床下コンクリートビッド	2	4m未満	—	—	—	—	—	—	—	28	28	○	—	—	—	—	—	—	—	—	29	29	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
C-2-3(1)	バッテリー排気ファンA室	1	4m未満	—	16.39	—	16.39	—	1	—	1	1	○	—	16.39	—	—	—	—	—	1	—	1	1	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
C-2-3(2)	バッテリー排気ファンB室	1	4m未満	—	2.54	—	2.54	—	1	—	1	1	○	—	2.54	—	—	—	—	—	1	—	1	2	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
		2	4m未満	—	14.80	—	14.80	—	1	—	0	0	○※1	—	14.80	—	—	—	—	—	1	—	1	1	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
C-2-4	プロセスコンピュータ室	1	4m未満	—	76.48	—	76.48	—	1	—	1	1	○	—	76.48	—	—	—	—	—	2	—	2	2	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
R-3-1(1)	3階通路(東)	1	15m未満	1m ≦ x	43.26	43.26	—	—	1	—	1	1	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
		2	15m未満	1m ≦ x	42.55	42.55	—	—	1	—	1	1	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
		3	15m未満	1m ≦ x	44.46	44.46	—	—	1	—	1	1	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		4	15m未満	1m ≦ x	57.33	57.33	—	—	1	—	1	1	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		5	15m未満	1m ≦ x	29.99	29.99	—	—	1	—	1	1	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		6	15m未満	1m ≦ x	57.33	57.33	—	—	1	—	1	1	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		7	15m未満	1m ≦ x	21.04	21.04	—	—	1	—	1	1	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		8	15m未満	1m ≦ x	57.33	57.33	—	—	1	—	1	1	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		9	15m未満	1m ≦ x	46.30	46.30	—	—	1	—	1	1	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		10	8m未満	1m ≦ x	4.03	4.03	—	—	1	—	1	1	○	4.03	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	3	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		11	8m未満	1m ≦ x	22.12	22.12	—	—	1	—	1	1	○	22.12	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		12	8m未満	1m ≦ x	22.71	22.71	—	—	1	—	1	1	○	22.71	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		13	15m未満	1m ≦ x	44.84	44.84	—	—	1	—	1	1	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		14	15m未満	0.6m ≦ x < 1m 1m ≦ x	37.24	37.24	—	—	1	—	1	1	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		15	15m未満	0.6m ≦ x < 1m 1m ≦ x	74.53	74.53	—	—	1	—	1	1	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
R-3-1(2)	3階通路(西)	1	15m未満	0.6m ≦ x < 1m 1m ≦ x	10.84	—	—	—	1	—	1	1	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
		2	15m未満	0.6m ≦ x < 1m 1m ≦ x	32.13	—	—	—	1	—	1	1	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		3	15m未満	1m ≦ x	46.89	46.89	—	—	1	—	1	1	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		4	8m未満	0.4m ≦ x < 0.6m 1m ≦ x	17.93	17.93	—	—	1	—	1	1	○	17.93	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		5	8m未満	1m ≦ x	17.62	17.62	—	—	1	—	1	1	○	17.62	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		6	15m未満	1m ≦ x	55.12	55.12	—	—	1	—	1	1	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		7	4m未満	—	5.26	—	5.26	—	—	1	—	1	○	—	5.26	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		8	8m未満	1m ≦ x	40.17	40.17	—	—	1	—	1	1	○	40.17	—	—	—	—	—	—	—	2	—	2	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		9	8m未満	1m ≦ x	55.12	55.12	—	—	1	—	1	1	○	55.12	—	—	—	—	—	—	—	2	—	2	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		10	8m未満	1m ≦ x	32.19	32.19	—	—	1	—	1	1	○	32.19	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		11	8m未満	1m ≦ x	55.12	55.12	—	—	1	—	1	1	○	55.12	—	—	—	—	—	—	—	2	—	2	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		12	8m未満	1m ≦ x	23.25	23.25	—	—	1	—	1	1	○	23.25	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		13	15m未満	1m ≦ x	57.75	57.75	—	—	1	—	1	1	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		14	15m未満	1m ≦ x	51.03	51.03	—	—	1	—	1	1	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		15	15m未満	0.6m ≦ x < 1m 1m ≦ x	22.44	22.44	—	—	1	—	1	1	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		16	15m未満	0.6m ≦ x < 1m 1m ≦ x	28.56	28.56	—	—	1	—	1	1	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		17	15m未満	1m ≦ x	47.39	47.39	—	—	1	—	1	1	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		18	8m未満	1m ≦ x	22.74	22.74	—	—	1	—	1	1	○	22.74	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		19	8m未満	1m ≦ x	19.37	19.37	—	—	1	—	1	1	○	19.37	—	—	—	—	—																				

表1 消防法適合確認一覧表

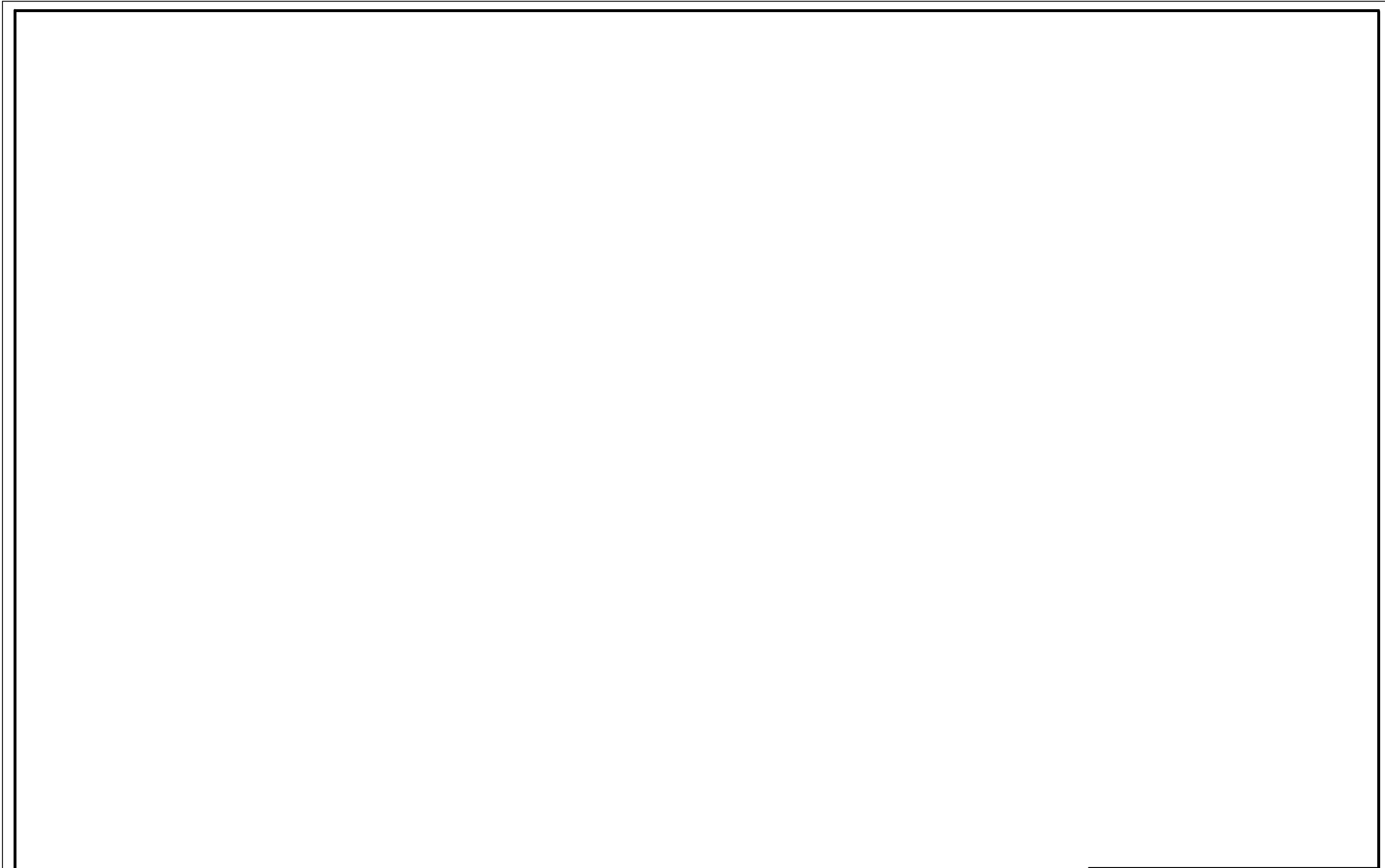
火災区域 又は 火災区画	区画（部屋）名称	感知区域	取付高さ (m)	はり等の高さ x (m)	小区画面積	煙感知器						熱感知器										炎感知器		熱感知カメラ							
						総面積 <75㎡	総面積 <150 ㎡	総面積 連続 小区画 による 同一区 画 <60㎡	消防法 設置数	減数設置 適用	設置数	合計	消防法 適合 確認	耐火構造		非耐火構造		総面積 連続 小区画 による 同一区 画 <15㎡	消防法 設置数	減数設置 適用	設置数	合計	消防法 適合 確認	設置数	合計	消防法 適合 確認	設置数	合計			
														総面積 <35㎡	総面積 <70㎡	総面積 <25㎡	総面積 <40㎡												設置数	合計	設置数
NRW-1-1	連絡通路					消防法又は建築基準法に基づき、火災感知器1種類を設置する火災区域・火災区画																									
NRW-1-2	チェス室					火災感知器等を設置しない火災区域・火災区画																									
NRW-1-3	パイプチェス室																														
NRW-1-4	減容固化系造粒機室																														
NRW-1-5	減容固化系放射線モニタサンプルラック室																														
NRW-1-6	ドラム挿入室																														
NRW-1-7	エレベーター室																														
NRW-1-8	焼却炉室																														
NRW-1-9	セラミックフィルタ灰取出コンベア室					消防法又は建築基準法に基づき、火災感知器1種類を設置する火災区域・火災区画																									
NRW-1-10	通路																														
NRW-1-11	階段室																														
NRW-1-12	機器搬出入用トラックエリア室																														
NRW-1-13	ポンプメンテナンス除染バン室																														
NRW-1-14	超ろ過器供給ポンプ室																														
NRW-1-15	チェス室																														
NRW-1-16	電磁ろ過器バルブ室					火災感知器等を設置しない火災区域・火災区画																									
NRW-1-17	電磁ろ過器循環供給ポンプ・スポンジボール移送ポンプ																														
NRW-1-18	予備室A					消防法又は建築基準法に基づき、火災感知器1種類を設置する火災区域・火災区画																									
NRW-1-19	(欠番)					-																									
NRW-1-20	サイトバンカトラックエリア室					消防法又は建築基準法に基づき、火災感知器1種類を設置する火災区域・火災区画																									
NRW-1-21	(欠番)					-																									
NRW-1-22	クラッドスラリ濃縮器室					消防法又は建築基準法に基づき、火災感知器1種類を設置する火災区域・火災区画																									
NRW-1-23	キャスク除染ヒット室																														
NRW-1-24	スキマサージタンク室																														
NRW-1-25	電磁ろ過器A室					火災感知器等を設置しない火災区域・火災区画																									
NRW-1-26	電磁ろ過器B室																														
NRW-2-1	連絡配管路室																														
NRW-2-2	減容固化系電気ヒーター室																														
NRW-2-3	減容固化系乾燥機機室					消防法又は建築基準法に基づき、火災感知器1種類を設置する火災区域・火災区画																									
NRW-2-4	階段室																														
NRW-2-5	2次セラミックフィルタ室																														
NRW-2-6	(欠番)					-																									
NRW-2-7	階段室																														
NRW-2-8	操作室中3階					消防法又は建築基準法に基づき、火災感知器1種類を設置する火災区域・火災区画																									
NRW-2-9	操作室2階																														
NRW-2-10	超ろ過器供給タンク室					火災感知器等を設置しない火災区域・火災区画																									
NRW-2-11	チェス室																														
NRW-2-12	電磁ろ過器保守室					消防法又は建築基準法に基づき、火災感知器1種類を設置する火災区域・火災区画																									
NRW-2-13	パイプチェス室					火災感知器等を設置しない火災区域・火災区画																									
NRW-2-14	超ろ過器室																														
NRW-2-15	サイトバンカ更衣室																														
NRW-2-16	使用済燃料用キャスク保管スペース室																														
NRW-2-17	階段室																														
NRW-2-18	階段室																														
NRW-2-19	減容固化系粒子プロロ					消防法又は建築基準法に基づき、火災感知器1種類を設置する火災区域・火災区画																									
NRW-2-20	チェス室																														
NRW-2-21	サンプリングシンク室																														
NRW-2-22	チェス室																														
NRW-2-23	通路																														

表1 消防法適合確認一覧表

火災区域 又は 火災区画	区画(部屋)名称	感知 区域	取付高さ (m)	はり等の高さ x (m)	小区画 面積	煙感知器							熱感知器							炎感知器		熱感知カメラ									
						総面積 <75㎡	総面積 <150 ㎡	総面積 連続 小区画 による 同一区 画 <60㎡	消防法 設置数	減数設置 適用	設置数	合計	消防法 適合 確認	耐火構造		非耐火構造		総面積 連続 小区画 による 同一区 画 <15㎡	消防法 設置数	減数設置 適用	設置数	合計	消防法 適合 確認	設置数	合計	消防法 適合 確認	設置数	合計			
														総面積 <35㎡	総面積 <70㎡	総面積 <25㎡	総面積 <40㎡												消防法 設置数	減数設置 適用	設置数
K-2-1	緊急時対策所建屋 通信機械室	1	8m未満	0.6m ≤ x < 1m	17.55	17.55	—	—	34.13	1	—	1	1	1	A	17.55	—	—	—	—	1	—	1	2	○	—	—	—	—	—	—
		2	8m未満	0.6m ≤ x < 1m	16.58	16.58	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	2	○	—	—	—	—	—	
		1	8m未満	0.6m ≤ x < 1m	14.03	14.03	—	—	—	1	—	—	—	—	—	14.03	—	—	—	—	1	—	1	5	○	—	—	—	—	—	
K-2-2	緊急時対策所建屋 2階通路部	2	8m未満	0.6m ≤ x < 1m 1m ≤ x	10.84	10.84	—	—	24.87	1	—	—	1	1	A	10.84	—	—	—	—	1	—	1	5	○	—	—	—	—	—	
		3	8m未満	1m ≤ x	27.00	27.00	—	—	—	1	—	—	1	1	○	27.00	—	—	—	—	1	—	1	5	○	—	—	—	—	—	
		4	8m未満	0.6m ≤ x < 1m	11.00	11.00	—	—	—	1	—	—	—	—	—	11.00	—	—	—	—	1	—	1	5	○	—	—	—	—	—	
		5	8m未満	0.6m ≤ x < 1m 1m ≤ x	8.50	8.50	—	—	19.50	1	—	1	1	1	A	8.50	—	—	—	—	1	—	1	5	○	—	—	—	—	—	
K-2-3	緊急時対策所建屋 発電機給気ファン室	1	8m未満	1m ≤ x	15.25	15.25	—	—	—	1	—	—	1	1	○	15.25	—	—	—	—	1	—	1	7	○	—	—	—	—	—	
		2	8m未満	1m ≤ x	14.50	14.50	—	—	—	1	—	—	1	1	○	14.50	—	—	—	—	1	—	1	7	○	—	—	—	—	—	
		3	8m未満	1m ≤ x	31.03	31.03	—	—	—	1	—	—	1	1	○	31.03	—	—	—	—	1	—	1	7	○	—	—	—	—	—	
		4	8m未満	0.6m ≤ x < 1m 1m ≤ x	40.73	40.73	—	—	—	1	—	—	1	1	○	40.73	—	—	—	—	2	—	2	7	○	—	—	—	—	—	
		5	8m未満	0.6m ≤ x < 1m 1m ≤ x	38.46	38.46	—	—	—	1	—	—	1	1	○	38.46	—	—	—	—	2	—	2	7	○	—	—	—	—	—	
K-2-4	緊急時対策所建屋 2階エアロック室	1	8m未満	—	32.40	32.40	—	—	—	1	—	—	1	1	○	32.40	—	—	—	—	1	—	1	1	○	—	—	—	—	—	
K-2-5	緊急時対策所	1	8m未満	0.4m ≤ x < 0.6m 0.6m ≤ x < 1m	10.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	10.06	—	—	—	—	1	—	1	28	○	—	—	—	—	—	
		2	8m未満	0.4m ≤ x < 0.6m 0.6m ≤ x < 1m	9.42	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	9.42	—	—	—	—	1	—	1	28	○	—	—	—	—	—	
		3	8m未満	0.4m ≤ x < 0.6m 0.6m ≤ x < 1m	9.42	60.96	—	—	—	1	—	—	1	1	○	9.42	—	—	—	—	1	—	1	28	○	—	—	—	—	—	
		4	8m未満	0.4m ≤ x < 0.6m 0.6m ≤ x < 1m	9.42	60.96	—	—	—	1	—	—	1	1	○	9.42	—	—	—	—	1	—	1	28	○	—	—	—	—	—	
		5	8m未満	0.4m ≤ x < 0.6m 0.6m ≤ x < 1m	9.42	60.96	—	—	—	1	—	—	1	1	○	9.42	—	—	—	—	1	—	1	28	○	—	—	—	—	—	
		6	8m未満	0.4m ≤ x < 0.6m 0.6m ≤ x < 1m	13.22	60.96	—	—	—	1	—	—	1	1	○	13.22	—	—	—	—	1	—	1	28	○	—	—	—	—	—	
		7	8m未満	0.6m ≤ x < 1m 1m ≤ x	51.60	51.60	—	—	—	1	—	—	1	1	○	51.60	—	—	—	—	2	—	2	28	○	—	—	—	—	—	
		8	8m未満	0.6m ≤ x < 1m 1m ≤ x	27.09	27.09	—	—	—	1	—	—	1	1	○	27.09	—	—	—	—	1	—	1	28	○	—	—	—	—	—	
		9	8m未満	0.4m ≤ x < 0.6m 0.6m ≤ x < 1m	10.45	59.36	—	—	—	—	—	—	—	—	○	10.45	—	—	—	—	1	—	1	28	○	—	—	—	—	—	
		10	8m未満	0.4m ≤ x < 0.6m 0.6m ≤ x < 1m	9.78	59.36	—	—	—	—	—	—	—	—	○	9.78	—	—	—	—	1	—	1	28	○	—	—	—	—	—	
		11	8m未満	0.4m ≤ x < 0.6m 0.6m ≤ x < 1m	9.78	59.36	—	—	—	1	—	—	1	1	○	9.78	—	—	—	—	1	—	1	28	○	—	—	—	—	—	
		12	8m未満	0.4m ≤ x < 0.6m 0.6m ≤ x < 1m	9.78	59.36	—	—	—	1	—	—	1	1	○	9.78	—	—	—	—	1	—	1	28	○	—	—	—	—	—	
		13	8m未満	0.4m ≤ x < 0.6m 0.6m ≤ x < 1m	9.78	59.36	—	—	—	—	—	—	—	—	○	9.78	—	—	—	—	1	—	1	28	○	—	—	—	—	—	
		14	8m未満	0.4m ≤ x < 0.6m 0.6m ≤ x < 1m	9.78	59.36	—	—	—	—	—	—	—	—	○	9.78	—	—	—	—	1	—	1	28	○	—	—	—	—	—	
		15	8m未満	0.4m ≤ x < 0.6m 0.6m ≤ x < 1m	13.03	53.60	—	—	—	—	—	—	—	—	○	13.03	—	—	—	—	1	—	1	28	○	—	—	—	—	—	
		16	8m未満	0.4m ≤ x < 0.6m 0.6m ≤ x < 1m	9.18	53.60	—	—	—	1	—	—	1	1	○	9.18	—	—	—	—	1	—	1	28	○	—	—	—	—	—	
		17	8m未満	0.4m ≤ x < 0.6m 0.6m ≤ x < 1m	9.18	53.60	—	—	—	1	—	—	1	1	○	9.18	—	—	—	—	1	—	1	28	○	—	—	—	—	—	
		18	8m未満	0.4m ≤ x < 0.6m 0.6m ≤ x < 1m	9.18	53.60	—	—	—	—	—	—	—	—	○	9.18	—	—	—	—	1	—	1	28	○	—	—	—	—	—	
		19	8m未満	0.4m ≤ x < 0.6m 0.6m ≤ x < 1m 1m ≤ x	13.03	53.60	—	—	—	—	—	—	—	—	○	13.03	—	—	—	—	1	—	1	28	○	—	—	—	—	—	
		20	8m未満	0.6m ≤ x < 1m 1m ≤ x	11.93	11.93	—	—	—	—	—	—	—	—	○	11.93	—	—	—	—	1	—	1	28	○	—	—	—	—	—	
		21	8m未満	0.4m ≤ x < 0.6m 0.6m ≤ x < 1m 1m ≤ x	5.87	5.87	—	—	44.70	1	—	—	1	1	○	5.87	—	—	—	—	1	—	1	28	○	—	—	—	—	—	
		22	8m未満	0.6m ≤ x < 1m 1m ≤ x	26.90	26.90	—	—	—	—	—	—	—	—	○	26.90	—	—	—	—	1	—	1	28	○	—	—	—	—	—	
		23	8m未満	1m ≤ x	3.53	3.53	—	—	—	1	—	—	1	1	○	3.53	—	—	—	—	1	—	1	28	○	—	—	—	—	—	
		24	8m未満	0.6m ≤ x < 1m	42.14	42.14	—	—	—	1	—	—	1	1	○	42.14	—	—	—	—	2	—	2	28	○	—	—	—	—	—	
		25	8m未満	0.6m ≤ x < 1m	21.42	21.42	—	—	—	1	—	—	1	1	○	21.42	—	—	—	—	1	—	1	28	○	—	—	—	—	—	
		26	4m未満	—	36.85	—	—	36.85	—	1	—	—	1	1	○	—	36.85	—	—	—	1	—	1	28	○	—	—	—	—	—	
K-2-6	緊急時対策所建屋 2階電気品室	1	8m未満	0.4m > x 1m ≤ x	4.13	4.13	—	—	—	1	—	—	1	1	○	4.13	—	—	—	—	1	—	2	20	○	—	—	—	—	—	
		2	4m未満	0.4m > x 1m ≤ x	22.58	—	22.58	—	—	1	—	—	1	1	○	22.58	—	—	—	—	1	—	1	20	○	—	—	—	—	—	
		3	8m未満	0.6m ≤ x < 1m 1m ≤ x	35.10	35.10	—	—	42.30	1	—	—	1	1	A	35.10	—	—	—	—	2	—	2	20	○	—	—	—	—	—	
		4	8m未満	0.6m ≤ x < 1m 1m ≤ x	7.20	7.20	—	—	—	1	—	—	—	—	—	7.20	—	—	—	—	1	—	1	20	○	—	—	—	—	—	
		5	8m未満	0.6m ≤ x < 1m 1m ≤ x	27.30	27.30	—	—	32.90	1	—	—	1	1	A	27.30	—	—	—	—	1	—	1	20	○	—	—	—	—	—	
		6	8m未満	0.6m ≤ x < 1m 1m ≤ x	5.60	5.60	—	—	—	1	—	—	—	—	—	5.60	—	—	—	—	1	—	1	20	○	—	—	—	—	—	
		7	8m未満	1m ≤ x	27.44	27.44	—	—	—	1	—	—	1	1	○	27.44	—	—	—	—	1	—	1								

表1 消防法適合確認一覧表

火災区域 又は 火災区画	区画(部屋)名称	感知区域	取付高さ (m)	はり等の高さ x (m)	小区画面積	煙感知器						熱感知器												炎感知器		熱感知カメラ			
						総面積 <75㎡	総面積 <150 ㎡	総面積 連続 小区画 による 同一区 画 <60㎡	消防法 設置数	減数設置 適用	設置数	合計	消防法 適合 確認	耐火構造		非耐火構造		熱感知器		消防法 適合 確認	設置数	合計	消防法 適合 確認	設置数	合計				
														総面積 <35㎡	総面積 <70㎡	総面積 <25㎡	総面積 <40㎡	総面積 連続 小区画 による 同一区 画 <15㎡	消防法 設置数							減数設置 適用	設置数	合計	消防法 適合 確認
K-2-7	緊急時対策所建屋 24V蓄電池室2B	1	4m未満	—	18.00	—	18.00	—	1	—	1	1	E	—	18.00	—	—	—	2	—	2	2	E	—	—	—	—	—	
K-2-8	緊急時対策所建屋 24V蓄電池室2A	1	4m未満	—	17.50	—	17.50	—	1	—	1	1	E	—	17.50	—	—	—	2	—	2	2	E	—	—	—	—	—	
K-2-9	緊急時対策所建屋 2階エアロック室	1	4m未満	—	11.93	—	11.93	—	1	—	1	1	○	—	11.93	—	—	—	1	—	1	4	○	—	—	—	—	—	
		2	4m未満	—	18.25	—	18.25	—	1	—	1	1	○	—	18.25	—	—	—	1	—	1	4	○	—	—	—	—	—	
		3	4m未満	—	4.30	—	4.30	—	1	—	1	1	○	—	4.30	—	—	—	1	—	1	4	○	—	—	—	—	—	
		4	4m未満	—	16.10	—	16.10	—	1	—	1	1	○	—	16.10	—	—	—	1	—	1	4	○	—	—	—	—	—	
K-2-10	緊急時対策所建屋 食料庫	1	8m未満	0.6m ≦ x < 1m	41.54	41.54	—	—	—	—	—	2	○	41.54	—	—	—	—	2	—	2	4	○	—	—	—	—	—	
		2	8m未満	0.6m ≦ x < 1m	19.01	19.01	—	—	—	—	—	2	A	19.01	—	—	—	—	—	1	—	1	4	○	—	—	—	—	—
		3	8m未満	0.6m ≦ x < 1m	2.19	2.19	—	21.20	—	1	—	1	1	A	2.19	—	—	—	—	—	1	—	1	4	○	—	—	—	—
K-3-1	緊急時対策所建屋 災害対策本部室空調機械室	1	8m未満	0.4m ≦ x < 0.6m 0.6m ≦ x < 1m	10.80	—	—	—	—	—	—	3	○	10.80	—	—	—	—	1	—	1	14	○	—	—	—	—	—	
		2	8m未満	0.4m ≦ x < 0.6m 0.6m ≦ x < 1m	9.03	—	—	—	—	—	—	—		○	9.03	—	—	—	—	1	—		1	○	—	—	—	—	—
		3	8m未満	0.4m ≦ x < 0.6m 0.6m ≦ x < 1m	9.03	—	—	—	—	—	—	—		○	9.03	—	—	—	—	1	—		1	○	—	—	—	—	—
		4	8m未満	0.4m ≦ x < 0.6m 0.6m ≦ x < 1m	9.03	—	—	—	—	—	—	—		○	9.03	—	—	—	—	1	—		1	○	—	—	—	—	—
		5	8m未満	0.4m ≦ x < 0.6m 0.6m ≦ x < 1m	9.03	—	—	—	—	—	—	—		○	9.03	—	—	—	—	1	—		1	○	—	—	—	—	—
		6	8m未満	0.4m ≦ x < 0.6m 0.6m ≦ x < 1m	9.51	—	—	—	—	—	—	—		○	9.51	—	—	—	—	1	—		1	○	—	—	—	—	—
		7	8m未満	0.4m ≦ x < 0.6m 0.6m ≦ x < 1m	11.22	—	—	—	—	—	—	—	3	○	11.22	—	—	—	—	1	—		1	○	—	—	—	—	—
		8	8m未満	0.4m ≦ x < 0.6m 0.6m ≦ x < 1m	9.38	—	—	—	—	—	—	—	○		9.38	—	—	—	—	1	—		1	○	—	—	—	—	—
		9	8m未満	0.4m ≦ x < 0.6m 0.6m ≦ x < 1m	9.38	—	—	—	—	—	—	—	○		9.38	—	—	—	—	1	—		1	○	—	—	—	—	—
		10	8m未満	0.4m ≦ x < 0.6m 0.6m ≦ x < 1m	9.38	—	—	—	—	—	—	—	○		9.38	—	—	—	—	1	—		1	○	—	—	—	—	—
		11	8m未満	0.4m ≦ x < 0.6m 0.6m ≦ x < 1m	9.38	—	—	—	—	—	—	—	○		9.38	—	—	—	—	1	—		1	○	—	—	—	—	—
		12	8m未満	0.4m ≦ x < 0.6m 0.6m ≦ x < 1m	9.88	—	—	—	—	—	—	—	○		9.88	—	—	—	—	1	—		1	○	—	—	—	—	—
		13	8m未満	—	6.40	6.40	—	—	—	—	—	—	1		○	6.40	—	—	—	—	—		2	—	2	○	—	—	—
K-3-2	緊急時対策所建屋 排煙機械室	1	4m未満	—	20.70	—	20.70	—	—	—	1	1	○	—	20.70	—	—	—	1	—	2		2	○	—	—	—	—	
K-3-3	緊急時対策所建屋 災害対策本部冷凍機室	1	4m未満	1m ≦ x	29.30	—	29.30	—	—	—	—	1	1	○	—	29.30	—	—	—	1	—	1	6	○	—	—	—	—	
		2	4m未満	1m ≦ x	29.31	—	29.31	—	—	—	—	—	1	1	○	—	29.31	—	—	—	1	—	1	○	—	—	—	—	
		3	4m未満	0.4m ≦ x < 0.6m 0.6m ≦ x < 1m 1m ≦ x	22.05	—	40.73	—	—	—	—	—	1	1	○	—	40.73	—	—	—	1	—	1	○	—	—	—	—	
		4	4m未満	0.4m ≦ x < 0.6m 0.6m ≦ x < 1m	18.68	—	—	—	—	—	—	—	1	1	○	—	—	—	—	1	—	1	6	○	—	—	—	—	
		5	4m未満	0.4m ≦ x < 0.6m 0.6m ≦ x < 1m 1m ≦ x	20.83	—	38.46	—	—	—	—	—	1	1	○	—	38.46	—	—	—	1	—	1	○	—	—	—	—	
K-3-4(1)	緊急時対策所建屋 125V蓄電池室	1	4m未満	—	25.55	—	25.55	—	—	—	1	1	E	—	25.55	—	—	—	1	—	2	2	E	—	—	—	—		
K-3-4(2)	緊急時対策所建屋 125V充電器盤室	1	8m未満	0.4m ≦ x < 0.6m 0.6m ≦ x < 1m	15.40	29.93	—	—	—	—	—	2	○	15.40	—	—	—	—	1	—	1	4	○	—	—	—	—		
		2	8m未満	0.4m ≦ x < 0.6m 0.6m ≦ x < 1m	14.53	—	—	—	—	—	—	—	○	14.53	—	—	—	—	1	—	1	4	○	—	—	—	—		
		3	8m未満	0.4m ≦ x < 0.6m 0.6m ≦ x < 1m	15.51	30.14	—	—	—	—	—	—	○	15.51	—	—	—	—	1	—	1	4	○	—	—	—	—		
		4	8m未満	0.4m ≦ x < 0.6m 0.6m ≦ x < 1m	14.63	—	—	—	—	—	—	—	○	14.63	—	—	—	—	1	—	1	4	○	—	—	—	—		
K-3-5	緊急時対策所建屋 通路部	1	8m未満	1m ≦ x	26.12	26.12	—	—	—	—	—	1	1	○	26.12	—	—	—	—	1	—	1	6	○	—	—	—	—	
		2	8m未満	0.6m ≦ x < 1m 1m ≦ x	19.80	34.75	—	—	—	—	—	—	○	19.80	—	—	—	—	1	—	1	○		—	—	—	—		
		3	8m未満	0.6m ≦ x < 1m 1m ≦ x	14.95	—	—	—	—	—	—	—	○	14.95	—	—	—	—	1	—	1	○		—	—	—	—		
		4	8m未満	0.6m ≦ x < 1m 1m ≦ x	35.34	35.34	—	—	—	—	—	—	○	35.34	—	—	—	—	2	—	2	○		—	—	—	—		
		5	8m未満	0.6m ≦ x < 1m 1m ≦ x	30.80	30.80	—	—	—	—	—	—	○	30.80	—	—	—	—	1	—	1	○		—	—	—	—		
K-3-6	緊急時対策所建屋 3階電気品室	1	8m未満	0.6m ≦ x < 1m 1m ≦ x	40.46	40.46	—	—	—	—	—	1	1	○	40.46	—	—	—	—	2	—	2		16	○	—	—	—	—
		2	8m未満	0.6m ≦ x < 1m 1m ≦ x	47.43	47.43	—	—	—	—	—	—	○	47.43	—	—	—	—	2	—	2	○	—		—	—	—		
		3	8m未満	0.6m ≦ x < 1m 1m ≦ x	37.20	37.20	—	—	—	—	—	—	○	37.20	—	—	—	—	2	—	2	○	—		—	—	—		
		4	8m未満	0.6m ≦ x < 1m 1m ≦ x	35.34	35.34	—	—	—	—	—	—	○	35.34	—	—	—	—	2	—	2	○	—		—	—	—		
		5	8m未満	0.6m ≦ x < 1m 1m ≦ x	21.32	43.04	—	—	—	—	—	—	○	21.32	—	—	—	—	1	—	1	○	—		—	—	—		
		6	8m未満	0.6m ≦ x < 1m 1m ≦ x	18.05	—	—	—	—	—	—	—	○	18.05	—	—	—	—	1	—	1	○	—		—	—	—		
		7	8m未満	0.6m ≦ x < 1m 1m ≦ x	24.99	40.77	—	—	—	—	—	—	○	24.99	—	—	—	—	1	—	1	○	—		—	—	—		
		8	8m未満	0.6m ≦ x < 1m 1m ≦ x	21.17	—	—	—	—	—	—	—	○	21.17	—	—	—	—	1	—	1	○	—		—	—	—		
		9	8m未満	0.6m ≦ x < 1m 1m ≦ x	19.60	35.22	—	—	—	—	—	—	○	19.60	—	—	—	—	1	—	1	○	—		—	—	—		
		10	8m未満	0.6m ≦ x < 1m 1m ≦ x	16.60	—	—	—	—	—	—	—	○	16.60	—	—	—	—	1	—	1	○	—		—	—	—		
		11	8m未満	0.6m ≦ x < 1m 1m ≦ x	18.62	43.83	—	—	—	—	—	—	○	18.62	—	—	—	—	1	—	1	○	—		—	—	—		
		12	8m未満	0.6m ≦ x < 1m	15.77	—	—	—	—	—	—	—	○	15.77	—	—	—	—	1	—	1	○	—		—	—	—		



東海第二発電所	
名称	火災感知器の配置を明示した図面 (その1)
日本原子力発電株式会社	

東海第二発電所

名
称

火災感知器の配置を明示した図面
(その2)

日本原子力発電株式会社

東海第二発電所

名
称

火災感知器の配置を明示した図面
(その3)

日本原子力発電株式会社

東海第二発電所

名
称

火災感知器の配置を明示した図面
(その4)

日本原子力発電株式会社

東海第二発電所

名
称

火災感知器の配置を明示した図面
(その5)

日本原子力発電株式会社

東海第二発電所

名
称

火災感知器の配置を明示した図面
(その6)

日本原子力発電株式会社

東海第二発電所

名
称

火災感知器の配置を明示した図面
(その7)

日本原子力発電株式会社

東海第二発電所

名
称

火災感知器の配置を明示した図面
(その8)

日本原子力発電株式会社

東海第二発電所

名
称

火災感知器の配置を明示した図面
(その9)

日本原子力発電株式会社

東海第二発電所

名 称	火災感知器の配置を明示した図面 (その10)
--------	---------------------------

日本原子力発電株式会社

東海第二発電所

名
称

火災感知器の配置を明示した図面
(その11)

日本原子力発電株式会社

東海第二発電所

名
称

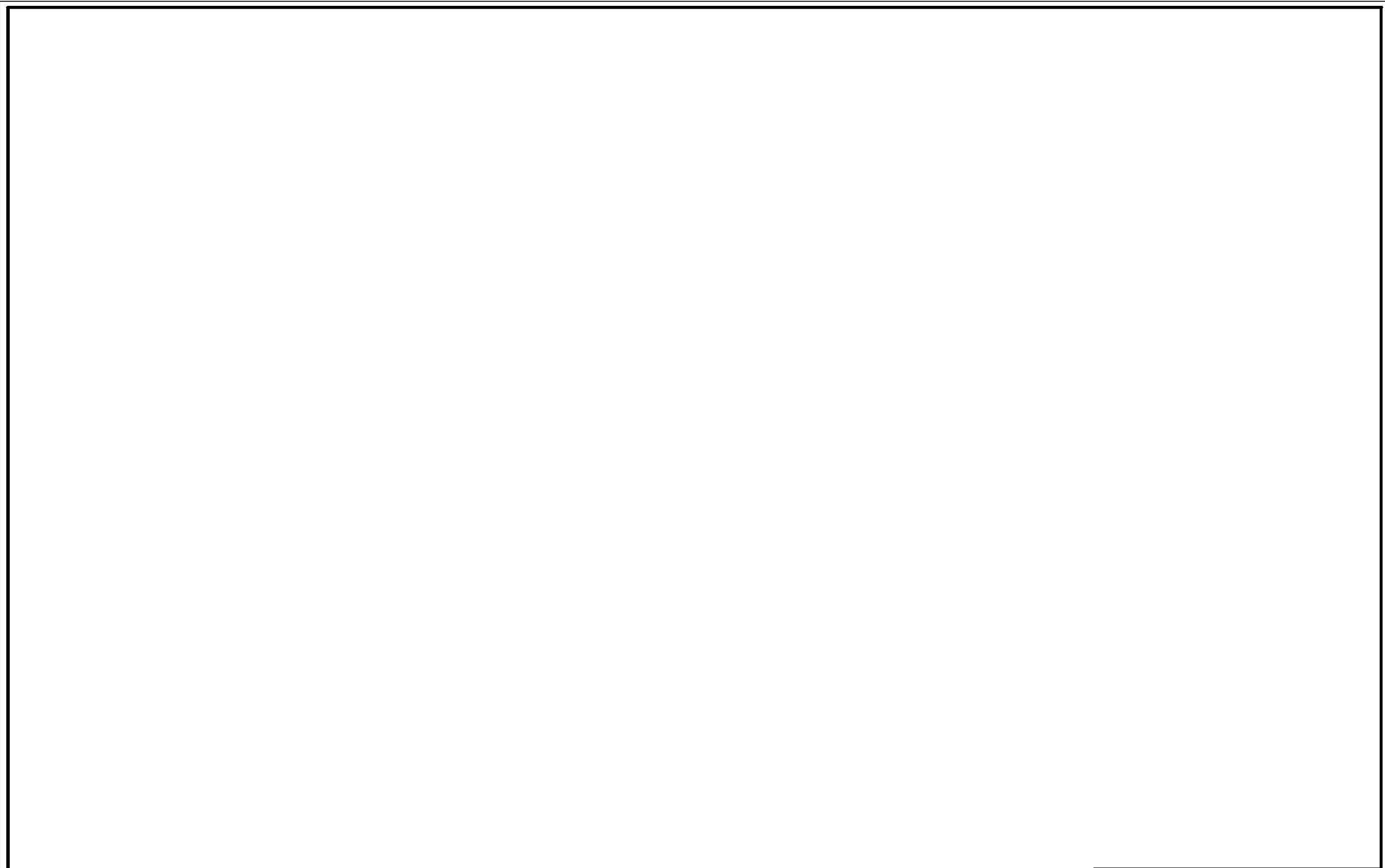
火災感知器の配置を明示した図面
(その12)

日本原子力発電株式会社

東海第二発電所

名 称	火災感知器の配置を明示した図面 (その13)
--------	---------------------------

日本原子力発電株式会社



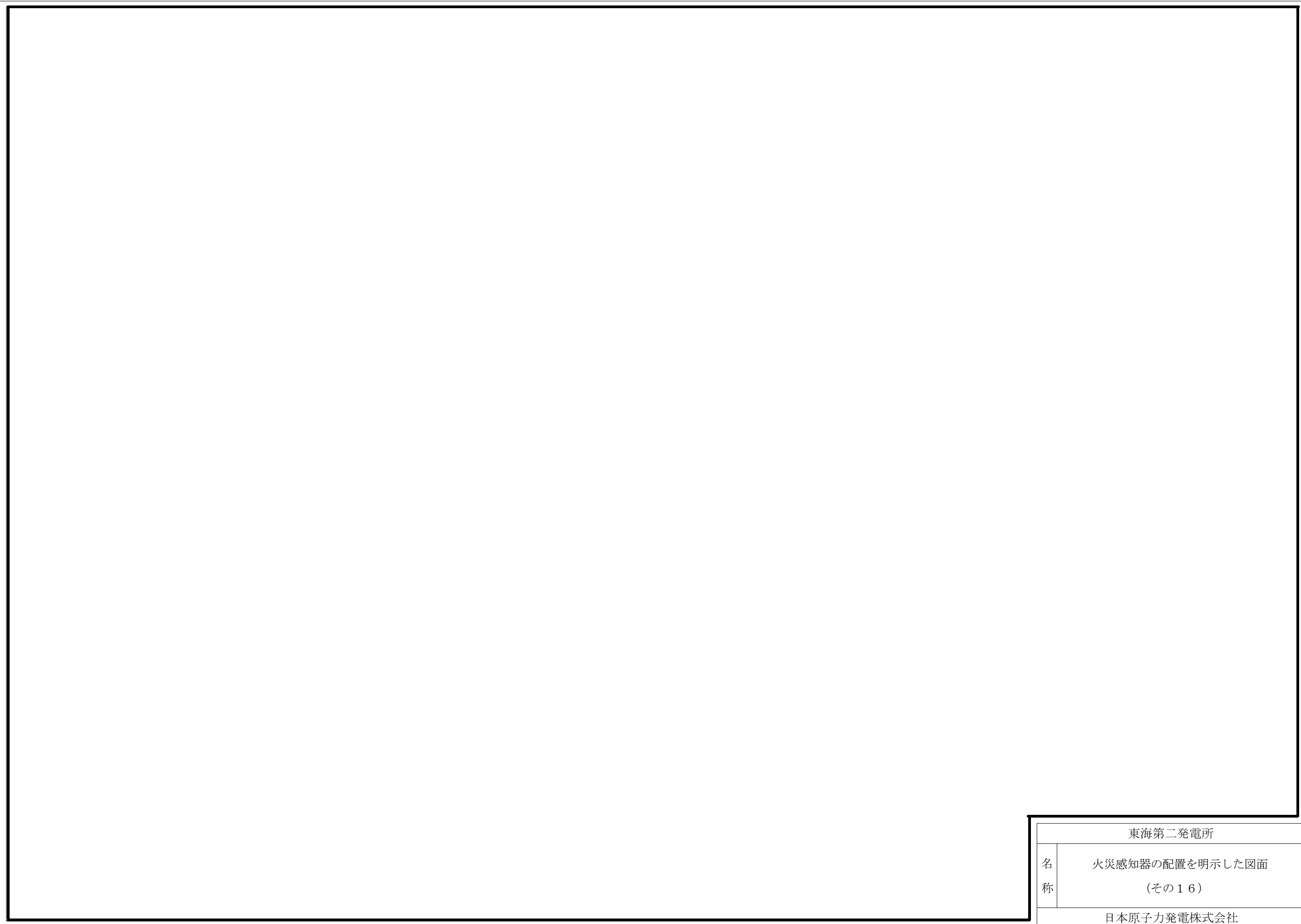
東海第二発電所	
名称	火災感知器の配置を明示した図面 (その14)
日本原子力発電株式会社	

東海第二発電所

名
称

火災感知器の配置を明示した図面
(その15)

日本原子力発電株式会社



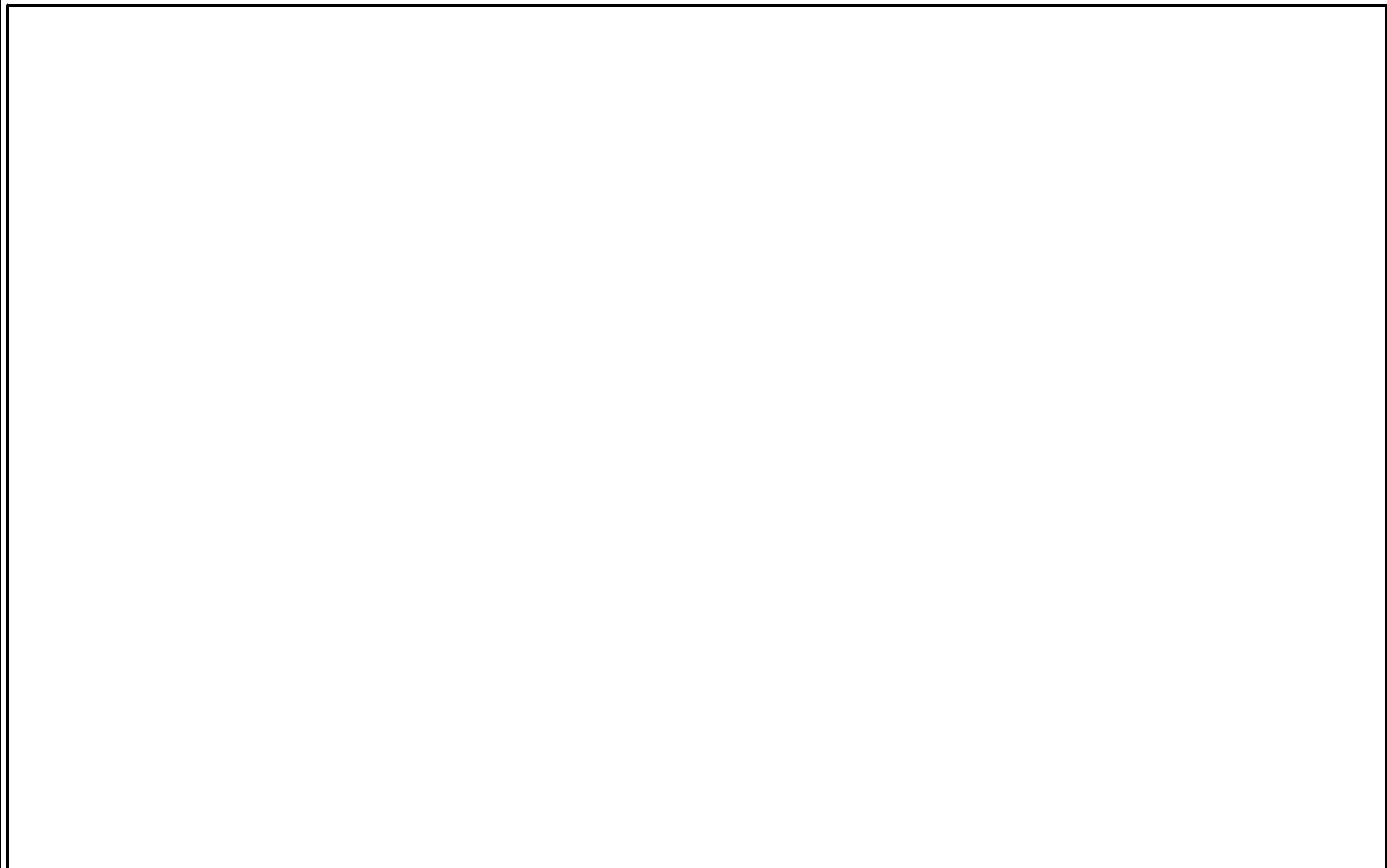
東海第二発電所	
名称	火災感知器の配置を明示した図面 (その16)
日本原子力発電株式会社	

東海第二発電所

名
称

火災感知器の配置を明示した図面
(その17)

日本原子力発電株式会社



東海第二発電所	
名称	火災感知器の配置を明示した図面 (その18)
日本原子力発電株式会社	

東海第二発電所

名
称

火災感知器の配置を明示した図面
(その19)

日本原子力発電株式会社

東海第二発電所

名
称

火災感知器の配置を明示した図面
(その18)

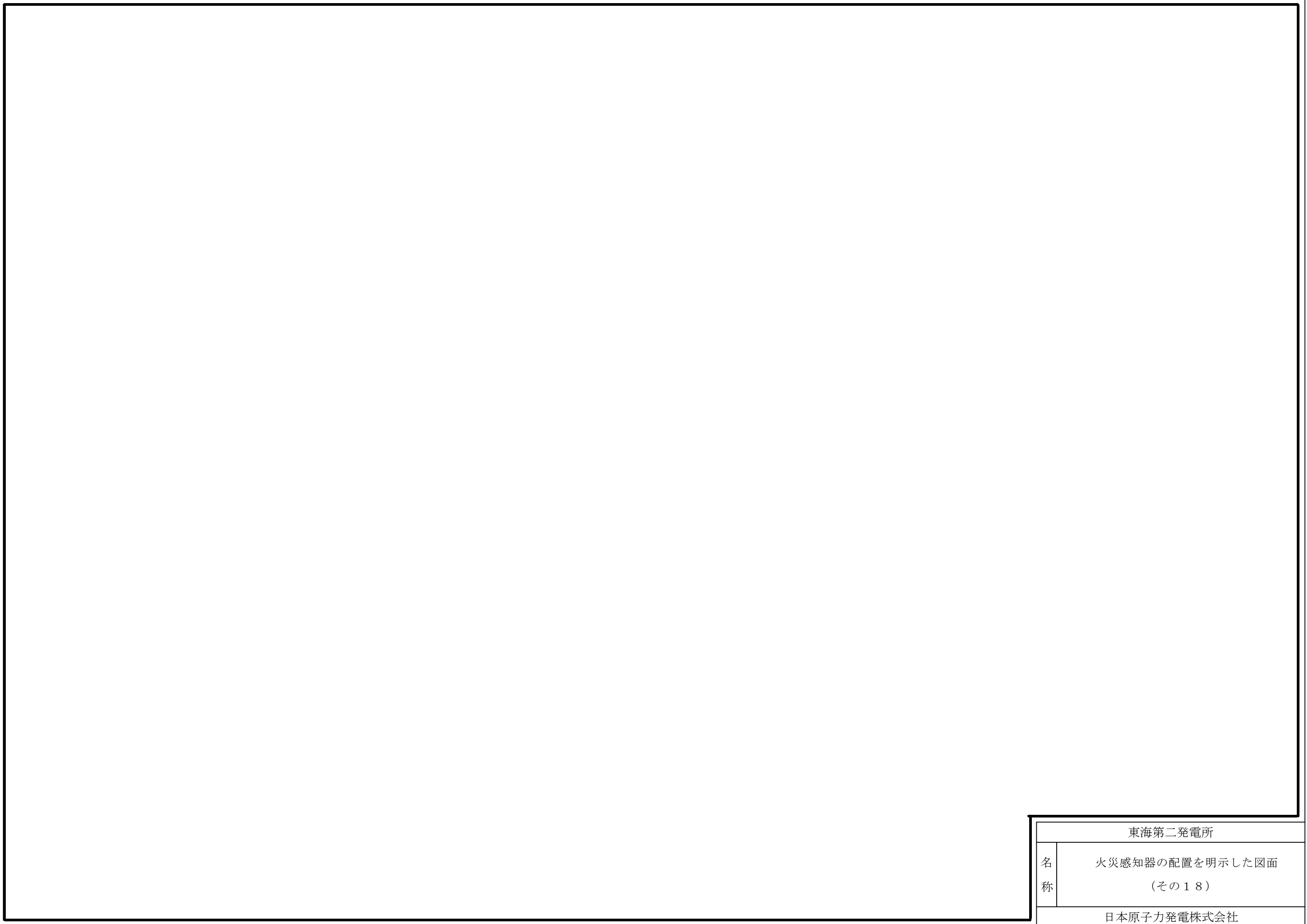
日本原子力発電株式会社

東海第二発電所

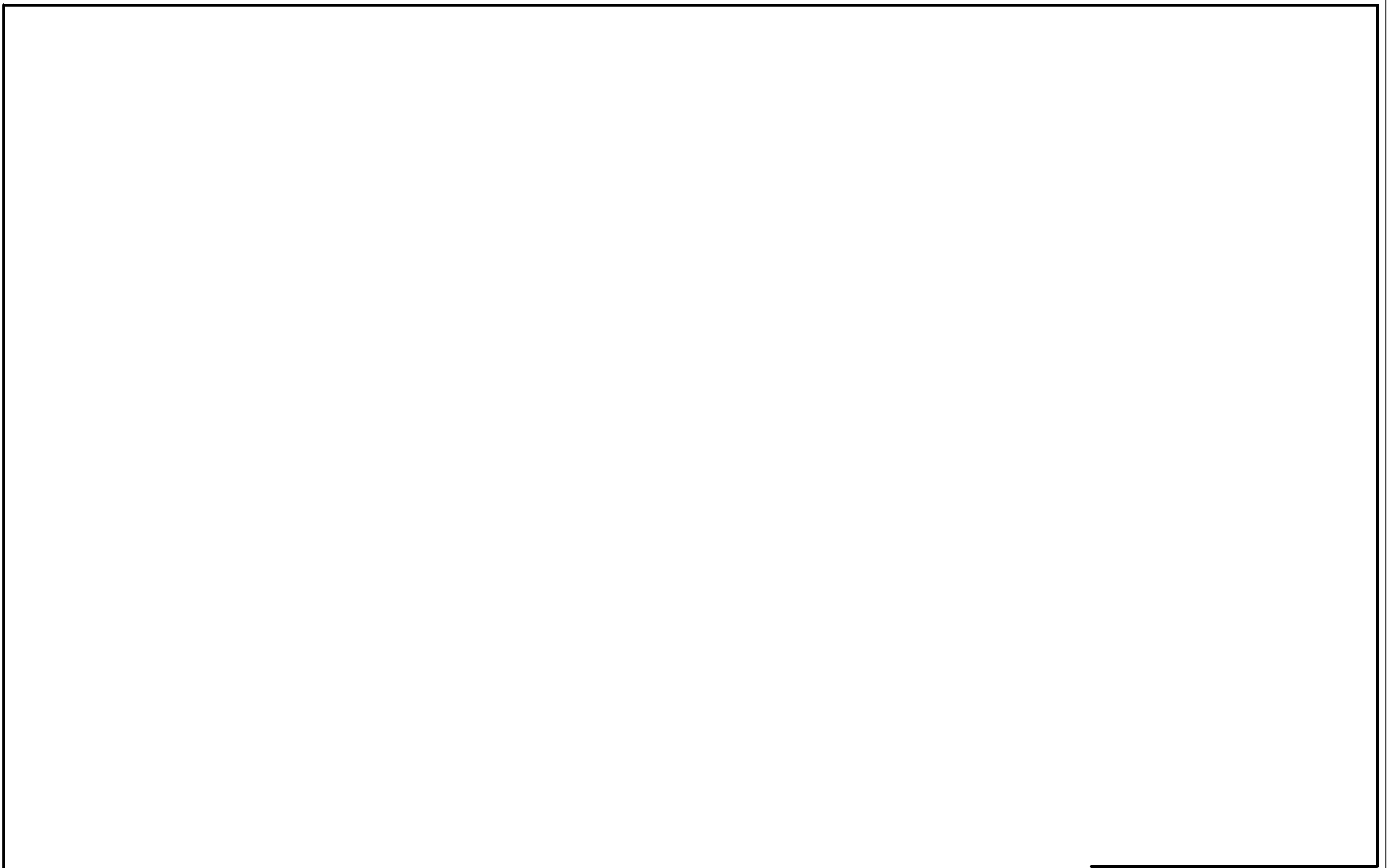
名
称

火災感知器の配置を明示した図面
(その18)

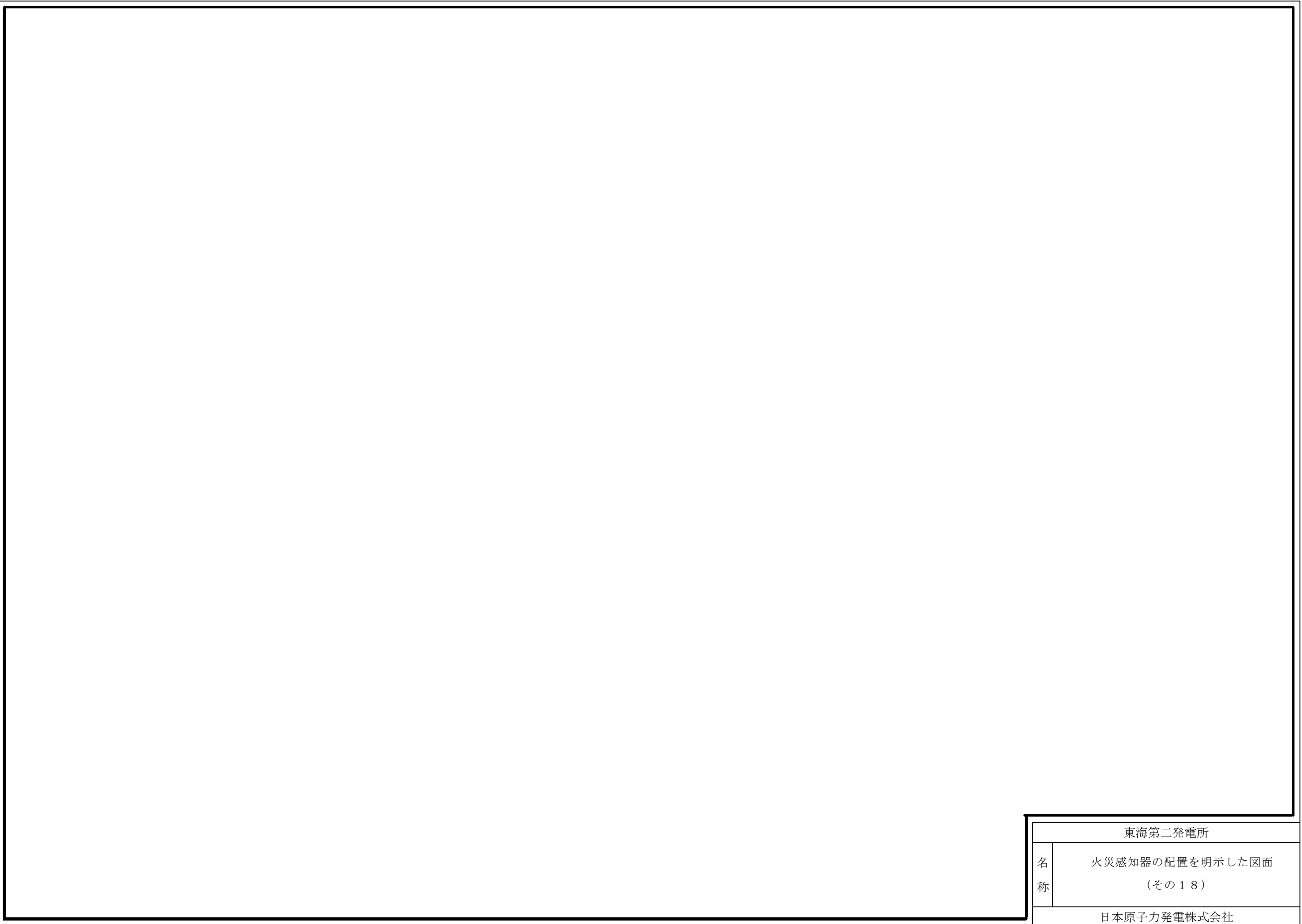
日本原子力発電株式会社



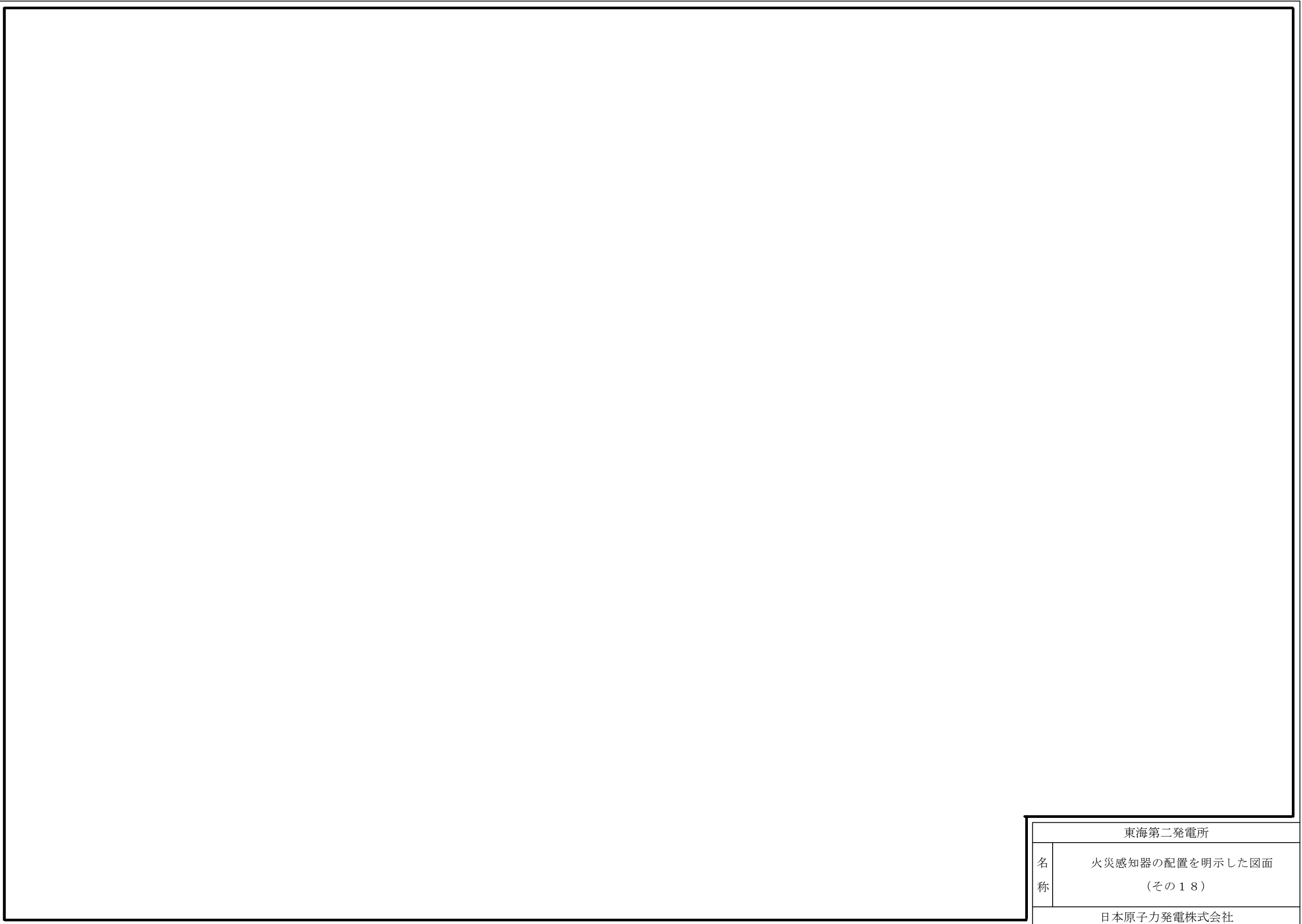
東海第二発電所	
名称	火災感知器の配置を明示した図面 (その18)
日本原子力発電株式会社	



東海第二発電所	
名称	火災感知器の配置を明示した図面 (その18)
日本原子力発電株式会社	



東海第二発電所	
名称	火災感知器の配置を明示した図面 (その18)
日本原子力発電株式会社	



東海第二発電所	
名称	火災感知器の配置を明示した図面 (その18)
日本原子力発電株式会社	